さばえモビリティプラン
（第３次鯖江市地域公共交通計画）
（案）

令和８年１２月

鯖江市

目　次

第１章　計画策定の背景と目的 1

1. 背景と目的 1
2. 計画の位置づけ 2
3. 地域公共交通計画の区域 2
4. 計画期間 2

第２章　鯖江市をとりまく現況 3

1. 位置 3
2. 人口特性 4
3. 運転免許証保有状況と人身事故件数の推移 9
4. 市内に立地する各施設の分布等 11
5. 上位関連計画 14

第３章　鯖江市の公共交通の現状と市民の移動実態分析 22

1. 公共交通のネットワーク状況 22
2. 鉄道・バス圏域カバー状況 23
3. 各公共交通機関の概要 24
4. 運転士不足について 34
5. 公共交通に関するアンケート 35

第４章　鯖江市の交通課題 37

1. 第2次鯖江市地域公共交通計画のフォローアップ 37
2. 鯖江市の課題 39

第５章　鯖江市の交通が目指す姿と目標 40

1. 将来像 40
2. 基本目標 41
3. 鯖江市が目指す公共交通ネットワーク 43
4. 基本目標に基づく実施事業 44

第６章　目標を達成するための事業・実施主体等 46

【基本目標 1】わかりやすく便利な「幹線・二次交通ネットワーク」の維持 46
【基本目標 2】まちづくりと連動した、多様で持続可能な移動手段の確保 61
【基本目標 3】「めがねのまちさばえ」の交流・観光・にぎわいを支える交通環境の充実 65
【基本目標 4】自転車の活用と「市民が主役」の公共交通の利用促進 69

第 7 章　計画の達成状況に関する事項 73
1.　計画の推進体制 73
2.　計画の進捗管理 73

付属資料

第 1 章　市民アンケートの概要 76
1.　調査の目的 76
2.　調査の概要 76
3.　調査項目の基本構成 77
4.　集計上の留意事項 78
5.　市民アンケートの調査結果（単純集計） 79

第 2 章　利用者アンケートの概要 93
1.　調査の目的 93
2.　調査の概要 93
3.　調査項目の基本構成 94
4.　集計上の留意事項 95
5.　利用者アンケートの調査結果（単純集計） 96

第 3 章　高校生・高専生アンケートの概要 108
1.　調査の目的 108
2.　調査の概要 108
3.　調査項目の基本構成 109
4.　集計上の留意事項 110
5.　高校生・高専生アンケートの調査結果（単純集計） 111

第 4 章　地域・路線カルテ 118
1.　地域カルテ 118
2.　路線カルテ 124

第 5 章　計画の策定体制 135
1.　さばえモビリティプラン（第 3 次鯖江市地域公共交通計画）策定の経過 135
2.　鯖江市地域公共交通会議委員名簿 136

第1章　計画策定の背景と目的

1. 背景と目的

1） 計画の背景

鯖江市では、令和6年3月16日の北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、令和3年12月に「第2次鯖江市地域公共交通計画」を策定し、ハピラインふくい線、福井鉄道福武線等によって構成される幹線交通網の変化に対応するとともに、コミュニティバス「つつじバス」を中心とする二次交通網の再編や利用環境の向上に取り組んでまいりました。

しかしながら、人口減少・少子高齢化の更なる進行により、高齢者や学生等の移動手段の確保がより一層重要となっています。また、公共交通利用者数は増加傾向にあるものの、将来的な人口減少による需要の縮小や運転士不足、経営環境の悪化など、地域公共交通を取り巻く環境は依然として厳しく、その持続可能性の確保が大きな課題となっています。

また、デジタル技術の進展やライフスタイルの多様化、カーボンニュートラルの実現に向けた環境負荷の低減など、公共交通を取り巻く社会環境は大きく変化しており、これらの変化に対応した新たな取組が求められています。

さらに、北陸新幹線福井・敦賀開業後の広域交通体系の変化を踏まえ、市民の日常生活における移動手段の確保はもとより、観光やビジネス等で本市を訪れる人々への二次交通としての機能強化も重要な課題となっています。

このような状況を踏まえ、本市では現行計画の取組成果と課題を検証し、より実効性の高い施策を推進するため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、「さばえモビリティプラン（第3次鯖江市地域公共交通計画）」を策定することとしました。

2） 計画の目的

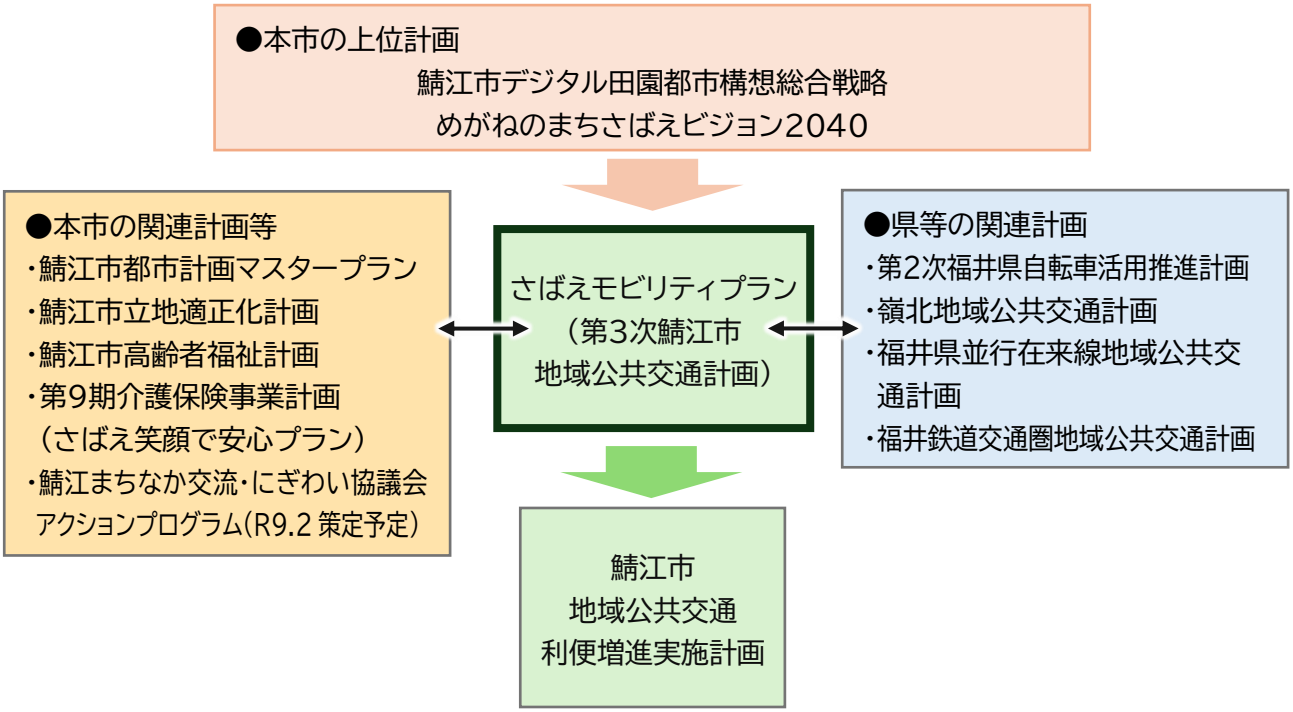
本計画では、つつじバスを中心とした公共交通に加えて、地域の多様な輸送資源を総動員することによって持続可能な移動サービスを確保するとともに、デジタル技術の活用や環境負荷の低減、まちづくりとの連携を図りながら、誰もが移動しやすく、将来にわたり持続可能な地域公共交通体系の実現を目指します。

2. 計画の位置づけ

さばえモビリティプラン（第3次鯖江市地域公共交通計画）は「めがねのまちさばえビジョン2040」および「鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略」を上位計画として位置づけ、「鯖江市都市計画マスタープラン」等の関連計画との整合を図ります。また、県や広域自治体等における「嶺北地域公共交通計画」等とも整合を図りながら、策定します。

令和8年度には、本計画とあわせて、具体的な事業の実施に向けて鯖江市地域公共交通利便増進実施計画を策定しています。

【本計画の位置づけ】



3. 地域公共交通計画の区域

計画区域は、鯖江市全域とします。

4. 計画期間

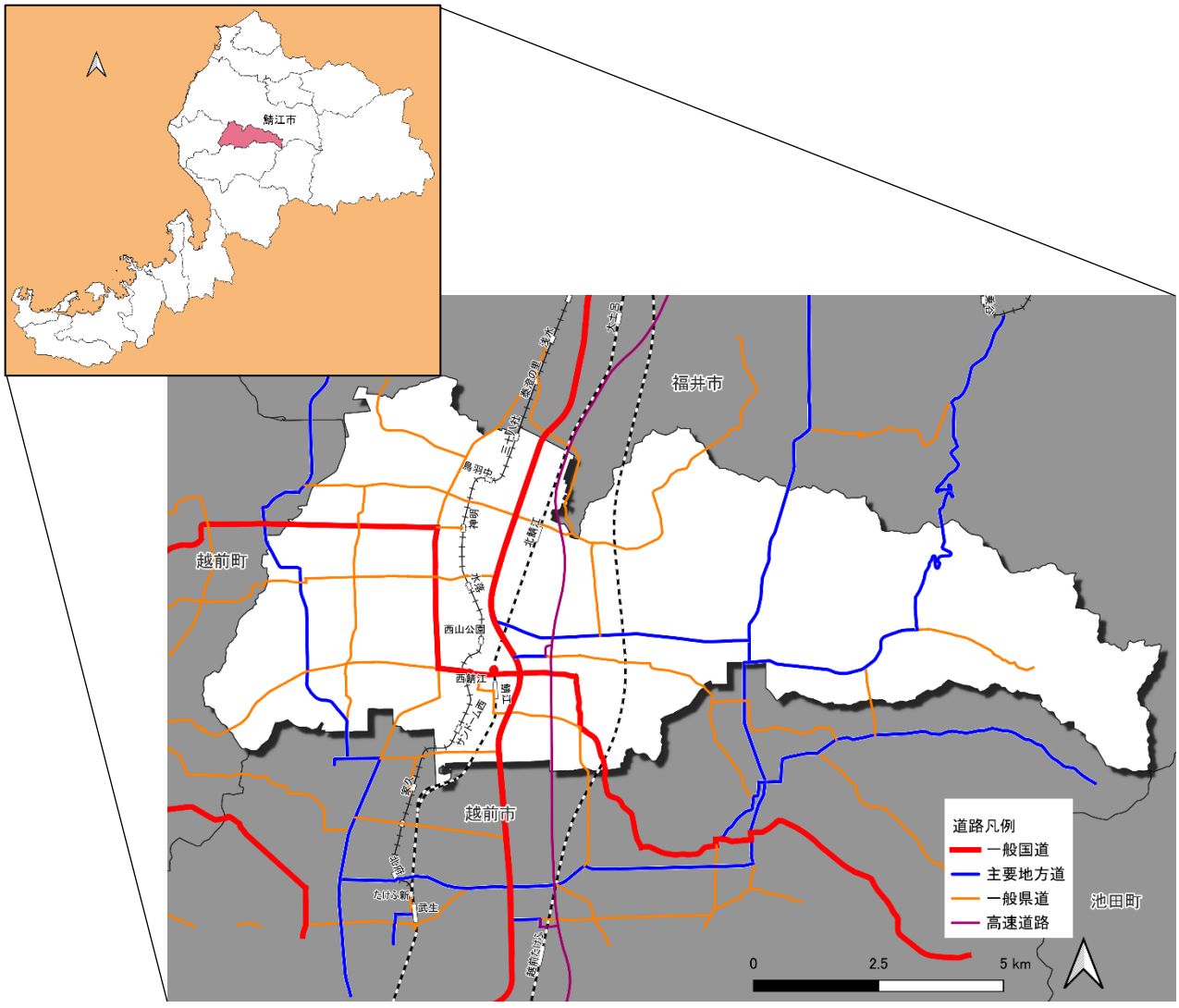
計画期間は令和9年度から令和13年度までの5年間としますが、住民ニーズや社会情勢の変化等に柔軟に対応するため、適宜、見直すこととします。

第2章 鯖江市をとりまく現況

1. 位置

- 本市は福井県のほぼ中央に位置し、北は福井市、南は越前市と隣接しています。東西は19.2km、南北は8.3km にわたり、面積は84.59km^{2}です。
- 東部は三方が山地に囲まれた盆地、中央部は西山を中心とした丘陵地、西部は平野となっており、越前平野の一部を形成しています。
- 山地のふもとに集落があり、中央部の丘陵地から西は日野川、東は国道8号沿線にかけ南北に市街地を形成しています。南北に幹線が3本縦断しており、この丘陵に沿って両側に国道8号線と西縦貫線、東側を北陸自動車道、ハピラインふくい、北陸新幹線が走り、また日野川が北方に向かって流れ、潤いある生活と経済活動の中心となっています。
- 交通網は、中央部を北陸自動車道（鯖江 IC）や国道8号が南北方向に縦貫しており、越前町へ通じる国道417号があります。また、中央部にはハピラインふくい線（2駅）、福井鉄道福武線（6駅）が運行されています。

【位置図】

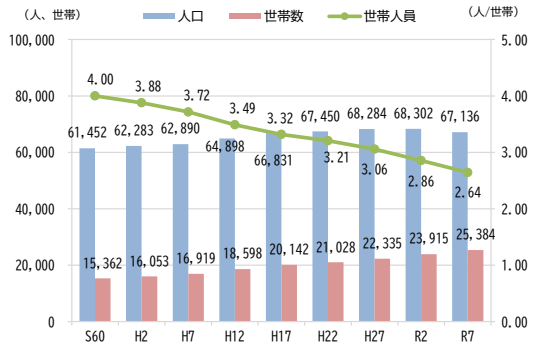


2. 人口特性

1） 人口･世帯数

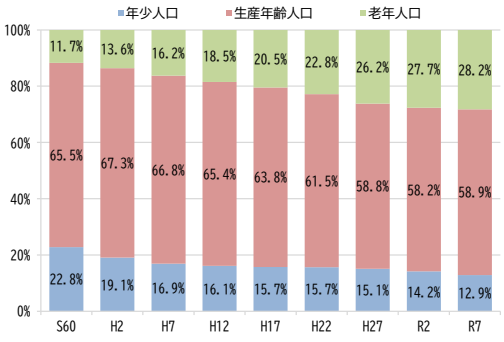
- 本市の人口は、昭和60年から令和2年までは増加していましたが、その後減少に転じ、令和7年時点では 67,136 人となっています。
- 令和7年時点の世帯数は 25,384 世帯と増加傾向ですが、1世帯当たりの世帯人員は、2.64人/世帯と減少傾向にあります。
- 令和7年時点の年齢3区分別人口は、年少人口(15歳未満)は12.9%、生産年齢人口(15～64歳)は58.9%、老年人口(65歳以上)は28.2%と少子高齢化が進行しています。
- 特に、令和7年時点の老年人口(65歳以上)は 18,951 人、高齢世帯数は 5,111 世帯と、老年人口および高齢世帯数は大きく増加しています。

【人口･世帯の推移】



出典:国勢調査

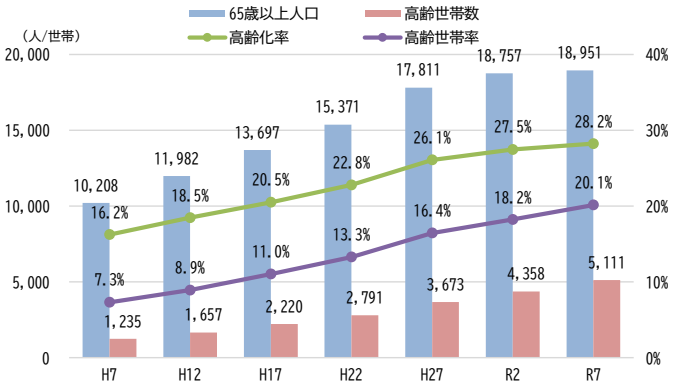
【年齢3区分別人口の推移】(年齢不詳除く)



※年齢不詳除く

出典:国勢調査

【老年人口(65歳以上)および高齢世帯数】



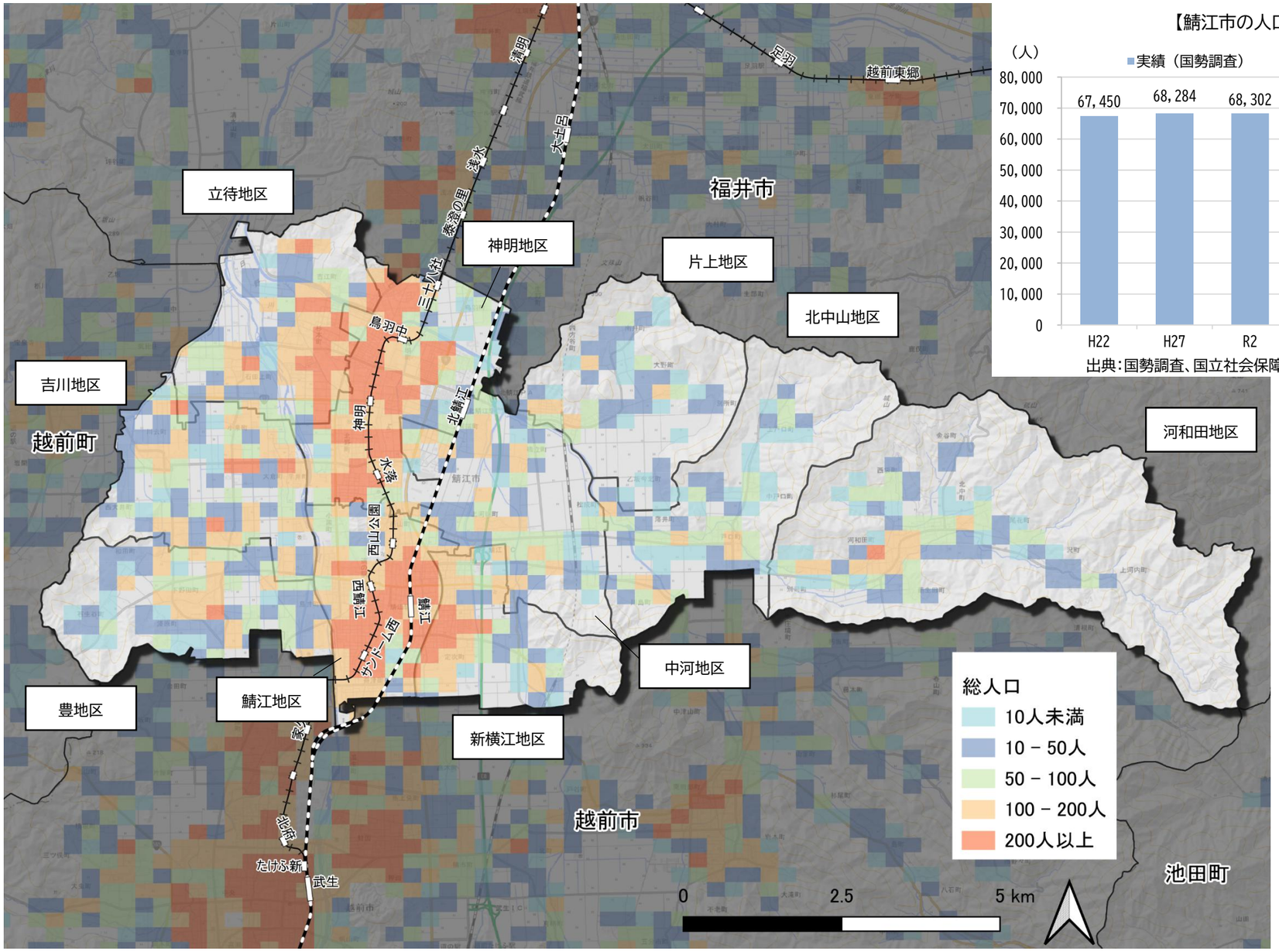
※高齢世帯数:65歳以上の者のみで構成する世帯

出典:国勢調査

2）人口分布

①　人口分布

- 本市の人口は令和7年以降、減少傾向にあり、国立社会保障・人口問題研究所における将来推計人口では令和17年に 63,996 人（令和7年比：-4.7%）と推計されています。
- 人口分布は、主に鉄道駅周辺や各地区中心部に人口が集中しています。



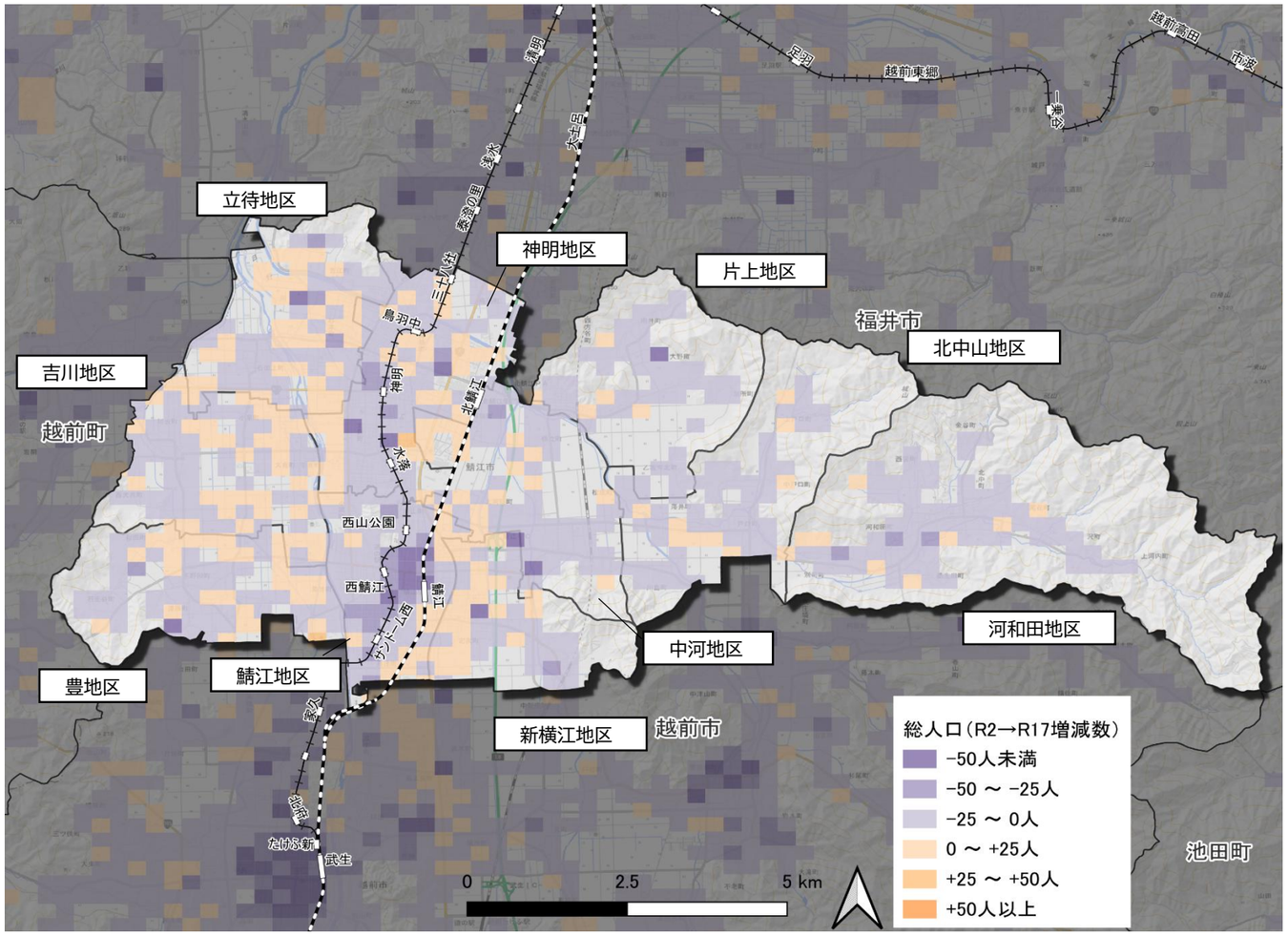
出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口

出典：国勢調査（令和2年）

②　人口分布（令和2年→令和17年推計）

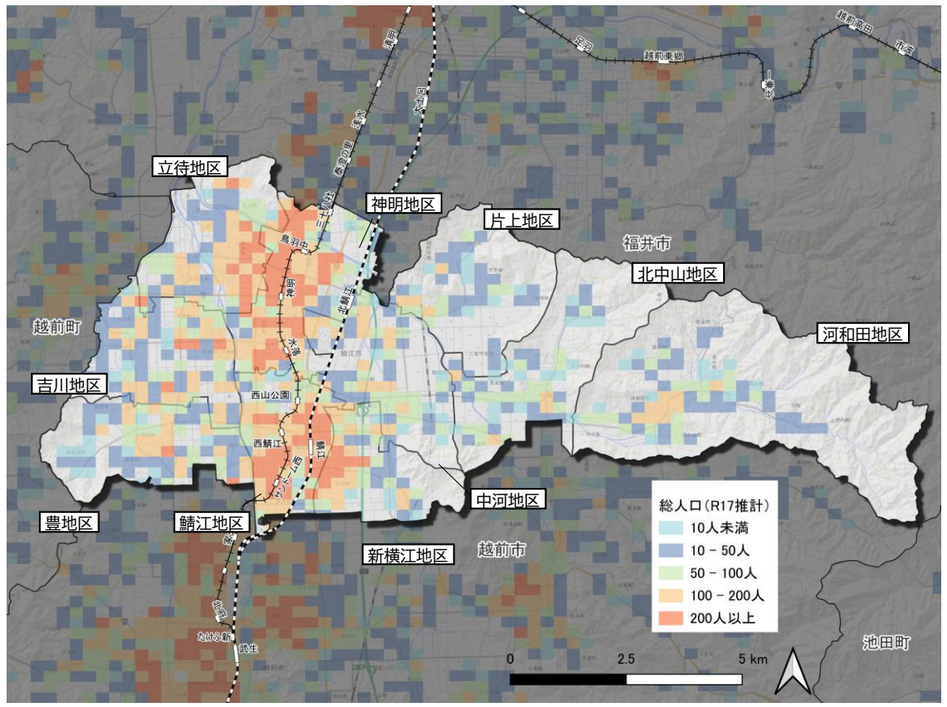
- 令和2年から令和17年にかけて、市西部の一部エリアでは人口が増加すると推計されている一方で、市中央部、市東部を中心に市全域で人口が減少すると推計されています。

【人口分布変化（R2→R17推計）】



国勢調査（R2）、国土数値情報（R17）より算出

【鯖江市の人口（R17推計）】

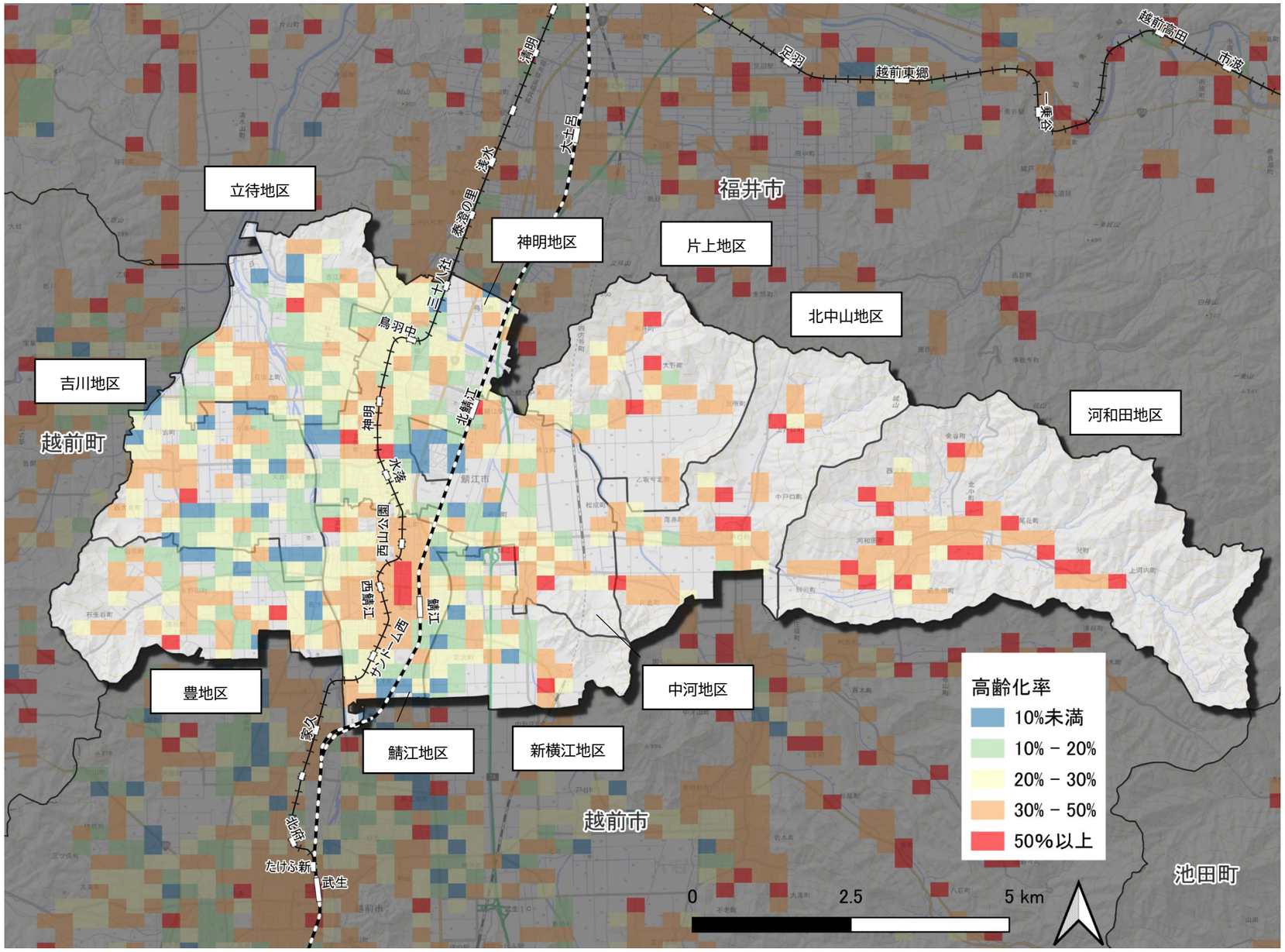


出典：国土数値情報

3）老年人口(65歳以上)の分布

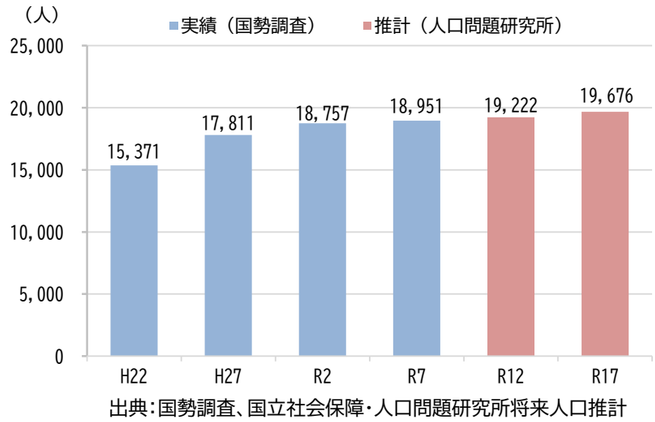
①　老年人口(65歳以上)の分布

- 老年人口は増加しており、国立社会保障・人口問題研究所における将来推計人口は令和17年に 19,676 人(令和7年比:+3.8%)になると推計されています。
- 65歳以上の人口割合の分布は、河和田地区や北中山地区等の山間部で高齢化率 50%以上を示している地域があります。



出典:国勢調査(令和2年)

【老年人口(65歳以上)の推移】

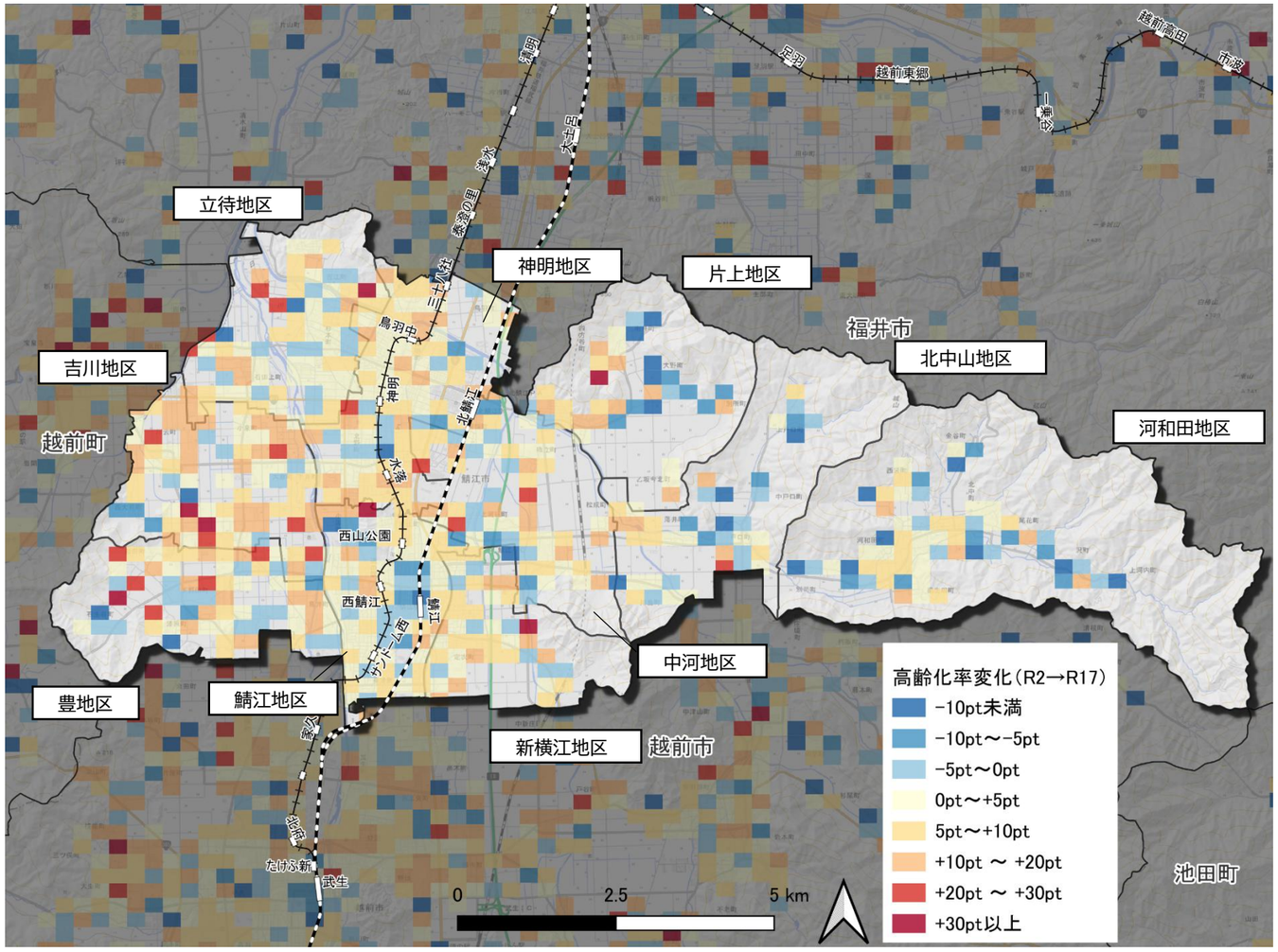


出典:国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計

②　老年人口（65歳以上）の分布（令和2年→令和17年推計）

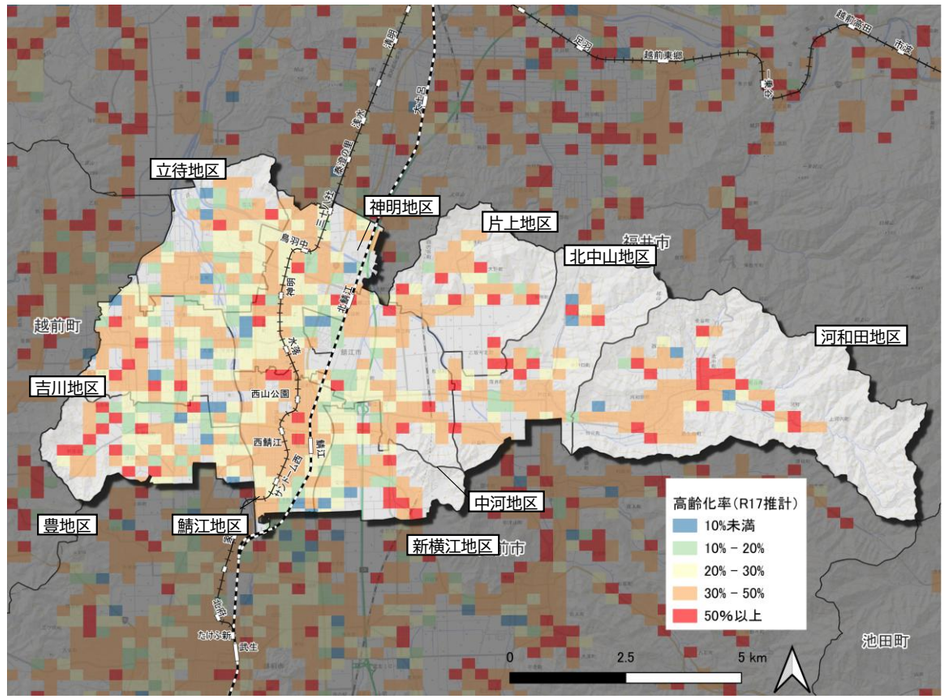
- 令和2年から令和17年にかけて、市西部および市中央部を中心に高齢化率が+10ポイント以上増加するエリアが多く見られるとともに、令和17年には広範囲で高齢化率が20%以上になると推計されています。

【老年人口の分布変化（R2→R17推計）】



国勢調査（R2）、国土数値情報（R17）より算出

【老年人口の分布（R17推計）】

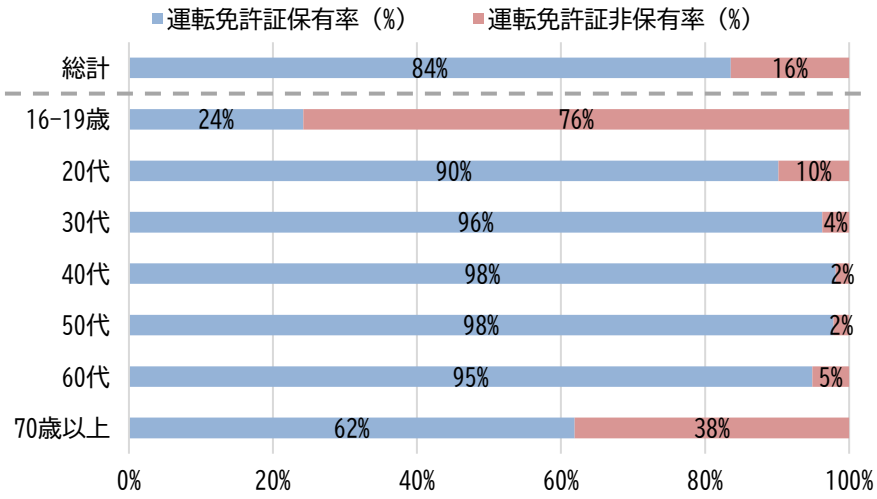


出典：国土数値情報

3. 運転免許証保有状況と人身事故件数の推移

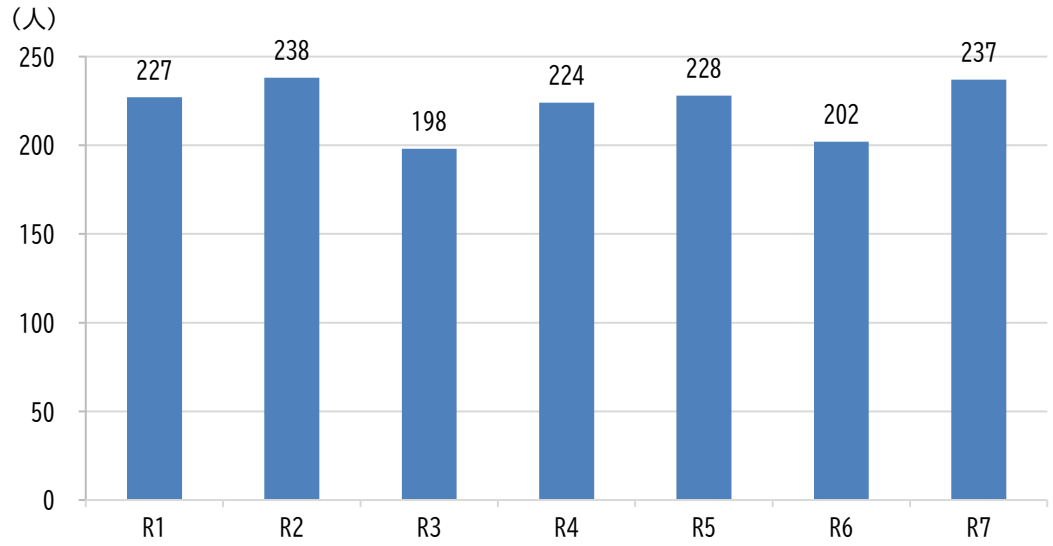
- 本市の運転免許証保有者の割合は、16歳以上の市民全体で84%となっています。
- 年齢別では20～60代で90%以上が保有する一方、70歳以上は62%と低くなっています。
- 本市の65歳以上の運転免許証自主返納者数は、令和3年と令和6年は前年より減少し、それぞれ198人、202人となっていますが、その他の年では220人以上となっています。
- 鯖江市人身事故件数は、令和6年には99件に増加しましたが、令和7年は90件に減少しています。

【年齢別運転免許証保有割合（令和6年12月末現在）】



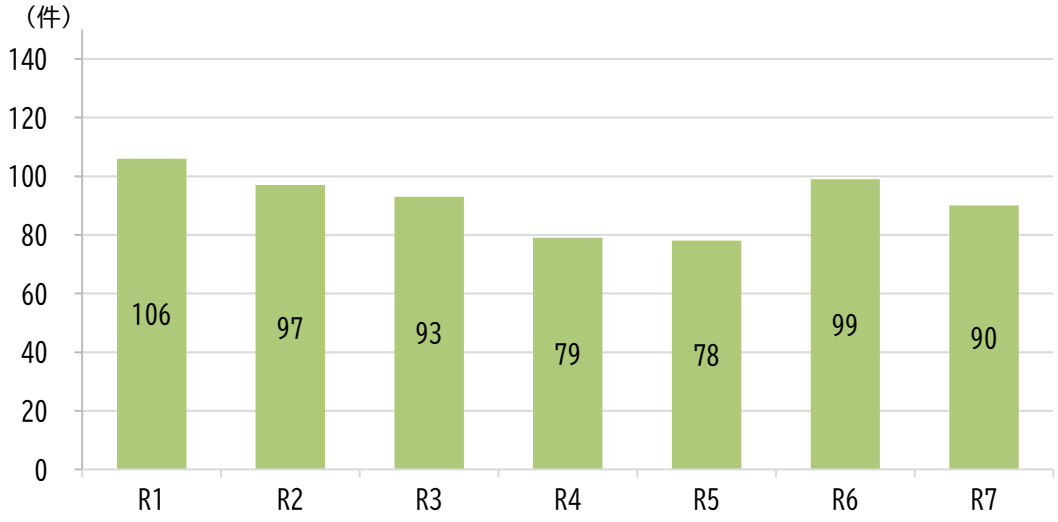
福井県警察本部「福井の交通」（令和6年12月末時点）、住民基本台帳（令和7年1月7日時点）より作成

【65歳以上運転免許証自主返納者数】



出典：福井県警察本部「福井の交通」

【人身事故件数の推移】

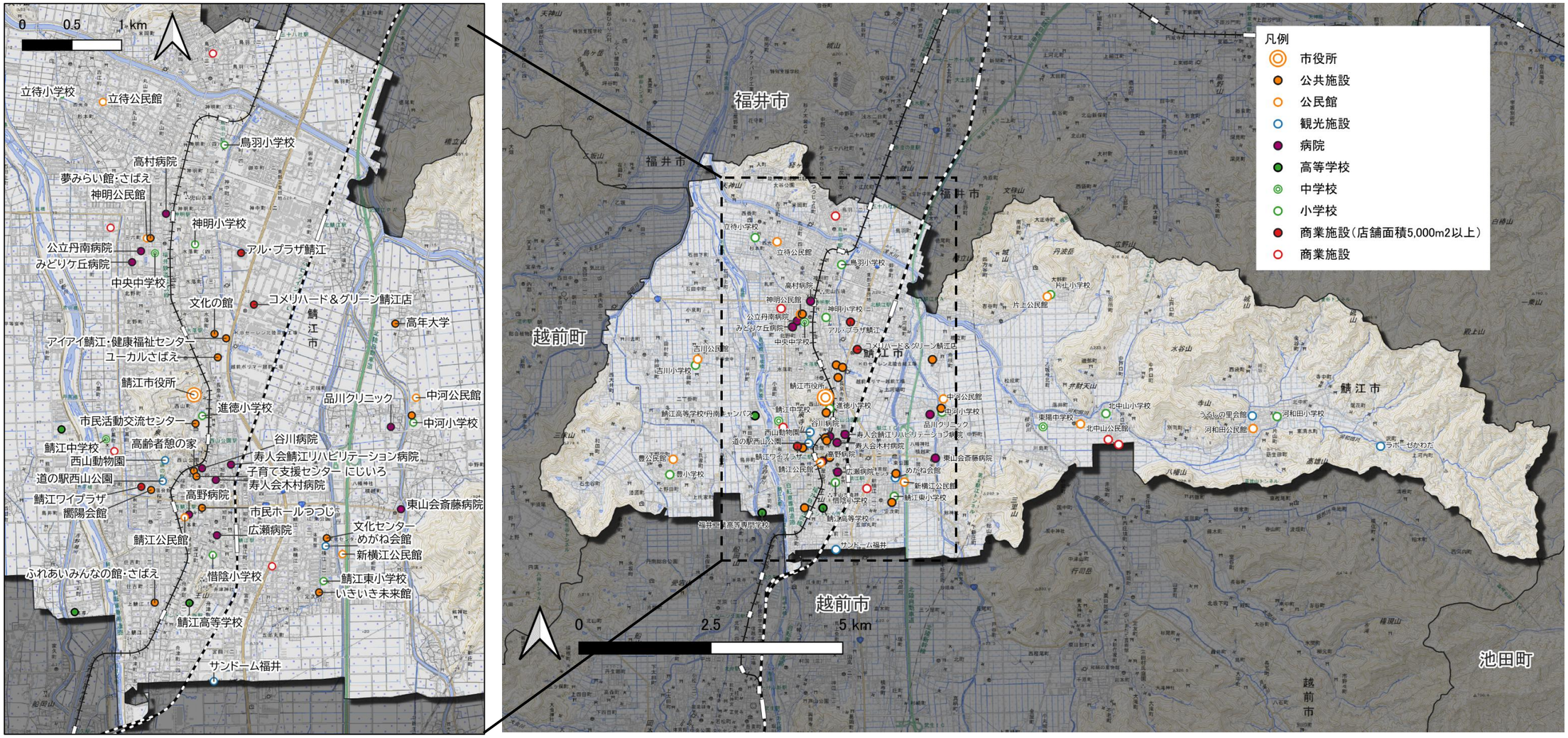


※人身事故件数を集計
出典：鯖江警察署

4. 市内に立地する各施設の分布等

1） 施設分布

- 市役所を中心とした中心市街地エリアに、病院、主要な公共施設、商業施設等が高密度に集積しています。特に、医療施設は中心市街地に集中しており、周辺部からは公共交通機関によるアクセスが必要となっています。
- 郊外部については、公民館、小学校等の地区拠点施設が配置されているほか、河和田地区には観光施設である、うるしの里会館やラポーゼかわだ等が立地しています。



以下の資料より作成
観光施設：福井県観光入込客数に記載のある主要観光地
病院、教育関連施設：国土数値情報、その他施設：データシティ鯖江や国土数値情報等を加工

2）市内観光入込客数

- 国内有数の眼鏡産地として知られる本市には、その魅力を発信する「めがねミュージアム」をはじめ、1,500 年の歴史を有する越前漆器の魅力に触れる「うるしの里会館」、レッサーパンダで人気の「西山動物園」、桜とツツジの名所である「西山公園」など、多彩な観光資源があります。
- 観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和2年に大きく減少しましたが、令和3年以降は回復傾向にあり、令和7年は令和2年以降最多である164.5万人となっています。
- 入込客数は、「西山公園」「道の駅 西山公園」「めがねミュージアム」「うるしの里会館」「ラポーゼかわだ」の5施設に集中しています。

【市内の観光資源】



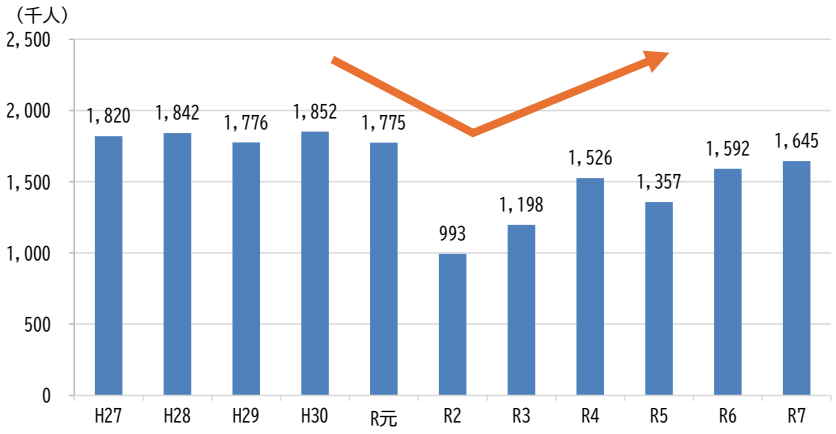
西山公園



ラポーゼかわだ

出典：鯖江市ホームページ

【観光入込客数の推移】



出典：福井県観光入込客数（推計）

【主な観光施設への入込客数（令和7年）】

観光地名・施設名	市内最寄り駅・停留所	入込客数（千人）
西山公園	西山公園駅（福井鉄道）	864
道の駅 西山公園	西山公園駅（福井鉄道）	340
めがねミュージアム	めがね会館（つつじバス）	184
うるしの里会館	うるしの里会館（つつじバス）	77
ラポーゼかわだ	ラポーゼかわだ（つつじバス）	102

出典：福井県観光入込客数（推計）

5. 上位関連計画

1） 本市における上位関連計画

①　鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略（令和6年3月）

- 鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略では、「世界的視野で考え、地域で行動する」ことで、多様な人々が集まり、経済、社会、環境の好循環が生まれ、停滞することなく、常に新しいものが生まれ続ける持続可能なまちを創り上げていくことを目指しています。

コンセプト	**世界的視野で考え、地域で行動する「めがねのまちさばえ」**

基本目標Ⅱ 基本目標Ⅳ	**『市民主役』で、さばえる！　ひとが集い、挑戦できるまちをつくる** **『住みたいまち』で、さばえる！　安心で快適で魅力的なまちをつくる**

【地域公共交通に関する主な基本施策】

■　幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成

・コミュニティバス運行事業
　令和4年度に再編したつつじバスを運行するとともに利用促進のための企画切符やSNSを活用した情報発信を実施します。
・福井鉄道福武線支援事業
　第3次スキームに基づいた支援を実施し、県、沿線3市および福鉄を支援する市民団体との協働により利用促進を図ります。
・ハピラインふくい支援事業
　第3セクター会社として経営安定のための基金を拠出し、県、沿線市町との協働により利用促進を図るとともに駅利便性向上のため協力を図ります。
・新たな交通手段導入検討事業
　市民意見を聞きながら、デマンド交通など新たな交通手段の導入を研究します。
・デジタルを活用したサービス 向上事業
　公共交通のサービス向上のため、複数の公共交通やそれ以外のサービス連携のため、MaaSの導入を検討します。
・鯖江駅東口等整備事業
　鯖江駅東口改札設置や駐車場等駅周辺整備を検討します。
・福井鉄道福武線利用促進事業
　市内6駅で駅周辺施設や店舗等と連携し親子連れをメインターゲットとした利用促進事業を実施します。
・タクシーを活用した観光モデル事業
　北陸新幹線停車駅ならびに鯖江駅から市内観光地への二次交通（タクシー）利用料金に対して補助を行う実証実験を行います。

② めがねのまちさばえビジョン2040（令和6年3月）

- 「目指す世界観」と「思いをカタチにするために大切にしたいこと」、予測される社会変化、地区の特性をそれぞれ明らかにし、同じ特徴を有する地区は一つのエリアとして、「デザイン」「ブランド」「Well-being」の3つの観点からエリアの目指すべき姿を描いています。

【地域のまちづくりビジョンの一例】



【地域公共交通に関するエリアの目指す姿（抜粋）】

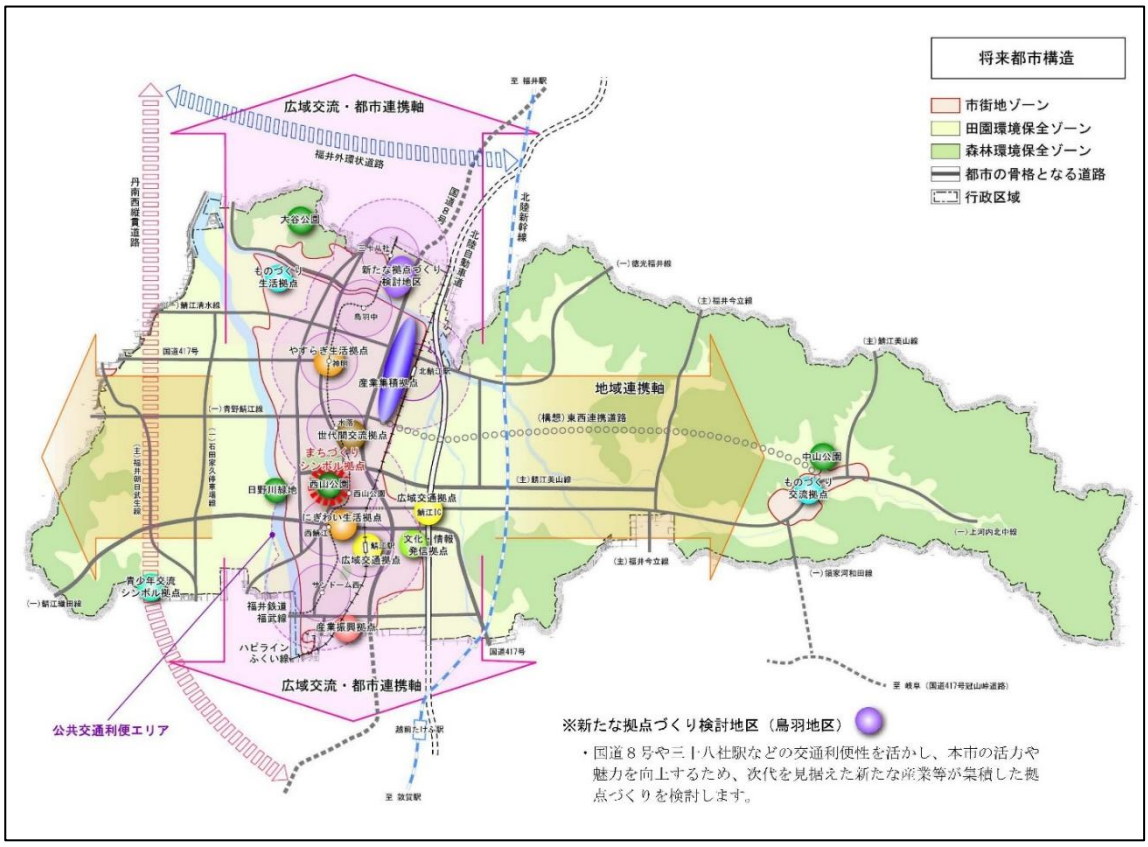
方針	エリアの目指す姿
鯖江市街地エリア	・鉄道駅でアクセスでき、医療施設や子育て支援施設、行政施設など、様々な機能が立地する強みが活かされ、未来をリードするクリエイティブな企業が立地するなど、さらに多くの都市機能が集積しています。 ・ICT技術が導入され、つつじバスは市民の足として多くの人に活用され、北陸新幹線越前たけふ駅を結ぶ二次交通が便利になっています。
神明市街地エリア	・ICT技術が導入され、鉄道やつつじバスが便利になり、福井鉄道福武線神明駅周辺は来訪者を含めた多くの人が利用しています。
市街地西部エリア 市街地東部エリア 東部エリア	・ICT技術が導入され、つつじバスは多くの人に活用されています

③　鯖江市都市計画マスタープラン（令和6年3月改定）

- 嶺北地域全体の魅力や活力向上を目指して、周辺都市との連携を一層深め、広域的な視点からの本市の特徴や果たすべき役割を踏まえた都市構造の実現を目指しています。

将来都市像	集い・輝き・挑戦する「めがねのまちさばえ」 ～ 選ばれるまちをめざして ～

【将来都市構造】



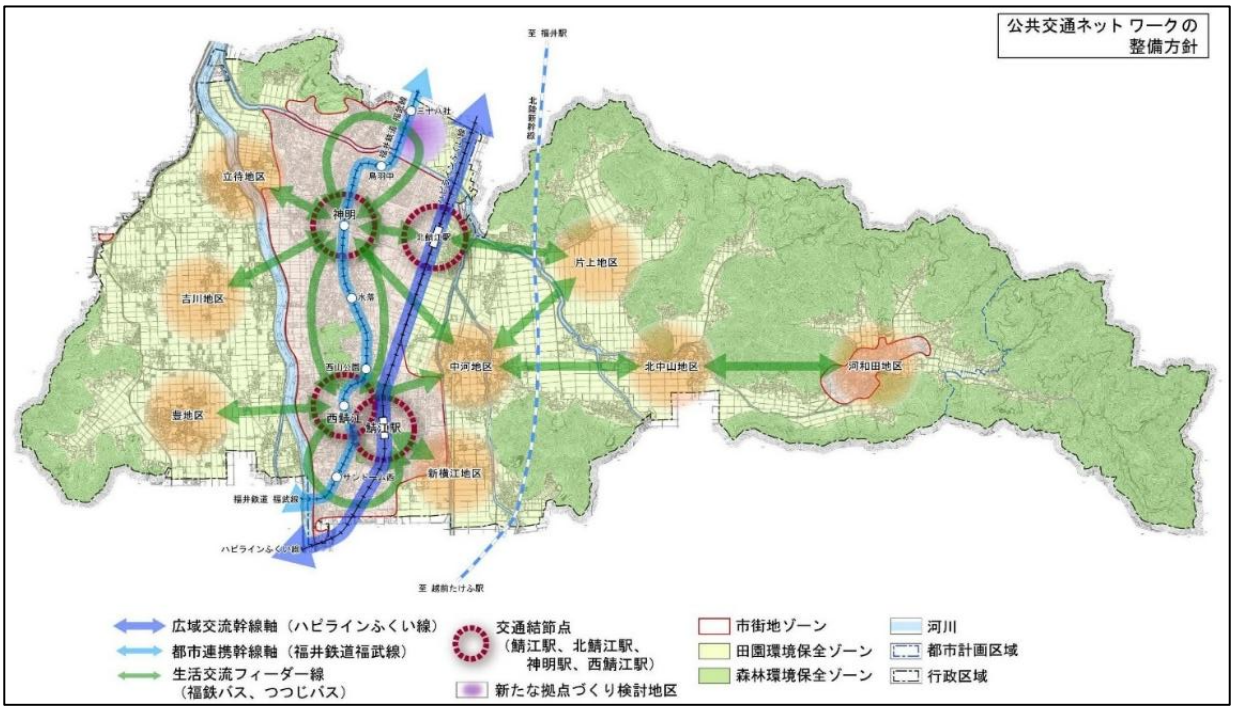
【交通体系の整備方針（抜粋）】

■　基本方針１　県外との広域交流や県内の地域連携を促す交通ネットワークの充実
・越前たけふ駅や主要施設へのアクセス性を高めるため、バス等を活用した二次交通網の確保や充実に向けて取り組みます。 ・東西方向の地域連携を支える交通ネットワークは、関係機関と連携を図りながら維持します。
■　基本方針２　市民が安心して日常生活を過ごせる公共交通ネットワークの確立
・公共交通を積極的に利用してもらうことで、サービス水準の維持・向上を図るとともに、公共交通機関相互の連携を推進することで、自動車との連携を推進し、安心して日常生活が過ごせる公共交通ネットワークの確立を図ります。 ・市民の皆さんにとって利便性が高い公共交通にするため、公共交通サービスの運行に必要な費用や市民の皆さんの負担額などの情報を公開するとともに、市民の皆さんの意向把握や参画の場を設けます。
■　基本方針３　地域の宝を活かした交流、連携を支える交通環境の構築
・本市には、西山公園をはじめとする観光資源や眼鏡、繊維、漆器に代表されるものづくりなど豊富な地域の宝があります。また、広域的な集客施設であるサンドーム福井が位置しています。これらの地域の宝を活かした交流、連携を支える交通環境の構築を図ります。 ・特に、西山公園やサンドーム福井は、つつじまつりやコンサート等のイベント時に大勢の人が集中することから、これらの施設と主要な駅やICを結ぶ区間において、快適な歩行空間やICTを活用した交通サービスの整備を検討するなど、広域的な観光交通への対応を図ります。

【公共交通ネットワークの整備方針（抜粋）】

鉄道を中心とする南北方向の公共交通サービスの維持・向上（広域交流幹線軸、都市連携幹線軸）
・これらの鉄道による公共交通の高い利便性をまちづくりの基本とし、積極的に公共交通の利用を促進することで、現在のサービス水準を維持するとともに、今後の利用動向を踏まえサービス水準の向上を図ります。
バスによる東西方向の公共交通サービスの維持・向上（生活交通フィーダー線）
・「つつじバス」および福鉄バスを生活交通フィーダー線として位置づけ、市街地への連絡や鉄道による広域交流幹線軸、都市連携幹線軸に接続します。バス停の待合環境の整備、バス路線再編による利便性や速達性の向上、運行経路や運行時刻などの情報提供等の交通環境の整備により、積極的な利用促進を図り、現在のサービス水準を維持するとともに、今後の利用動向を踏まえ、デマンド方式の導入も検討しながら、サービス水準の向上を図ります。 ・また、北陸新幹線福井・敦賀開業に伴う新たな関係人口・交流人口増加を見込み、鉄道駅や公共施設、生活に必要なサービス施設、西山公園やラポーゼかわだなどの観光・交流施設へのアクセス性を高めるため、鉄道やタクシーとの連携やバスを活用した二次交通網の充実を図るとともに、ICTを活用した交通サービスの整備を進めます。

【公共交通ネットワーク方針図】



④　鯖江市立地適正化計画(平成29年3月)

まちづくりの理念	豊かな生活を支える 安心して住み続ける ふるさと鯖江

【地域公共交通に関する主な基本方針(抜粋)】

■　基本方針１ 安心して住み続ける歩いて暮らすまちづくり

・既存の鉄道やコミュニティバス等による公共交通のストックを活用するとともに、空き家・空き地を活用して、公共交通の利便性の高い地区への居住を推進することで、過度に自動車に依存することなく、すべての市民が安心して住み続けることのできる生活環境を確保します。

・駅を中心として歩いて暮らすまちづくりによって、今の鯖江市を見つめながら、次代に継承するまちづくりを進めます。

■　基本方針２ 地域の宝を活かした交流・連携によるにぎわいのあるまちづくり

・つつじまつりに象徴される西山公園をはじめとする観光資源や、眼鏡、繊維、漆器に代表されるものづくりなど、鯖江市が有する豊富な資源を地域の宝として交流・連携に活かし、公共交通網を基軸とした全市的な地域間のネットワークを強化することで、都市の活力を高め、地域のにぎわいづくりを目指します。

■　基本方針３ 市民がともに支え合い、行政と一体となった市民主体のまちづくり

・これからのまちづくりには、既存の社会基盤のストックを活用する都市運営が求められており、市民や事業者と行政の協働によるまちづくりを推進し、それぞれの役割と責任をもって、自助、共助、公助による市民と行政が一体となった市民主役のまちづくりを目指すとともに、市民の暮らしやすさを高め、効率的な都市運営を行うため、民間活力の適切な導入・誘導を図ります。

⑤　鯖江市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画(令和6年3月)

基本理念	人と人がつながり、安心して暮らせるまちさばえ

【公共交通に関する施策(抜粋)】

■　基本目標５ 高齢者が安心して暮らせる環境づくり

①外出しやすい環境づくり

・在宅要介護高齢者が医療機関等に通うために利用するタクシー費用の一部を助成します。

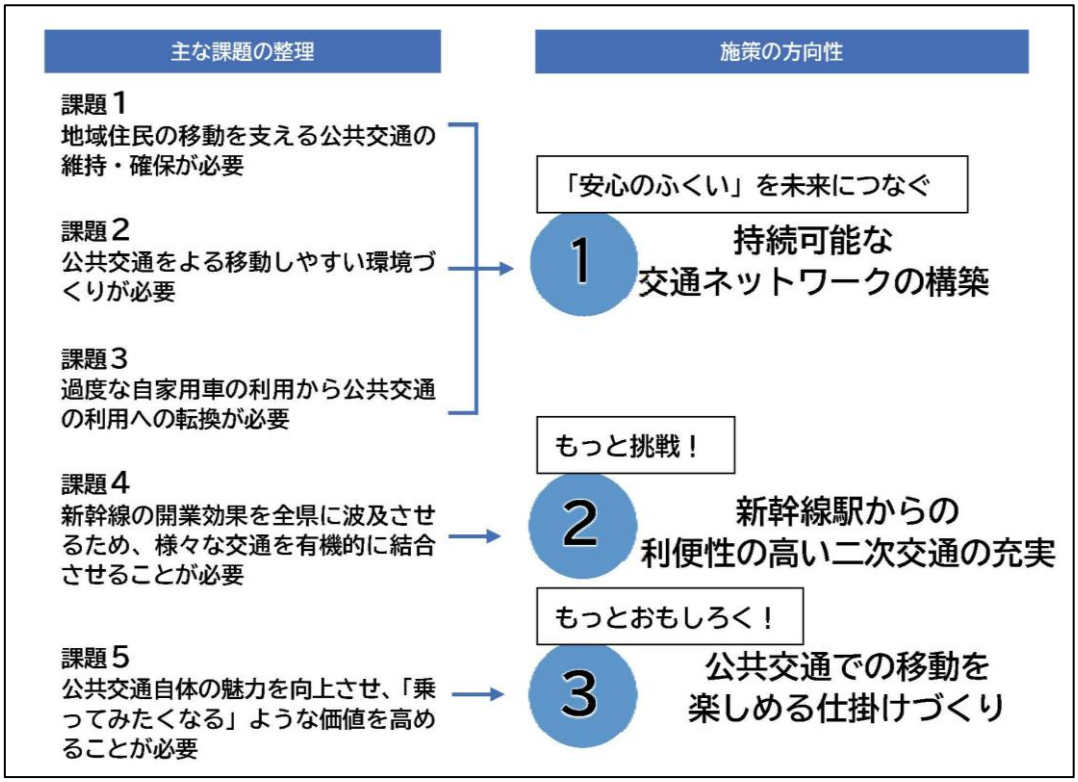
・高齢者が安心してコミュニティバス「つつじバス」の利用ができるよう、利便性向上に努めるとともに、運転免許証自主返納者に対し無料証を交付し、車に代わる移動手段を提供することで、外出支援を推進します。

2）その他上位関連計画

⑥　嶺北地域公共交通計画（令和6年10月改定）

- 嶺北地域公共交通計画では、福井県長期ビジョンの基本理念である「安心のふくいを未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！」に沿い、3つの施策の方向性と地域の実情を踏まえた各種施策を展開し、地域住民の暮らしや交流を支え、育む持続可能な公共交通の実現を目指しています。

【公共交通に関する施策の方向性（抜粋）】



⑦　福井県並行在来線地域公共交通計画（令和6年12月改定）

【基本的な方針（抜粋）】

■　基本的な方針
（2）地域に密着した「県民鉄道」へと一新し、生活や交流の基点となるサービスの提供を通じて地域振興と県民の生活環境の向上を図る。
（3）業務の効率化を図るとともに、実効性ある利用促進策を講じ、長期に渡り安定した経営を維持する。特に、利用促進に関しては、行政や民間、県民が目標値を共有した上で、一致協力して取り組む。
（4）行政や民間と連携し、鉄道駅を中心としたコンパクトシティの形成など持続可能なまちづくりに協力する。

【施策と取組内容（抜粋）】

■　施策１　利便性の向上
（1）誰もが利用しやすいダイヤの編成
（2）観光・イベント列車の運行
（3）誰もが利用しやすい環境づくり、駅サービスの向上
（4）駅へのアクセス向上等
（5）新駅の設置
■　施策２　駅を中心としたまちづくり
（1）駅を中心に都市機能の集約や居住誘導
（2）既存駅のモデルチェンジ
（3）駅・駅周辺のにぎわいづくり
■　施策３　地域鉄道など他の交通事業者との連携
（1）地域鉄道等との連携
（2）交通事業者等との連携
■　施策４　地域に親しまれる鉄道への転換
（1）会社名の公募
（2）県民の参画
（3）マイレール意識の醸成
（4）サポーターズクラブの設立

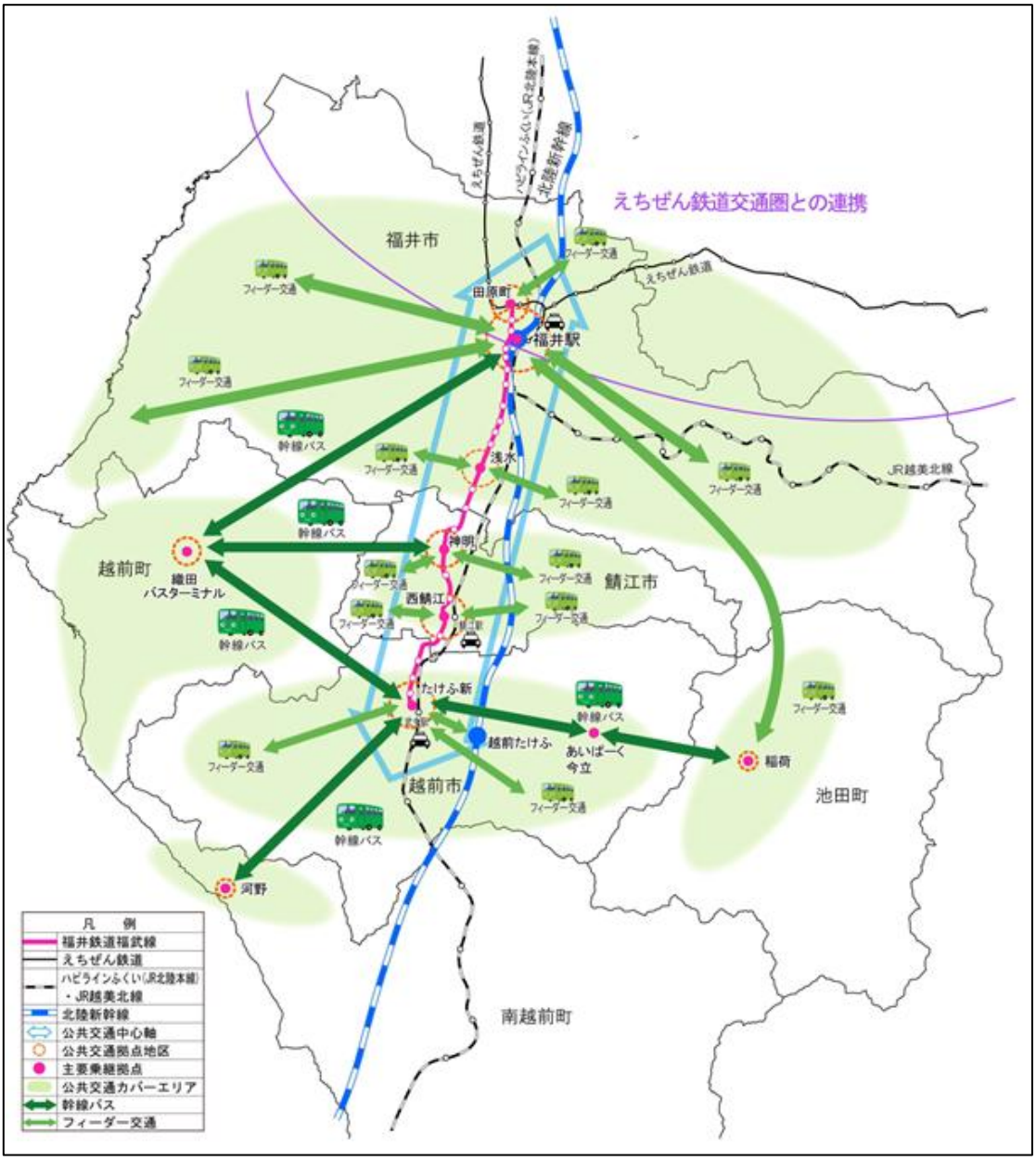
⑧　福井鉄道交通圏地域公共交通計画（令和5年3月）

将来像	「地域に親しまれ共に育む公共交通」 ～北陸新幹線開業に伴う観光誘客の推進～

【基本目標】

■　目標１　地域の交通として利用したくなる公共交通の実現
・駅やバス停へのアクセス向上、他交通機関との接続向上を進め、「地域の交通として利用したくなる公共交通」を目指す。
■　目標２　安全・安心に利用できる公共交通の実現
・計画的な鉄道施設への設備投資や維持修繕、バス路線への運行支援を行い、「安全・安心に利用できる公共交通」を目指す。
■　目標３　車に頼り過ぎない住みやすいまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現
・主要拠点駅を中心としたコンパクトなまちづくりや、沿線の観光施設との連携を進め、「車に頼り過ぎない住みやすいまちづくりや広域観光と連携した公共交通」を目指す。
■　目標４　住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現
・住民、行政、事業者の協働により、公共交通への意識を高め、利用促進につなげるための取組みを進め、「住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通」を目指す。

【公共交通ネットワーク方針図】

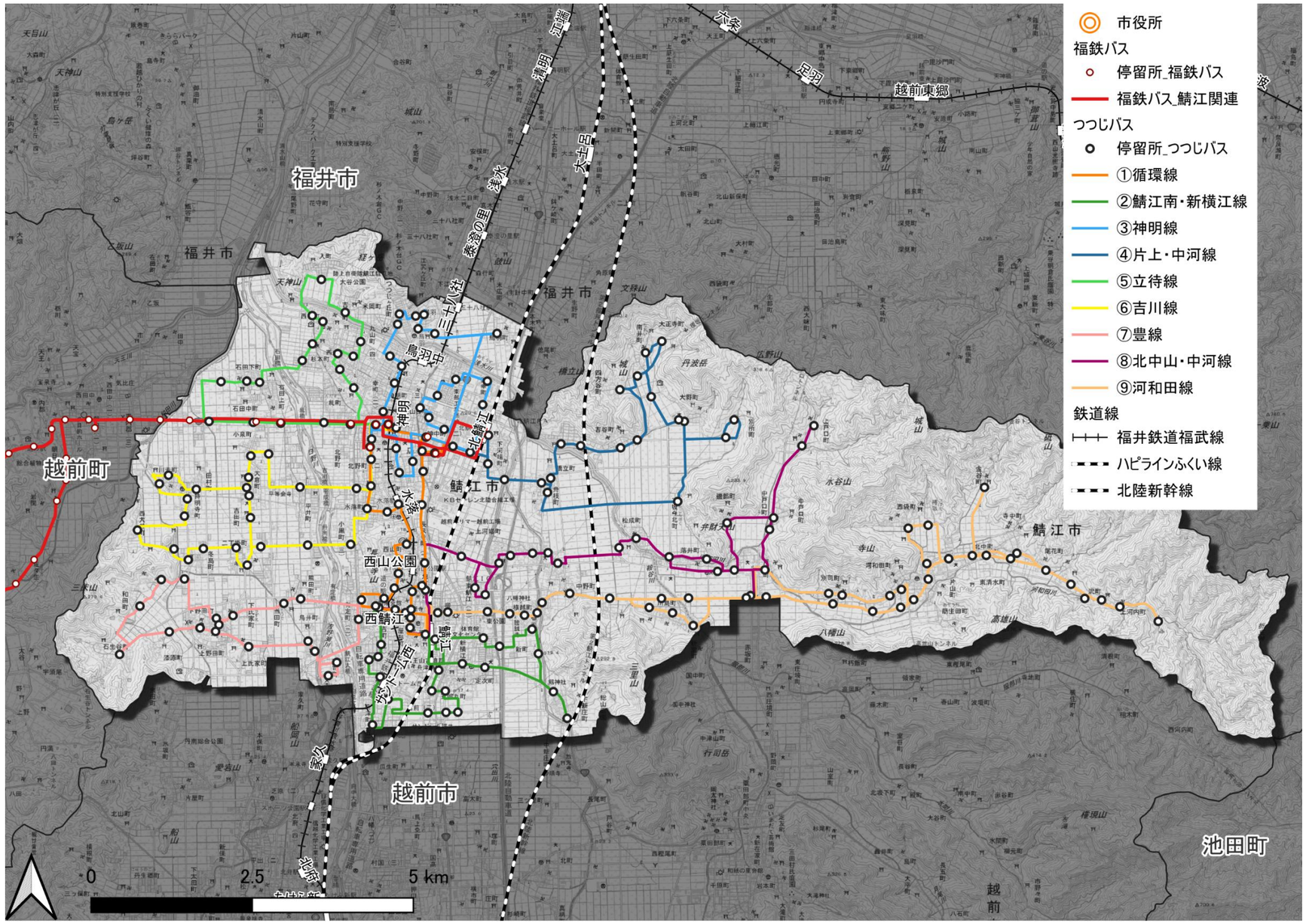


第3章 鯖江市の公共交通の現状と市民の移動実態分析

1. 公共交通のネットワーク状況

- 本市の公共交通ネットワークは、ハピラインふくい線や福井鉄道福武線が南北の広域移動を、福井鉄道鯖浦線（路線バス）が越前町への移動を担い、9系統のコミュニティバス（つつじバス）が広域公共交通機関と接続し、地区内および地区間の移動を支えています。

【鯖江市の公共交通ネットワーク】



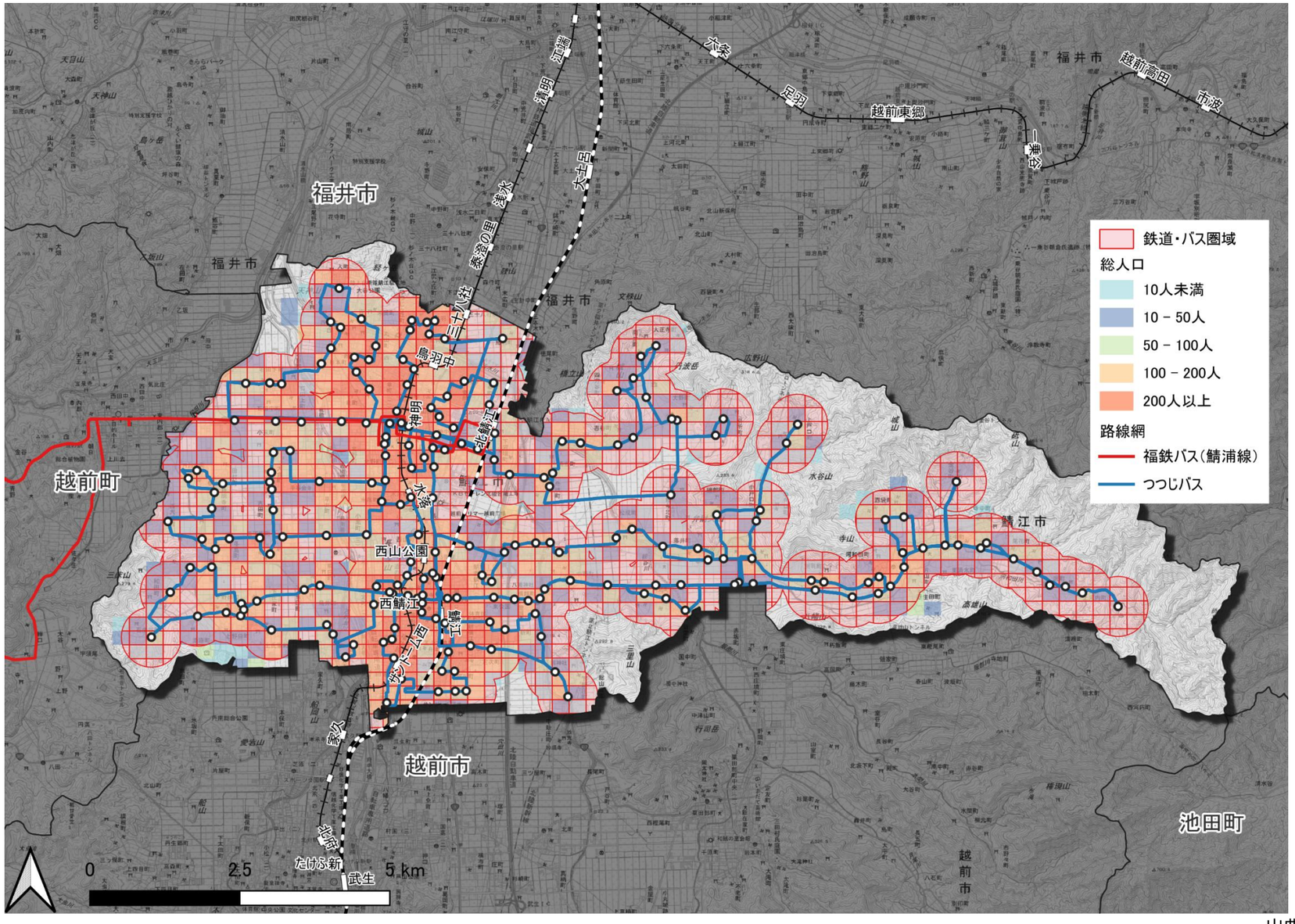
資料：福井県 HP「バス情報データ（GTFS-JP データ）」より作成

2. 鉄道・バス圏域カバー状況

- 駅から 1km、バス停から 500m の範囲を鉄道・バス圏域として、公共交通人口カバー率※を算出すると、カバー率は 98%となっています。

※公共交通人口カバー率：公共交通カバー人口/総人口×100　公共交通カバー人口：鉄道 1km 圏＋路線バス・コミュニティバス 500m 圏内の人口

【公共交通人口カバー】



出典：国勢調査（R2）250m メッシュ

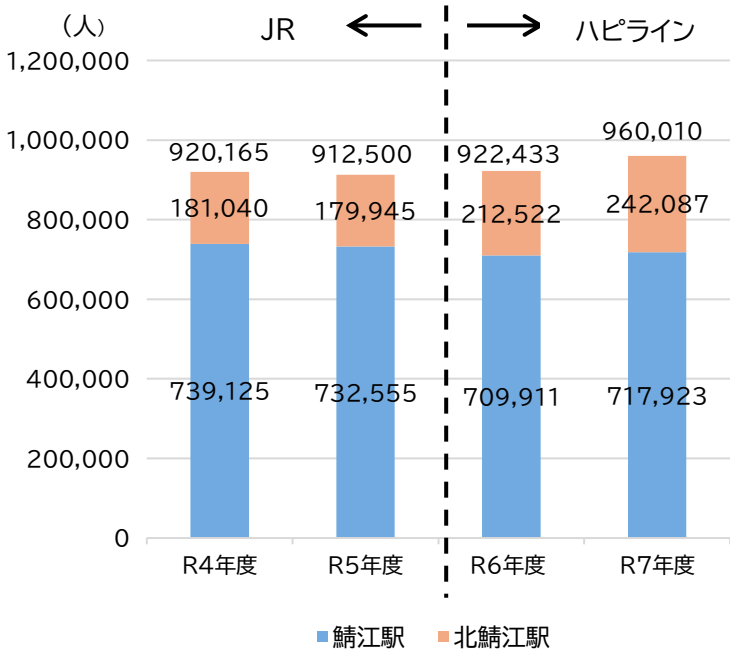
3. 各公共交通機関の概要

1）鉄道（ハピラインふくい線、福井鉄道福武線）

①　利用者数の推移

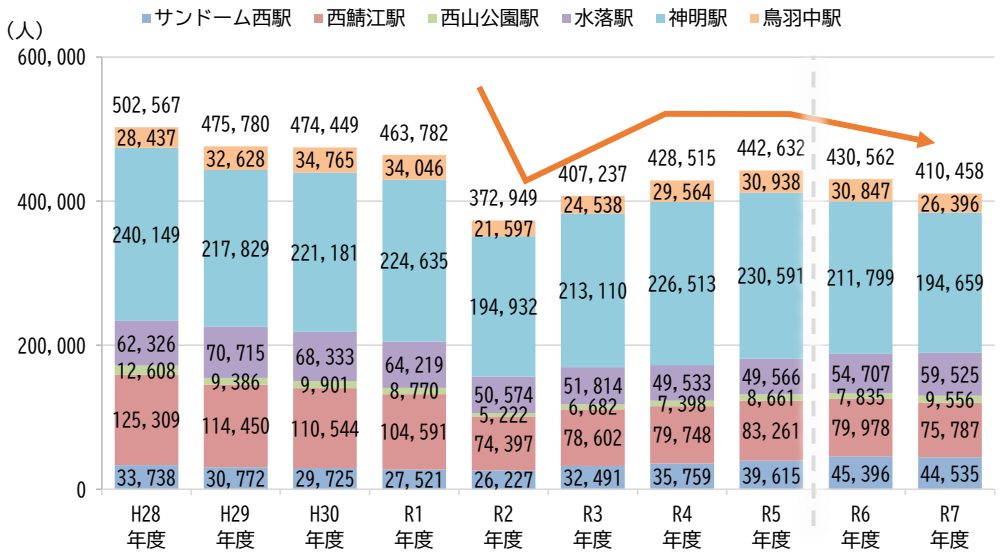
- ハピラインふくい線の令和7年度における市内2駅の年間乗車人数は 960,010 人であり、令和6年のハピラインふくい開業以降、年々増加しています。駅別に見ると、鯖江駅、北鯖江駅のいずれも増加しており、特に北鯖江駅は、JR 時代と比較して大幅に増加しています。
- 福井鉄道福武線の令和7年度における市内6駅の年間乗車人数は 410,458 人であり、駅別に見ると、水落駅は年々増加している一方で、神明駅は減少傾向にあります。

【ハピラインふくい線（旧 JR 北陸本線） 駅別年間乗車人数の推移】



資料：鯖江市

【福井鉄道福武線　駅別年間乗車人数の推移】

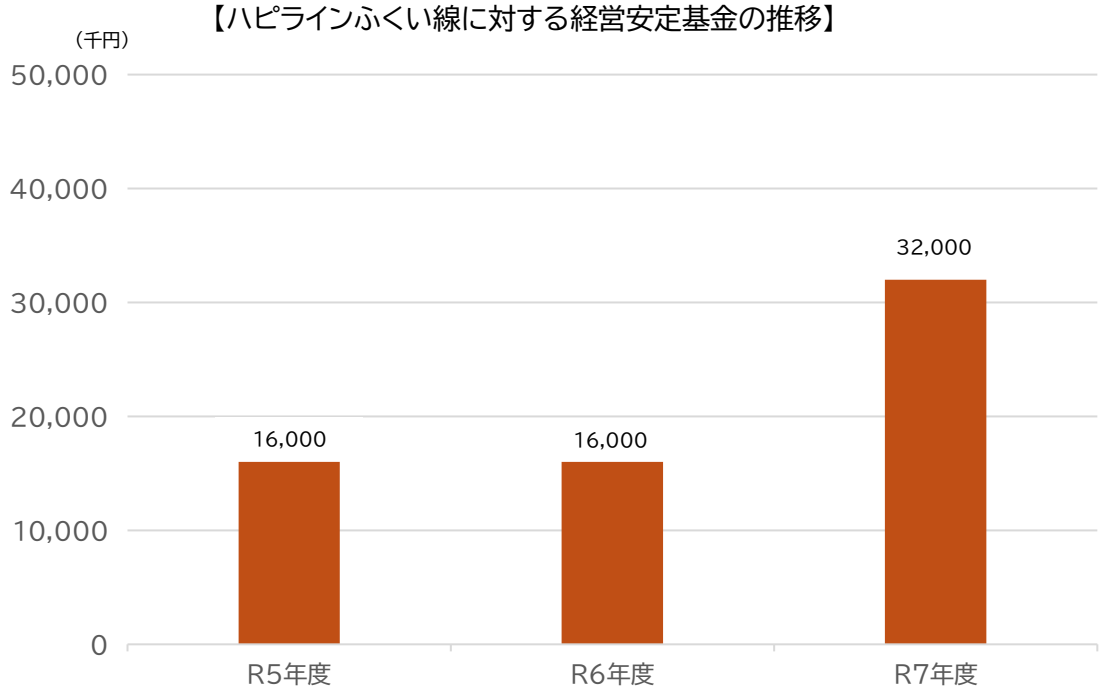


出典：鯖江市統計書

②　公的支援額の推移

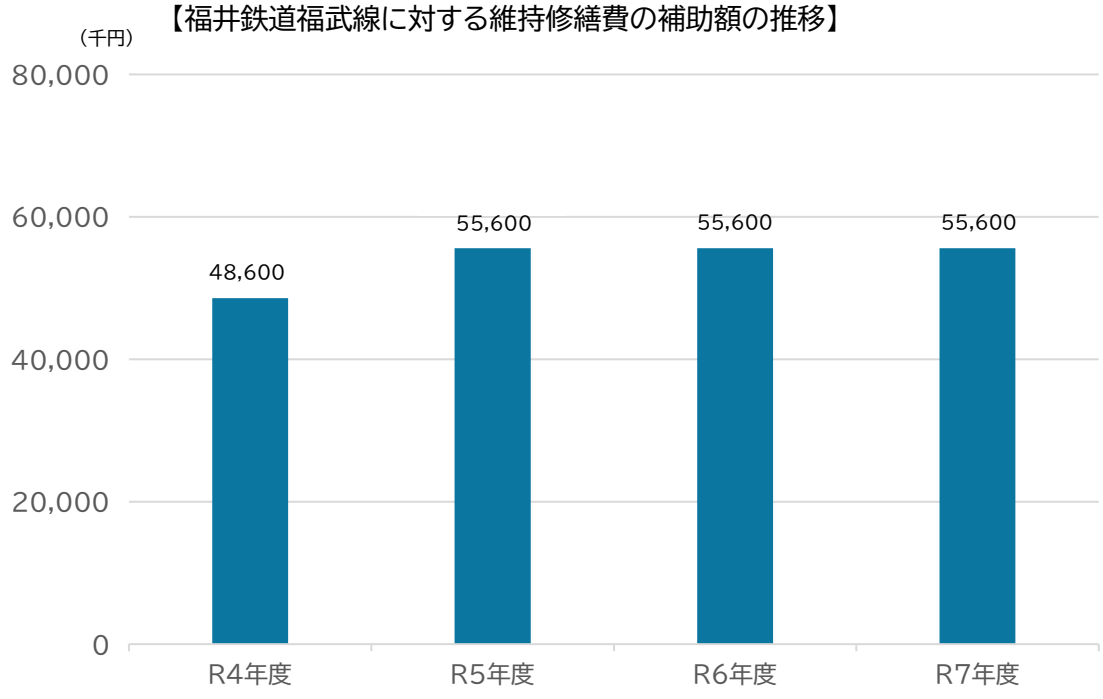
- 北陸新幹線福井・敦賀開業に伴う並行在来線のハピラインふくい線への移管に向け、令和元年度より、前身の並行在来線準備会社への出資を含む公的支援を開始しました。
- ハピラインふくい線への経営安定基金は、令和 5・6 年度は 1,600 万円、令和7年度から令和11年度までは 3,200 万円となっています。
- 福井鉄道福武線への維持修繕費の補助額は、平成30年度から令和4年度までの第2期支援スキームでは 4,860 万円、令和5年度から令和9年度までの第3期支援スキームでは 5,560 万円となっています。

【ハピラインふくい線に対する経営安定基金の推移】



資料：鯖江市

【福井鉄道福武線に対する維持修繕費の補助額の推移】



資料：鯖江市

2）路線バス（福鉄バス）

①　運行概要、利用者数の推移

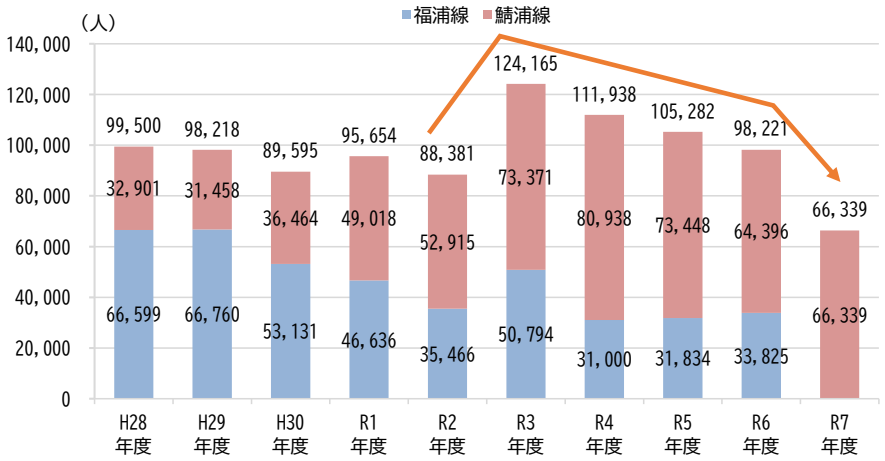
- 路線バスは、令和6年9月末に福浦線が廃止となり、現在は、鯖浦線1路線のみが運行しています。
- 令和7年度の年間利用者数は、66,339 人と令和3年度以降、減少しています。

【路線バスの運行概要】

運行系統				主な利用目的	スクール便利用	一日当たり運行本数
路線名	起点	主な経由地	終点			
鯖浦線	北鯖江駅	神明駅、丹生高校前、織田	かれい崎	通勤、通学	－	かれい崎方面：12 便/日（平日） 北鯖江駅方面：９便/日（平日）

出典：福井鉄道株式会社

【路線バス年間利用者数の推移】

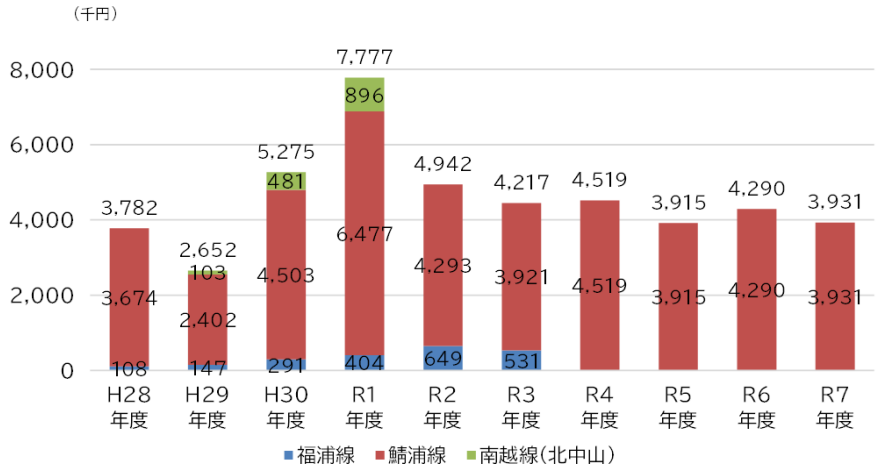


※福浦線は令和6年9月末で廃止
出典：鯖江市統計書

②　補助額の推移

- 令和3年度以降、補助額はおおむね400万円前後で推移しています。

【福鉄バスに対する補助額の推移】



※南越線は令和元年9月末で部分廃止、福浦線は令和6年9月末で廃止
資料：鯖江市

3）コミュニティバス（つつじバス）

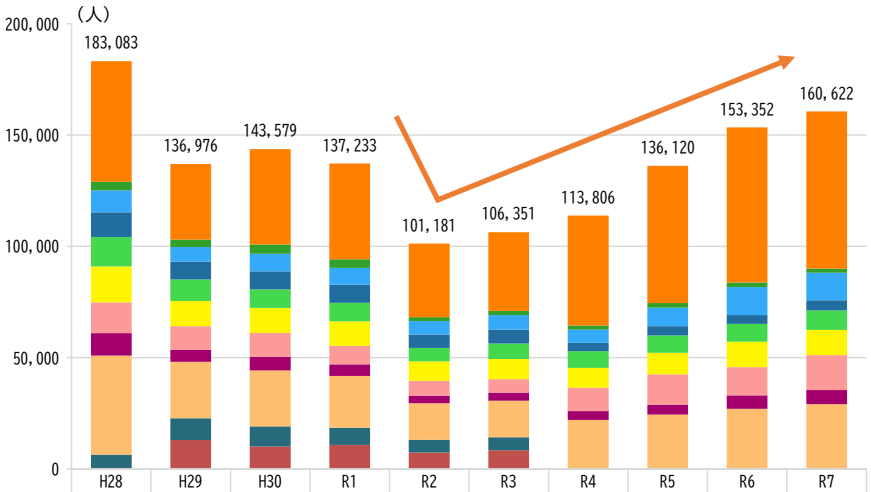
① 運行概要、利用者数の推移

- コミュニティバスは令和4年4月の再編に伴い、「幹線」「丹南高校線」が廃止され、全9路線74便での運行を行っています。
- 令和7年度の年間利用者数は、160,622 人となっています。

【コミュニティバスの運行概要】

	路線名	便数	起点	主な経由地	終点
①	循環線	20 便/日	鯖江駅	西鯖江駅前、響陽会館、西山公園、市役所、公立丹南病院、神明公民館、神明駅、神明苑、アル・プラザ鯖江、アイアイ鯖江	鯖江駅
②	鯖江南・新横江線	4 便/日	響陽会館	ふれあいみんなの館・さばえ、鯖江駅東口、めがね会館、新横江公民館前	鯖江駅
③	神明線	5 便/日	公立丹南病院	神明駅、北鯖江駅西口、神明苑、神明公民館	神明駅
④	片上・中河線	5 便/日	神明駅	神明苑、北鯖江駅西口、片上公民館、神明公民館	公立丹南病院
⑤	立待線	5 便/日	神明苑	神明駅、神明公民館、公立丹南病院、立待公民館	神明苑
⑥	吉川線	6 便/日	神明苑	神明駅、神明公民館、公立丹南病院、吉川公民館	神明苑
⑦	豊線	6 便/日	鯖江駅	西鯖江駅前、響陽会館、福井高専、豊公民館	鯖江駅
⑧	北中山・中河線	8 便/日	響陽会館内	響陽会館、西鯖江駅前、鯖江駅、中河小学校、北中山公民館	ハニー東陽店
⑨	河和田線	15 便/日	響陽会館内	響陽会館、西鯖江駅前、鯖江駅、河和田コミュニティセンター、うるしの里会館、ラポーゼかわだ	鉱泉前

【路線別年間利用者数の推移】



	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
合計	183,083	136,976	143,579	137,233	101,181	106,351	113,806	136,120	153,352	160,622
■①循環線（中央線）	54,092	33,988	42,815	43,073	32,995	35,423	49,343	61,653	69,543	70,646
■②鯖江南・新横江線（鯖江南線・新横江線）	3,832	3,361	4,078	3,820	1,784	1,872	1,887	1,982	2,174	1,836
■③神明線	9,954	6,512	7,960	7,655	5,980	6,494	5,919	8,402	12,519	12,406
■④片上・中河線(片上・北中山線)	11,085	8,047	8,113	8,035	6,059	6,276	3,722	4,158	3,924	4,586
■⑤立待線	13,135	9,594	8,266	8,315	6,065	6,931	7,511	7,735	7,989	8,737
■⑥吉川線	16,183	11,357	11,269	11,024	8,693	9,073	8,959	9,741	11,449	11,305
■⑦豊線	13,764	10,647	10,685	8,317	6,642	5,976	10,500	13,576	12,699	15,717
■⑧北中山・中河線(中河・北中山線)	10,168	5,342	6,113	5,270	3,428	3,610	3,940	4,493	6,087	6,287
■⑨河和田線	44,426	25,348	25,130	23,216	16,464	16,513	22,025	24,380	26,968	29,102
■丹南高校線（通学便７路線）	6,444	9,845	9,041	7,664	5,705	5,777				
■幹線		12,935	10,109	10,844	7,366	8,406				

※幹線および丹南高校線(通学便7路線)は R4から廃止

資料:鯖江市

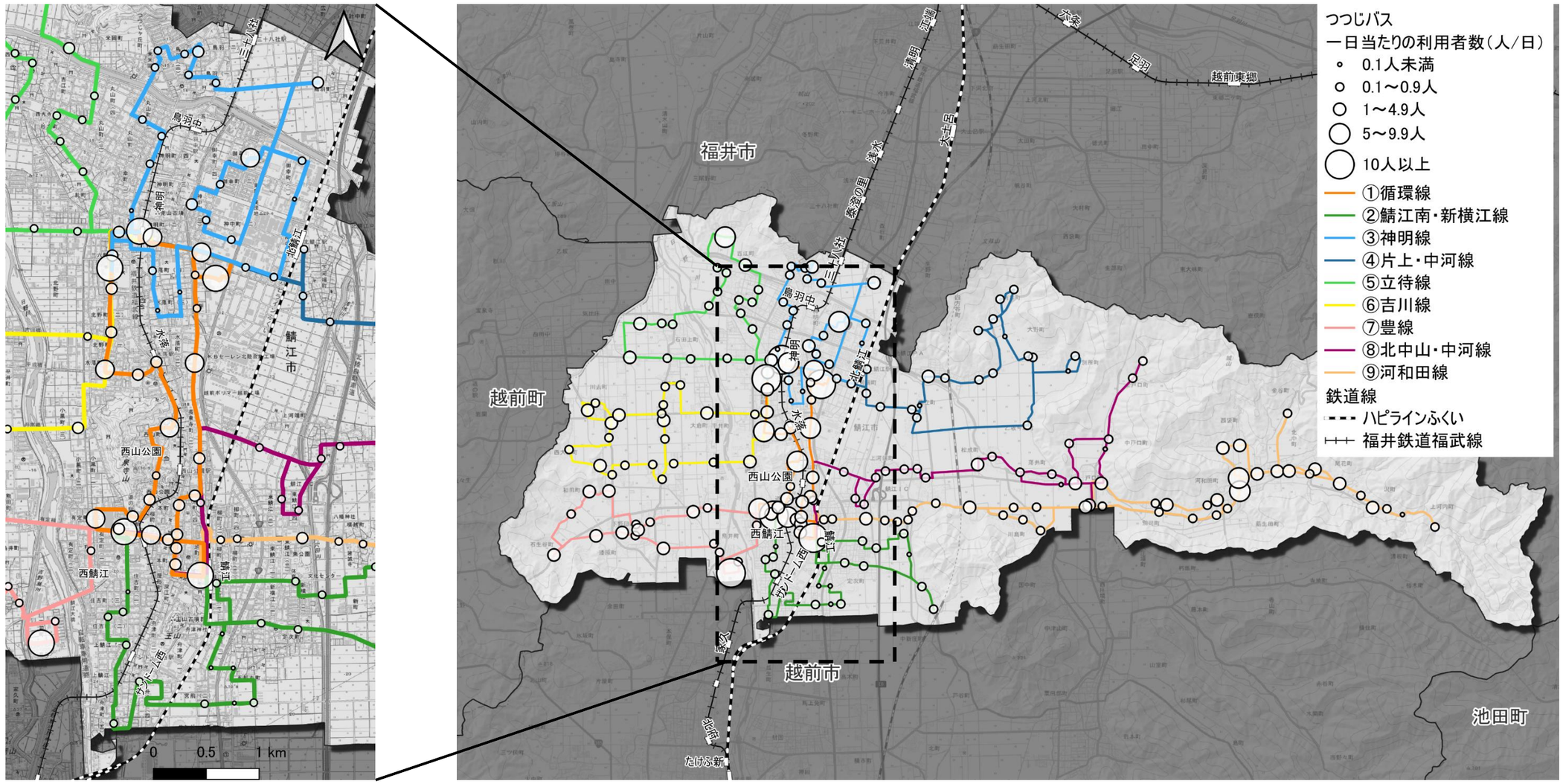
【つつじバス】



■平日における1日当たりの停留所別利用者数

- 鉄道駅（鯖江駅、神明駅）周辺やアル・プラザ鯖江、公立丹南病院の利用が多くなっています。
- 1日当たりの利用者が1人未満の停留所も見られます。

【平日における1日当たりの停留所別利用者数（R7）】



出典：鯖江市

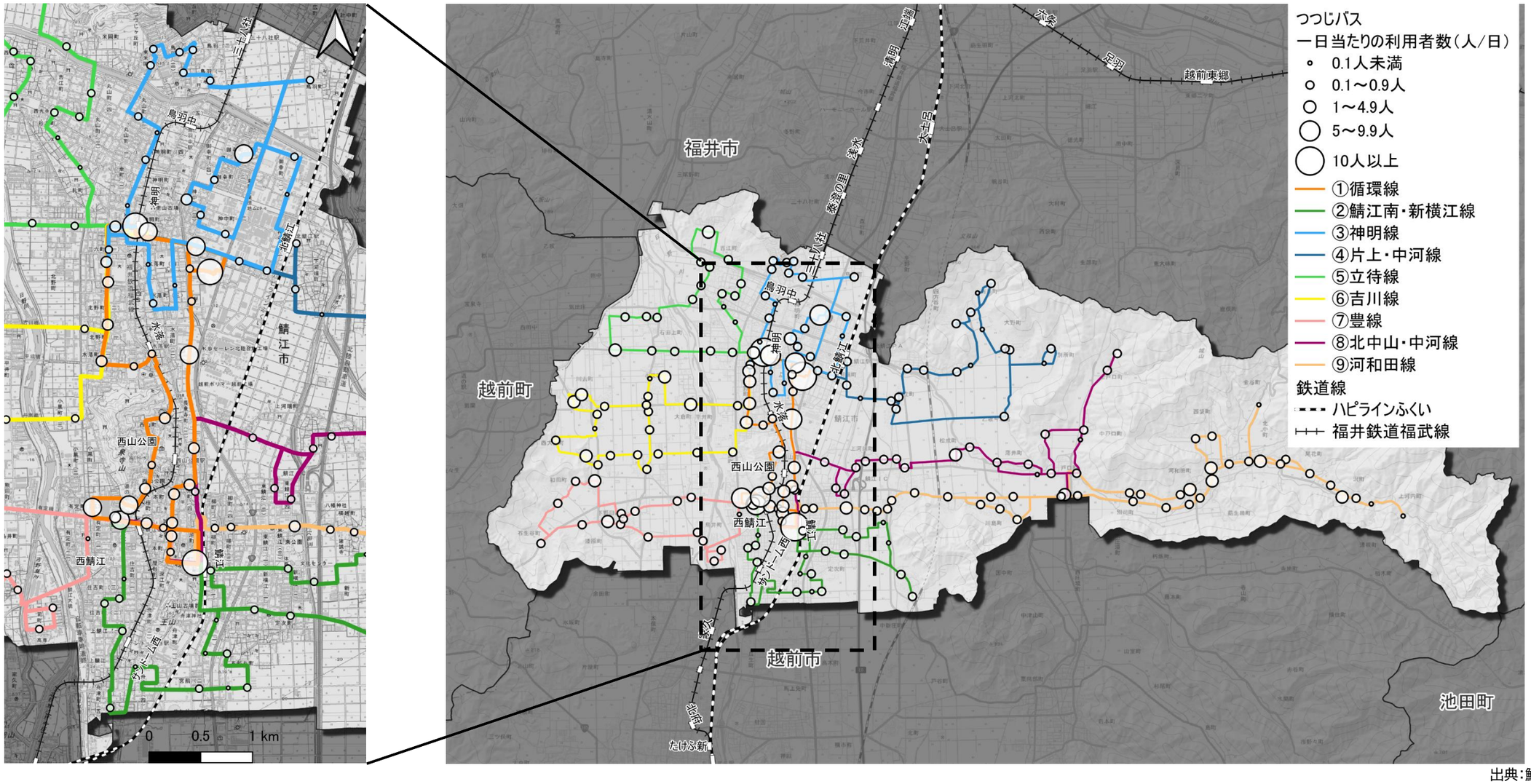
【上位5停留所（平日）】

順位	停留所名	利用者数（人/日）
1 位	鯖江駅	108.2
2 位	神明駅	68.9
3 位	アル・プラザ鯖江	42.7
4 位	公立丹南病院	20.3
5 位	響陽会館	10.4

■休日における1日当たりの停留所別利用者数

- 鉄道駅（鯖江駅、神明駅）周辺やアル・プラザ鯖江の利用が多くなっています。
- 1日当たりの利用者が1人未満の停留所も見られます。

【休日における1日当たりの停留所別利用者数（R7）】



出典：鯖江市

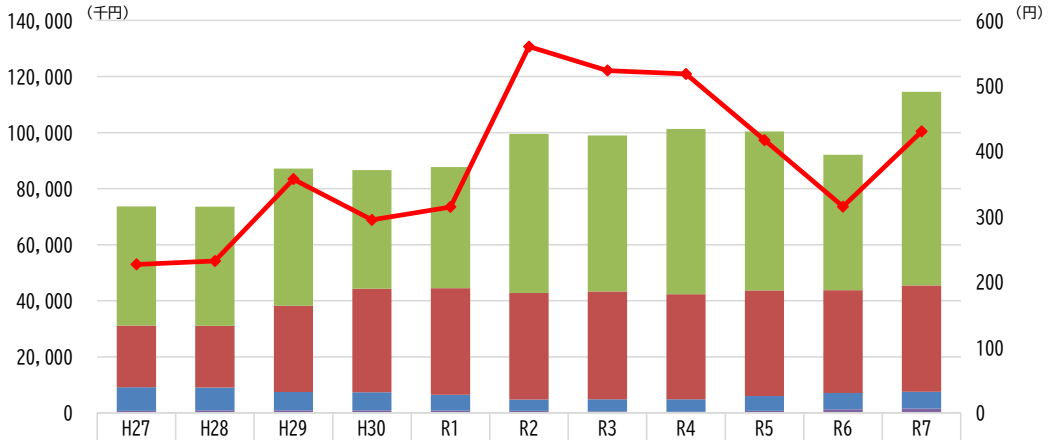
【上位5停留所（休日）】

順位	停留所名	利用者数（人/日）
1　位	鯖江駅	63.2
2　位	神明駅	47.9
3　位	アル・プラザ鯖江	42.0
4　位	神明苑	8.7
5　位	御幸県住	8.6

②　運行経費、利用者コストの推移

- 令和2年度以降、利用者数の回復に伴い、利用者コストは減少傾向にありましたが、令和7年度は、人件費・物価の高騰等により利用者コストが増加しています。

【コミュニティバスの運行経費・利用者コストの推移】



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
市負担額	42,497	42,513	48,939	42,350	43,210	56,668	55,665	58,972	56,747	48,365	69,086
国県補助額	22,000	22,000	30,754	36,939	38,039	38,039	38,539	37,422	37,637	36,673	37,917
運賃収入	8,453	8,182	6,532	6,438	5,600	4,025	4,241	4,538	5,286	5,828	6,019
広告収入	720	905	905	930	840	736	555	335	717	1,255	1,536
利用者コスト	227	232	357	295	315	560	523	518	417	315	430

※利用者コスト：利用者１人当たりに対する市の負担額
市負担額＝支出（運行委託費）－収入（利用者負担＋広告）－国県補助金

資料：鯖江市

4）タクシー

- 市内のタクシー事業者は2社が営業しており、車両数は計26台となっています。
- 一方で、運転士不足により、26台すべての稼働はできない状況です。

【タクシー事業者の車両保有状況】

事業者名	車両数	ジャンボタクシー	福祉タクシー
鯖江タクシー㈱	13	2	－
相互タクシー㈱	13	1	1

出典：(一社)福井県タクシー協会

5）自家用有償旅客運送「かわだ支えあい交通」

- 河和田地区では、一般社団法人地域公共交通鯖江が「ちょいボラ交通」を運行していましたが、事業継続が困難となり、運行を終了しました。
- 河和田地区まちづくり協議会支えあい事業プロジェクトが主体となり、「かわだ支えあい交通」を令和8年4月より開始しました。

【「かわだ支えあい交通」の概要】

運営	河和田地区まちづくり協議会支えあい事業プロジェクト
送迎範囲	原則、河和田地区内 （ハニー東陽店、東陽中学校への通学、地区外への医療機関への通院が必要な方は例外的に地区外への送迎を行う）
基本料金 （見守り・介助・付き添い費用）	①河和田地区内→200円 ②ハニー東陽店、東陽中学校への通学→300 円 ③地区外への医療機関への通院→送迎者宅から 5km まで 550 円、1km 増えるごとに 30 円追加
追加料金 （待ち時間・寄り道）	概ね 15 分～30 分まで 500 円、30 分～45 分まで 750 円、 45 分～1 時間 1,000 円
運行日	月～金曜日　8:00～17:00
運休日	土日祝、お盆、年末年始

資料：河和田地区まちづくり協議会支えあい事業プロジェクト

6）シェアサイクル「ぐるっと SABAE シェアサイクル」

- 産業観光の推進に向けた二次交通手段としての有効性を検証する実証事業として、令和8年4月17日から鯖江・神明エリアに、同月20日から河和田エリアにシェアサイクルを導入しました。

【「ぐるっと SABAE シェアサイクル」の概要】

運営	(一社)鯖江観光協会
運用期間	3月～11月(冬季12月～2月は運用休止)
利用時間	24時間
利用料金	30分ごとに150円
運用台数	電動アシスト自転車 40台
ポート数	31カ所　駐車可能台数 169台(令和8年10月時点)

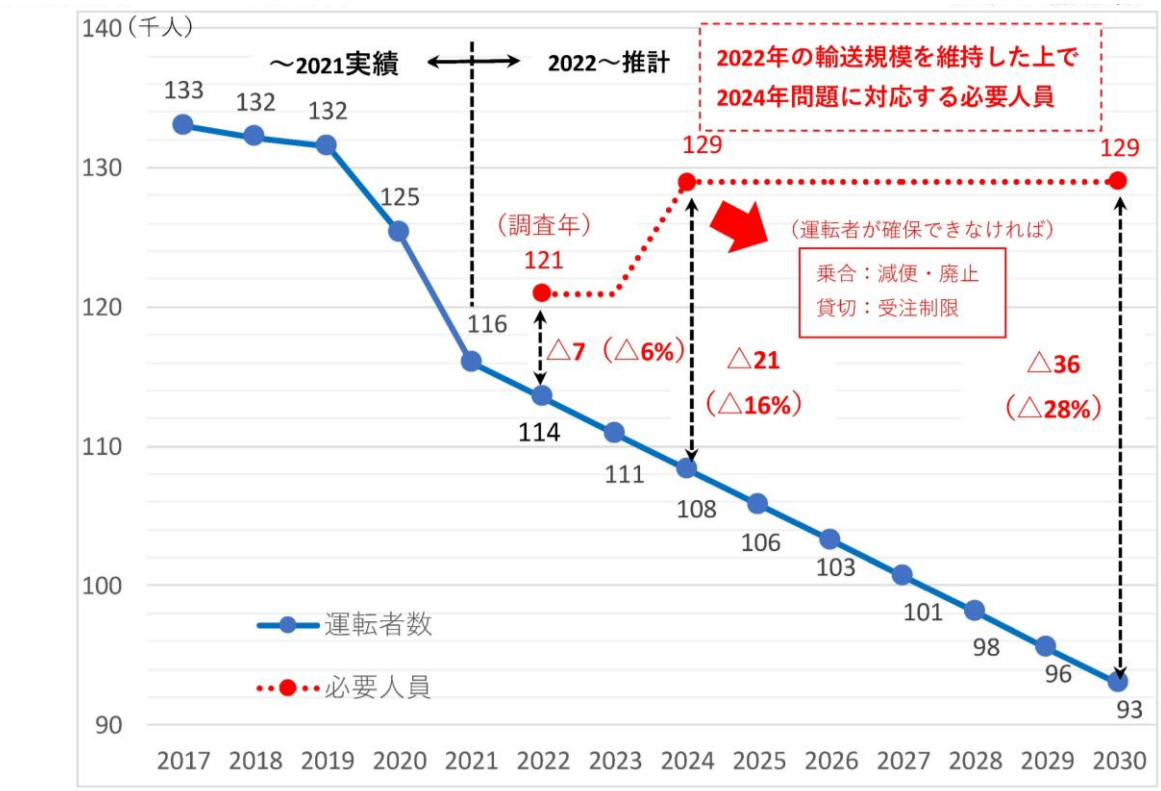
【「ぐるっと SABAE シェアサイクル」(鯖江駅)】



4. 運転士不足について

- バス運転士の不足は、将来さらに深刻になると試算されています。
- 不足が充足されない場合、減便・廃線等を行わざるを得ない状況です。

【バス運転士の推移および今後の不足見込み】



資料：バス運転者（2030 年試算）『日本バス協会：「国土幹線道路部会 2023 年 10 月資料」』

5. 公共交通に関するアンケート

1） 公共交通に関するアンケートの目的

- 移動実態と公共交通の改善に向けた意見を把握するため、住民アンケート、利用者アンケート、高校生・高専生アンケートを実施しました。

2） 調査の概要

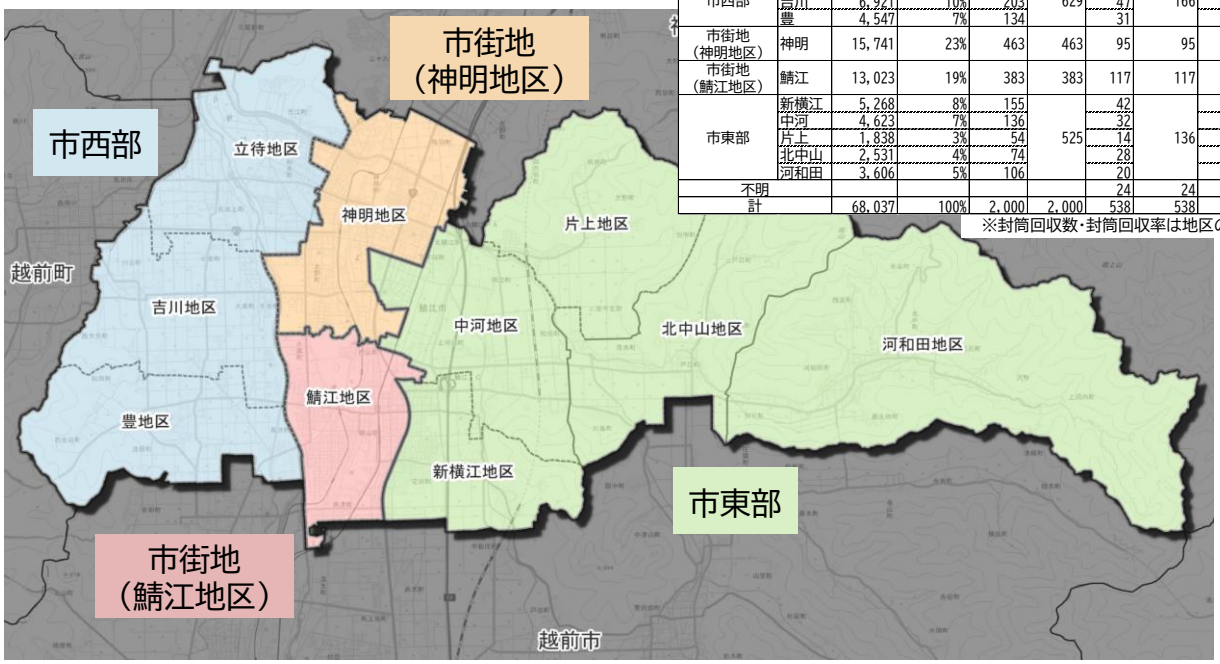
		対象	配布方法	回収方法	発送・調査日 ～回答締切日	回収票数	回収率
市民		15 歳以上	郵送配布 (1 世帯当たり 3 票) (地区別人口を考慮し、 2,000 世帯を 無作為抽出)	郵送/WEB	R8/02/13 ～R8/03/04	672 票 (紙:458 票 WEB:214 票)	25.9%
利用者	鉄道	鉄道利用者	主要鉄道駅※1 における定点配布 (6:30～17:00)	郵送/WEB ※適宜、 聞き取りを 実施	R8/04/19、22 ～R8/05/08	504 票	21.1%
	つつじバス	つつじバス 利用者	つつじバス全便に乗 り込み配布			508 票	83.0%
高校・高専生		鯖江市在住の 高校・高専生	郵送 (1,000 人を 無作為抽出)	WEB	R8/04/16～ R8/05/11	267票	26.7%
		鯖江高校・ 福井高専の 在校生	全校生徒に配布	WEB	R8/06/24～ R8/07/03	382 票	－※2

※1 駅別乗降客数(R5)上位 5 駅(鯖江駅、北鯖江駅、神明駅、西鯖江駅、水落駅)
※2 郵送分にて回答した生徒は回答不要としているため、回収率の算出不可

【住民アンケート　地区別配布数】

		①総人口	②人口比	配布世帯数 (2,000×②)		封筒回収数		封筒回収率	
市西部	立待	9,939	15%	292	629	88	166	30%	26%
	吉川	6,921	10%	203		47		23%	
	豊	4,547	7%	134		31		23%	
市街地 (神明地区)	神明	15,741	23%	463	463	95	95	21%	21%
市街地 (鯖江地区)	鯖江	13,023	19%	383	383	117	117	31%	31%
市東部	新横江	5,268	8%	155	525	42	136	27%	26%
	中河	4,623	7%	136		32		24%	
	片上	1,838	3%	54		14		26%	
	北中山	2,531	4%	74		28		38%	
	河和田	3,606	5%	106		20		19%	
不明						24	24		
計		68,037	100%	2,000	2,000	538	538	－	－

※封筒回収数・封筒回収率は地区の重複を含む



3）まとめ

※詳細な回答結果は、参考資料に掲載

【個人属性】
・つつじバスの利用者は「70 歳以上」の高齢者が多く、自家用車による移動が困難な方に利用されています。
・鯖江市外の高校に通学している生徒が多くなっています。
【市民の移動実態（OD）、分担率】
・鯖江地区、神明地区での移動が多く、福井市、越前市への移動も見られます。また、自動車を用いた移動が大部分を占めています。
【公共交通の改善点】
・「運行本数」や「朝・夕の混雑緩和」等が求められています。
【利用転換】
・「将来的に運転をやめたい」と考えている方が多い一方で、「マイカーを利用しない生活は考えられない」と考えている方も多くなっています。
【公共交通の必要性】
・いずれの公共交通機関についても、市民から必要性が広く認識されており、サービス水準の維持・向上が求められています。
【高校生の登下校手段】
・「自転車」「家族等による送迎」「鉄道」による登下校が多く、保護者の送迎負担が大きくなっています。
【高校生の公共交通改善点】
・車内の混雑や朝早くに自宅を出る必要があることが不便に感じられています。
・「登下校の時間に合う便の運行」や「自宅または高校近くへのバス停・バス路線等の設置」を求める意見が多くなっています。

・鯖江市内の移動は自動車が主体であり、公共交通の利用者は、主に自家用車を持たない高校生や高齢者等、移動支援が必要な方を中心に利用されています。
・市民の多くは公共交通の必要性を認識しているものの、日常的な利用転換は十分に進んでいません。

第4章 鯖江市の交通課題

1. 第2次鯖江市地域公共交通計画のフォローアップ

1） 目標指標の達成状況

- 「公共交通利用促進のための市民団体の活動回数」は、目標値を達成しています。
- 「つつじバスの年間利用者数」は、目標年度（令和8年度）前の令和7年度実績では目標値を下回っていますが、前回計画策定時と比較して改善しており、計画最終年度には、目標値を達成する見込みです。

指標	前回計画策定時（R3 年度）	目標値（R8 年度）	現況値（指標別年度）	達成状況
目標 1. 多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現				
つつじバス年間利用者	14.4 万人（H30）	17 万人	16.1 万人（R7）	改善したが未達
福井鉄道福武線市内駅利用者数	47.4 万人（H30）	50 万人	41.0 万人（R7）	悪化しており未達
つつじバスの利用者一人当たり公的資金投入額※	552 円/人（H30）	540 円/人	666 円/人（R7）	悪化しており未達
目標 2. まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現				
公共交通が充実していると感じている人の割合	58.7%（R 元）	80%	58.6%（R5）	ほぼ横ばいで未達
公共交通集落カバー率（鉄道、路線バス、コミュニティバス）	95%（R3）	97%	96%（R8）	ほぼ横ばいで未達
目標 3. 観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現				
つつじバスポータルサイト（バスどこサービス）アクセス数	15.7 万回（H30）	16 万回	9 万回（R7）	悪化しており未達
目標 4. 市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現				
公共交通利用促進のための市民団体の活動回数	12 回（H30）	15 回	15 回（R7）	達成

※利用者一人当たり公的資金投入額：
つつじバスの運行経費における国県補助金と市の負担額をつつじバス年間利用者で除した値

2）事業の実施状況

- 令和3年12月に策定した「第2次鯖江市地域公共交通計画」では、目標を達成するために行う事業として、計画期間において下表の29事業を掲げ、全て実施しました。

目標	実施事業	判定（●:実施、－:未実施）	実施状況
1.多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	(1)幹線交通の運行	●	継続実施
	(2)つつじバスの再編・運行	●	R4年度に再編
	(3)つつじバス車両の更新	●	R5年度バス車両6台購入（中型:1台、小型:5台）
	(4)外出支援等のためのタクシーの運行・助成	●	継続実施　さばえ定額周遊タクシー事業の運用
	(5)北陸新幹線へのアクセス手段の検討	●	鯖江駅周辺整備計画の見直しに伴い、費用対効果が見込めないことからアクセス手段の整備を見送る
	(6)多様な輸送資源の活用の検討	●	日本版ライドシェア、カーシェア、かわだ支えあい交通
2.まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	(7)主要バス停の待合環境の整備	●	継続実施　バス停の定期清掃
	(8)主要乗継拠点でのつつじバス発着情報案内の設置	●	R4年度に鯖江駅バス停の発着情報案内モニターを更新
	(9)運行事業の安定化に向けた企業広告等の推進	●	R4年:335千円、R5年:717千円、R6年:1,255 千円、R7年:1,536 千円、R8年:1,472 千円
	(10)障がい者、運転免許証自主返納者等へのつつじバス利用者無料証の交付	●	継続実施　R3年:158件、R4年:179件、R5年:173件、R6年:190件、R7年:202件
	(11)キャッシュレス決済の導入検討	●	R9年度から導入予定
	(12)JR 鯖江駅東口改札の設置および周辺整備に向けた取組	●	R4.8「鯖江駅東口等整備基本計画」策定⇒R7年度計画の見直しを表明⇒新たな利便性向上策の検討
	(13)つつじバスのフリー乗降制の検討	●	フリー降車区間を3区間で設定
	(14)パーク＆ライドの利用促進	●	継続実施　水落駅・鯖江駅の整備、つつじまつりでの利用啓発
3.観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現	(15)つつじバスのリアルタイム位置情報表示「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充	●	継続実施　各停留所に QR コードを掲示
	(16)レンタサイクルの利用啓発	●	R8.4よりシェアサイクル実証実験を開始
	(17)つつじバスの利用料金割引制度	●	継続実施　乗継割引の実施
	(18)つつじバスの利用料金割引制度の拡充	●	継続実施　つつじまつり等のイベントと連携した割引制度の検討
	(19)商店街との連携によるつつじバス乗車券の交付	●	継続実施　対象施設500円以上の利用につき運賃100円を割引
	(20)観光施設等との連携によるつつじバス乗車券の交付	●	さばえつつじまつり期間中、鯖江駅から西山公園までの無料乗車券を配布
	(21)バス車内への観光パンフレットの設置	●	継続実施　市内観光施設等のパンフレットの設置
	(22)つつじバス車内を利用した観光案内	●	継続実施　市内観光施設の紹介を掲示
	(23)バス停表示看板のデザイン更新	●	R6.4よりバス停看板デザインを更新
	(24)SNS を利用した情報発信	●	R5年度より公式 SNS（X（旧 Twitter）・Instagram）を開始
	(25)公共交通乗務員の接遇向上	●	継続実施　定期的な安全運行の呼びかけ
4.市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現	(26)公共交通とまちづくりに関する意識啓発と利用促進	●	継続実施　鉄道フェスタ、バス・タクシー洗車・乗車イベントの実施
	(27)つつじバスの利用促進	●	新デザイン車両の導入、イベント会場間の移動手段として利用促進、映画での使用
	(28)自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と行政による支援	●	継続実施（コミュニティバス停留所上屋等設置補助金）
	(29)公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信	●	市 HP にてライドシェアの運行情報等を発信

2. 鯖江市の課題

現　状　分　析

鯖江市をとりまく現況

1. 位置
2. 人口特性
3. 運転免許証保有状況と人身事故件数の推移
4. 市内に立地する各施設の分布等
5. 上位関連計画

鯖江市の公共交通の現状

1. 公共交通のネットワーク状況
2. 鉄道・バス圏域カバー状況
3. 各公共交通機関の概要
4. 運転士不足について

公共交通に関するアンケート

1. 住民アンケート調査
2. 利用者アンケート調査
3. 高校生・高専生アンケート調査

鯖江市地域公共交通計画のフォローアップ

1. 目標指標の達成状況
2. 事業の実施状況

課　題

【課題 1】公共交通の持続可能性の確保

- つつじバスの利用者数は令和4年度の路線やダイヤ改正以降増加している。
- ハピラインふくい線の利用者数は開業以降増加しているが、福井鉄道福武線の利用者数は減少している。
- つつじバスの利用者コスト（利用者一人当たりの市負担額）は、人件費や物価高騰により急増している。
- 全国的に公共交通の運転士不足が問題となっている。

運転士の確保支援、運行の維持・改善、市民の利用促進を通じて公共交通の持続可能性を高めるとともに、「乗って残そう」という意識を醸成することにより、公共交通を地域の共有財産として将来にわたり継承していく必要がある。

【課題 2】高齢化の進展と高い自家用車依存

- 少子高齢化が加速しており、特に河和田地区や北中山地区等の山間部では高齢化率が50%を超える地域も発生している。
- つつじバス利用者の約半数（47%）が70歳以上の高齢者であり、マイカーを持たない層の重要な移動手段となっている。

高齢者などの交通弱者の外出機会を支えるとともに、自家用車を利用できる方も含め、こどもから高齢者まで幅広い世代が日常の移動に公共交通を選択できる環境の整備と意識醸成を進める必要がある。

【課題 3】広域移動を支えるシームレスな公共交通の接続

- 高校生の約76%が市外（福井市や越前市）へ通学している。
- 「登下校の時間に合う便の運行」「本数の増便」「朝夕の混雑緩和」への要望が多い。
- 将来の公共交通の利用につながるよう愛着を醸成するような取組を行うことが重要である。

鯖江駅や神明駅等の交通結節点において、鉄道・バス・タクシーとの接続を改善するとともに、安全で快適な歩行・自転車等での移動環境を整備し、通勤・通学等での移動を円滑にする必要がある。そのため、案内表示や待合環境の改善、駅前空間の整備等を推進する。

【課題 4】観光・ビジネス需要に対応した公共交通の拡充

- 人口減少・高齢化社会が進展する中、まちなかに賑わいを創出するため、市内の魅力をつなぎ、回遊を促す取組が求められる。

「めがねのまちさばえビジョン2040」や「デジタル田園都市構想」で掲げられている ICT の活用（MaaS、キャッシュレス決済等）を具現化するとともに、実証実験中のシェアサイクル（LUUP）やタクシー等を組み合わせ、市内の回遊を促す仕掛けを創出する必要がある。また、イベント等と連携した特別切符等の販売もより積極的に行っていく必要がある。

第5章 鯖江市の交通が目指す姿と目標

1. 将来像

さばえモビリティプランの基本的な方向性を次のとおり定めます。

将来像

公共交通を地域の財産に、人とまちの未来をつなぐ交通ネットワークの実現

～乗って残そう公共交通～

本市における市内の移動は自動車が主体ですが、高齢者や学生など、移動手段が限られる方々が安心して外出できる環境を整えることが重要です。とりわけ、家族の送迎に頼らざるを得ない方も多く、本人だけでなく、送迎する家族の負担も大きくなっています。

一方、公共交通の利用者数はコロナ禍からの回復が見られるものの、人件費や物価の高騰、運転士不足など、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しており、その持続可能性の確保が喫緊の課題となっています。将来にわたってこうした課題にどう向き合い、地域の移動手段を守り続けていくかが、いま本市に問われています。

このような現状を踏まえ、本市では、こどもから高齢者まで、また市外へ通勤・通学する方も含め、誰もが自動車に頼ることなく気軽に外出できる移動環境の実現を目指します。ハピラインふくい線や福井鉄道福武線の鉄道駅を地域の拠点として、つつじバス等の二次交通ネットワークとシームレスに連携させることで、市内各地から駅周辺の医療・商業・行政機能へスムーズにアクセスできる体制を整えます。あわせてシェアサイクル等も組み合わせ、自宅から目的地までの一連の移動を途切れなくつなぐ環境を充実させます。また、「めがねのまちさばえ」が誇る西山公園やめがねミュージアム等の観光資源を多くの人が公共交通を利用して訪れ、市内を自由に回遊できる環境を整えることで、にぎわいを生み出し、地域経済の活性化を交通面から支えていきます。

この将来像の実現に向けて、「乗って残そう公共交通」を合言葉に、公共交通を「使う」だけでなく「乗って残そう」という意識のもと、交通事業の持続可能性を高める取組を推進するとともに、市民・交通事業者・地域団体・企業・行政など関わるすべての方との協働によって、公共交通を地域の共有財産として守り続け、次世代へつないでいきます。そして、自動車がなくても人々が集い、行き来し、幸せに暮らし、楽しめるまちを、交通の面から実現・継承していくことが、本計画の目指す将来像です。

2. 基本目標

将来像の実現に向けて、基本目標1では公共交通ネットワークの維持と利便性の向上、基本目標2では地域に応じた持続可能な移動手段の確保、基本目標3では来訪者の回遊とにぎわいを支える交通環境の充実、基本目標4では市民の利用行動と地域の主体的な参加を促します。利用者数等の成果と、利用促進の取組による効果を併せて確認します。

【基本目標 1】
わかりやすく便利な「幹線・二次交通ネットワーク」の維持

北陸新幹線福井・敦賀開業により幹線交通の姿が変化する中、鉄道と二次交通の乗継環境や運転士不足など、公共交通を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。

こうした状況を踏まえ、ハピラインふくい線や福井鉄道福武線等の幹線交通と、つつじバス等の二次交通の連携を深め、市民や来訪者が目的地までスムーズに移動できるネットワークを持続していきます。また、鉄道駅を交通の起点として位置づけ、駅と地域を結ぶ二次交通との接続性を高めるとともに、待合環境やダイヤ、案内表示等のサービス水準を段階的に向上させていきます。そして公共交通を支える担い手の確保にも目を向けながら、将来にわたって安心して使い続けられる交通ネットワークの実現に取り組みます。

指標	現況値	目標値(R13)	データ取得方法
つつじバス年間利用者数	16 万人【R7】	20 万人	バス事業者からの乗降データにより算出
ハピラインふくい線市内駅年間利用者数（鯖江駅・北鯖江駅）	96 万人【R7】	105 万人	鉄道事業者からの報告
福井鉄道福武線市内駅年間利用者数（鳥羽中・神明・水落・西山公園・西鯖江・サンドーム西）	41 万人【R7】	43 万人	鉄道事業者からの報告

【基本目標 2】
まちづくりと連動した、多様で持続可能な移動手段の確保

人口減少・高齢化が進む中、自家用車への依存度は依然として高く、公共交通の必要性が認識されつつも、利用への転換が進みにくい状況にあります。

こうした背景を踏まえ、「ウォーカブルなまちづくり」の実現に向けて、都市機能の集積エリアへのアクセス強化を図りながら、基幹的な公共交通に加え、シェアサイクルやライドシェア、カーシェア、福祉輸送等の多様な輸送資源を柔軟に組み合わせ、地域の実情に応じた移動環境を築くとともに、多様な交通手段を円滑につなぐモビリティハブの整備に向けた検討を進めます。将来のまちづくりの方向性と連動させながら、誰もが安心して暮らし続けられる、持続可能な移動手段の確保に取り組みます。

指標	現況値	目標値(R13)	データ取得方法
利用者一人当たり公的資金投入額	666 円【R7】	865 円以下	決算より毎年算出
公共交通収支率	6.2%【R7】	6.0%以上	実績から算出

【基本目標 3】
「めがねのまちさばえ」の交流・観光・にぎわいを支える交通環境の充実

北陸新幹線福井・敦賀開業による交流人口の拡大が見込まれる一方、その効果を持続的なにぎわいへとつなげていくためには、観光・ビジネス目的の来訪者に対応した交通環境の充実を図る必要があります。

西山公園やものづくりの技等、本市固有の地域資源と公共交通を結びつけ、来訪者がまちを回遊できる仕組みづくりを進めます。シェアサイクルの利用促進、企画乗車券の発行や観光案内の充実、ICT を活用した交通サービスの導入等を通じて、来訪者の周遊体験の質を高めるとともに、乗務員の接遇向上等によりサービス水準を確保します。こうした取組を積み重ね、「めがねのまちさばえ」としての個性と魅力を発信できる交通環境の充実を図ります。

指標	現況値	目標値(R13)	データ取得方法
観光施設利用客数	164.5 万人【R7】	165 万人	観光施設からの報告により算出
シェアサイクル年間利用者数	3 千人(見込み)【R8】	5 千人	決算より毎年算出
公共交通が充実していると感じる人の割合	56.6%【R8】	60%	鯖江市政に関するアンケートより算出

【基本目標 4】
自転車の活用と「市民が主役」の公共交通の利用促進

公共交通の必要性は多くの市民に認識されているものの、日常的な利用への転換にはつながりにくい状況が続いています。

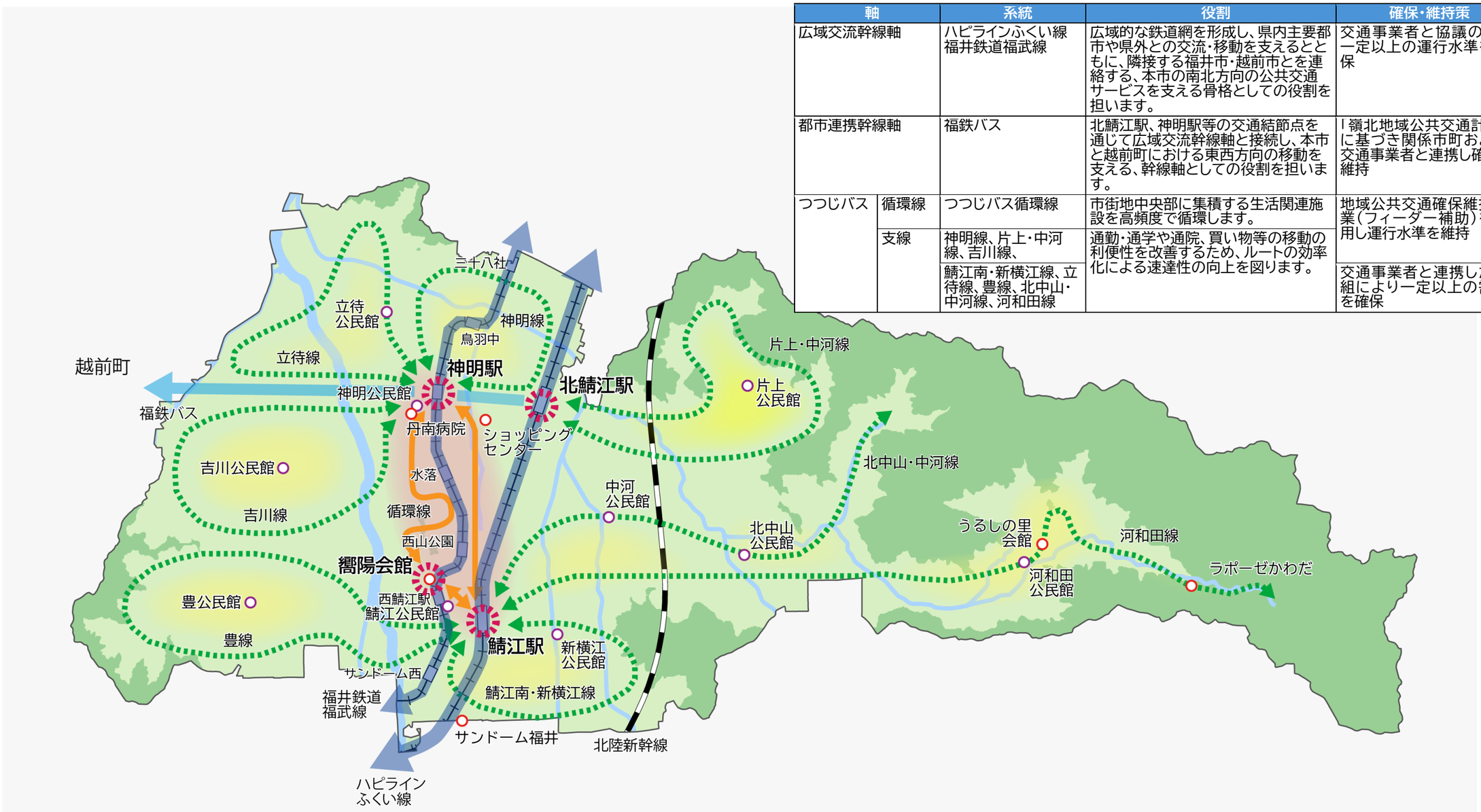
こうした状況を踏まえ、シェアサイクルやパーク＆ライドの利用促進、自転車利用環境の充実等により、鉄道・バス等へのアクセスを補完し、公共交通と組み合わせた移動をしやすくすることで、移動手段の選択肢を広げるとともに、市民一人ひとりが公共交通を「自分たちの足」として捉え、当事者意識を持って利用促進活動に参加できる環境づくりを進めます。また、市民一人ひとりの自発的な行動変容を促すモビリティ・マネジメントを推進し、日常的な公共交通の利用につなげます。情報発信や意識啓発の取組を通じて公共交通への理解を深めながら、イベント等と連携した取組を推進し、行政や交通事業者だけでなく市民自身が主役となって支え、次世代へとつないでいく公共交通の実現を目指します。

指標	現況値	目標値(R13)	データ取得方法
イベント等と連携した公共交通振興策の実施回数	6 回【R8】	7 回	実績から算出
自転車活用推進計画の策定	―	策定	―

3. 鯖江市が目指す公共交通ネットワーク

- 幹線軸と二次交通の公共交通相互の乗り継ぎができる乗継拠点として引き続き4地点を位置づけ、福鉄バスによる隣接都市間の連携強化、つつじバス相互の乗継による市域全体への移動サービスの確保、地域公共交通利便増進実施計画に取り組むことにより、「人とまちの未来をつなぐ交通ネットワーク」の実現を目指します。

軸		系統	役割	確保・維持策
広域交流幹線軸		ハピラインふくい線 福井鉄道福武線	広域的な鉄道網を形成し、県内主要都市や県外との交流・移動を支えるとともに、隣接する福井市・越前市とを連絡する、本市の南北方向の公共交通サービスを支える骨格としての役割を担います。	交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保
都市連携幹線軸		福鉄バス	北鯖江駅、神明駅等の交通結節点を通じて広域交流幹線軸と接続し、本市と越前町における東西方向の移動を支える、幹線軸としての役割を担います。	「嶺北地域公共交通計画」に基づき関係市町および交通事業者と連携し確保・維持
つつじバス	循環線	つつじバス循環線	市街地中央部に集積する生活関連施設を高頻度で循環します。	地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し運行水準を維持
	支線	神明線、片上・中河線、吉川線、	通勤・通学や通院、買い物等の移動の利便性を改善するため、ルートの効率化による速達性の向上を図ります。	
		鯖江南・新横江線、立待線、豊線、北中山・中河線、河和田線		交通事業者と連携した取組により一定以上の需要を確保



4. 基本目標に基づく実施事業

★地域公共交通利便増進実施計画において利便増進事業として位置づけるもの

目標	実施事業	実施主体※				スケジュール				
		交通事業者	行政	民間団体など	利用者・地域住民	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
【基本目標 1】 わかりやすく便利な「幹線・二次交通ネットワーク」の維持	(1)幹線交通(鉄道線等)の継続的な運行と利用促進	●	●			→	→	→	→	→
	(2)つつじバスの再編・運行 ★	●	●			→	→	→	→	→
	(3)主要バス停の待合環境の整備		●	●		→	→	→	→	→
	(4)主要乗継拠点でのつつじバス発着情報案内の設置		●			→	→	→	→	→
	(5)キャッシュレス決済の導入 ★ 新	●	●			→	→	→	→	→
	(6)鯖江駅周辺整備に向けた取組	●	●	●		→	→	→	→	→
	(7)つつじバスのリアルタイム位置情報表示「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充		●			→	→	→	→	→
	(8)運転士の確保支援 新	●	●			→	→	→	→	→
【基本目標 2】 まちづくりと連動した、多様で持続可能な移動手段の確保	(9)外出支援等のためのタクシーの運行・助成	●	●	●		→	→	→	→	→
	(10)多様な輸送資源の活用の検討	●	●	●	●	→	→	→	→	→
	(11)運行事業の安定化に向けた企業広告等の推進 ★	●	●	●		→	→	→	→	→
	(12)障がい者、運転免許証自主返納者等へのつつじバス利用者無料証の交付		●			→	→	→	→	→
	(13)つつじバスのフリー降車制の拡充 ★	●	●			→	→	→	→	→
	(14)公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信	●	●	●		→	→	→	→	→
	(15)モビリティハブの整備に向けた検討 新	●	●	●		⇢	⇢	⇢	⇢	⇢

※「民間団体など」には自治会等の地域団体を含み、「利用者・地域住民」には公共交通の利用者および現在利用していない地域住民を含みます。実施主体には、事業の実施に加え、企画・検討、周知、利用促進等に協力する主体を含みます。

青：継続事業
オレンジ：新規事業
破線：検討・調整中
太線：実施事業

目標	実施事業	実施主体※				スケジュール				
		交通事業者	行政	民間団体など	利用者・地域住民	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
【基本目標 3】「めがねのまちさばえ」の交流・観光・にぎわいを支える交通環境の充実	(16)つつじバスの運賃制度の見直し ★ 新		●							
	(17)商店街等との連携によるお買物券付き回数券の販売 ★ 新	●	●	●						
	(18)イベント・観光施設との連携によるつつじバス乗車券の交付		●	●						
	(19)つつじバス車内を活用した観光案内	●	●	●						
	(20)公共交通による周遊環境の構築 新	●	●	●						
	(21)公共交通乗務員の接遇向上	●	●							
	(22)ふくい MaaS との連携・拡充 新	●	●	●						
【基本目標 4】自転車の活用と「市民が主役」の公共交通の利用促進	(23)パーク＆ライドの利用促進	●	●	●						
	(24)自転車利用環境の充実 新	●	●	●						
	(25)シェアサイクルの利用促進 新	●	●	●	●					
	(26)SNS を利用した情報発信	●	●	●	●					
	(27)公共交通に関する意識啓発と利用促進 ★	●	●	●	●					
	(28)モビリティ・マネジメントの推進 ★ 新	●	●	●	●					
	(29)つつじバスの利用促進 ★	●	●	●	●					
	(30)自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と行政による支援		●	●	●					

※「民間団体など」には自治会等の地域団体を含み、「利用者・地域住民」には公共交通の利用者および現在利用していない地域住民を含みます。実施主体には、事業の実施に加え、企画・検討、周知、利用促進等に協力する主体を含みます。

青：継続事業
オレンジ：新規事業
破線：検討・調整中
太線：実施事業

第6章 目標を達成するための事業・実施主体等

【基本目標 1】 わかりやすく便利な「幹線・二次交通ネットワーク」の維持

1） 幹線交通（鉄道線等）の継続的な運行と利用促進

- 本市における幹線交通を形成するハピラインふくい線、福井鉄道福武線、福鉄バス鯖浦線については、市域を超える広域的な公共交通ネットワークとして運行を継続します。

【取組内容】

- 沿線自治体・交通事業者と連携した継続的な利用促進活動の実施
- 運行事業者へ安定的な運行支援
- 通勤・通学定期券やパーク＆ライドの利用促進
- 企画乗車券・各種割引制度の拡充による新規利用者の獲得

実施主体	鯖江市、交通事業者				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

2） つつじバスの再編・運行

- 車がなくても、公共交通を利用して日常生活に必要な移動ができる交通環境を維持するとともに、ハピラインふくい線、福井鉄道福武線等によって形成される幹線交通に接続する二次交通網として、市内全域をカバーするつつじバスの運行を継続します。

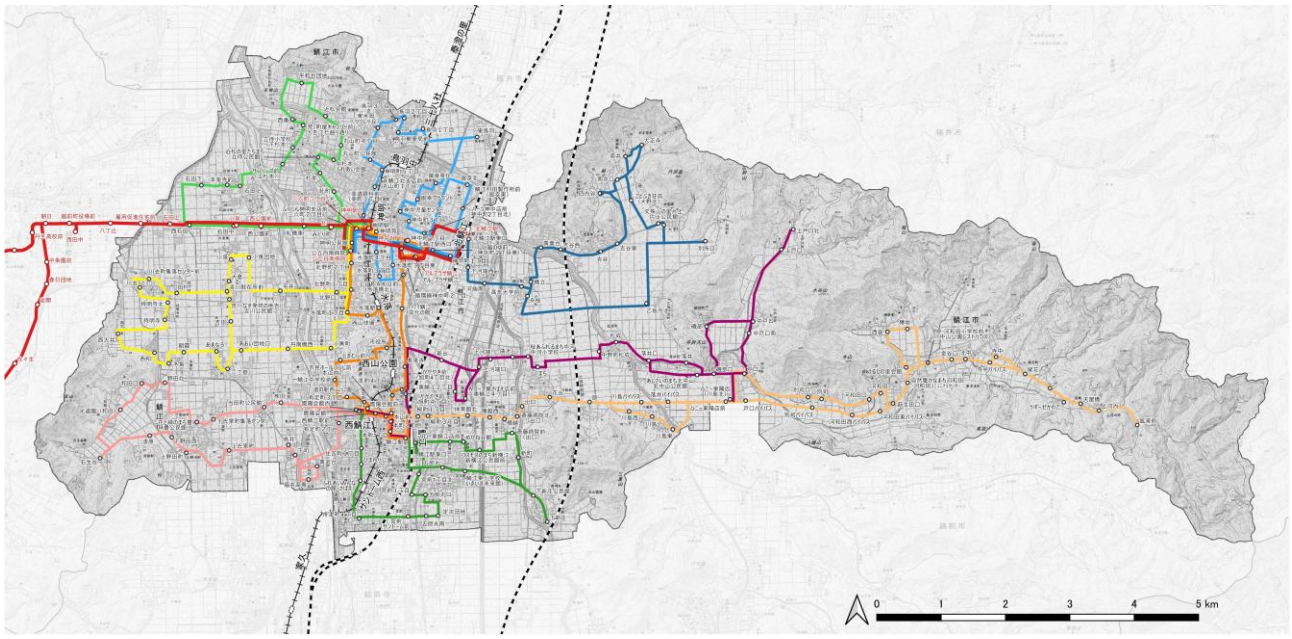
【取組内容】

- 幹線鉄道との乗継利便性向上に向けたダイヤ調整および接続待機時間の適正化
- 利用実態・ニーズに基づく路線・便数の見直しと効率的な運行体系の維持
- 運転士確保支援と運行経費の適正管理による持続可能な運行の維持

実施主体	鯖江市、交通事業者				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

＜つつじバスの再編＞

【つつじバス再編ルート図】



【補助系統に係る事業および実施主体の概要】

系統名	主な起点	経由地	主な終点	事業区分	運行形態	実施主体	補助事業
鯖浦線	北鯖江駅	神明駅	かれい崎(越前町)	4条乗合	路線定期	交通事業者	地域間幹線系統※
循環線 橙色系統	鯖江駅	神明駅	鯖江駅	4条乗合	路線定期	鯖江市 (運行は交通事業者に委託)	フィーダー補助
神明線 水色系統	公立丹南病院	北鯖江駅	神明駅				
片上･中河線 青色系統	神明駅	北鯖江駅	公立丹南病院				
吉川線 黄色系統	神明苑	神明駅	神明苑				

※嶺北地域公共交通計画にて地域間幹線系統に位置付け

＜地域公共交通確保維持事業の必要性＞

- 鯖江市は隣接する福井市、越前市、越前町へ通じるハピラインふくい線、福井鉄道福武線、福鉄バス鯖浦線を幹線系統として、ハピラインふくい鯖江駅や北鯖江駅、福井鉄道福武線神明駅でこれらに結節するコミュニティバス「つつじバス」を運行しています。特に運転免許証返納後の高齢者や車の運転ができない学生等が生活に必要不可欠な交通機関として活用しており、通勤･通学、通院、買い物、飲食など日常生活を支えるだけでなく、幹線系統への接続により市内外広域の移動に不可欠な重要な路線となっています。
- 一方で、つつじバスは自治体や事業者の努力だけでは維持が難しく、地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)により運行を維持する必要があります。

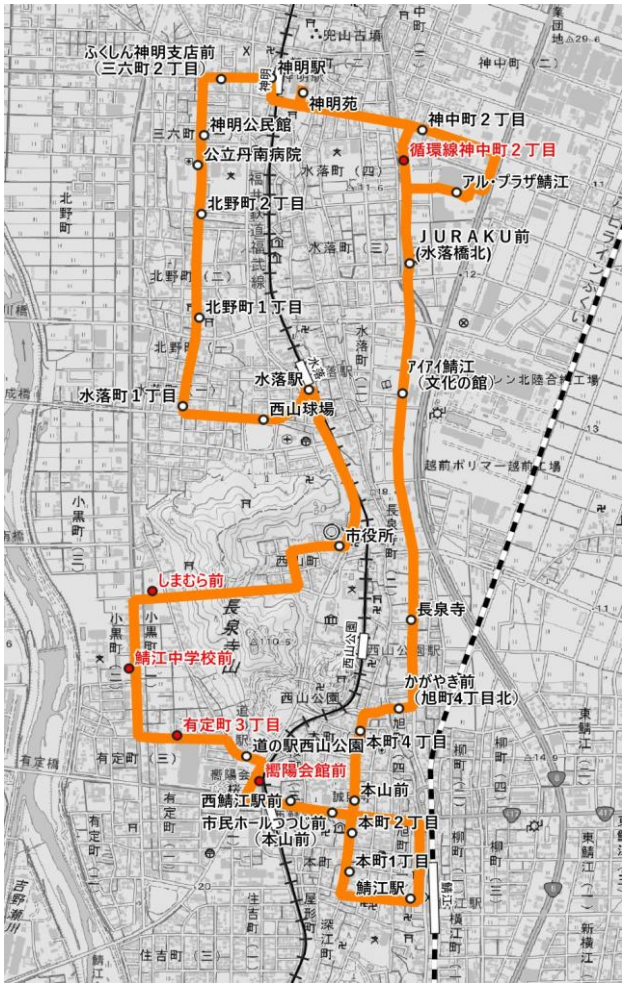
①　つつじバス　循環線の整備・運行

■　循環線外回り（市役所先回り）、循環線内回り（アル・プラザ鯖江先回り）

【つつじバス　循環線の整備・運行事業】

路線名	循環線外回り（市役所先回り）、循環線内回り（アル・プラザ鯖江先回り）
運行の目的	●　市街地中央部に集積する生活関連施設を循環する路線として、利便性向上を図ります。 ○　市街地中央部に集積する生活関連施設の利便性向上 ・　現在の施設立地状況に対応した機能強化、幹線や支線との乗継の確保による利便性の高いサービスを提供します。
対応させる移動目的	通勤・通学、通院、買い物、観光、その他
運行形態	一般乗合旅客運送
運行日	通年運行（年末年始（12月30日～1月3日）の5日間は運休）
運賃	100円/回
運行経路（外回り）	鯖江駅、西鯖江駅前、響陽会館前、道の駅西山公園、鯖江中学校前、市役所、水落駅、公立丹南病院、神明駅、神明苑、アル・プラザ鯖江、アイアイ鯖江（文化の館）、本町4丁目、鯖江駅
運行経路（内回り）	鯖江駅、本町4丁目、アイアイ鯖江（文化の館）、アル・プラザ鯖江、神明苑、神明駅、公立丹南病院、水落駅、市役所、鯖江中学校前、道の駅西山公園、西鯖江駅前、鯖江駅
運行回数	【外回り】平日：18便、土日祝日：16便　【内回り】平日：17便、土日祝日：16便

【つつじバス　循環線ルート】



②　つつじバス　支線の整備・運行事業

■　鯖江南・新横江線

【つつじバス　支線（鯖江南・新横江線）の整備・運行事業】

路線名	鯖江南・新横江線
運行の目的	●　市域南部の集落を巡回し、主要乗継拠点であるハピラインふくい鯖江駅に接続する路線で、利用実績に応じた効率化と日常の生活交通としての機能強化を図ります。 ○　日常の生活交通としての機能強化 ・　市民の日常生活を支える身近な公共交通として、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって、誰もが自動車に頼ることなく気軽に外出できる移動環境の実現を目指します。
対応させる移動目的	通院、買い物、その他
運行形態	一般乗合旅客運送
運行日	通年運行（年末年始（12月30日～1月3日）の5日間は運休）
運賃	100円/回
運行経路	嚮陽会館、住吉町1丁目、舟津町4丁目、宮前（サンドーム前）、定次団地、宮前1丁目、鯖江駅東口、めがね会館、新町、下新庄、五郎丸、鯖江駅
運行回数	平日：3便、土日祝日：3便

【つつじバス　支線（鯖江南・新横江線）ルート】

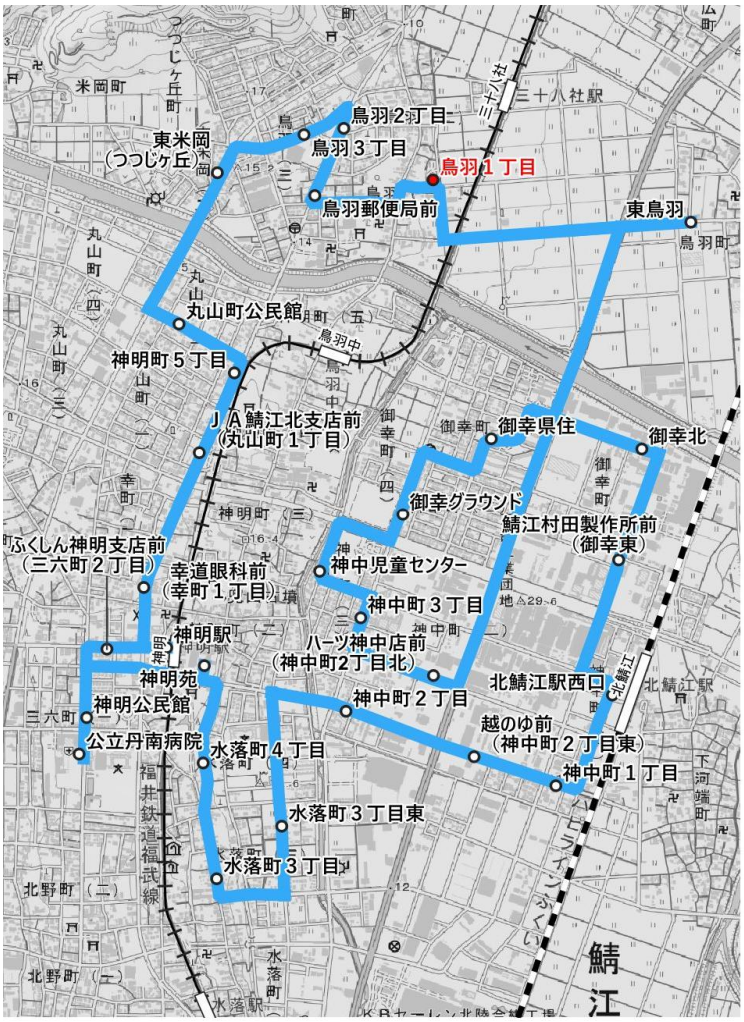


■ 神明線

【つつじバス　支線（神明線）の整備・運行事業】

路線名	神明線
運行の目的	●　市域北部の神明地区集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道福武線神明駅に接続します。 ○　日常の生活交通としての機能強化 ・　市民の日常生活を支える身近な公共交通として、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって、誰もが自動車に頼ることなく気軽に外出できる移動環境の実現を目指します。 ・　福井鉄道福武線神明駅に近接する公立丹南病院を連絡します。
対応させる移動目的	通院、買い物、その他
運行形態	一般乗合旅客運送
運行日	通年運行（年末年始（12月30日～1月3日）の5日間は運休）
運賃	100円/回
運行経路	公立丹南病院、神明駅、神明町5丁目、東米岡（つつじヶ丘）、東鳥羽、神中町3丁目、御幸県住、北鯖江駅西口、神中町2丁目、水落町3丁目、神明苑、神明駅
運行回数	平日：5便、土日祝日：4便

【つつじバス　支線（神明線）ルート】

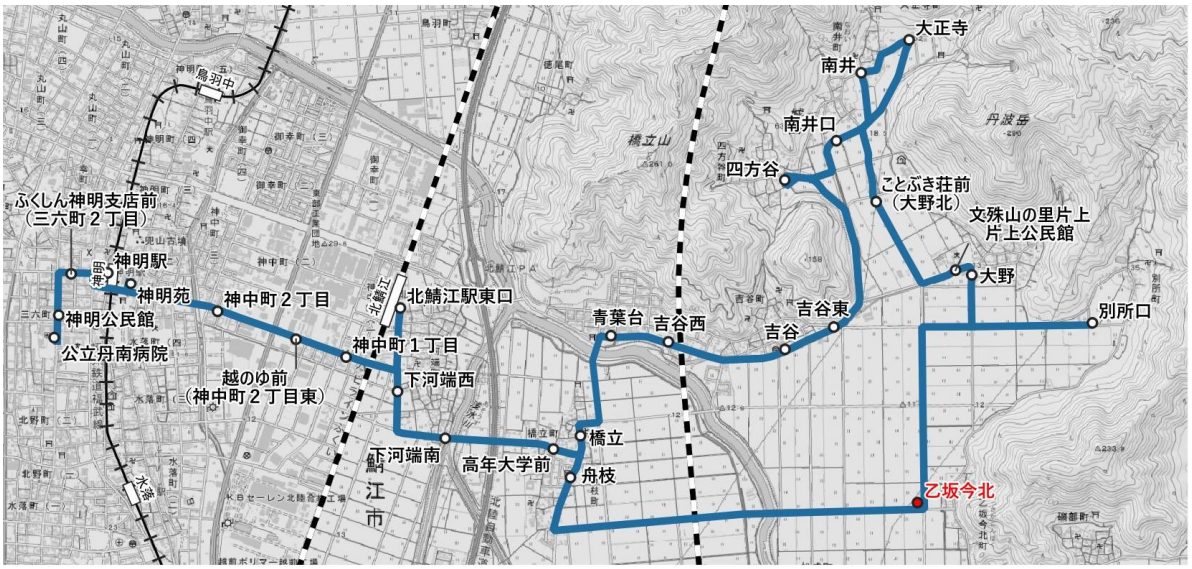


■　片上・中河線

【つつじバス　支線（片上・中河線）の整備・運行事業】

路線名	片上・中河線
運行の目的	●　市域東部の片上地区、中河地区の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道福武線神明駅に接続する路線で、利用実績に応じた効率化と日常の生活交通としての機能強化を図ります。 ○　日常の生活交通としての機能強化 ・　市民の日常生活を支える身近な公共交通として、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって、誰もが自動車に頼ることなく気軽に外出できる移動環境の実現を目指します。 ・　福井鉄道福武線神明駅に近接する公立丹南病院を連絡します。
対応させる移動目的	通院、買い物、その他
運行形態	一般乗合旅客運送
運行日	通年運行（年末年始（12月30日～1月3日）の5日間は運休）
運賃	100円/回
運行経路	公立丹南病院、神明駅、神明苑、北鯖江駅東口、高年大学前、別所口、片上公民館、吉谷、橋立、公立丹南病院
運行回数	平日：5便、土日祝日：4便

【つつじバス　支線（片上・中河線）ルート】

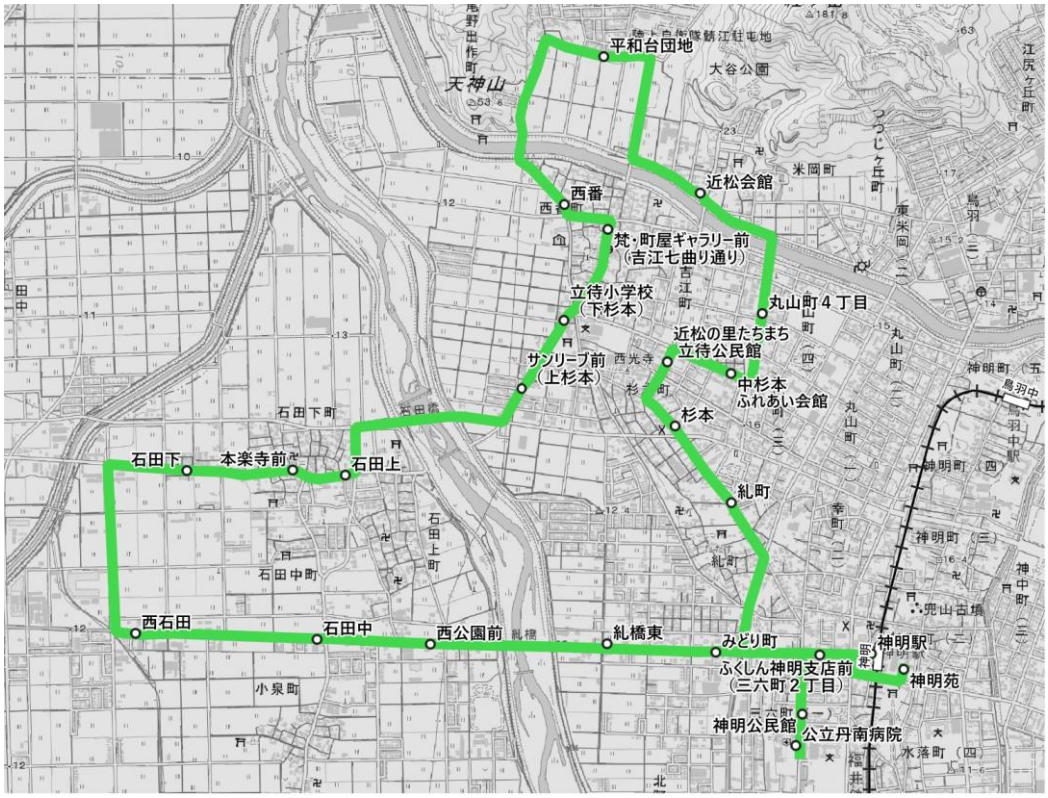


■ 立待線

【つつじバス　支線（立待線）の整備・運行事業】

路線名	立待線
運行の目的	●　市域西部の立待地区の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道福武線神明駅に接続します。 ○　日常の生活交通としての機能強化 ・　市民の日常生活を支える身近な公共交通として、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって、誰もが自動車に頼ることなく気軽に外出できる移動環境の実現を目指します。 ・　福井鉄道福武線神明駅に近接する公立丹南病院を連絡します。
対応させる移動目的	通院、買い物、その他
運行形態	一般乗合旅客運送
運行日	通年運行（年末年始（12月30日～1月3日）の5日間は運休）
運賃	100円/回
運行経路	神明苑、神明駅、公立丹南病院、石田中、立待小学校前、平和台団地、杉本、公立丹南病院、神明苑
運行回数	平日：5便、土日祝日：4便

【つつじバス　支線（立待線）ルート】

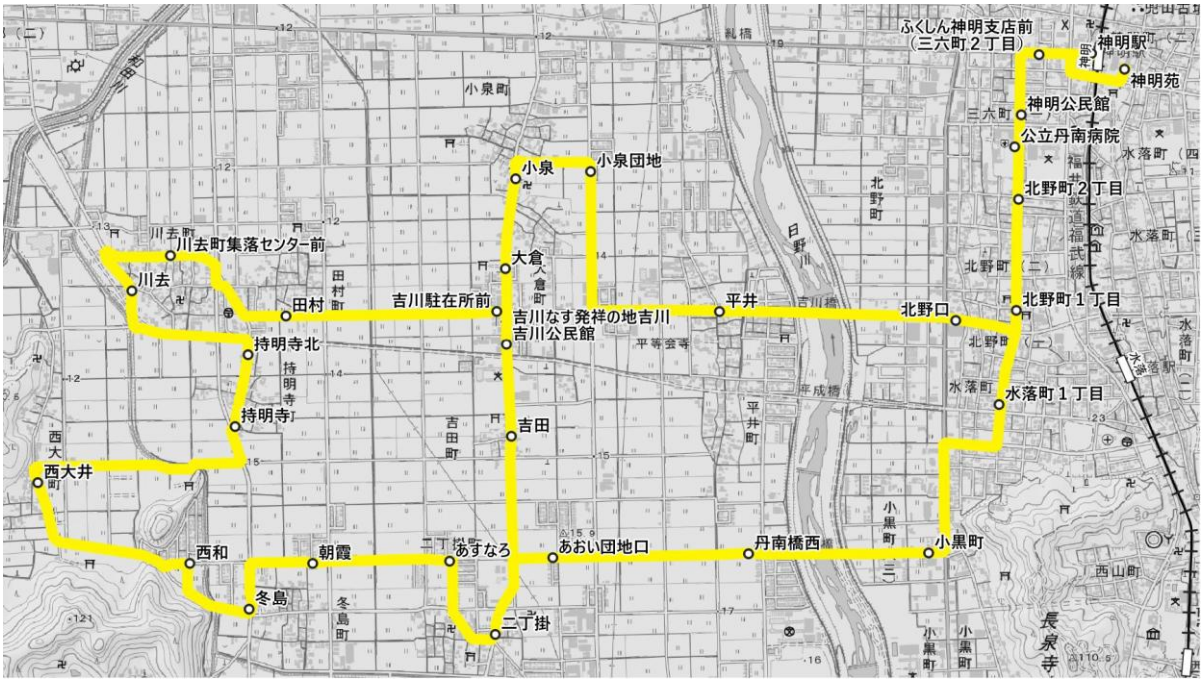


■ 吉川線

【つつじバス　支線(吉川線)の整備･運行事業】

路線名	吉川線
運行の目的	●　市域西部の吉川地区の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道福武線神明駅に接続します。 ○　日常の生活交通としての機能強化 ・　市民の日常生活を支える身近な公共交通として、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって、誰もが自動車に頼ることなく気軽に外出できる移動環境の実現を目指します。 ・　福井鉄道福武線神明駅に近接する公立丹南病院を連絡します。
対応させる移動目的	通院、買い物、その他
運行形態	一般乗合旅客運送
運行日	通年運行(年末年始(12月30日～1月3日)の5日間は運休)
運賃	100円/回
運行経路	神明苑、神明駅、公立丹南病院、吉川公民館、吉川駐在所前、川去、西大井、西和、二丁掛、大倉、平井、公立丹南病院、神明駅、神明苑
運行回数	平日:6便、土日祝日:5便

【つつじバス　支線(吉川線)ルート】

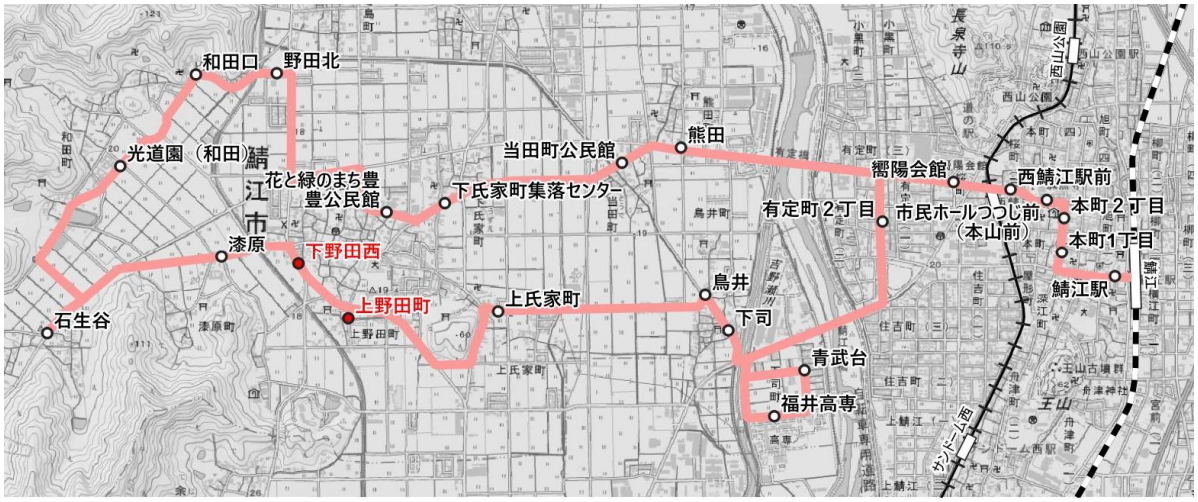


■ 豊線

【つつじバス　支線（豊線）の整備・運行事業】

路線名	豊線
運行の目的	●　市域西部の豊地区の集落を巡回し、主要乗継拠点であるハピラインふくい鯖江駅に接続する路線で、利用実績に応じた効率化と日常の生活交通としての機能強化を図ります。 ○　日常の生活交通としての機能強化 ・　市民の日常生活を支える身近な公共交通として、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって、誰もが自動車に頼ることなく気軽に外出できる移動環境の実現を目指します。 ・　福井工業高等専門学校への通学路線とし、通学に対応します。
対応させる移動目的	通勤・通学、通院、買い物、その他
運行形態	一般乗合旅客運送
運行日	通年運行（年末年始（12月30日～1月3日）の5日間は運休）
運賃	100円/回
運行経路	鯖江駅、西鯖江駅前、嚮陽会館、福井高専、下野田西、石生谷、豊公民館、熊田、嚮陽会館、鯖江駅
運行回数	平日：6便、土日祝日：4便

【つつじバス　支線（豊線）ルート】

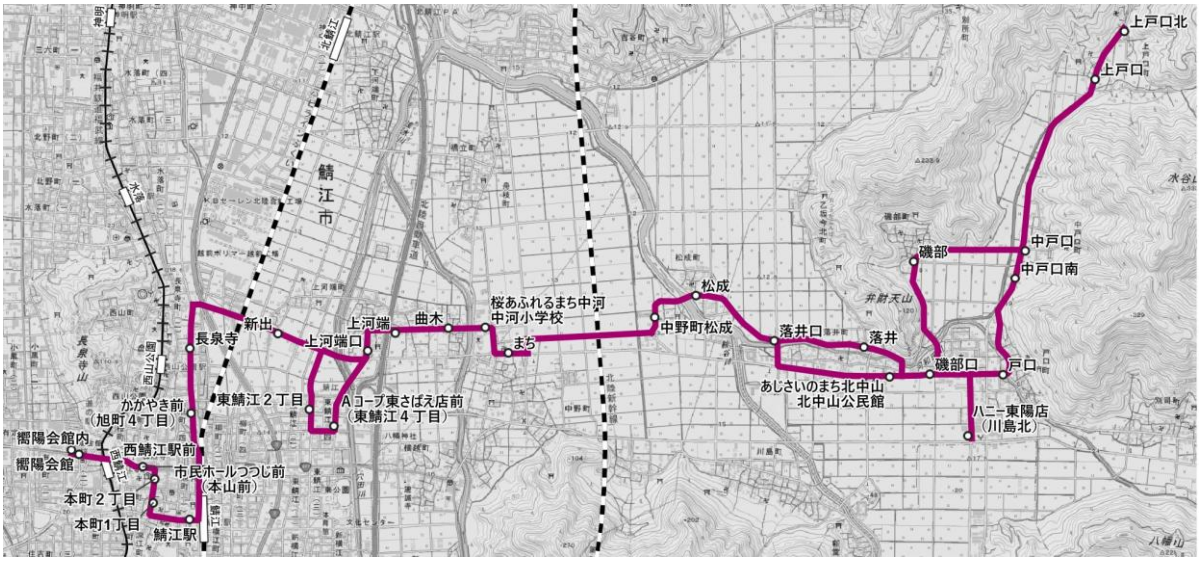


■ 北中山・中河線

【つつじバス　支線（北中山・中河線）の整備・運行事業】

路線名	北中山・中河線
運行の目的	● 市域東部の北中山地区、中河地区の集落を巡回し、主要乗継拠点であるハピラインふくい鯖江駅に接続します。 ○ 日常の生活交通としての機能強化 ・ 市民の日常生活を支える身近な公共交通として、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって、誰もが自動車に頼ることなく気軽に外出できる移動環境の実現を目指します。
対応させる移動目的	通院、買い物、その他
運行形態	一般乗合旅客運送
運行日	通年運行（年末年始（12月30日～1月3日）の5日間は運休）
運賃	100円/回
運行経路	嚮陽会館、西鯖江駅前、鯖江駅、長泉寺、東鯖江2丁目、中河小学校前、北中山公民館、磯部、上戸口北、ハニー東陽店
運行回数	平日：8便、土日祝日：7便

【つつじバス　支線（北中山・中河線）ルート】



■ 河和田線

【つつじバス　支線（河和田線）の整備・運行事業】

路線名	河和田線
運行の目的	● 本路線は、市域東部の河和田地区の集落を巡回し、主要乗継拠点であるハピラインふくい鯖江駅に接続する路線で、速達性の向上と日常の生活交通としての機能強化を図ります。 ○ 日常の生活交通としての機能強化 ・ 市民の日常生活を支える身近な公共交通として、より身近なところにバス停を設けるなどきめ細かい対応によって、誰もが自動車に頼ることなく気軽に外出できる移動環境の実現を目指します。
対応させる移動目的	通勤・通学、通院、買い物、その他
運行形態	一般乗合旅客運送
運行日	通年運行（年末年始（12月30日～1月3日）の5日間は運休）
運行経路	嚮陽会館、西鯖江駅前、鯖江駅、横越、川島、別司、うるしの里会館、ラポーゼかわだ、鉱泉前
運賃	100円/回
運行回数	平日：15便、土日祝日：12便

【つつじバス　支線（河和田線）ルート】



3）主要バス停の待合環境の整備

- 公共交通の利便性を高め、利用環境を改善するためには、駅やバス停において、安心して利用でき、快適に待ち時間を過ごせる待合環境として、駅舎やバス停の上屋やベンチ等の整備が重要です。つつじバスにおいては、ハピラインふくい鯖江駅や福井鉄道福武線神明駅、公立丹南病院等では上屋やベンチ等の待合環境が整備されているものの、それ以外のバス停の多くは、バス停の位置を示す看板のみとなっています。このため、主要乗継拠点等の主要バス停から待合環境の整備を検討します。

【取組内容】

- 乗降客数・乗継需要の多いバス停を優先した上屋・ベンチ・照明等の整備の検討
- 既存の待合施設の定期的な点検と計画的な補修・更新
- 時刻表・路線図・運賃表等のわかりやすい案内表示と定期的な更新
- バス停周辺の除雪・清掃等の維持管理体制の充実（自治会との協働を含む）

実施主体	鯖江市、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

【上屋のあるバス停（中河小学校）】



4）主要乗継拠点でのつつじバス発着情報案内の設置

- 主要乗継拠点であるハピラインふくい鯖江駅、福井鉄道福武線神明駅において、つつじバスの各路線に関する運行経路や運行時刻、乗継情報に加えて、観光施設や観光ルート等に関する情報案内を設置します。

【取組内容】

- 大型デジタルサイネージへのリアルタイム発着情報・遅延情報の表示
- 日本語に加え、英語・多言語対応による訪日外国人・観光客への情報提供
- めがねミュージアム・西山公園・うるしの里会館等への公共交通アクセスルートの案内充実

実施主体	鯖江市				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

【大型サイネージ（鯖江駅）】



5）キャッシュレス決済の導入 新

- つつじバスの利便性向上に向けて、運賃のキャッシュレス決済を導入します。

【取組内容】

- QR コード決済等キャッシュレスへの対応拡充
- 高齢者・ICT に不慣れな利用者向けの操作案内・サポート体制の充実
- ふくい MaaS 等との連携を見据えた決済システムの拡張性の確保

実施主体	福井県、鯖江市、交通事業者				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

6）鯖江駅周辺整備に向けた取組

- 鯖江駅周辺整備に向けた取組を実施し、駅周辺の利便性・回遊性の向上を図ります。

【取組内容】

- バスロータリー、シェアサイクルポートの整備による多様な交通手段との結節強化
- 鯖江駅周辺の商業・観光機能との連携による駅利用者の回遊性向上
- 駅前空間のウォーカブルデザイン（歩行者優先空間）や自転車専用通行帯の導入検討

実施主体	福井県、鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

7）つつじバスのリアルタイム位置情報表示「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充

- 現在、つつじバスでは、バスロケーションシステムを導入しており、パソコンやスマートフォン等で各車両の位置をリアルタイムに確認できる「バスどこサービス」を提供するとともに、ハピラインふくい鯖江駅、公立丹南病院ではつつじバスの発着情報を大型モニターに表示しています。このシステムを継続するとともに、主要乗継拠点である福井鉄道福武線神明駅に大型モニターを設置して「バスどこサービス」画面を表示するなど、システムの利用環境の拡充を検討します。

【取組内容】

- 福井鉄道福武線神明駅への大型モニター設置によるバスどこサービスの表示拠点の追加
- 遅延・運休情報のプッシュ通知機能の追加による利用者への迅速な情報提供
- ふくい MaaS・乗換案内アプリとの連携強化による情報発信範囲の拡大

実施主体	鯖江市				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

8）運転士の確保支援 新

- バス・タクシーの運転士不足は、公共交通サービスの維持・確保における大きな課題となっています。将来にわたって安定的な運行を継続していくため、運転士の確保に向けた支援を実施します。

【取組内容】

- バス・タクシー運転士の確保に向けた大型・二種免許取得費用補助制度の創設
- バス・タクシー乗車体験等のイベントを通じた愛着の醸成
- 乗務員の処遇改善に向けた国・県補助の積極的な活用と市独自支援策の検討

実施主体	福井県、鯖江市、交通事業者				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

【基本目標 2】 まちづくりと連動した、多様で持続可能な移動手段の確保

9） 外出支援等のためのタクシーの運行・助成

- 既存タクシーの運行は、今後も持続するとともに、在宅の障がい者に対する助成事業である「福祉タクシー利用助成事業」や在宅の要介護高齢者に対する「外出支援サービス」を継続します。

【取組内容】

- 在宅障がい者への「福祉タクシー利用助成事業」の継続と対象者・助成額の適宜見直し
- 在宅要介護高齢者への「外出支援サービス」の継続と医療機関以外の外出目的への対応拡充の検討
- 運転免許証自主返納者へのタクシー利用助成との連携

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

10）多様な輸送資源の活用の検討

- 市民や来訪者等の多様な移動ニーズに対応するため、公共交通だけでなく、必要に応じて自家用有償旅客運送や福祉輸送等の多様な輸送資源の活用についても検討します。
- 活用の検討に当たっては、地域住民や自治会等とともに、日常生活における移動の困りごとや必要な移動を把握し、既存の鉄道・バス・タクシーによる対応の可能性を確認します。その上で、住民の意向や協力可能な範囲を確認し、既存公共交通を補完する必要性、運行の担い手、費用負担、既存交通への影響等を交通事業者や関係者と整理し、活用の可否を判断します。

【取組内容】

- デマンド交通の導入検討
- 自動運転車両等の次世代モビリティの動向把握と導入可能性の検討
- 国・県の実証実験制度を活用した新たな移動サービスの試行的導入の検討

実施主体	福井県、鯖江市、交通事業者、民間団体など、利用者・地域住民				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

11）運行事業の安定化に向けた企業広告等の推進

- 運行事業の安定化に向けて、バス車両内やバス停における企業広告等の掲載を推進します。

【取組内容】

- バス車両のラッピング広告・車内広告・バス停看板広告の積極的な営業展開
- 市内企業・商業施設・観光施設等への広告募集の継続と対象範囲の拡大
- 広告掲載手続きの簡易化

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

12）障がい者、運転免許証自主返納者等へのつつじバス利用者無料証の交付

- 障がい者、運転免許証自主返納者等への生活交通の支援として、つつじバス利用者無料証の交付を継続します。

【取組内容】

- 無料証交付制度の継続と対象者への確実な情報提供・申請案内の充実
- 制度利用実績の定期的な把握・分析と制度内容の適宜見直し
- 福祉部局・地域包括支援センターとの連携による対象者への積極的な働きかけ

実施主体	鯖江市				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

13）つつじバスのフリー降車制の拡充

- つつじバスの郊外区間において、バス停までの距離抵抗を軽減し利便性向上を図るため、フリー降車可能な区間の拡充を検討します。

【取組内容】

- フリー降車区間の利用実績・利用者評価の把握と対象区間拡大
- フリー降車制度の利用方法・対応区間を SNS・ウェブ・時刻表等で積極的に周知
- 乗り方案内・出前講座でのフリー降車制度の紹介による新規利用者の獲得

実施主体	鯖江市、交通事業者				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

14）公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信

- 鉄道やバスを補完する公共交通として、タクシーの活用を図るため、タクシーに関する情報を発信します。

【取組内容】

- 市ウェブサイト・SNS・つつじバス車内等を活用したタクシー事業者・料金・予約方法の周知
- ライドシェアタクシーの運行情報・予約方法に関するわかりやすい情報提供
- 観光客に向けたさばえ定額タクシーの利用促進

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

15)モビリティハブの整備に向けた検討　新

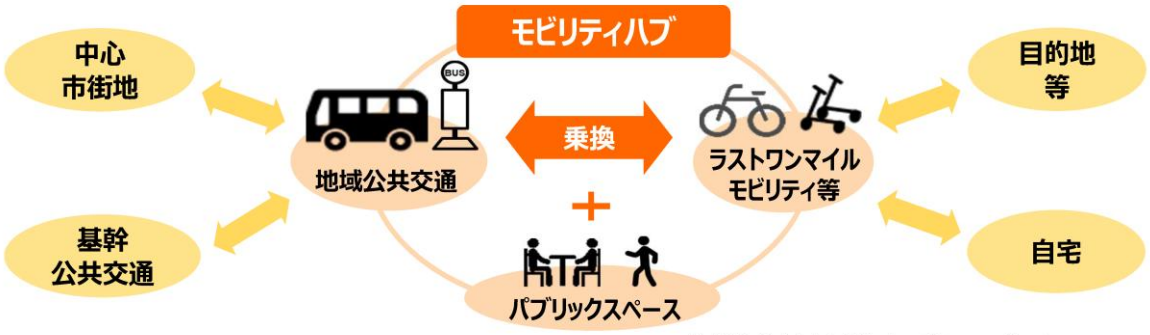
- 鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル等の多様な交通手段を円滑に乗り継ぐことができるモビリティハブの整備に向けて検討します。鉄道駅や主要バス停、公共施設、商業施設等の既存施設の活用を含め、必要な機能や整備・運営手法等を検討します。

【取組内容】

- 鉄道駅、主要バス停、公共施設、商業施設等の交通結節機能や利用実態の把握
- 利用者ニーズを踏まえた候補地の選定と設備機能・運営手法の検討

実施主体	福井県、鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
			検討・調整中		

【地域公共交通と連携したモビリティハブのイメージ】



地域公共交通と連携したモビリティハブのイメージ

国土交通省「交通結節点整備等の推進」

【基本目標 3】「めがねのまちさばえ」の交流・観光・にぎわいを支える交通環境の充実

16）つつじバスの運賃制度の見直し 新

- 利用者にとって分かりやすく、利用しやすい運賃制度とするため、つつじバスの運賃制度の見直しについて検討します。

【取組内容】

- 利用実態・利用者ニーズを踏まえた現行運賃の妥当性検証と適正運賃水準の設定
- 一日乗車券・回数券・定期券等の多様な乗車券の導入による継続利用の促進
- 観光客・来訪者向けの周遊割引乗車券の設定による回遊需要の取り込み

実施主体	鯖江市				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

17）商店街等との連携によるお買物券付き回数券の販売 新

- 一般回数券に商店街等で利用できるお買物券を付与することで、公共交通と商店街等双方の利用促進に取り組みます。

【取組内容】

- 参加店舗数の拡大に向けた商店街連合会・個店への積極的な働きかけ
- 利用実績の定期的な把握と制度効果の検証
- SNS・ウェブサイト等を通じた制度周知と来街促進

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

18)イベント・観光施設との連携によるつつじバス乗車券の交付

- つつじバスの利用促進に向けて、市内の観光施設や商店等と連携し、つつじバスの割引乗車券や企画乗車券の交付を検討します。

【取組内容】

- めがねミュージアム・西山公園・うるしの里会館・ラポーゼかわだ等の主要観光施設との連携による企画商品の拡充
- つつじまつり等の季節イベント開催時の無料乗車券・割引乗車券の設定

実施主体	鯖江市、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
			検討・調整中		

19)つつじバス車内を活用した観光案内

- 観光、ビジネス等でつつじバスを利用した人を主な対象者として、本市の観光案内情報を提供するため、つつじバスの車内を活用した観光案内を行います。

【取組内容】

- 市内主要観光スポット・グルメ・体験施設等を網羅した観光パンフレットの設置と定期的な更新
- 鯖江観光協会・観光施設との連携による最新情報の迅速な反映
- QR コードを活用したデジタル観光情報（ウェブサイト・SNS 等）の掲示

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

20）　公共交通による周遊環境の構築　新

- 北陸新幹線福井・敦賀開業による交流人口の拡大を踏まえ、来訪者が公共交通を利用して市内の観光施設等を周遊できる環境の構築について検討します。

【取組内容】

- 鉄道駅（鯖江駅・神明駅等）から市内主要観光施設へのつつじバスアクセスルートの明確化と案内強化
- 観光需要の高いイベント時（つつじまつり等）における臨時バス・増便の実施
- シェアサイクル（LUUP）・タクシーとの乗継情報を一体的に提供する周遊マップ・アプリの整備

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
			検討・調整中		

21）公共交通乗務員の接遇向上

- 誰もが安心して快適に公共交通を利用できる環境を維持、向上するため、公共交通乗務員の接遇を向上します。

【取組内容】

- バス・タクシー乗務員を対象とした接遇研修の定期的な実施
- 利用者からの意見・苦情を接遇改善に反映するフィードバック体制の構築

実施主体	鯖江市、交通事業者				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

22） ふくい MaaS との連携・拡充 新

- 来訪者や市民の移動の利便性向上を図るため、「ふくい MaaS」との連携・拡充について検討します。

【取組内容】

- 「ふくい MaaS」を推進し、つつじバス・シェアサイクル等の市内公共交通との連携
- MaaS アプリを通じた鉄道・バス・タクシー・シェアサイクルの一括検索・予約・決済機能の整備
- 利用状況・アプリインストール数等を指標とした効果検証

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
			検討・調整中		

【ふくい MaaS パンフレット】



出典：ふくい MaaS ホームページ

【基本目標 4】 自転車の活用と「市民が主役」の公共交通の利用促進

23） パーク＆ライドの利用促進

- 自家用車利用者の公共交通利用を促進するため、パーク＆ライド駐車場の活用を推進します。

【取組内容】

- ウェブ・SNS を活用し、パーク＆ライド駐車場の設置場所・利用方法・料金等に関する情報発信
- 利用実態を踏まえた駐車場の整備・拡充と利用状況の定期的な把握
- 鯖江駅・神明駅等の主要駅周辺における駐車場の利便性向上

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

24） 自転車利用環境の充実 新

- 移動手段の選択肢を広げるため、自転車利用環境の充実について検討します。

【取組内容】

- 駅・主要バス停周辺における安全・快適な駐輪場の整備・拡充
- 自転車通行帯の整備推進
- シェアサイクル（LUUP）の対応ポート拡充による市内各所へのアクセス向上
- 自転車マップ・ルートガイドの作成
- 自転車活用推進計画の策定

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
			検討・調整中		

25） シェアサイクルの利用促進 新

- シェアサイクルは、公共交通サービスを補完する移動手段のひとつです。令和8年度から開始したシェアサイクル実証実験の結果を踏まえ、利用環境の充実を図ります。

【取組内容】

- シェアサイクル（LUUP）のポート数・配備台数の拡充によるサービス向上
- 観光施設・飲食店等と連携したモデルルートの作成・発信
- つつじバス乗車券との組み合わせ割引等、公共交通との連携キャンペーンの実施
- 利用者アンケートを通じた満足度把握とサービス改善への反映

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など、利用者・地域住民				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施		検討・調整中		

26） SNS を利用した情報発信

- SNSを利用し、つつじバスの運行状況や関連するイベント情報等を発信します。

【取組内容】

- X（旧 Twitter）・Instagram・LINE 等の複数プラットフォームを活用した定期的な情報発信の継続
- つつじバスの運行状況・遅延・臨時運行情報のリアルタイム発信による利用者の利便性向上

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など、利用者・地域住民				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

27）　公共交通に関する意識啓発と利用促進

- 過度な車依存の交通環境を是正し、コンパクトなまちづくりの実現に向けて、公共交通に関する市民の意識啓発を行うとともに、乗る運動の推進等の公共交通利用促進策を実施します。

【取組内容】

- 公共交通の必要性・環境負荷低減効果等に関する啓発
- 公共交通への愛着醸成を目的としたイベントの実施
- 公共交通利用促進のための市民団体・自治会との連携強化と活動支援

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など、利用者・地域住民				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

28）　モビリティ・マネジメントの推進　新

- 市民一人ひとりが日常の移動を見直し、自家用車に過度に依存することなく、公共交通、自転車、徒歩等を適切に選択できるよう、モビリティ・マネジメントを推進します。
- 学校、企業、地域団体等と連携し、対象者の移動状況に応じた情報提供や利用体験等の実施を通じて、日常生活における公共交通利用を促進します。

【取組内容】

- 転入者、新入生、新入社員、高齢者等に対する路線・時刻・運賃・乗継方法等の情報提供
- 学校、企業、自治会等を対象とした出前講座・ワークショップの実施
- 乗り方教室、利用体験会等による公共交通を利用する機会の創出
- アンケート等による取組前後の意識・行動変化の把握

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など、利用者・地域住民				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	検討・調整中	取組の実施			

29）　つつじバスの利用促進

- つつじバスの乗り方や乗り継ぎについての出前講座やバス車内の掲示スペースをギャラリースペースとして利用するなどの利用促進活動を、モビリティ・マネジメントの取組と連携して実施します。

【取組内容】

- 自治会・老人会・PTA 等を対象とした出前講座・乗り方体験会の継続的な実施
- こども向けバスツアー等のイベント実施による次世代利用者の育成
- バス車内ギャラリースペースを活用した学校・市民の作品展示

実施主体	鯖江市、交通事業者、民間団体など、利用者・地域住民				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

30）　自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と行政による支援

- つつじバスの利用促進に向けたバス停留所の待合環境の改善として、自治会主体による上屋の設置や清掃等の管理を推進します。
- 本市は、自治会による停留所の上屋の設置・管理を支援します。

【取組内容】

- コミュニティバス停留所上屋等設置補助金の継続と申請手続きの簡素化
- 老朽化した既設上屋の更新・修繕に対する支援制度の拡充
- 市による巡回点検と自治会との情報共有による早期不具合対応体制の構築

実施主体	鯖江市、民間団体など、利用者・地域住民				
スケジュール	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	取組の実施				

第7章 計画の達成状況に関する事項

1. 計画の推進体制

本計画は、本市が目指す公共交通施策の基本方針を示したものであり、今後、基本方針の実現、目標の達成に向けて各施策の「具体的な方法・実施地域・役割分担・予算化」等の検討を進めていきます。

施策は他分野のまちづくりと一体的に取り組むことでクロスセクター効果を発揮するものであり、庁内関係課や国、県、周辺自治体の他、交通事業者や各種団体、地域と緊密に連携しながら、鯖江市地域公共交通会議を通じて将来の都市づくりを見据えた施策や事業を検討し、持続可能な公共交通の実現を図ります。

2. 計画の進捗管理

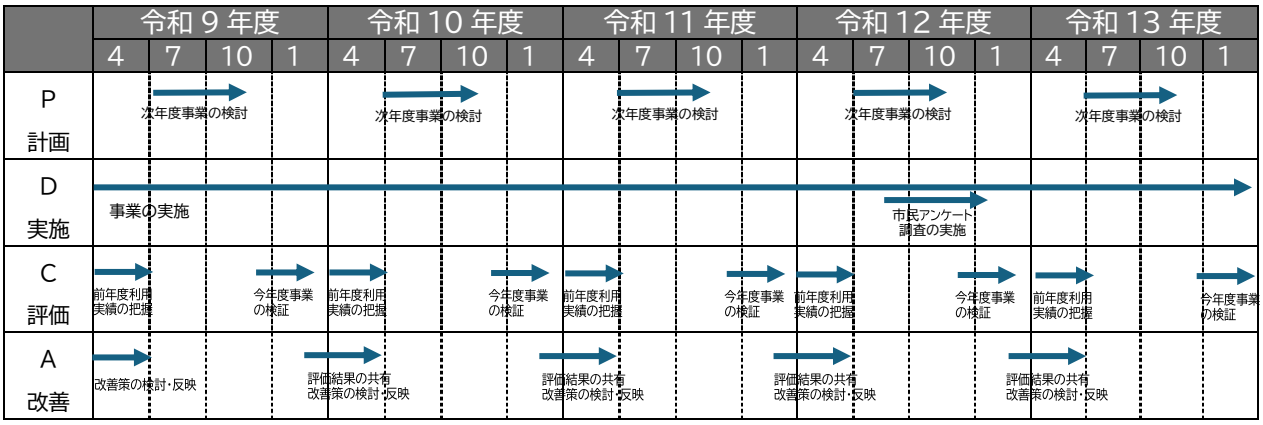
本計画および各種施策は、最小の経費で最大の効果を上げる「費用対効果」を重視して、利用頻度や利用者ニーズを踏まえた PDCA サイクル（Plan：計画、Do：実施、Check：評価、Action：改善）に基づいた継続的な点検・評価を実施します。



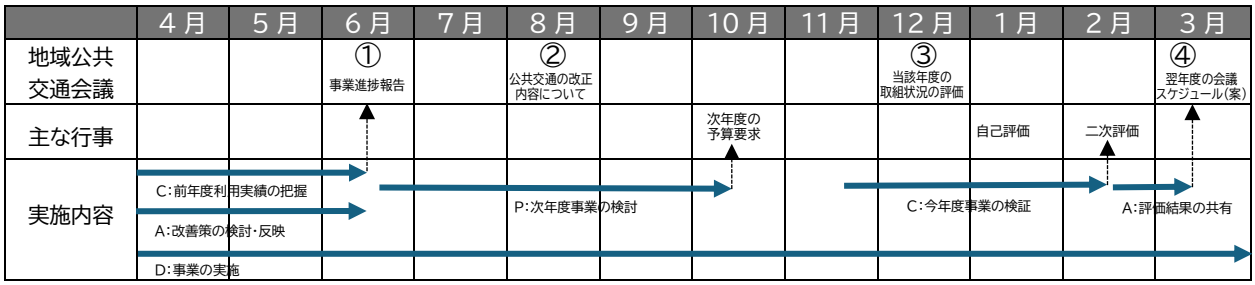
毎年、継続的に公共交通の利用状況や施策の進捗等を交通会議に報告し、社会情勢の変化や法制度の改正等も含め、必要に応じて、適宜、改善、見直しを行います。

計画期間の最終年次の前には、市民アンケート調査を実施し、市民の公共交通に対する満足度や改善要望等の意向を把握し、次期計画に反映します。

【長期スパンにおける進行管理、評価スケジュール】



【年間単位の進行管理、評価スケジュール】



付属資料

第1章　市民アンケートの概要

1. 調査の目的

■市民の日常生活の移動方法や公共交通に対する満足度、改善要望等を把握するため、アンケートを実施しました。

2. 調査の概要

1） 調査時期

〇発送日：令和8年2月13日（金）

〇締切日：令和8年3月4日（水）

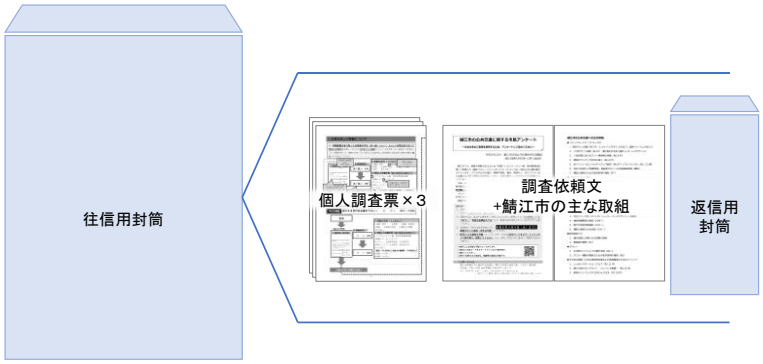
2） アンケート配布手法

〇住民基本台帳において地区別の人口数を考慮し、無作為抽出により 2,000 世帯を抽出しました。

〇個人調査票を3枚同封（下図の通り）し、幅広い年齢、性別のサンプル数の確保に努めました。

〇郵送により調査票を配布（1世帯あたり3票配布）し、郵送回収または WEB 回答を行いました。

【調査セットのイメージ】



3） 地区別配布計画および回収数

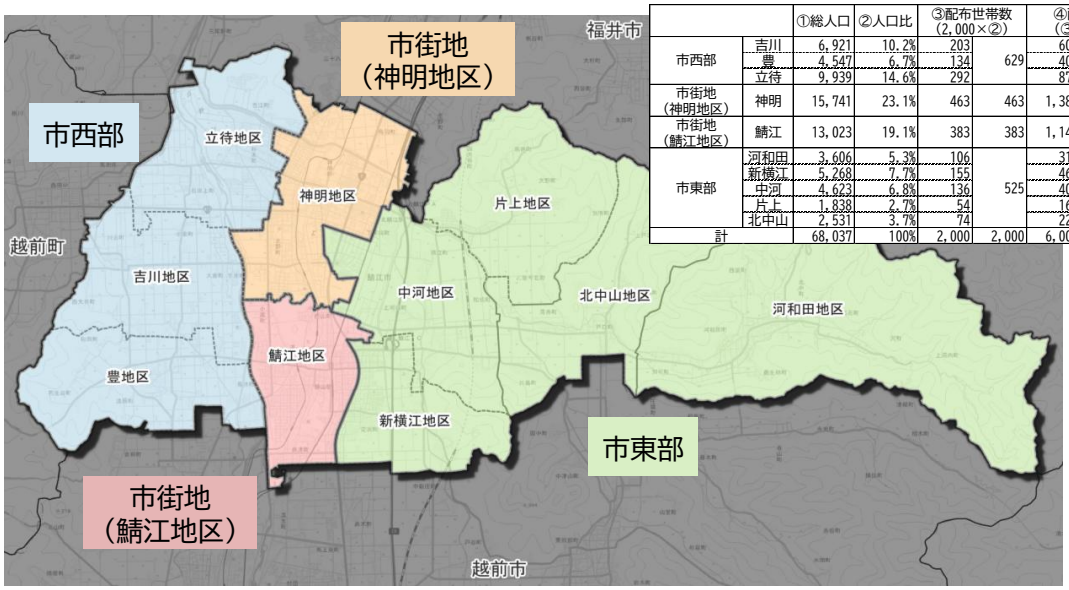
〇配布抽出にあたっては、地区別の世帯数を勘案しつつ、集計に必要なサンプル数が各地区ともに確保されるよう配慮し、次頁上部の表の通り配布しました。

〇回収数および回収率は、以下の通りです。

回収票数：672票（紙：458票、WEB：214件）

回収率：25.9%（封筒：304部、WEB：214件）

【地区別配布計画】



		①総人口	②人口比	③配布世帯数（2,000×②）		④配布数（③×３）	
市西部	吉川	6,921	10.2%	203	629	609	1,887
	豊	4,547	6.7%	134		402	
	立待	9,939	14.6%	292		876	
市街地（神明地区）	神明	15,741	23.1%	463	463	1,389	1,389
市街地（鯖江地区）	鯖江	13,023	19.1%	383	383	1,149	1,149
市東部	河和田	3,606	5.3%	106	525	318	1,575
	新横江	5,268	7.7%	155		465	
	中河	4,623	6.8%	136		408	
	片上	1,838	2.7%	54		162	
	北中山	2,531	3.7%	74		222	
計		68,037	100%	2,000	2,000	6,000	6,000

3. 調査項目の基本構成

調査項目	
Ⅰ.日常生活の移動	・平日1日の移動特性の把握 （移動先、移動目的、利用交通手段、出発時間、到着時間）
Ⅱ.公共交通の利用状況について	・利用頻度、主な利用駅／停留所 ・公共交通機関を利用しない理由/改善点 ・公共交通に対する市の取組への評価 ・公共交通の改善点
Ⅲ.公共交通への利用転換について	・公共交通が改善された場合の利用意向 ・マイカーの利用を控えることに対する考え ・運転の継続意向
Ⅳ.鯖江市の地域公共交通のあり方について	・公共交通の必要性/利用意向/運行経費と運行内容
Ⅴ.あなたご自身について	・居住地 ・性別、年齢 ・自動車運転免許証の有無、自家用車の有無
自由意見	・公共交通に対する自由意見

4. 集計上の留意事項

■ 各設問の集計は、無回答を除いた合計を母数（100%）として各選択項目の回答数の割合を示しています。

■ パーセンテージについては、小数点第1位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%に一致しません。

■ 表記のスペース上、煩雑になることを避けるため、3%未満の値を省略しているものがあります。

■ 複数回答の設問は、有効回答者数を母数（100%）としているため、選択項目の回答数の割合は、合計すると 100%以上となります。

■「n」は有効回答数を表しています。

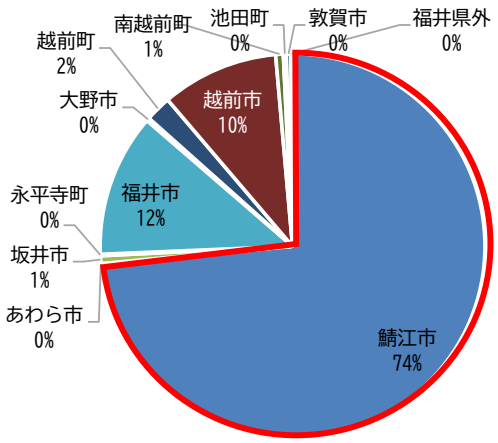
5. 市民アンケートの調査結果(単純集計)

1) 日常の移動について

① 目的地

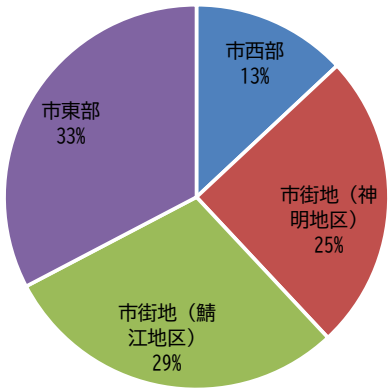
- 鯖江市内への移動が 74%と最も多く、隣接市町である「福井市」、「越前市」への移動も見られます。
- 鯖江市内の移動では、「市東部」への移動が 33%と最も多く、次いで「市街地(鯖江地区)」が 29%、「市街地(神明地区)」が 25%となっています。

【目的地の市町】



(n=783)

【鯖江市内の内訳】



(n=560)

主な訪問施設

- 商業施設、医療機関、駅への移動が多くなっています。
- 買物目的では、「アル・プラザ鯖江」「ハーツ さばえ」への訪問が多く、通院目的では、「公立丹南病院」「土屋医院」への移動が多くなっています。

【主な訪問施設(全目的)】							
順位	施設名	地区	訪問数	順位	施設名	地区	訪問数
1 位	アル・プラザ鯖江	中河地区	49	6 位	鯖江駅	鯖江地区	14
2 位	ハーツ さばえ	鯖江地区	18	7 位	ヤスサキワイプラ ザ グ ル メ 館東鯖江店	新横江地区	11
3 位	パワーシティ鯖江ワイプラザ	鯖江地区	16	8 位	クスリのアオキ小黒店	鯖江地区	10
4 位	公立丹南病院	神明地区	16	9 位	木村病院	鯖江地区	10
5 位	スーパーマーケットバロー東鯖江店	新 横 江 地区	14	10 位	アルビス さばえ鳥羽店	神明地区	9

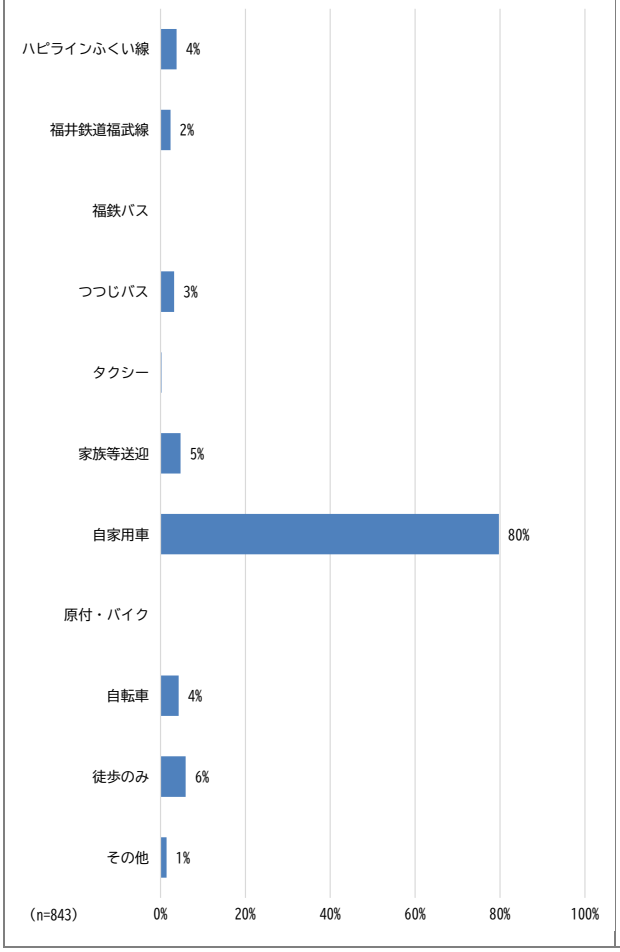
【主な訪問施設(買物)】							
順位	施設名	地区	訪問数	順位	施設名	地区	訪問数
1 位	アル・プラザ鯖江	中河地区	42	6 位	ヤスサキワイプラ ザ グ ル メ 館東鯖江店	新横江地区	9
2 位	ハーツ さばえ	鯖江地区	13	7 位	アルビス さばえ鳥羽店	神明地区	8
3 位	パワーシティ鯖江ワイプラザ	鯖江地区	12	8 位	ハニー 東陽店	北中山地区	8
4 位	スーパーマーケットバロー東鯖江店	新横江地区	12	9 位	ビッグベリーマーケット北野	神明地区	8
5 位	クスリのアオキ小黒店	鯖江地区	9	10 位	ホームセンターヤマキシ 朝日店	越前町	7

【主な訪問施設(通院)】							
順位	施設名	地区	訪問数	順位	施設名	地区	訪問数
1 位	公立丹南病院	神明地区	10	6 位	福井県済生会病院	福井市	3
2 位	土屋医院	鯖江地区	5	7 位	さくら整骨院	新横江地区	3
3 位	福井赤十字病院	福井市	4	8 位	嶋田整形外科医院	新横江地区	2
4 位	木村病院	鯖江地区	4	9 位	カマカズ医院	鯖江地区	2
5 位	きむら内科医院	中河地区	3	10 位	鯖江清水眼科	鯖江地区	2

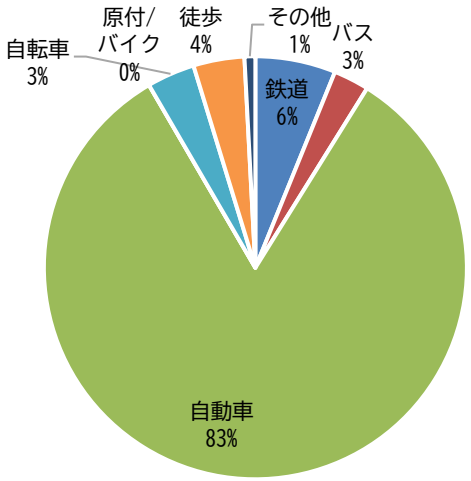
②　目的地までの移動手段

● 「自動車」を用いた移動が83%と最も多くなっています。

【利用交通手段】



【代表交通手段※】



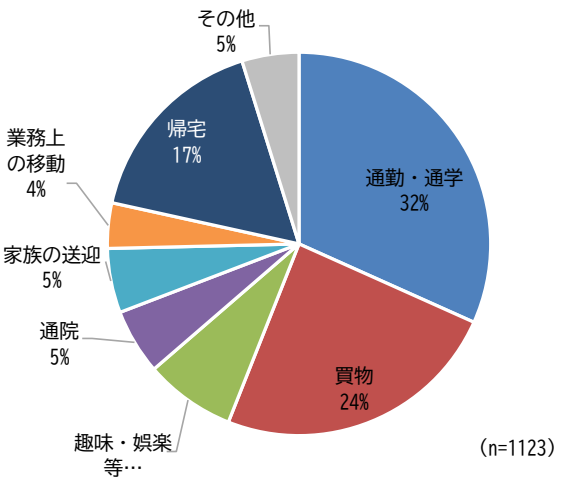
(n=846)

※代表交通手段
一つの目的地に向かう際に、複数の交通手段を利用した場合、利用手段から主な手段一つを表したものです。例えば、鉄道とバスを乗り継いだ場合の代表交通は鉄道となります。

③　移動目的

- 「通勤･通学」目的の移動が 32%と最も多く、次いで、「買物」目的の移動が 24%となっています。

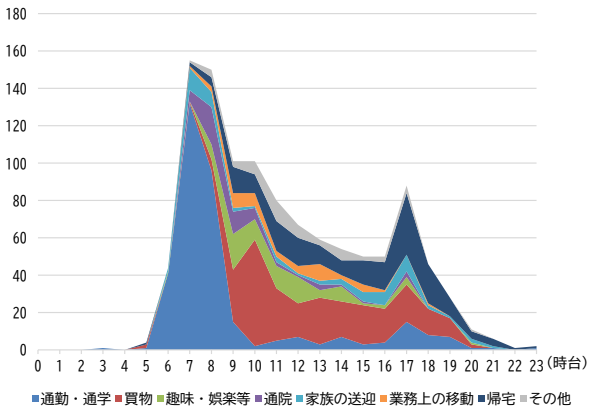
【移動目的】



④　移動時間帯別

- 移動のピークは午前7時～8時であり、その大部分は「通勤･通学」目的の移動となっています。

【出発時刻別の時間帯別トリップ数】

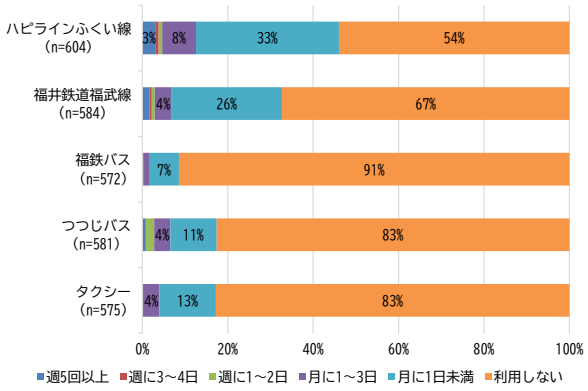


2）公共交通の利用状況について

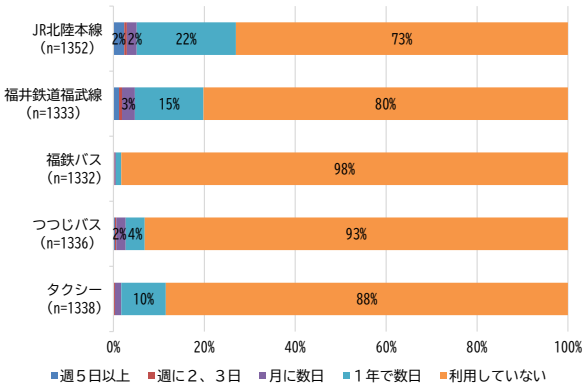
①　公共交通の利用頻度（問 2）

- 福鉄バスで、「利用しない」が 91%と、他の交通手段より8ポイント以上高くなっています。一方で、「月に 1 日未満」がハピラインふくい線、福井鉄道福武線でそれぞれ 33%、26%と、他の交通手段より 13 ポイント以上高くなっています。
- 令和3年と比較して、全ての公共交通で「利用していない」が減少しています。

【公共交通の利用頻度（R8）】



【公共交通の利用頻度（R3）】

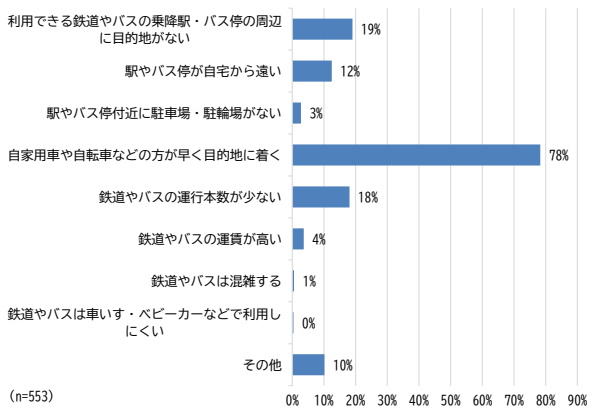


※前回調査（R3）以降、JR 北陸本線がハピラインふくい線に移管、福鉄バス福浦線が廃止

②　鉄道・バスを利用しない理由（2つまで選択）（問 3）※「月に1日未満」「利用しない」と回答した方のみ

- 鉄道・バスを利用しない理由は、「自動車や自転車などの方が早く目的地に着く」が 78%で最も多く、次いで「利用できる鉄道やバスの乗降駅・バス停の周辺に目的地がない」が 19%、「鉄道やバス本数が少ない」が 18%となっています。

【鉄道・バスを利用しない理由】



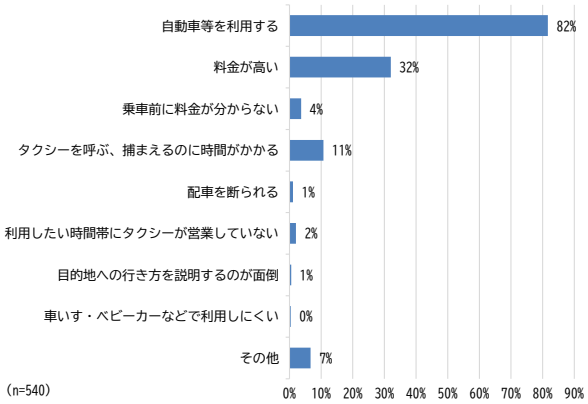
【具体的な意見】

回答	回答数
自家用車があるため	8
身体が不自由だから	7
自家用車が便利だから	4
家族や施設の送迎があるから	4
利用する機会がない	3
ちょうど良い時間の運行便がない	3
遠方へ出かける際に利用する	3
目的地が近い	3
乗り継ぎの待ち時間が長い	2
あまり遠くへ出かける用がない	2
目的がない	2
ハピラインを利用する用件が年に7-8回程度	2
バスの乗り方がわからない	1
そもそもあまり遠くに公共交通機関を使って遊びに行かない	1
初めから選択肢にない	1
遅い	1
イベントがあるときに利用する	1
子供たちの声などを注意しながら乗ることが気を遣う	1
通院のために利用する	1
子供と一緒に乗って遊ばせる	1
つつじバスは大型すぎて乗りたくない	1
外出しない	1
1人では乗れない	1
高齢のためそんなに多くは利用しない	1

③　タクシーを利用しない理由（2つまで選択）（問 4）※「月に1日未満」「利用しない」と回答した方のみ

- タクシーを利用しない理由は、「自動車等を利用する」が 82%で最も多く、次いで「料金が高い」が 32%となっています。

【タクシーを利用しない理由】



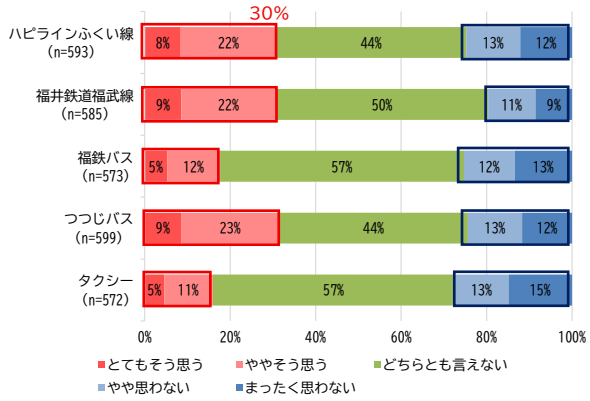
【具体的な意見】

回答	回答数
自家用車があるため	6
歩くから	2
公共交通機関を利用できるから	2
自家用車が便利だから	2
運転手の交通マナーが悪い	2
身体が不自由だから	2
利用目的が少ない	2
家族の送迎があるから	2
月1-2回代行を利用する	1
初めから選択肢にない	1
外出していないため	1
目的地にタクシーが通っているか分からないから	1
県外に出張、旅行するとき鯖江駅まで利用する	1
1年に2、3回体の調子が悪い時利用している	1
タクシーを呼ばないと利用できないから	1
未成年で乗り方が分からないから	1
自転車を利用する	1
特別な時以外利用しない	1
メリットが何もない	1
前日に予約をしておく	1
目的地が半径500m以内のため	1
杖を使用しているがすぐ来てもらえる	1
乗らなくていい	1

④　公共交通に対する市の取組への評価（問 5）

- ハピラインふくい線、福井鉄道福武線、つつじバスでは、市の取組が充分だと回答した割合が、充分でないと回答した割合を上回っています。
- 福鉄バス、タクシーに対する市の取組が充分だと感じた割合は、他の公共交通より14ポイント以上低くなっています。

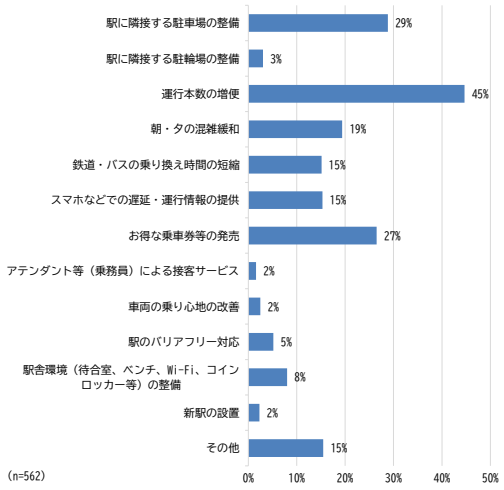
【公共交通に対する市の取組への評価】



市の取組が充分だと回答した割合
（とてもそう思う、ややそう思う）
市の取組が充分でないと回答した割合
（やや思わない、まったく思わない）

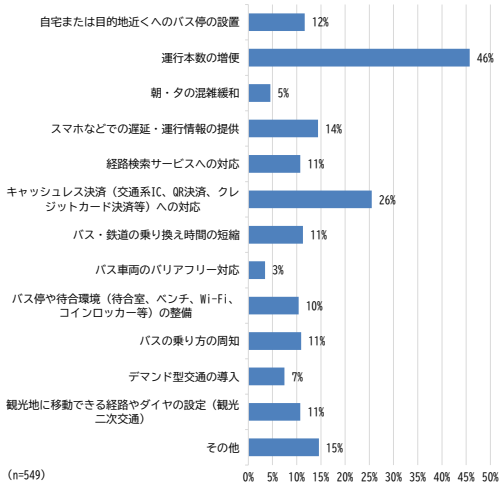
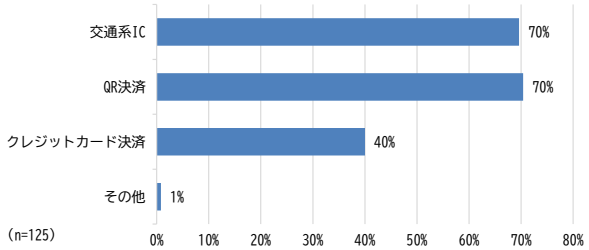
⑤　鉄道（ハピラインふくい線、福井鉄道福武線）の改善点（3つまで選択）（問 6）

- 鉄道の改善点は、「運行本数の増便」が45%で最も多く、次いで「駅に隣接する駐車場の整備」が29%、「お得な乗車券等の発売」が27%となっています。
- 具体的に駐車場を整備してほしい駅として、神明駅（54件）、鯖江駅（50件）が挙げられています。

【公共交通の改善点】	【具体的な意見】
	■駐車場の整備 神明駅：54件、鯖江駅：50件、北鯖江駅：14件 ■駐輪場の整備 鯖江駅：6件、北鯖江駅：5件 ■駅舎環境の整備 北鯖江駅：12件、鯖江駅：7件 ■新駅の設置 鯖江駅～武生駅間：5件、サンドームふくい周辺：4件

⑥　バス（福鉄バス、つつじバス）の改善点（3つまで選択）（問 7）

- バスの改善点は、「運行本数の増便」が46%で最も多く、次いで「キャッシュレス決済への対応」が26%となっています。

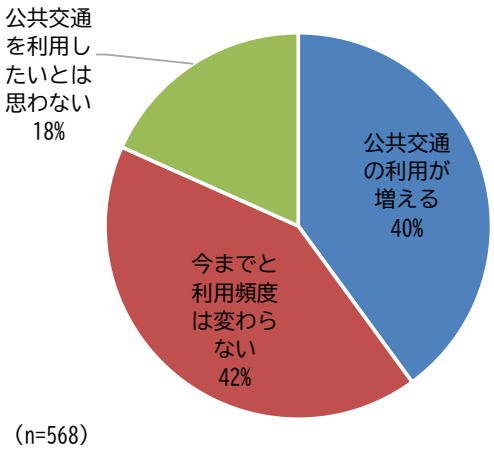
【公共交通の改善点】	【具体的な意見】
	■キャッシュレス決済の導入 

3）公共交通（鉄道、バス）への利用転換について

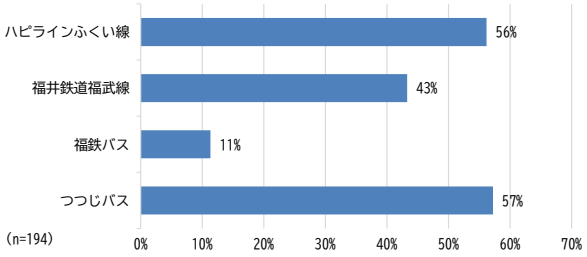
①　公共交通が改善された場合の利用意向（問 8）

- 公共交通が改善された場合、「公共交通の利用が増える」が40%、「公共交通を利用したいとは思わない」が18%となっています。
- 利用が増える公共交通として、「ハピラインふくい線」「つつじバス」「福井鉄道福武線」が40%以上となっています。

【利用意向】



【利用が増える公共交通】



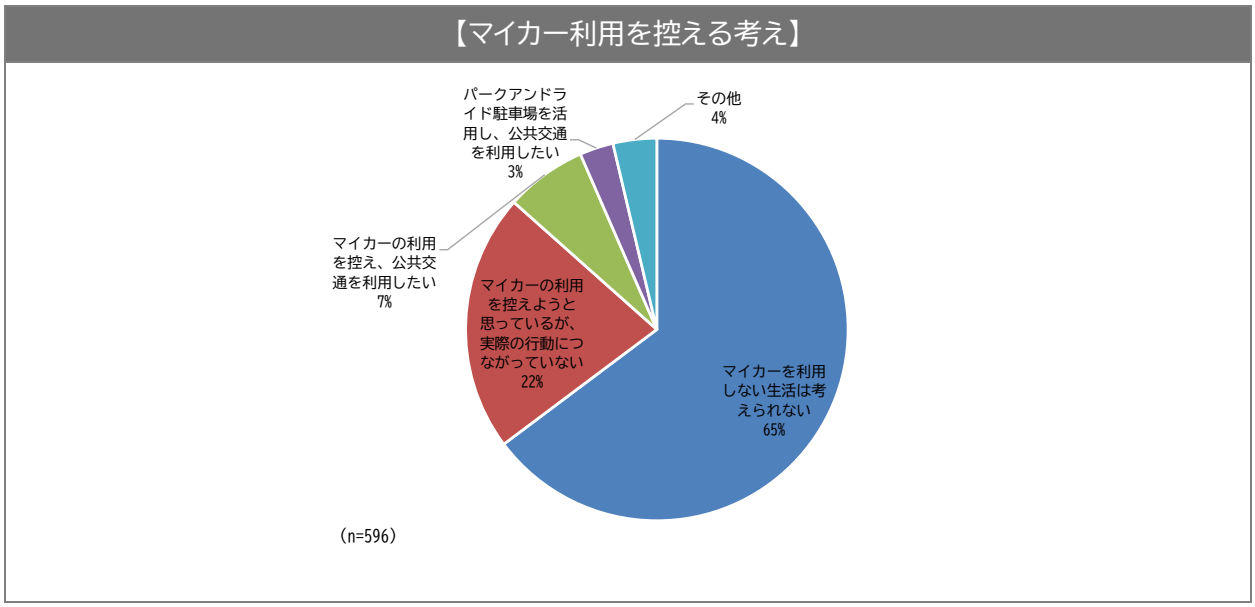
【公共交通を利用したいと思わない理由】

公共交通を利用したいとは思わない理由	件数
自家用車があるから	26
自家用車が便利だから	19
身体の調子が悪いため利用できない	8
今のところ車の運転ができるから	5
不便だから	4
自由な時間に行動できない	4
利用する機会がない	2
乗り継ぎが面倒	2
自家用車の方が楽だから	2
行きたいところに行けない	2
車の方が時間を気にしないしお金もあまりかからない	2
自家用車の方が早く移動できる	2
その他（1件ずつの回答）	19
合計	97

②　マイカー利用について（問 9）

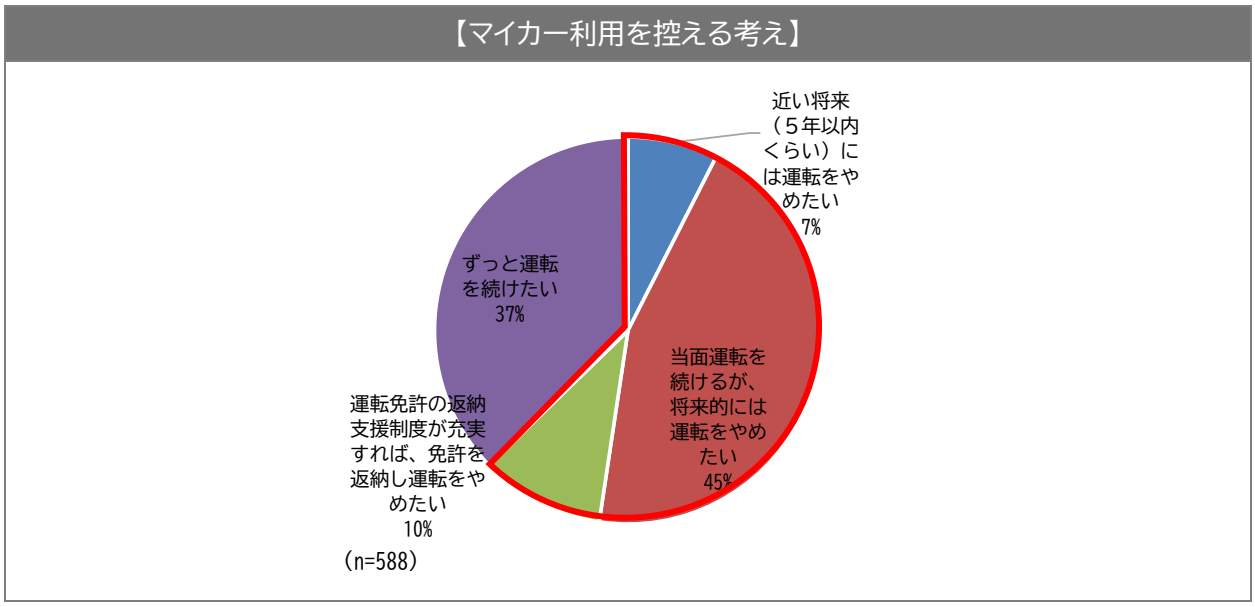
【マイカー利用を控える考えについて】

- 「マイカーの利用を控えようと思っているが、実際の行動につながっていない」と考えている方が22%となっています。



【運転の継続意向について】

- 「将来的に運転をやめたい」と考えている方が62%となっています。

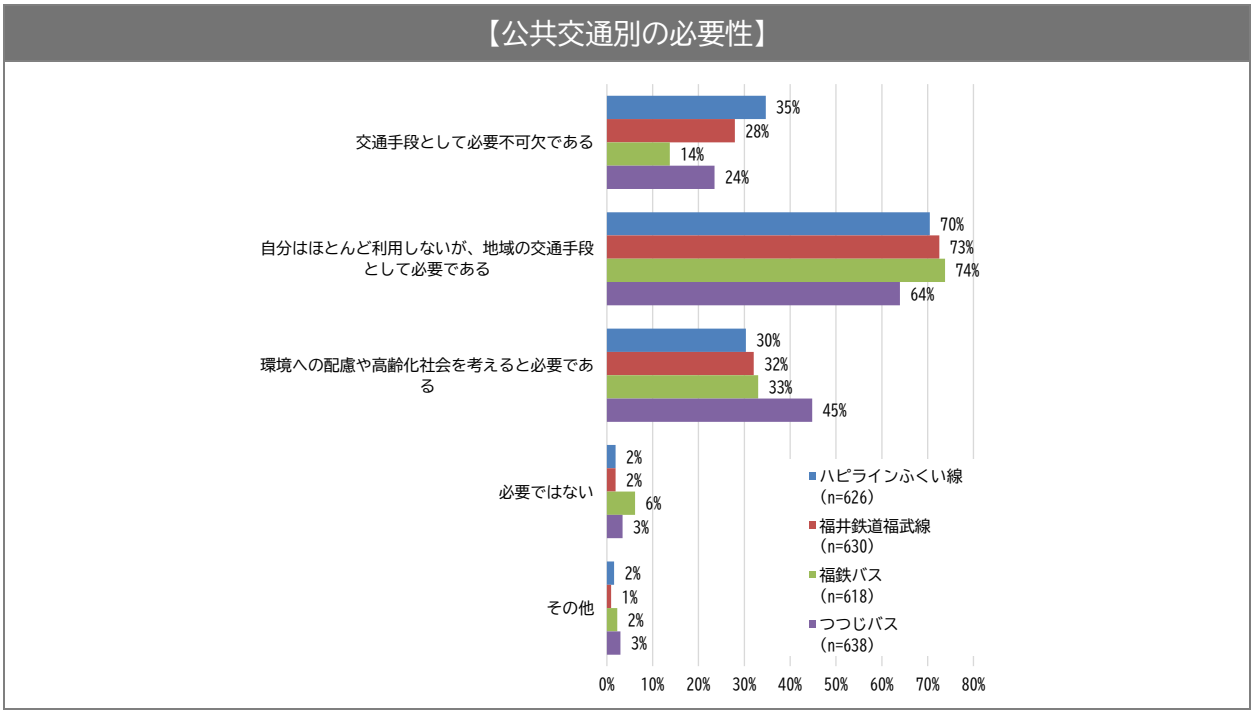


4）鯖江市の地域公共交通のあり方について

①　公共交通の必要性について（問 10）

- 全ての交通手段で、「自分はほとんど利用しないが、地域の交通手段として必要である」が60%以上となっています。
- つつじバスで、「環境への配慮や高齢化社会を考えると必要である」が45%と、他の交通手段より12ポイント以上高くなっています。また、福鉄バスで「交通手段として必要不可欠である」が14%と、他の交通手段より10%以上低くなっています。

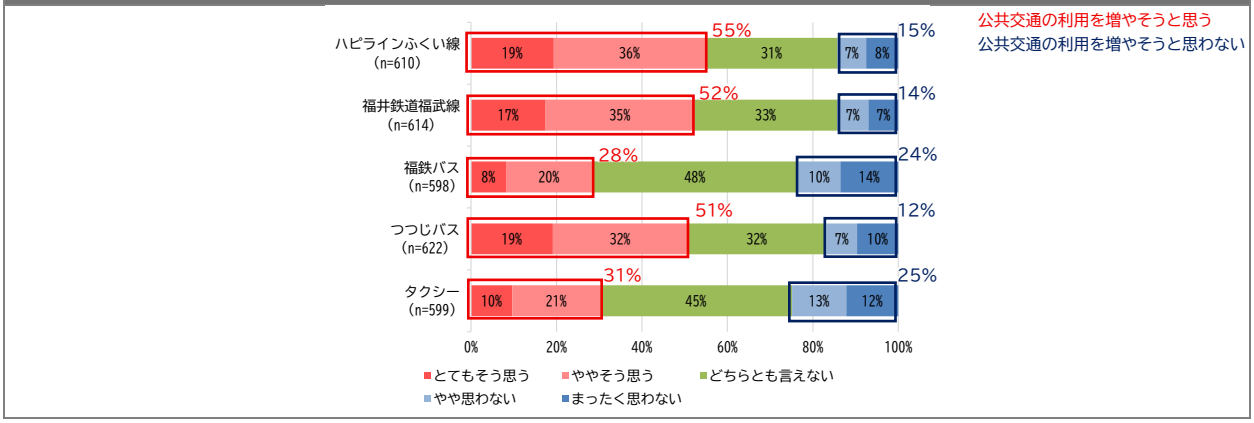
【公共交通別の必要性】



②　公共交通の利用意向について（問 11）

- ハピラインふくい線、福井鉄道福武線、つつじバスで、公共交通の利用を増やそうと思う方が50%以上となっています。

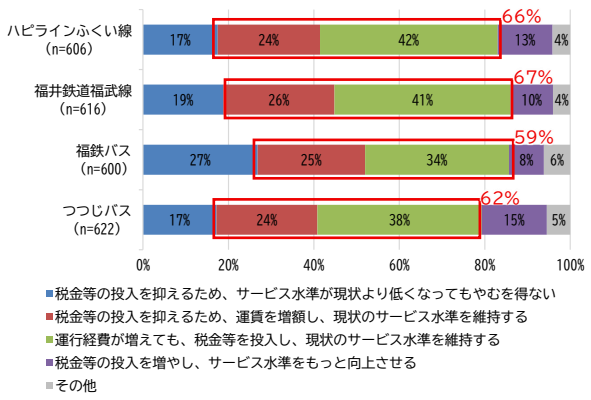
【持続的に確保するために、公共交通利用を増やそうと思うか】



③　運行経費と運行内容について（問 12）

- いずれの公共交通においても、運賃の増額または税金等の投入により「現状のサービス水準を維持する」が59%以上となっています。

【公共交通別の意見】

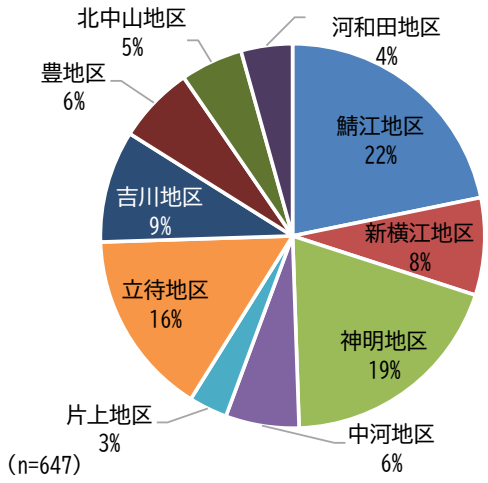


5）回答者の属性について

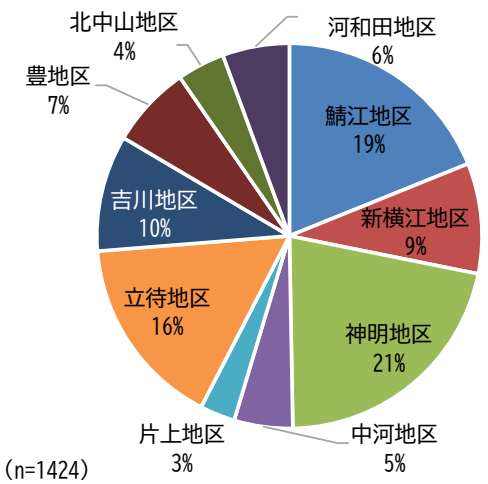
①　居住地（問 13（ア））

- 「鯖江地区」が22%と最も多く、次いで「神明地区」が19%、「立待地区」が16%となっています。
- 令和3年と概ね同様の居住割合となっています。

【居住地区（R8）】



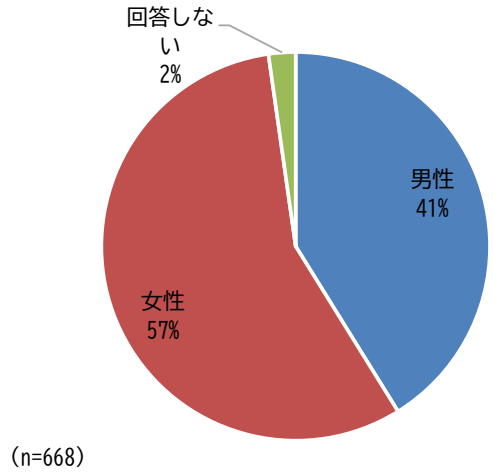
【居住地区（R3）】



②　性別（問 13（イ））

- 「男性」が41%、「女性」が57%となっています。

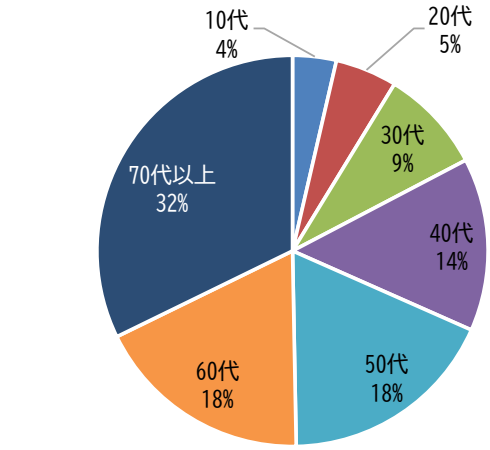
【性別】



③　年代(問 13(ウ))

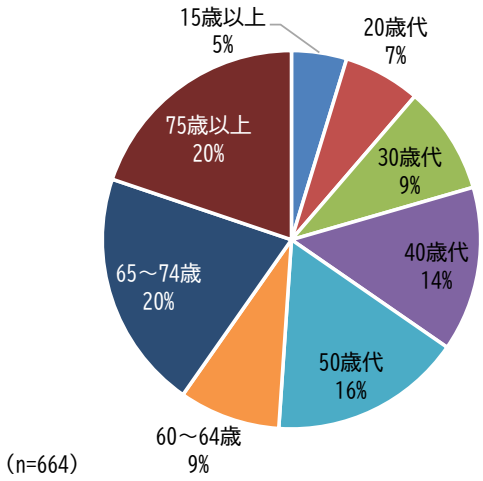
- 「70代以上」が32%と最も多く、次いで「50代」「60代」がそれぞれ18%となっています。
- 令和3年と概ね同様の年齢構成となっています。

④　【年代(R8)】



(n=664)

⑤　【年代(R3)】

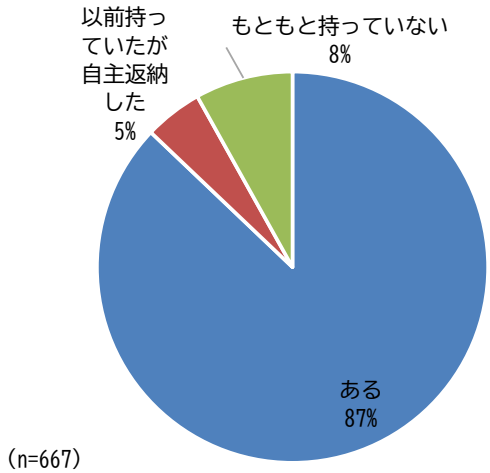


(n=664)

⑥　自動車運転免許の有無(問 13(エ))、家庭における車の有無(問 13(オ))

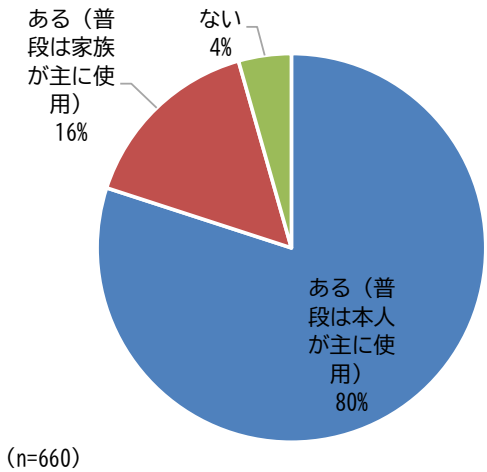
- 自動車運転免許の有無は、「ある」が87%と最も多くなっています。
- 家庭における車の有無は、「ある(普段は本人が主に使用)」が80%と最も多く、次いで「ある(普段は家族が主に使用)」が16%となっています。

【運転免許の保有状況】



(n=667)

【家庭における車の有無】



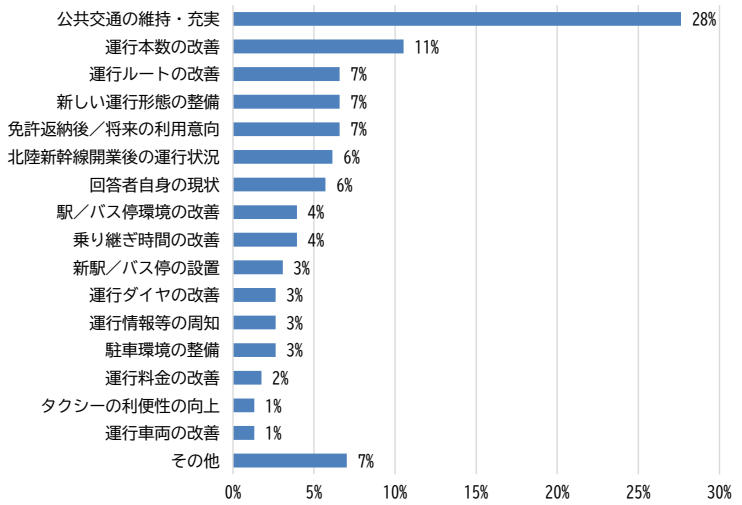
(n=660)

6）自由回答

【自由回答】

- 「公共交通の維持・充実」に関する意見・感想が28%と最も多く、次いで「運行本数の改善」が11%となっています。

【自由回答（上位は具体的意見を数点抜粋）】



- <u>自由回答一部抜粋</u>

①公共交通の維持・充実

近年高齢者のドライバーによる交通事故のニュースをよく聞きます。この福井県ももっと公共交通を充実させて、高齢者が運転免許を返納しても不自由なくどこへでもいけるという社会になっていけば良いなと思います。こうすることによって高齢者のドライバーによる事故が少しでも減れば良いなと思います。

②運行本数の改善

主要な時間帯の運行を増設した方がいいと思う。ちょうどいい時間になるものがあまりなく乗らないことが多い。

※ひとつの意見が複数カテゴリに該当することがあるため、合計は回答数を上回ることがあります。

第2章 利用者アンケートの概要

1. 調査の目的

■ バス車両に調査員が乗車したうえでの利用者に対する調査票の配布や主要鉄道駅での乗降客に対する定点配布により、利用実態や改善意見を調査しました。

2. 調査の概要

1） 調査日程

令和8年4月（平日：4月22日（水）　休日：4月19日（日））

鉄道：6時半～17時　バス：全便調査（7時～19時半）※調査日・路線による

2） 調査対象

下表に示す主要駅（ハピラインふくい線：2駅、福井鉄道福武線：3駅）における定点配布および、つつじバス全便を対象とした乗り込み調査を実施しました。

■鉄道

鉄軌道路線名	駅名
ハピラインふくい線	鯖江駅
	北鯖江駅
福井鉄道　福武線	神明駅
	西鯖江駅
	水落駅

■バス

名称	路線名	調査区間
つつじバス	循環線	ハピラインふくい鯖江駅～福井鉄道福武線神明駅～ハピラインふくい鯖江駅
	鯖江南・新横江線	嚮陽会館～めがね会館～ハピラインふくい鯖江駅
	神明線	公立丹南病院～ハピラインふくい北鯖江駅西口～神明駅
	片上・中河線	神明駅～片上公民館～公立丹南病院
	立待線	神明苑～立待公民館～神明苑
	吉川線	神明苑～吉川公民館～神明苑
	豊線	鯖江駅～豊公民館～鯖江駅
	北中山・中河線	嚮陽会館～ハピラインふくい鯖江駅～ハニー東陽店（川島北）
	河和田線	嚮陽会館～ハピラインふくい鯖江駅～鉱泉前

※国土数値情報ダウンロードサービスより、駅別乗降客数（R5）上位5駅で実施

3） 調査手法

鉄道に対しては、主要駅で乗降客に対する定点配布調査を実施しました。

つつじバスに対しては、バス車両に調査員を配置し、利用者へ調査票および使い捨て鉛筆の配布を実施しました。なお、回収率および結果の精度向上のため、車両の混雑状況等に応じて、適宜直接聞き取りを実施しました。

郵送または WEB 回答または調査員による車内での直接回収により、調査票を回収しました。

4） 回収数

回収数および回収率は、以下の通りです。

	配布枚数	回収数	回収率
鉄道	2,392	504	21.1%
つつじバス	612	508	83.0%

3. 調査項目の基本構成

No	鉄道	つつじバス
1	利用鉄道	利用路線
2	乗車時刻	乗車時刻
3	乗車駅	乗車バス停
4	降車駅	降車バス停
5	支払方法	支払方法
6	居住地	居住地
7	性別	性別
8	年齢	年齢
9	免許保有の有無	免許保有の有無
10	自動車保有の有無	自動車保有の有無
11	移動の目的	移動の目的
12	主な行き先	主な行き先
13	乗り換えがある場合の移動手段	乗り換えがある場合の移動手段
14	利用頻度	利用頻度
15	満足度	満足度
16	公共交通の必要性	改善希望点
17	改善希望点	改善された場合の利用意向
18	自由記述	自由記述

共通の設問（※支払方法、改善希望点は選択肢が一部異なる）

4. 集計上の留意事項

■ 各設問の集計は、無回答を除いた合計を母数（100%）として各選択項目の回答数の割合を示しています。

■ パーセンテージについては、小数点第1位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%に一致しません。

■ 表記のスペース上、煩雑になることを避けるため、3%未満の値を省略しているものがあります。

■ 複数回答の設問は、有効回答者数を母数（100%）としているため、選択項目の回答数の割合は、合計すると 100%以上となります。

■「n」は有効回答数を表しています。

5. 利用者アンケートの調査結果（単純集計）

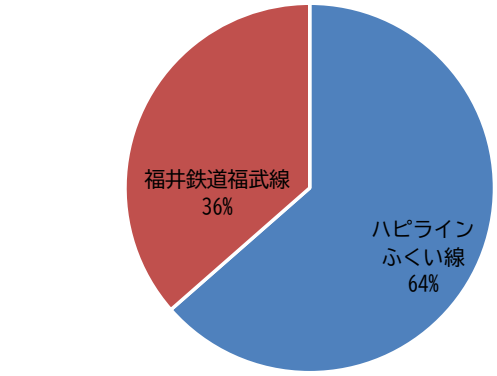
1） 今回の利用について

① 利用鉄道、利用路線

鉄道｜利用鉄道

- ハピラインふくい線が64%、福井鉄道福武線が36%となっています。

【利用した鉄道路線】

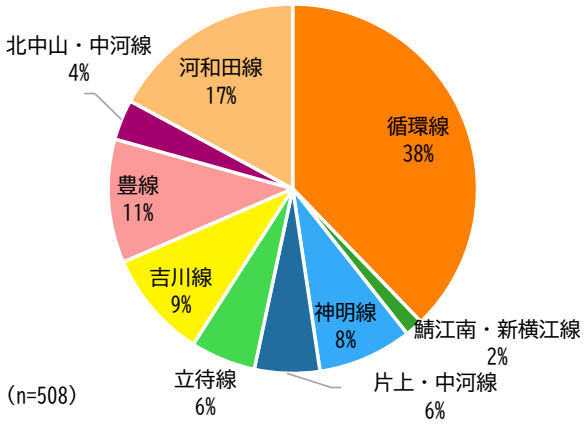


（n=502）

つつじバス｜利用路線

- 「循環線」が38%と最も多く、次いで「河和田線」が17%、「豊線」が11%となっています。

【利用した路線】

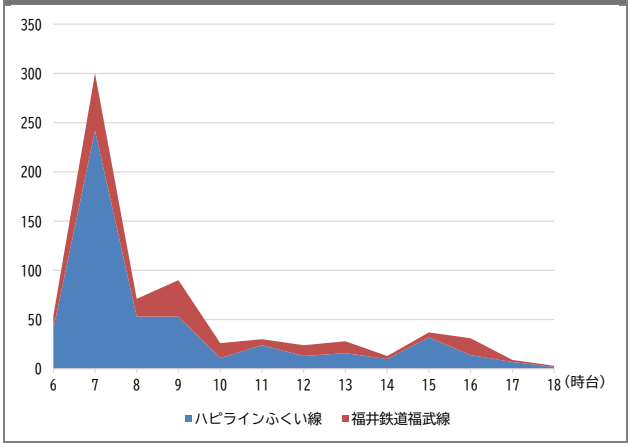


（n=508）

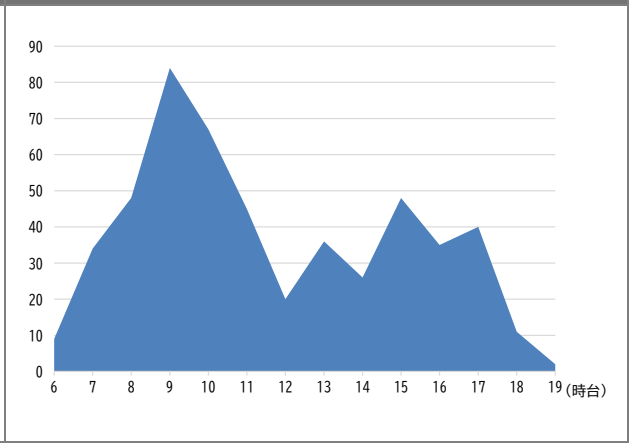
②　共通｜乗車時刻

- ハピラインふくい線、福井鉄道福武線のピークは、どちらも7時台となっています。
- つつじバスのピークは、8時～10時の通勤･通学時間帯となっています。

【乗車時刻(鉄道)※】



【乗車時刻(つつじバス)】



※調査票配布時間:6時半～17時

③　OD

- ハピラインふくい線を利用した福井駅への移動が多くなっています。
- アル･プラザ鯖江や鉄道駅(神明駅、鯖江駅)を起終点とする利用が多くなっています。

【鉄道】

順位	トリップ	路線	移動数	順位	トリップ	路線	移動数
1 位	鯖江駅→福井駅	ハピライン ふくい線	248	6 位	西鯖江駅→福井駅	福井鉄道 福武線	14
2 位	北鯖江駅→福井駅	ハピライン ふくい線	110	7 位	神明駅→福井駅	福井鉄道 福武線	12
3 位	福井駅→鯖江駅	ハピライン ふくい線	38	8 位	神明駅 →福井城址大名町駅	福井鉄道 福武線	10
4 位	鯖江駅→敦賀駅	ハピライン ふくい線	20	9 位	水落駅 →福井城址大名町駅	福井鉄道 福武線	9
5 位	水落駅→福井駅	福井鉄道 福武線	18	10 位	福井駅→西鯖江駅	福井鉄道 福武線	8

※配布地点は、鯖江駅、北鯖江駅、神明駅、西鯖江駅、水落駅の5駅

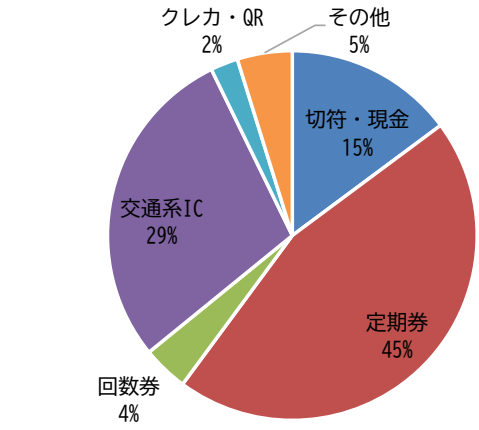
【つつじバス(路線別)】

順位	トリップ	路線	移動数	順位	トリップ	路線	移動数
1 位	アル･プラザ鯖江 →神明駅	循環線	13	6 位	神明駅 →アル･プラザ鯖江	循環線	8
2 位	アル･プラザ鯖江 →鯖江駅	循環線	11	7 位	鯖江駅 →公立丹南病院	循環線	6
3 位	鯖江駅→神明駅	循環線	9	8 位	同着8位(移動数5)が6つ存在するため割愛		
3 位	福井高専→鯖江駅	豊線	9				
3 位	河和田コミュニティセンター →鯖江駅	河和田線	9				

④　共通｜支払方法

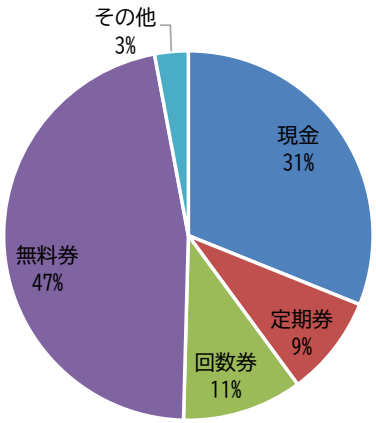
- 鉄道での支払方法は、「定期券」が45%と最も多く、次いで「交通系IC」が29%、切符・現金が15%となっています。
- つつじバスの支払方法は、「無料券」が47%と最も多く、次いで「現金」が31%となっています。

【鉄道】



（n=499）

【つつじバス】



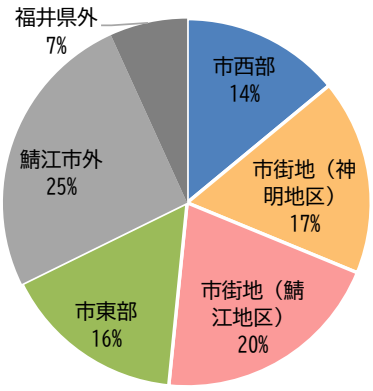
（n=476）

2）あなた自身について

①　共通｜居住地

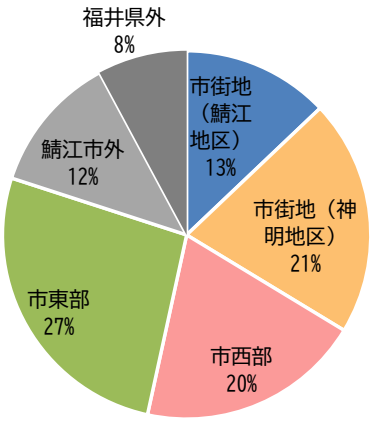
- 鉄道では、「鯖江市外」が25%と最も多く、次いで「市街地（鯖江地区）」が20%、「市西部」が17%となっています。
- つつじバスは、「市東部」が27%と最も多く、次いで「市街地（神明地区）」が21%、「市西部」が20%となっています。

【鉄道】



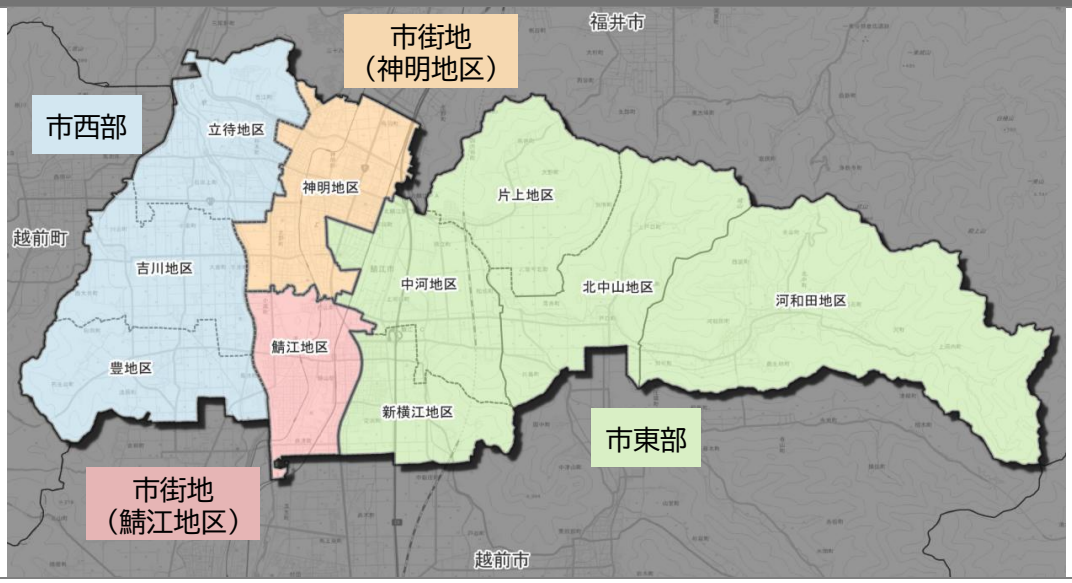
（n=471）

【つつじバス】



（n=395）

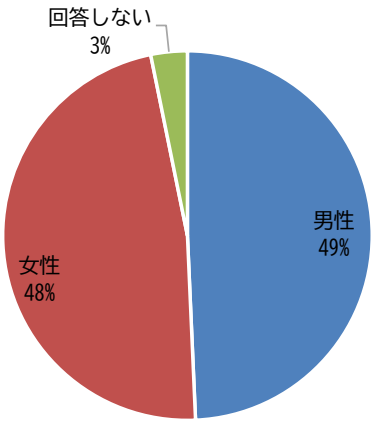
【居住地区分】



②　共通｜性別

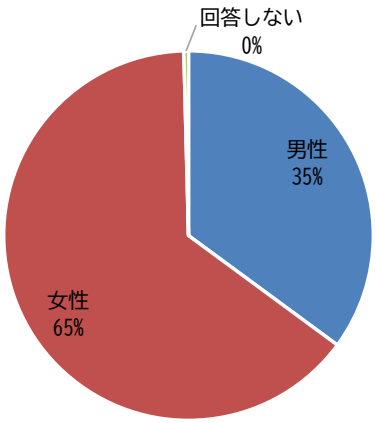
- 鉄道は、「男性」が49%、「女性」が48%となっています。
- つつじバスは、「男性」が35%、「女性」が65%となっています。

【鉄道】



(n=501)

【つつじバス】

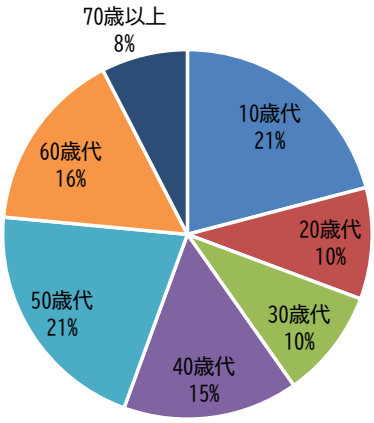


(n=493)

③　共通｜年齢

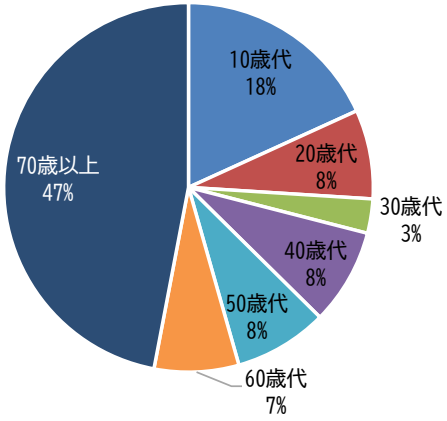
- 鉄道は、「10歳代」「50歳代」が21%と最も多く、次いで「60歳代」が16%となっています。
- つつじバスは、「70歳以上」が47%と最も多く、次いで「10歳代」が18%となっています。

【鉄道】



(n=502)

【つつじバス】

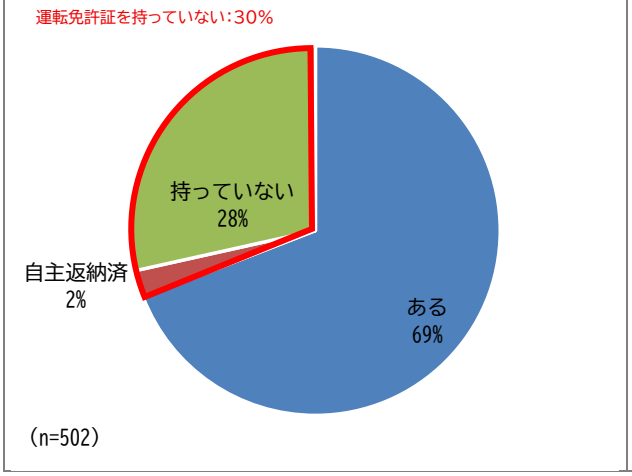


(n=500)

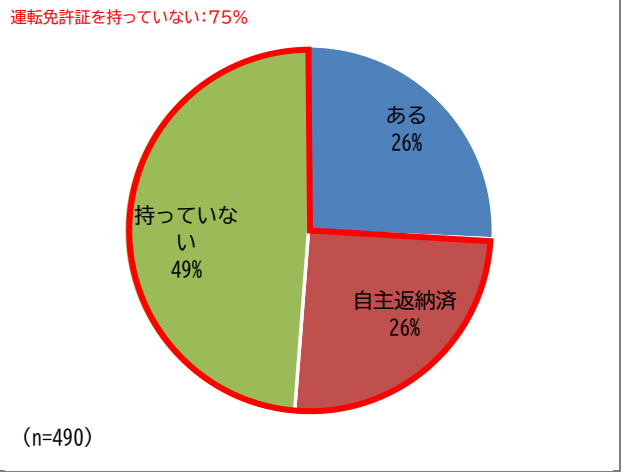
④　共通｜運転免許証の有無

- 鉄道は、運転免許証を持っている方が69%、持っていない方が30%となっています。
- つつじバスは、運転免許証を持っている方が26%、持っていない方が75%となっています。

【鉄道】



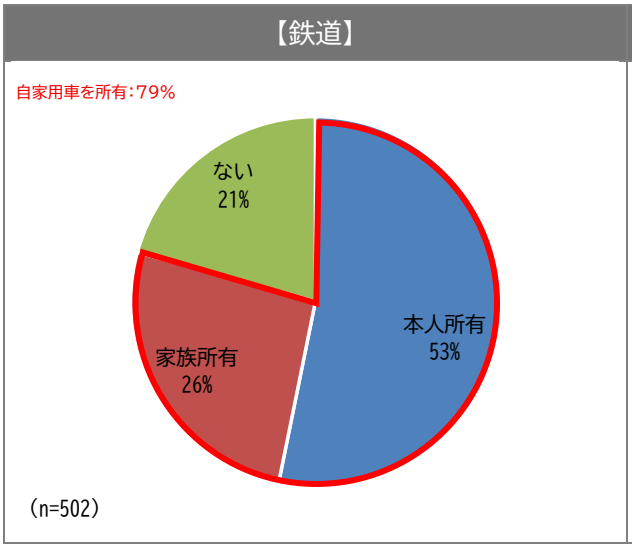
【つつじバス】



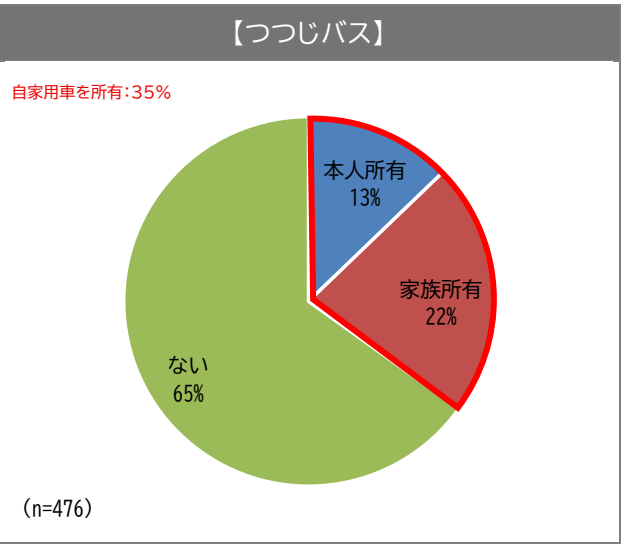
⑤　共通｜自家用車の有無

- 鉄道は、自家用車を所有している方が79%、所有していない方が21%となっています。
- つつじバスは、自家用車を所有している方が35%、所有していない方が65%となっています。

【鉄道】



【つつじバス】

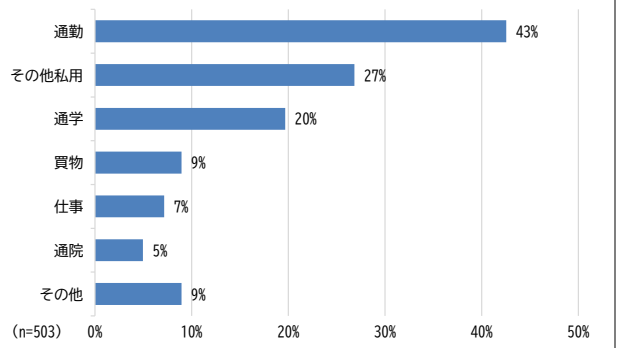


3）今回の移動の目的と主な行き先

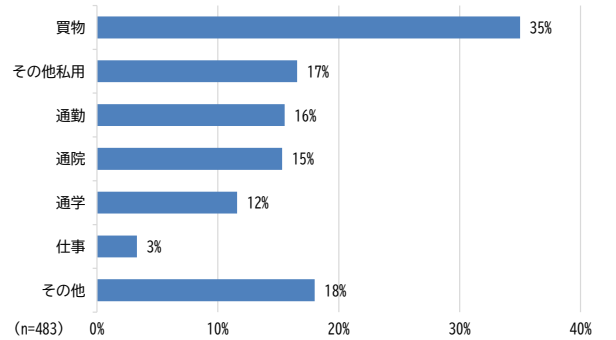
①　共通｜主要な目的

- 鉄道は、「通勤」が43%と最も多く、次いで「その他私用」が27%、「通学」が20%となっています。
- つつじバスは、「買物」が35%と最も多く、次いで「その他私用」が17%、「通勤」が16%となっています。

【鉄道】



【つつじバス】



②　共通｜主な行き先

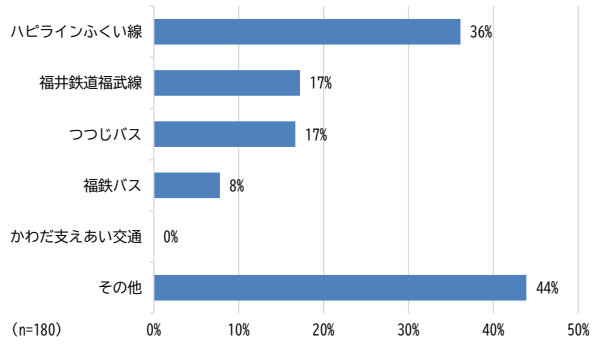
- 鉄道を用いた主な行き先は、「福井県庁」等の福井市が多くなっています。
- つつじバスを用いた主な行き先は、「アル・プラザ鯖江」が最も多く、次いで「公立丹南病院」となっています。

【鉄道】							
順位	施設名	所在地	訪問数	順位	施設名	所在地	訪問数
1 位	福井県庁	福井市	17	6 位	西山公園	鯖江地区	11
2 位	福井駅	福井市	16	7 位	武生高校	越前市	10
3 位	福井高専	豊地区	14	8 位	西武福井店	福井市	10
4 位	ハピリン	福井市	12	9 位	福井市役所	福井市	8
5 位	アル・プラザベル	福井市	11	10 位	藤島高校	福井市	6
【つつじバス】							
順位	施設名	所在地	訪問数	順位	施設名	所在地	訪問数
1 位	アル・プラザ鯖江	中河地区	78	6 位	鯖江市図書館 文化の館	神明地区	7
2 位	公立丹南病院	神明地区	14	7 位	福井高専	豊地区	7
3 位	鯖江高校	鯖江地区	11	8 位	アル・プラザベル	福井市	7
4 位	パワーシティ鯖江ワイプラザ	鯖江地区	11	9 位	鯖江市役所	鯖江地区	5
5 位	鯖江駅	鯖江地区	8	10 位	西山公園	鯖江地区	4

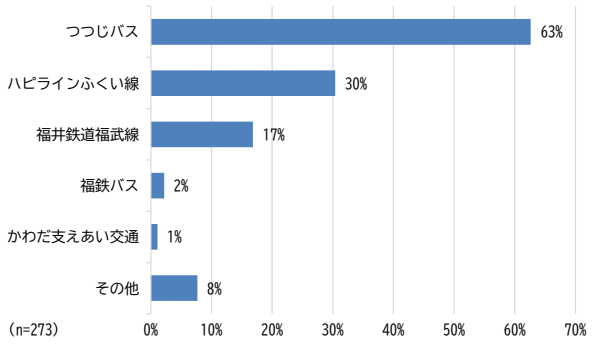
③　共通｜乗り換えがある場合の移動手段

- 鉄道は、「ハピラインふくい線」が36%と最も多く、次いで「福井鉄道福武線」、「つつじバス」が17%となっています。
- つつじバスは、「つつじバス」が63%と最も多く、次いで「ハピラインふくい線」が30%、「福井鉄道福武線」が17%となっています。

【鉄道】



【つつじバス】



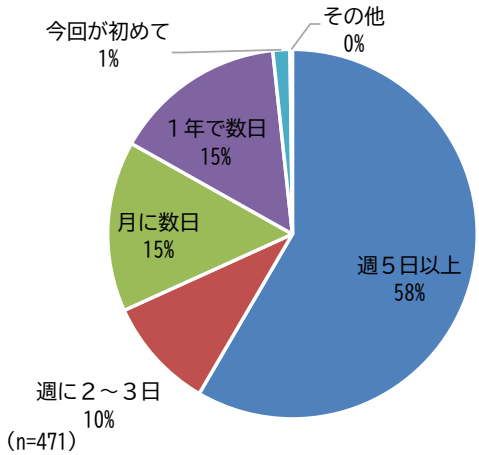
4）公共交通について

※以降は、初回回答時のみの回答

①　共通｜利用頻度

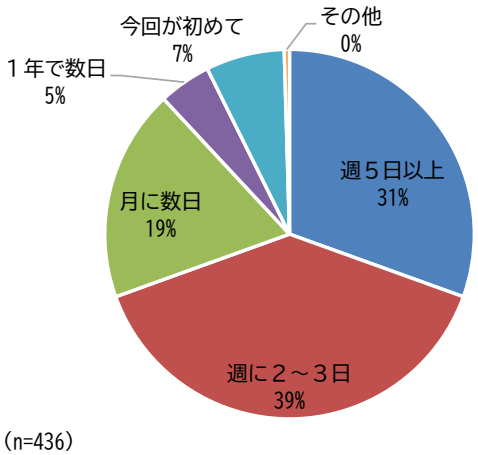
- 鉄道は、「週5日以上」が58%と最も多く、次いで「月に数日」、「1年で数日」が15%となっています。
- つつじバスは、「週に2～3日」が39%と最も多く、次いで「週5日以上」が31%、「月に数日」が19%となっています。

【鉄道】



(n=471)

【つつじバス】

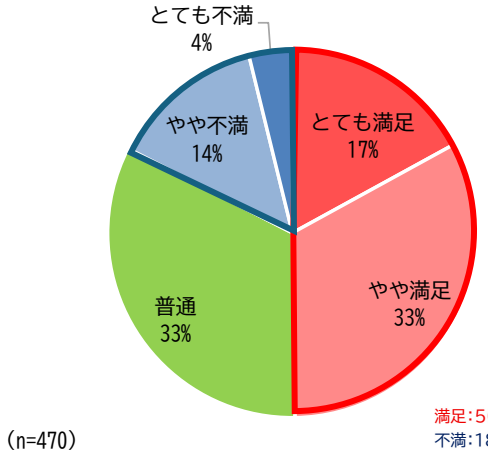


(n=436)

②　共通｜満足度

- 鉄道は、「満足」が50%、「不満」が18%となっています。
- つつじバスは「満足」が63%、「不満」が6%となっています。

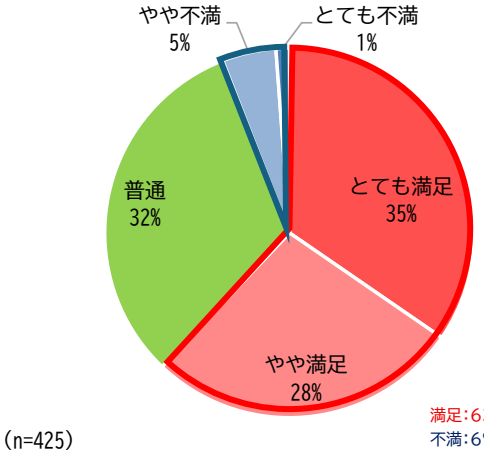
【鉄道】



(n=470)

満足:50%
不満:18%

【つつじバス】

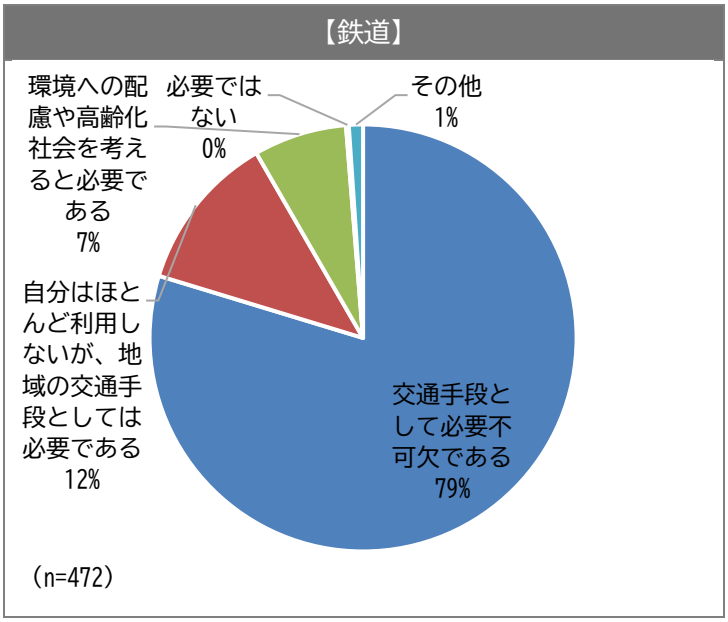


(n=425)

満足:63%
不満:6%

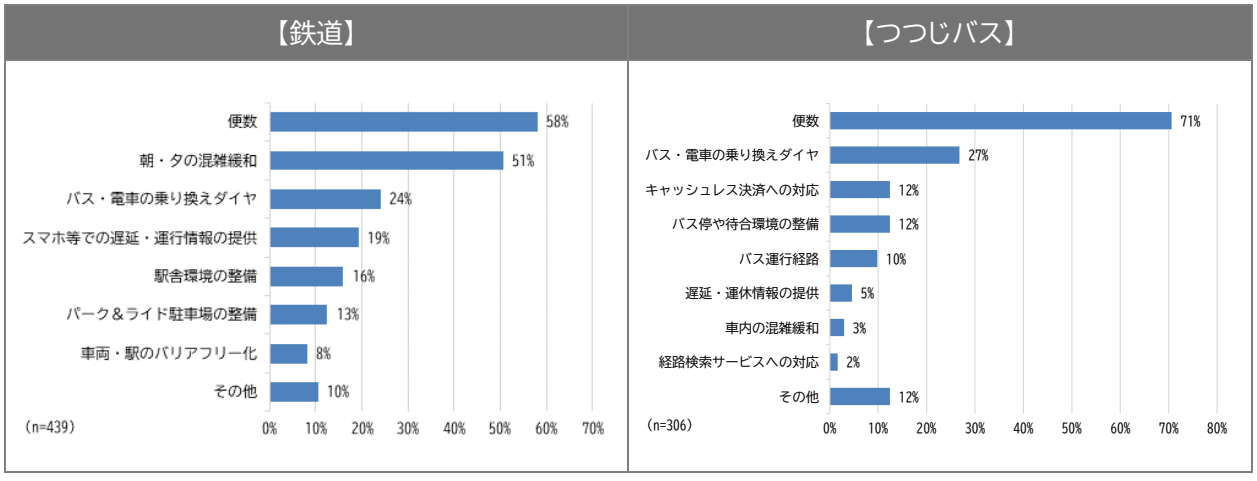
③　鉄道｜必要性

- 「交通手段として必要不可欠である」が79%と最も多く、次いで「自分はほとんど利用しないが、地域の交通手段としては必要である」が12%となっています。



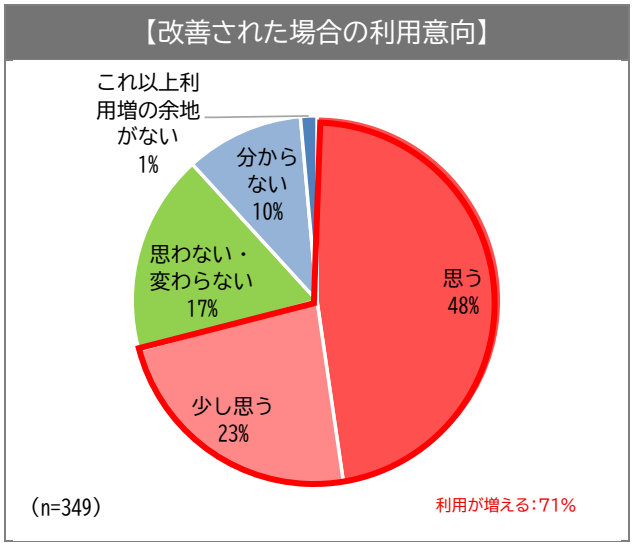
④　共通｜改善希望点

- 鉄道に対する改善希望点は、「便数」が58%と最も多く、次いで「朝・夕の混雑緩和」が51%となっています。
- つつじバスに対する改善希望点は、「便数」が71%と最も多く、次いで「バス・電車の乗り換えダイヤ」が27%となっています。



⑤　つつじバス｜改善された場合の利用意向

- 前述のつつじバスに対する改善希望点が改善された場合の利用意向は、「利用が増える」が71%となっています。

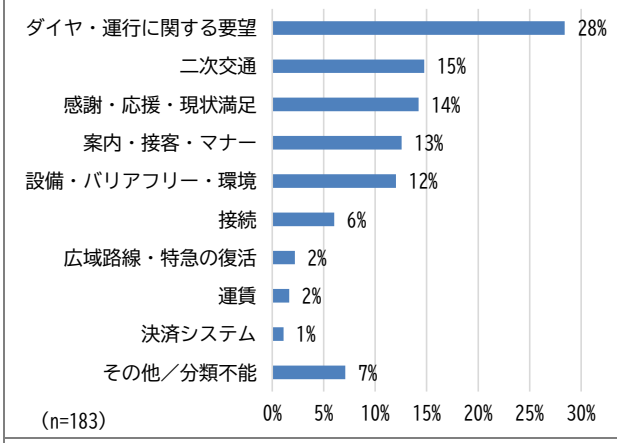


⑥　共通｜自由記述

※自由回答を文章ごとに分割し集計しているため、回答数と一致していない

- 鉄道では、「ダイヤ・運行に関する要望」が28%と最も多く、次いで「二次交通」が15%となっています。
- つつじバスでは、「ダイヤ・運行に関する要望」が24%と最も多く、次いで「ダイヤの維持・継続」が14%となっています。

【鉄道】



- 自由回答一部抜粋

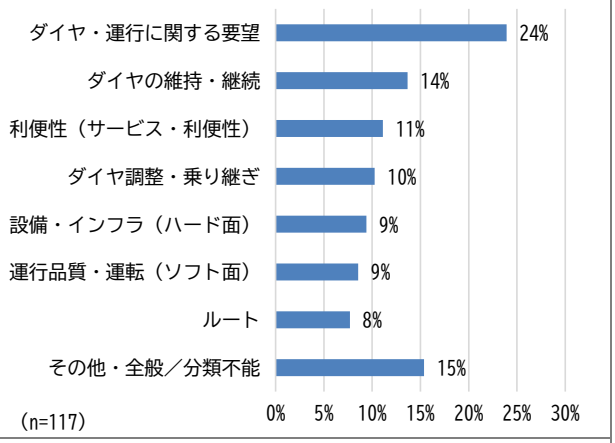
①ダイヤ・運行に関する要望

朝夕の通勤時間帯には、電車の増結等の対応を実施してほしいと感じています。（2両では車内が大変混雑するため）

②二次交通

駅に接続などの情報が貼ってあれば、存在が身近になるかも。

【つつじバス】



- 自由回答一部抜粋

①ダイヤ・運行に関する要望

イベント時（RENEW の時）などは増便してほしい。

②利便性（サービス・利便性）

配偶者の自主返納により、公共交通を利用せざるを得なくなった者に対する援助を検討してほしい。

※ひとつの意見が複数カテゴリに該当することがあるため、合計は回答数を上回ることがあります。

第3章 高校生･高専生アンケートの概要

1. 調査の目的

■高校生･高専生の皆様から日常生活の移動手段や公共交通に対するご意見をいただき、今後の持続可能な公共交通のあり方などを検討するため、アンケートを実施しました。

2. 調査の概要

1） アンケート配布手法

〇鯖江市内の高校生･高専生へ依頼文を郵送

（住民基本台帳を用いて、1,000 人を無作為抽出）

〇鯖江市内の高校（鯖江高校･福井高専）に通う高校生･高専生に依頼文を配布

※鯖江市内の高校（鯖江高校･福井高専）での配布には、既に回答済みの方は、回答不要である旨をアナウンス

2） 調査時期

〇鯖江市内の高校生･高専生への郵送

発送日：令和8年4月16日

締切日：令和8年5月11日

〇鯖江市内の高校（鯖江高校･福井高専）での配布

配布日：令和8年6月23日

締切日：令和8年7月3日

3） 調査手法

調査依頼文記載の二次元コードを用いた WEB 回答

4） 回収数

回収数および回収率は、以下の通りです。

	配布枚数	回収数	回収率
鯖江市内の高校生･高専生	1,000	267	26.7%
鯖江市内の高校配布	全生徒	382	－

※郵送分で回答した生徒は回答不要としているため、鯖江市内の高校配布単独の回収率は算出不可。

3. 調査項目の基本構成

アンケート調査項目	
Ⅰ.個人属性	･学校名、学年、住所
Ⅱ.日常生活上の移動について	･登下校の時間帯 ･登下校に用いる交通手段 ･登下校に利用している駅･停留所 ･登下校の際に不便と感じていること（鯖江市内の公共交通） ･改善が必要と思われる事項（鯖江市内を通るバス）
自由意見	･自身の登下校に対する自由意見

4. 集計上の留意事項

■ 各設問の集計は、無回答を除いた合計を母数（100%）として各選択項目の回答数の割合を示しています。

■ パーセンテージについては、小数点第1位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%に一致しません。

■ 表記のスペース上、煩雑になることを避けるため、3%未満の値を省略しているものがあります。

■ 複数回答の設問は、有効回答者数を母数（100%）としているため、選択項目の回答数の割合は、合計すると100%以上となります。

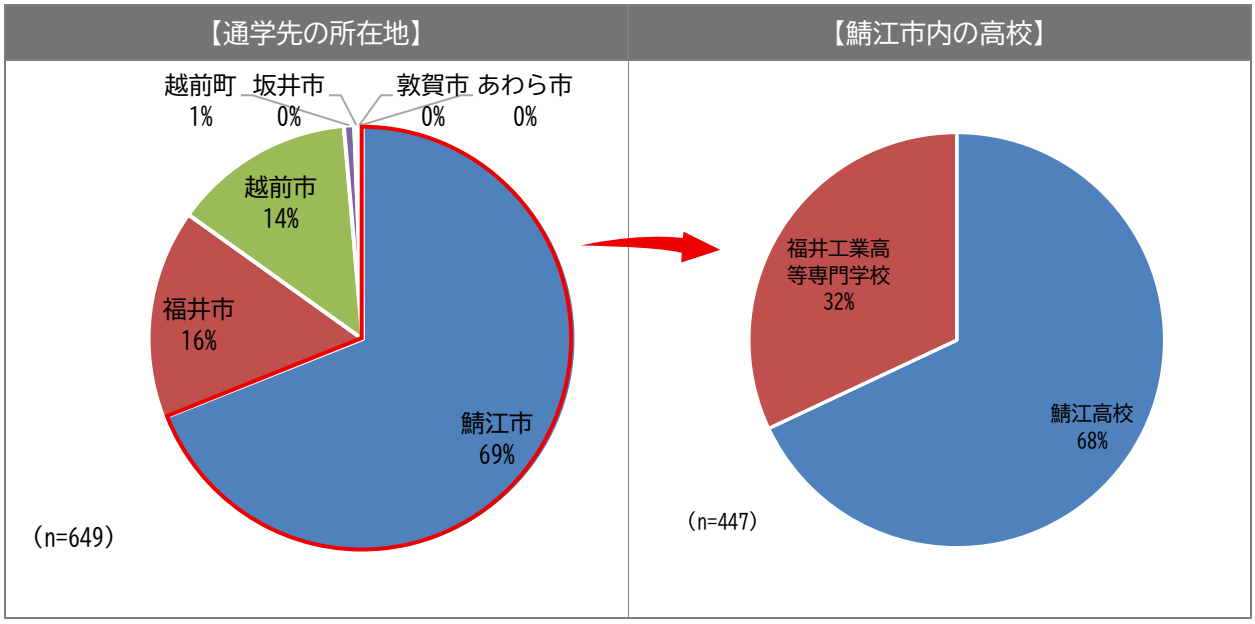
■「n」は有効回答数を表しています。

5. 高校生･高専生アンケートの調査結果（単純集計）

1） あなた自身について

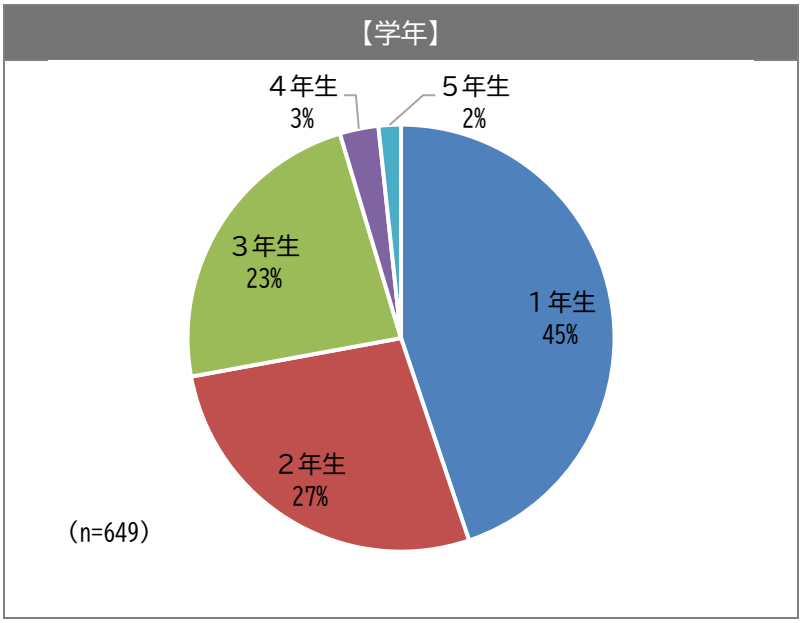
① 通学先

- 「鯖江市」が69%と最も多く、次いで「福井市」が16%、「越前市」が14%となっています。
- 鯖江市内の通学先内訳は、「鯖江高校」が68%、「福井工業高等専門学校」が32%となっています。



② 学年

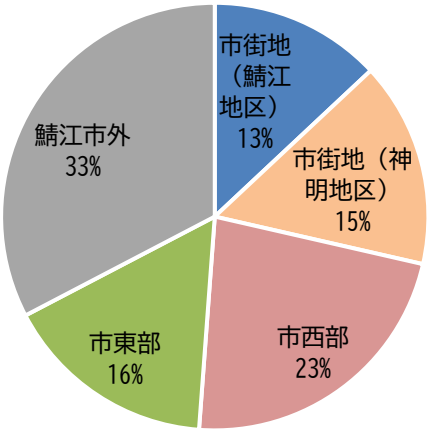
- 「1年生」が47%と最も多く、次いで「2年生」が27%、「3年生」が23%となっています。



③　居住地

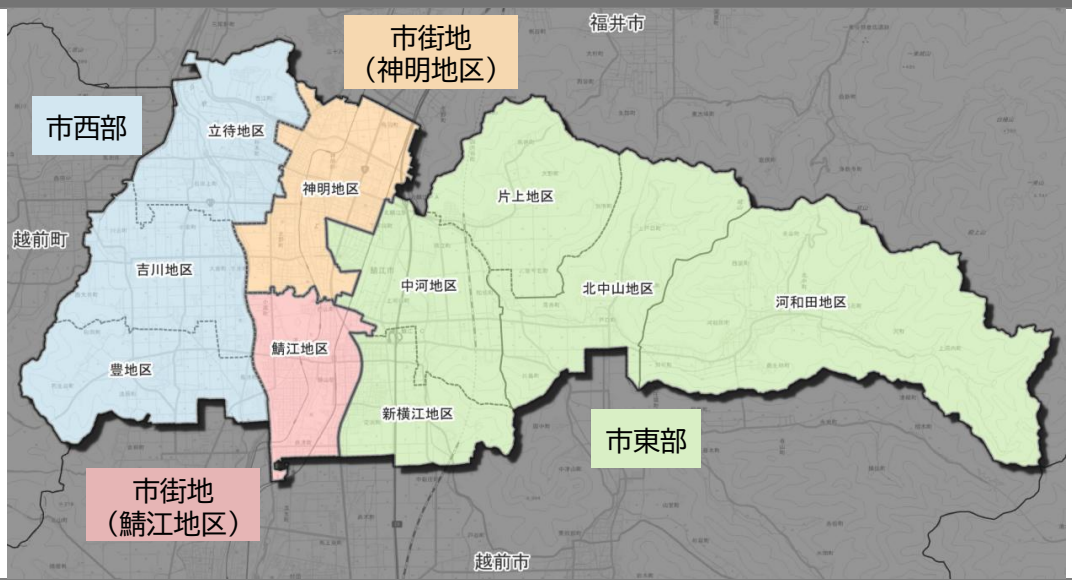
- 「鯖江市外」が33%と最も多く、次いで「市西部」が23%、「市東部」が16%となっています。

【居住地】



（n=637）

【居住地区分】

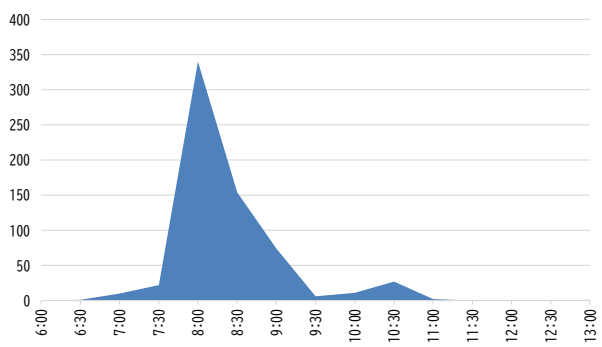


2）日常生活上の移動について

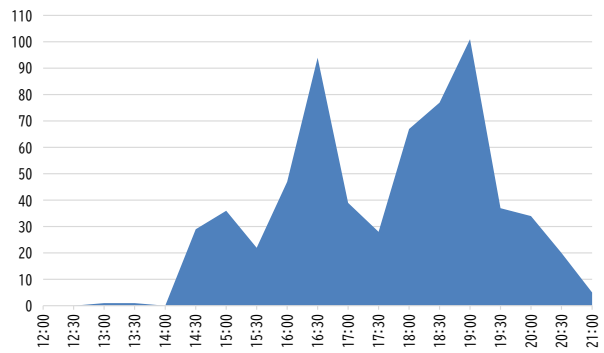
①　登下校の時間帯

- 登校時間のピークは、8時頃となっています。
- 下校時間のピークは、16時半頃、19時頃の2回となっています。

【登校時間帯】



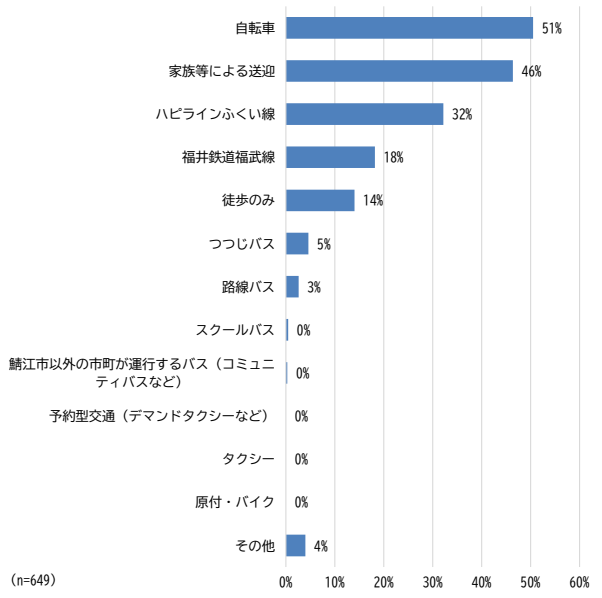
【下校時間帯】



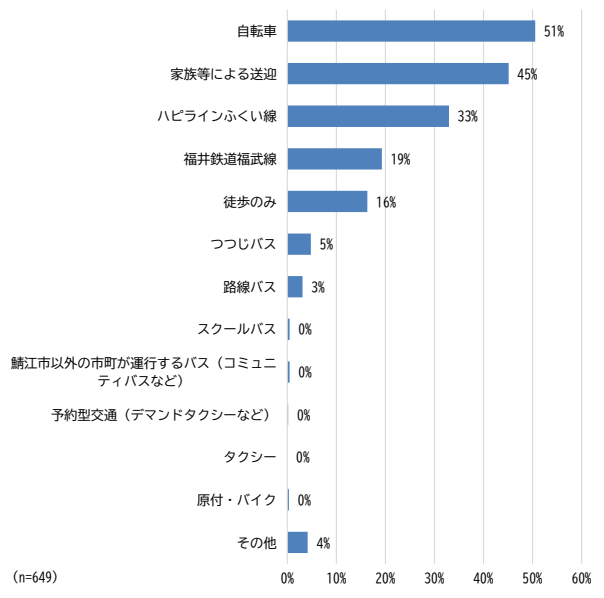
②　登下校に用いる交通手段

- 登校に用いる交通手段は、「自転車」が51%と最も多く、次いで「家族等による送迎」が46%、「ハピラインふくい線」が32%となっています。
- 下校に用いる交通手段は、「自転車」が51%と最も多く、次いで「家族等による送迎」が45%、「ハピラインふくい線」が33%となっています。

【登校に用いる交通手段】



【下校に用いる交通手段】



③　登下校に用いる駅・停留所

- 自宅側の駅は「神明駅」「鯖江駅」「北鯖江駅」、通学先側の駅は「鯖江駅」が多くなっています。
- 自宅側の停留所は「神明駅」、通学先側の停留所は「鯖江駅」が多くなっています。

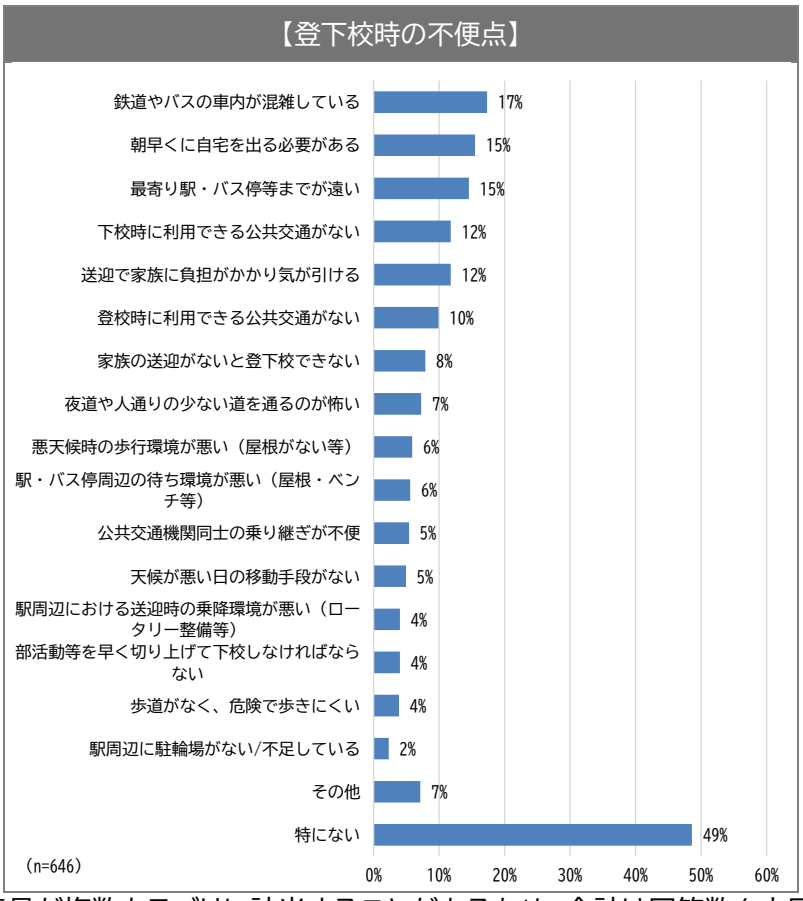
【自宅側の駅】				【通学先側の駅】			
順位	駅名	鉄道会社	回答数	順位	駅名	鉄道会社	回答数
1 位	神明駅	福井鉄道福武線	64	1 位	鯖江駅	ハピラインふくい線	119
2 位	鯖江駅	ハピラインふくい線	59	2 位	サンドーム西駅	福井鉄道福武線	46
3 位	北鯖江駅	ハピラインふくい線	52	3 位	福井駅	福井鉄道福武線	32
4 位	福井駅	福井鉄道福武線	20	4 位	しきぶ駅	ハピラインふくい線	24
5 位	水落駅	福井鉄道福武線	19	5 位	北府駅	福井鉄道福武線	21
6 位	武生駅	ハピラインふくい線	14	6 位	武生駅	ハピラインふくい線	16
7 位	鳥羽中駅	福井鉄道福武線	15	7 位	福大前西福井駅	えちぜん鉄道(福井鉄道直通)	12
8 位	西鯖江駅	福井鉄道福武線	14	7 位	田原町駅	福井鉄道福武線	12
9 位	越前花堂駅	ハピラインふくい線	13	9 位	西鯖江駅	福井鉄道福武線	8
10 位	南条駅	ハピラインふくい線	10	9 位	仁愛女子高校駅	福井鉄道福武線	8

【自宅側の停留所】				【通学先側の停留所】			
順位	駅名	路線	回答数	順位	駅名	路線	回答数
1 位	神明駅	つつじバス	5	1 位	鯖江駅	つつじバス	22
2 位	福井駅	鯖江市外	4	2 位	福井高専	つつじバス	8
2 位	鯖江駅	つつじバス	4	3 位	福井高校前	鯖江市外	4
3 位	武生駅	鯖江市外	3	3 位	福井駅	鯖江市外	4
3 位	うるしの里会館	つつじバス	3	3 位	武生東高校	鯖江市外	4
6 位	戸口	つつじバス	2	3 位	神明駅	つつじバス	4
				7 位	科学技術高校入口	鯖江市外	2
				7 位	朝日	鯖江市外	2

※回答数が１の停留所は省略

④　鯖江市内の公共交通に対して、登下校時に不便と感じていること

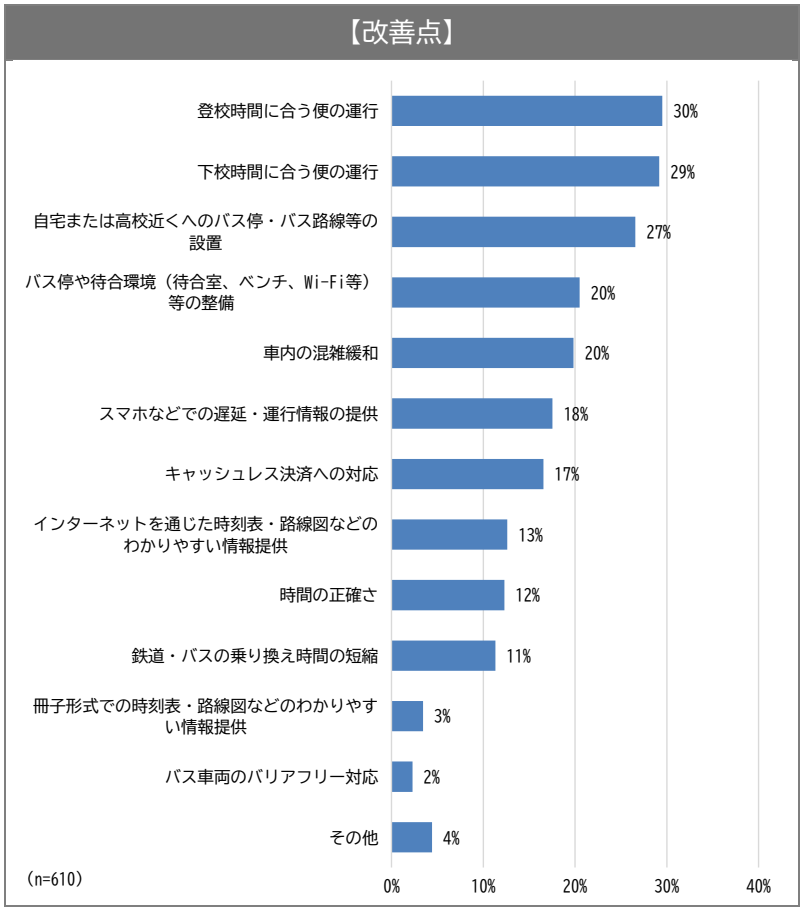
- 登下校時に不便と感じていることは、「鉄道やバスの車内が混雑している」が17%と最も多く、次いで「朝早くに自宅を出る必要がある」、「最寄り駅･バス停等までが遠い」が15%となっています。
- 「特になし」が49%と多くなっています。



※ひとつの意見が複数カテゴリに該当することがあるため、合計は回答数を上回ることがあります。

⑤　鯖江市内を通るバスについて、改善が必要と思われる事項

- 「登校時間に合う便の運行」が30%と最も多く、次いで「下校時間に合う便の運行」が29%、「自宅または高校近くへのバス停・バス路線等の設置」が27%となっています。

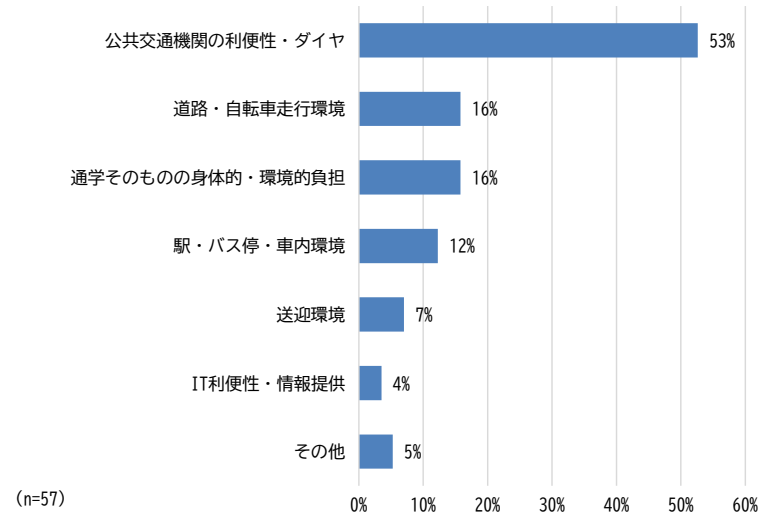


3）自由回答

※自由回答を文章ごとに分割し集計しているため、回答数と一致していません

- 「公共交通の利便性･ダイヤ」に関する意見が53%と最も多く、次いで、「道路･自転車走行環境」、「通学そのものの身体的･環境的負担」が16%となっています。

【自由回答（上位は具体的意見を抜粋）】



自由回答一部抜粋

①公共交通の利便性･ダイヤ

･平日、豊線のつつじバスに乗って福井高専までいくときに満員で乗れないことがあります。 通学の時間帯は1本しかバスがなく、そのバスに乗れなかった日は徒歩で学校に行く必要があり遅刻しそうになるので、できれば改善して頂きたいです

･登校時のハピラインの時間帯に車両数を増やしてほしい（非常に混雑しているから）

②駅･バス停･車内環境

･北鯖江駅の階段が汚い、水捌けが悪い、滑る危険がある、カビてる、屋根が壊れてる、ゴミが落ちてる。

第4章 地域･路線カルテ

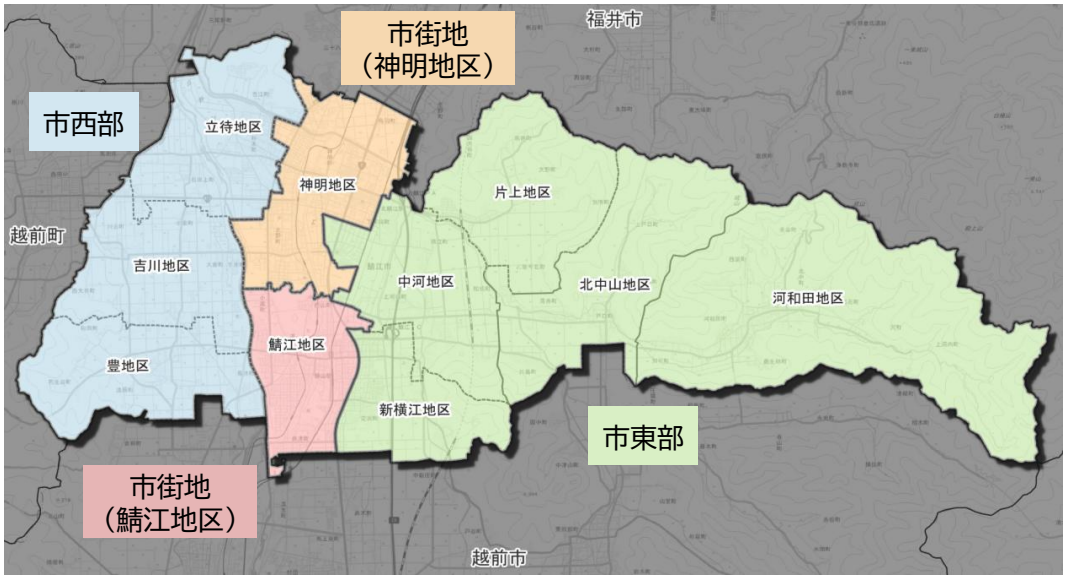
1. 地域カルテ

地域ごとの公共交通の現状や市民･利用者ニーズを把握･整理するため、地域カルテを作成しました。

地域区分は、市民アンケートの地区別配布数の検討に用いた4区分（市西部、市街地（神明地区）、市街地（鯖江地区）、市東部）で整理しています。

各地域カルテは、令和7年度のつつじバス利用実績、市民アンケート結果、利用者アンケート（鉄道･つつじバス）結果をもとに作成しています。

【地域カルテの4区分】



地域区分	地区	ページ
市西部	立待地区、吉川地区、豊地区	P120
市街地（神明地区）	神明地区	P121
市街地（鯖江地区）	鯖江地区	P122
市東部	新横江地区、中河地区、片上地区、北中山地区、河和田地区	P123

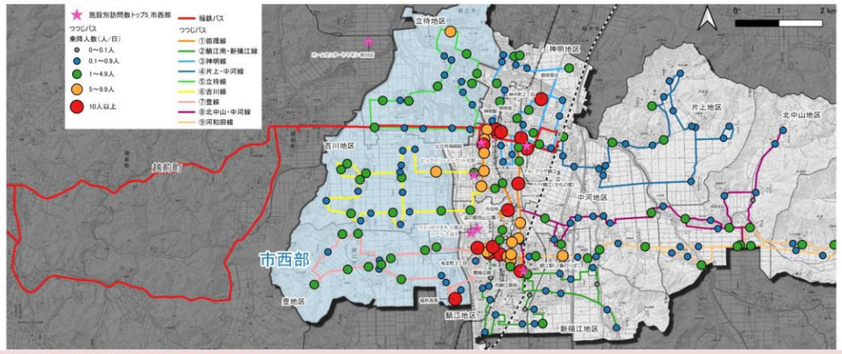
地域区分	現状と課題
市西部	･ハピラインふくい線や福井鉄道福武線を高頻度で利用する人が他地域より多くなっています。 ･市中心部の商業施設や医療施設、福井高専への移動が多くなっています。 **→鉄道駅や市中心部へアクセスしやすい公共交通の維持･向上を図る必要があります。**
市街地（神明地区）	･福井鉄道福武線やつつじバス利用者の利用頻度が他地域より高くなっています。 ･地域内の商業施設や医療施設への移動が多くなっています。 **→地域内の回遊性を高めつつ、引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**
市街地（鯖江地区）	･ハピラインふくい線や福井鉄道福武線の機会利用が他地域より多くなっています。 ･地域内の商業施設や医療施設への移動が多くなっています。 **→地域内の回遊性を高めつつ、引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**
市東部	･ハピラインふくい線、つつじバス利用者の利用頻度が他地域より高くなっています。 ･市中心部の商業施設や医療施設への移動が多くなっています。 **→鉄道駅や市中心部へアクセスしやすい公共交通の維持･向上を図る必要があります。**

鯖江駅･神明駅等を拠点に、広域交流幹線軸およびつつじバス循環線と各地域を結ぶ公共交通ネットワークの維持･充実を図ります。

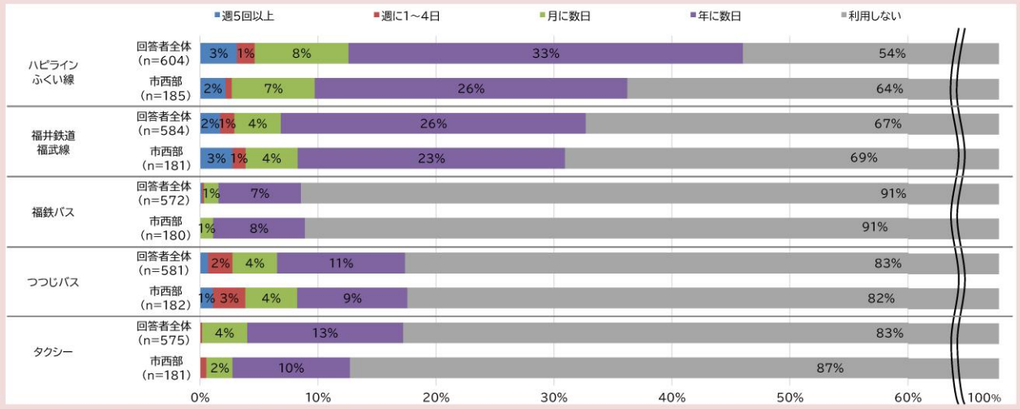
市西部（立待地区、吉川地区、豊地区）

○公共交通の利用状況

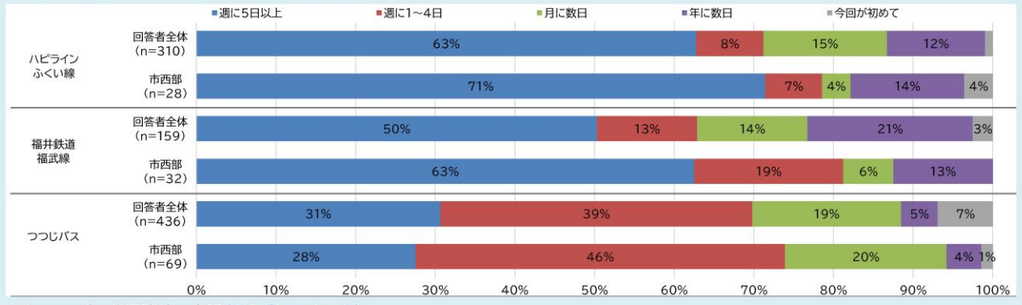
■地域内の交通ネットワーク



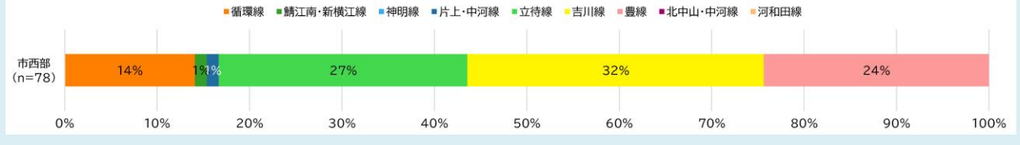
■市民の公共交通の利用頻度（市民アンケート）



■公共交通利用者の利用頻度（利用者アンケート）



■つつじバス利用路線の内訳（利用者アンケート）



■主な訪問施設（市民アンケート）

【全目的】

	施設名	トリップ数
1 位	アル・プラザ鯖江	11
2 位	ハーツ さばえ	10
3 位	公立丹南病院	6
3 位	鯖江駅	6
5 位	ビッグベリーマーケット北野	5

■買物

	施設名	トリップ数
1 位	ハーツ さばえ	8
1 位	アル・プラザ鯖江	8
3 位	ホームセンターヤマキシ 朝日店	5
3 位	ビッグベリーマーケット北野	5
5 位	クスリのアオキ 小黒店	4

■通院

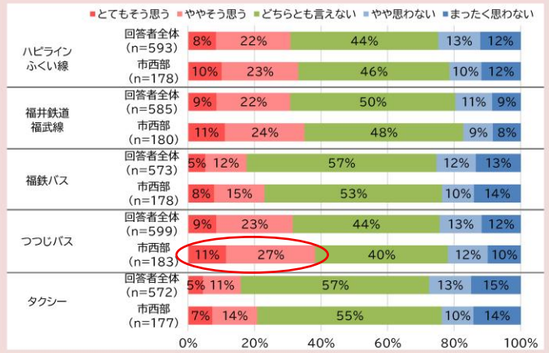
	施設名	トリップ数
1 位	公立丹南病院	5
2 位	ともだち診療所	1
2 位	池端病院	1
2 位	高野病院	1
2 位	ヒロカイロプラクティック院	1

○市民・利用者の意向

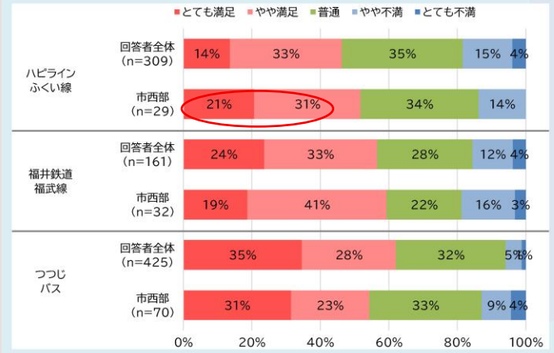
	市民		鉄道利用者		つつじバス利用者	
	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
市西部	204	26%	66	–	78	–
回答者全体	672	26%	504	21%	508	83%

※利用者アンケートの回答者全体には、市外居住者の回答も含む

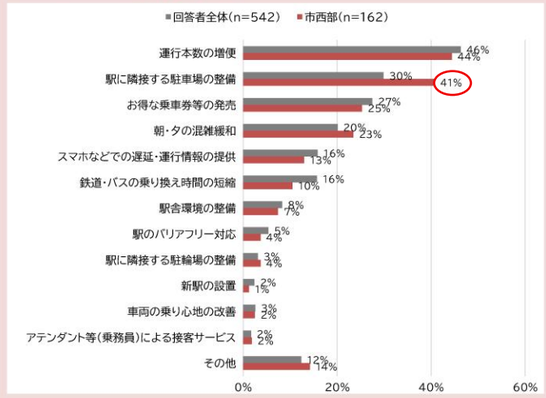
■市の取組が充分だと思うか（市民アンケート）



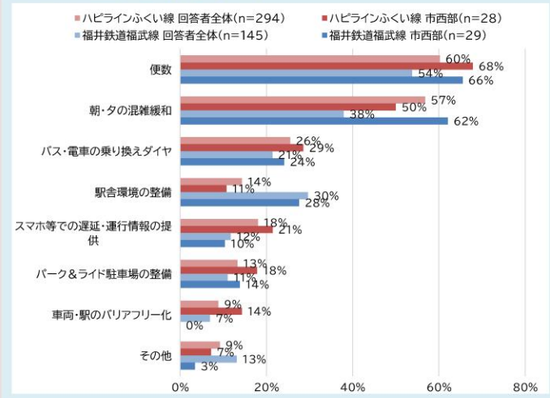
■公共交通の満足度（利用者アンケート）



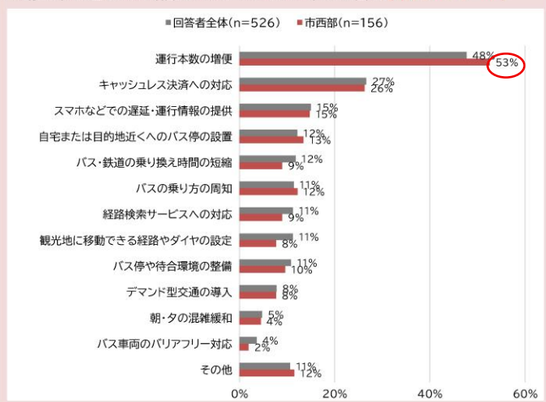
■鉄道の改善点（市民アンケート）



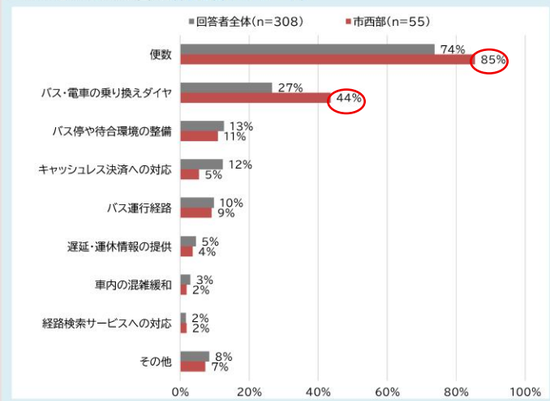
■鉄道の改善点（利用者アンケート）



■鯖江市を通るバス（福鉄バス、つつじバス）の改善点（市民アンケート）



■つつじバスの改善点（利用者アンケート）

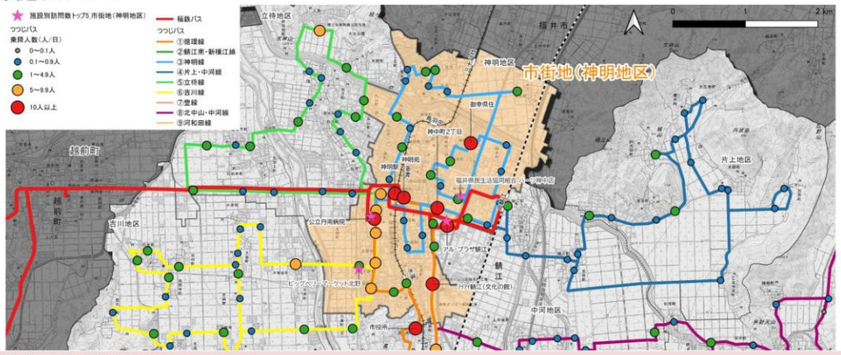


・市西部内のバス停では、「福井高専」で一日あたりの乗降者数が10人以上となっています。
・市民アンケートでは、いずれの公共交通機関も「利用しない」が60%以上となっている一方で、利用者アンケートでは、ハピラインふくい線、福井鉄道福武線で「週に5日以上」の高頻度利用者がそれぞれ71%、63%と多くなっています。
・吉川線の利用割合が32%と最も多く、次いで立待線、豊線、循環線が多くなっています。
・「アル・プラザ鯖江」「ハーツ さばえ」への買物目的の移動や「公立丹南病院」への通院目的の移動が多くなっています。
・ハピラインふくい線、福井鉄道福武線、つつじバスに対しては「市の取組が充分である」と回答した方が約35%であるのに対し、福鉄バス、タクシーは約20%にとどまっています。
・ハピラインふくい線、福井鉄道福武線は全回答者と比較して利用者満足度が高い一方で、つつじバスは全回答者と比較して利用者満足度が低くなっています。
・鉄道の改善点として、市民からは「運行本数の増便」「駅に隣接する駐車場の整備」、利用者からは「便数」「朝・夕の混雑緩和」が求められています。
・鯖江市を通るバスの改善点として、市民からは「運行本数の増便」「キャッシュレス決済への対応」、利用者からは「便数」「バス・電車の乗り換えダイヤ」が求められています。

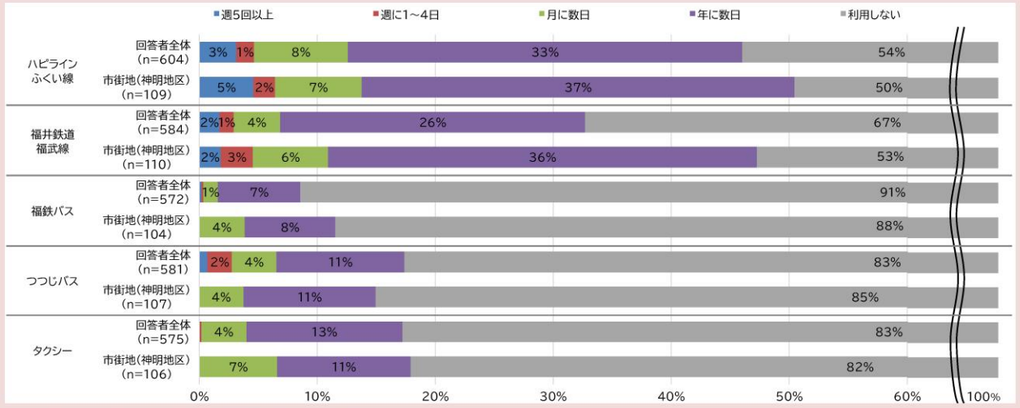
市街地（神明地区）

○公共交通の利用状況

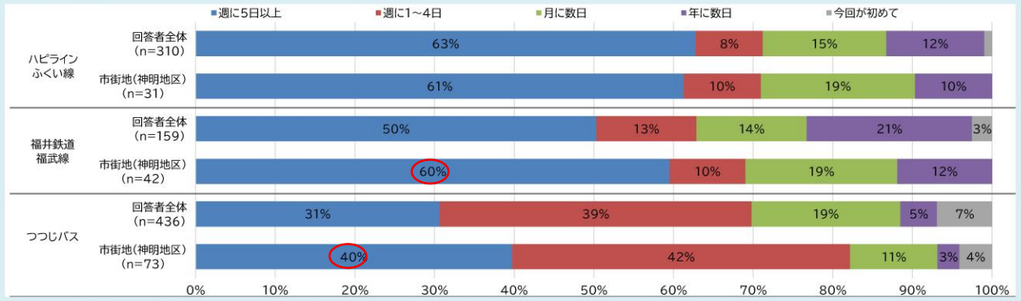
■地域内の交通ネットワーク



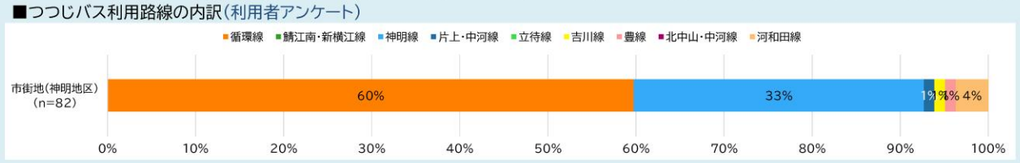
■市民の公共交通の利用頻度（市民アンケート）



■公共交通利用者の利用頻度（利用者アンケート）



■つつじバス利用路線の内訳（利用者アンケート）



■主な訪問施設（市民アンケート）

【全目的】

	施設名	トリップ数
1 位	アル・プラザ鯖江	13
2 位	公立丹南病院	4
3 位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 東鯖江店	3
3 位	福井県民生活協同組合 ハーツ神中店	3
3 位	パワーシティ 鯖江ワイプラザ	3

■買物

	施設名	トリップ数
1 位	アル・プラザ鯖江	12
2 位	パワーシティ 鯖江ワイプラザ	3
2 位	ビッグベリーマーケット北野	3
2 位	福井県民生活協同組合 ハーツ神中店	3
5 位	アルビス さばえ鳥羽店	2

■通院

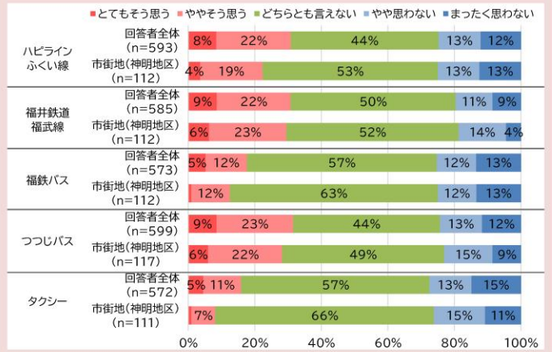
	施設名	トリップ数
1 位	公立丹南病院	2
2 位	馬場医院	1
2 位	土屋医院	1
2 位	木村病院	1
2 位	カマカズ医院	1

○市民・利用者の意向

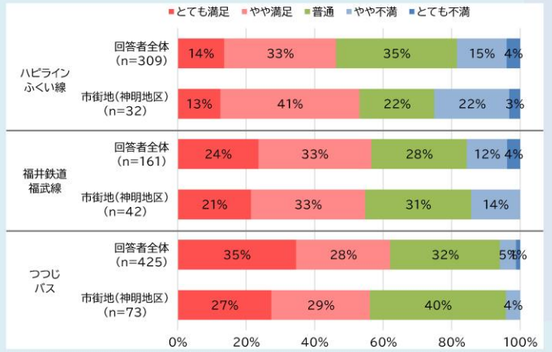
	市民		鉄道利用者		つつじバス利用者	
	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
市街地（神明地区）	126	21%	81	–	82	–
回答者全体	672	26%	504	21%	508	83%

※利用者アンケートの回答者全体には、市外居住者の回答も含む

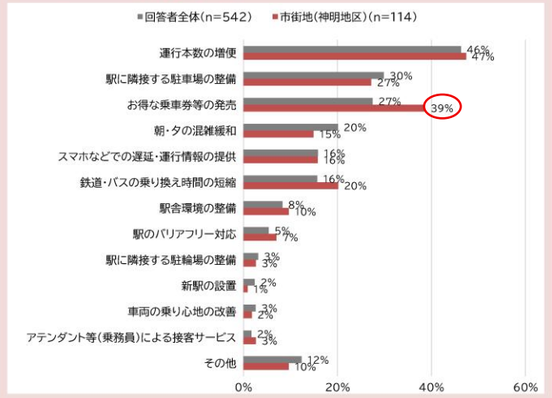
■市の取組が充分だと思うか（市民アンケート）



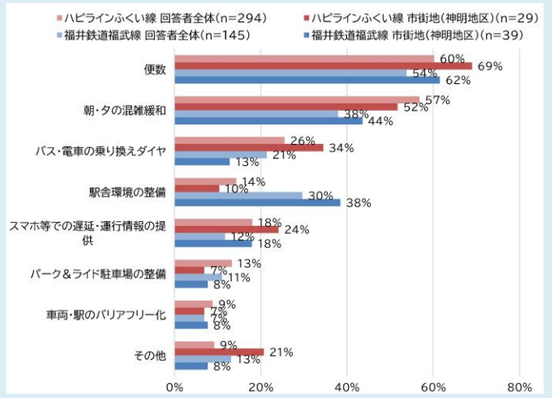
■公共交通の満足度（利用者アンケート）



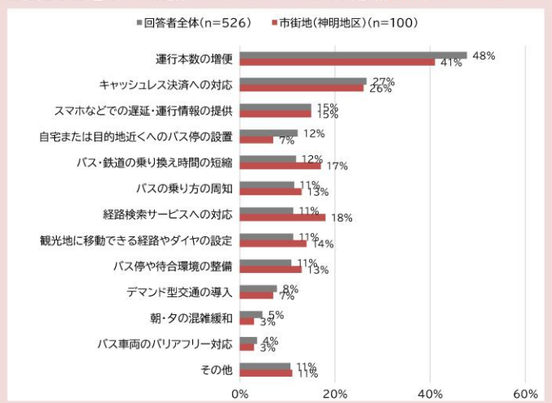
■鉄道の改善点（市民アンケート）



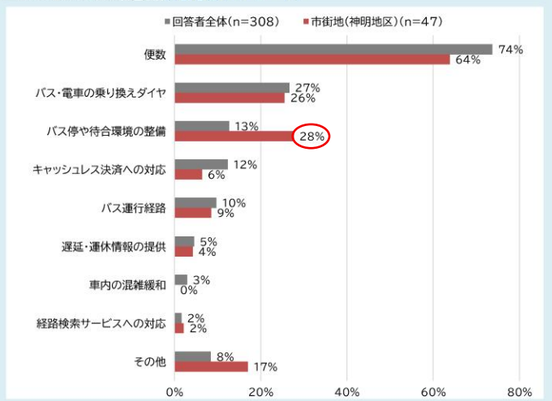
■鉄道の改善点（利用者アンケート）



■鯖江市を通るバス（福鉄バス、つつじバス）の改善点（市民アンケート）



■つつじバスの改善点（利用者アンケート）

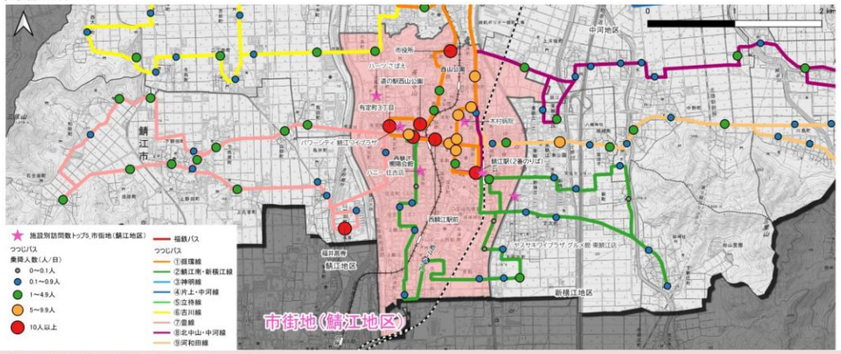


・市街地（神明地区）内のバス停では、「神明駅」「アル・プラザ鯖江」「公立丹南病院」「神明苑」「御幸県住」「アイアイ鯖江（文化の館）」「神中町２丁目」で一日あたりの乗降者数が10人以上となっています。
・市民アンケートでは、いずれの公共交通機関も「利用しない」が半数以上となっている一方で、ハピラインふくい線、福井鉄道福武線を「年に数回」利用している機会利用者が多くなっています。
・循環線の利用割合が60%と最も多く、次いで神明線が多くなっています。
・「アル・プラザ鯖江」「ビッグベリーマーケット北野」「パワーシティ 鯖江ワイプラザ」への買物目的の移動や「公立丹南病院」への通院目的の移動が多くなっています。
・ハピラインふくい線は全回答者と比較して利用者満足度が高い一方で、つつじバスは全回答者と比較して利用者満足度が低くなっています。
・鉄道の改善点として、市民からは「運行本数の増便」「お得な乗車券等の発売」、利用者からは「便数」「朝・夕の混雑緩和」が求められています。
・鯖江市を通るバスの改善点として、市民からは「運行本数の増便」「キャッシュレス決済への対応」、利用者からは「便数」「バス停や待合環境の整備」「バス・電車の乗り換えダイヤ」が求められています。

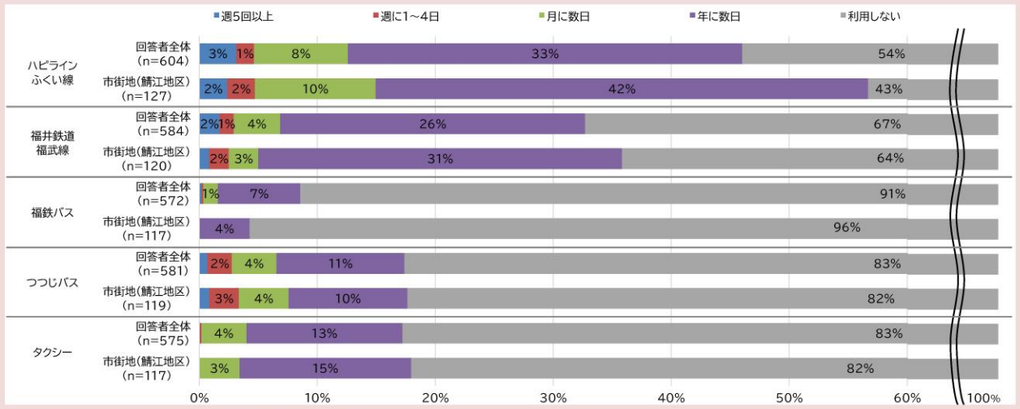
市街地（鯖江地区）

○公共交通の利用状況

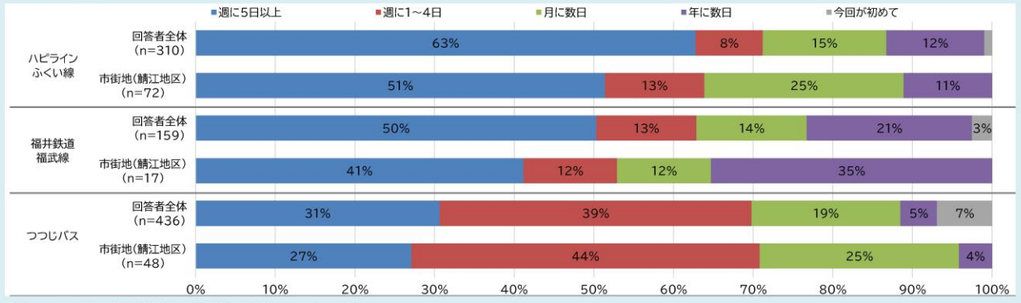
■地域内の交通ネットワーク



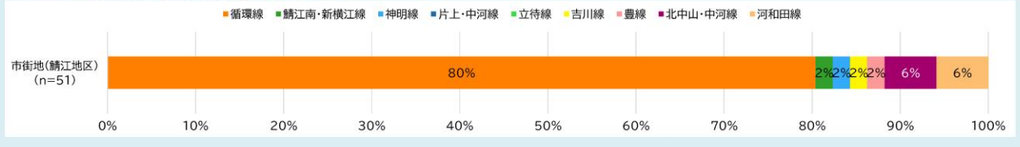
■市民の公共交通の利用頻度（市民アンケート）



■公共交通利用者の利用頻度（利用者アンケート）



■つつじバス利用路線の内訳（利用者アンケート）



■主な訪問施設（市民アンケート）

【全目的】

	施設名	トリップ数
1 位	パワーシティ 鯖江ワイプラザ	8
1 位	アル・プラザ鯖江	8
3 位	福井赤十字病院	4
3 位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 東鯖江店	4
3 位	鯖江駅	4

■買物

	施設名	トリップ数
1 位	アル・プラザ鯖江	7
2 位	パワーシティ 鯖江ワイプラザ	5
3 位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 東鯖江店	4
4 位	ハニー 住吉店	3
5 位	PLANT-3 清水店	2

■通院

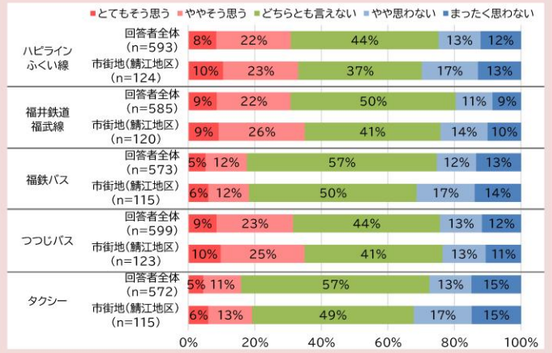
	施設名	トリップ数
1 位	福井赤十字病院	4
2 位	土屋医院	3
3 位	福井県済生会病院	2
3 位	木村病院	2
5 位	鯖江清水眼科	1

○市民・利用者の意向

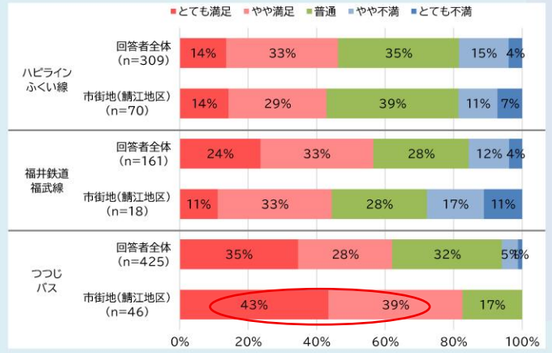
	市民		鉄道利用者		つつじバス利用者	
	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
市街地（鯖江地区）	141	31%	96	–	51	–
回答者全体	672	26%	504	21%	508	83%

※利用者アンケートの回答者全体には、市外居住者の回答も含む

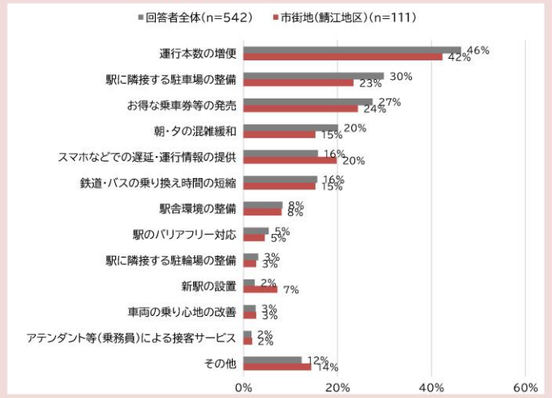
■市の取組が充分だと思うか（市民アンケート）



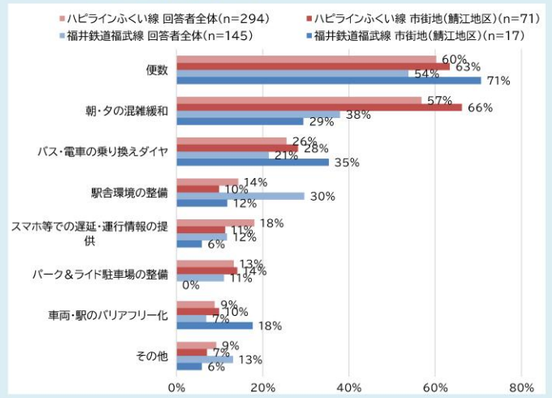
■公共交通の満足度（利用者アンケート）



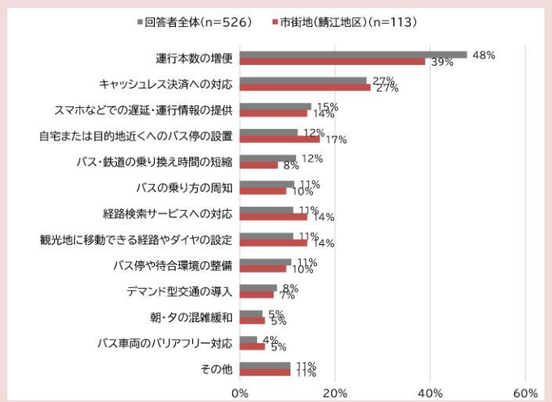
■鉄道の改善点（市民アンケート）



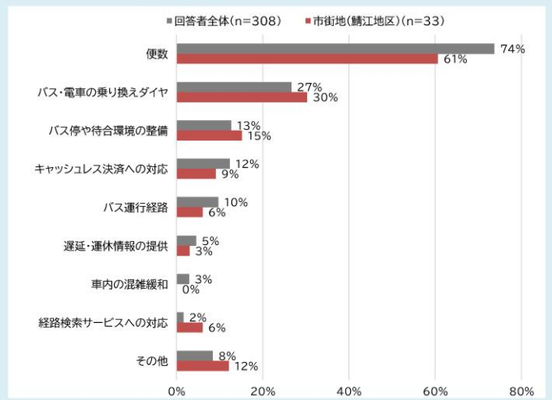
■鉄道の改善点（利用者アンケート）



■鯖江市を通るバス（福鉄バス、つつじバス）の改善点（市民アンケート）



■つつじバスの改善点（利用者アンケート）

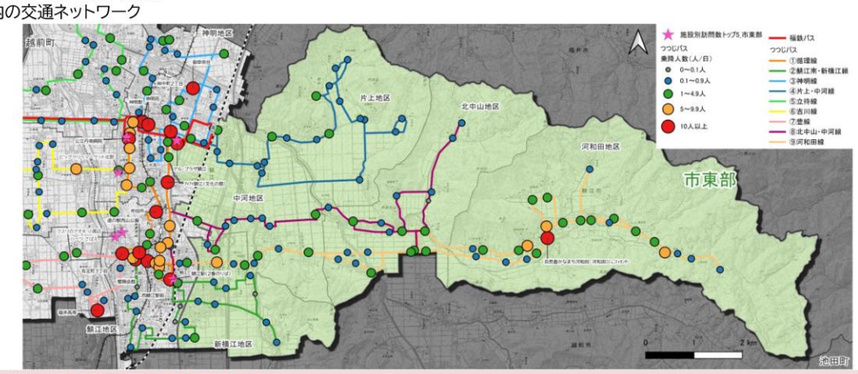


・市街地（鯖江地区）内のバス停では、「鯖江駅」「有定町３丁目」「嚮陽会館」「市役所」「道の駅西山公園」「西鯖江駅前」で一日あたりの乗降者数が10人以上となっています。
・市民アンケートでは、ハピラインふくい線で「年に数回」と回答した割合が回答者全体と比較して高く、機会利用者が多くなっています。
・循環線の利用割合が80%と最も多くなっています。
・「アル・プラザ鯖江」「パワーシティ 鯖江ワイプラザ」への買物目的の移動や「福井赤十字病院」への通院目的の移動が多くなっています。
・ハピラインふくい線、福井鉄道福武線、つつじバスに対しては「市の取組が充分である」と回答した方が約35%であるのに対し、福鉄バス、タクシーは約20%にとどまっています。
・ハピラインふくい線、福井鉄道福武線は全回答者と比較して利用者満足度が高い一方で、つつじバスは全回答者と比較して利用者満足度が低くなっています。
・鉄道の改善点として、市民からは「運行本数の増便」「お得な乗車券等の発売」「駅に隣接する駐車場の整備」、利用者からは「便数」「朝・夕の混雑緩和」が求められています。
・鯖江市を通るバスの改善点として、市民からは「運行本数の増便」「キャッシュレス決済への対応」、利用者からは「便数」「バス・電車の乗り換えダイヤ」が求められています。

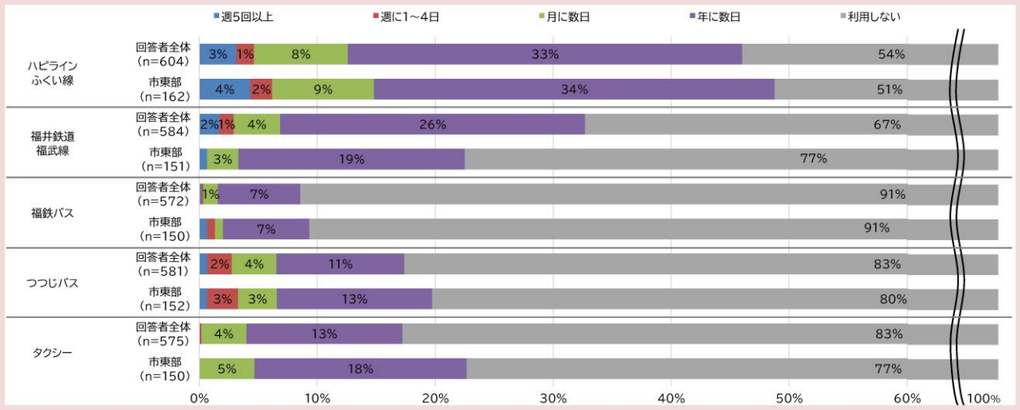
市東部（新横江地区、中河地区、片上地区、北中山地区、河和田地区）

○公共交通の利用状況

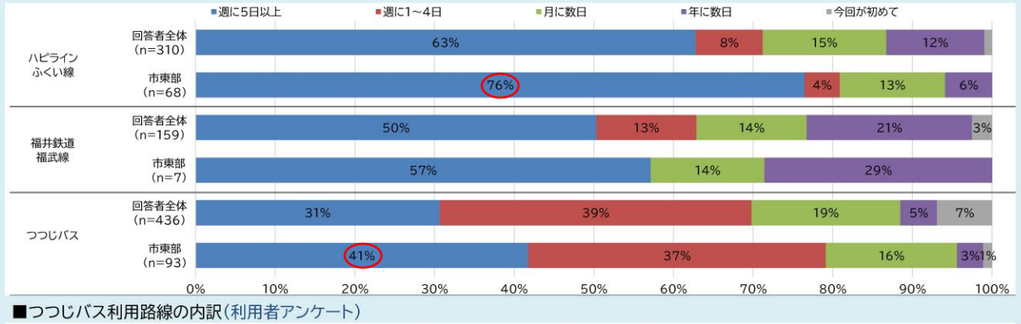
■地域内の交通ネットワーク



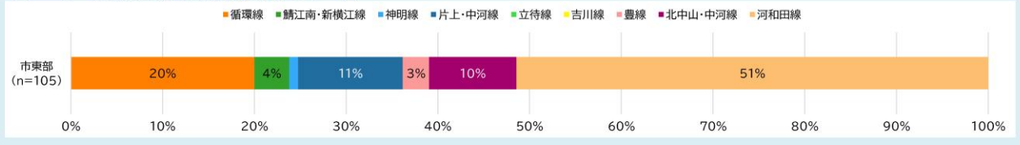
■市民の公共交通の利用頻度（市民アンケート）



■公共交通利用者の利用頻度（利用者アンケート）



■つづじバス利用路線の内訳（利用者アンケート）



■主な訪問施設（市民アンケート）

【全目的】

	施設名	トリップ数
1 位	アル・プラザ鯖江	13
1 位	スーパーマーケットバロー東鯖江店	13
3 位	ハニー 東陽店	8
4 位	公立丹南病院	5
5 位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 東鯖江店	4

■買物

	施設名	トリップ数
1 位	アル・プラザ鯖江	12
2 位	スーパーマーケットバロー東鯖江店	11
3 位	ハニー 東陽店	8
4 位	Aコープ 東さばえ店	4
4 位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 東鯖江店	4

■通院

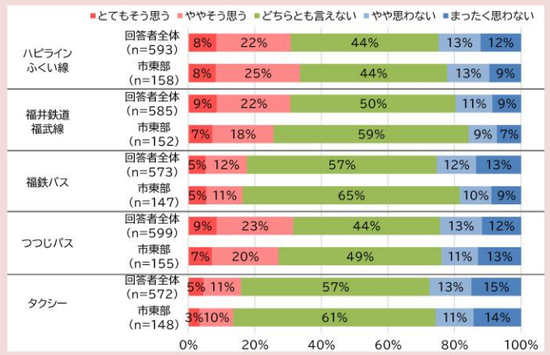
	施設名	トリップ数
1 位	きむら内科医院	3
2 位	さくら整骨院	2
2 位	公立丹南病院	2
4 位	はやしクリニック	1
4 位	福井県済生会病院	1

○市民・利用者の意向

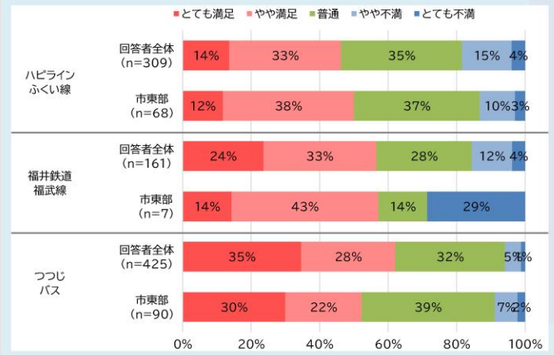
	市民		鉄道利用者		つづじバス利用者	
	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
市東部	176	26%	76	–	105	–
回答者全体	672	26%	504	21%	508	83%

※利用者アンケートの回答者全体には、市外居住者の回答も含む

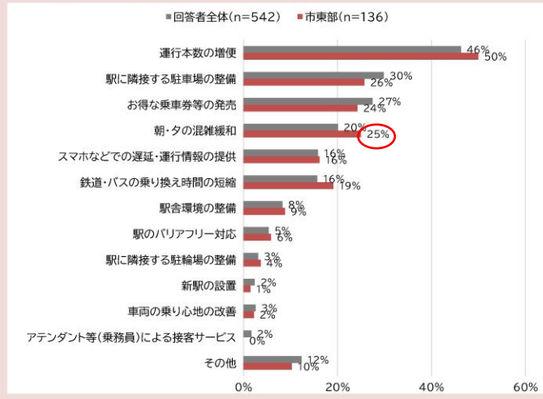
■市の取組が充分だと思うか（市民アンケート）



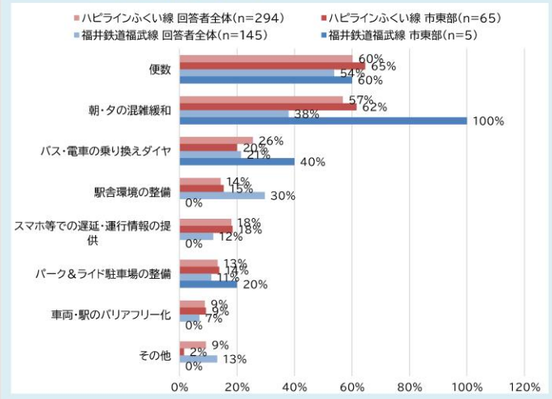
■公共交通の満足度（利用者アンケート）



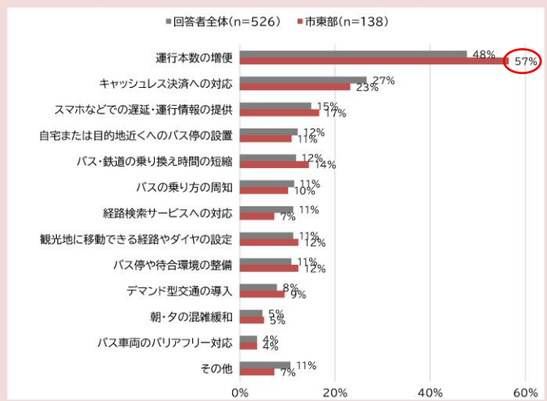
■鉄道の改善点（市民アンケート）



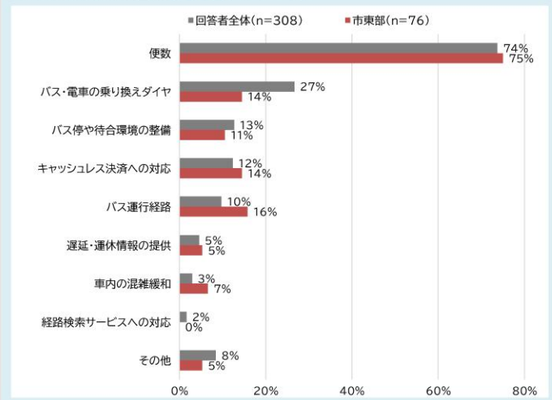
■鉄道の改善点（利用者アンケート）



■鯖江市を通るバス（福鉄バス、つづじバス）の改善点（市民アンケート）



■つづじバスの改善点（利用者アンケート）



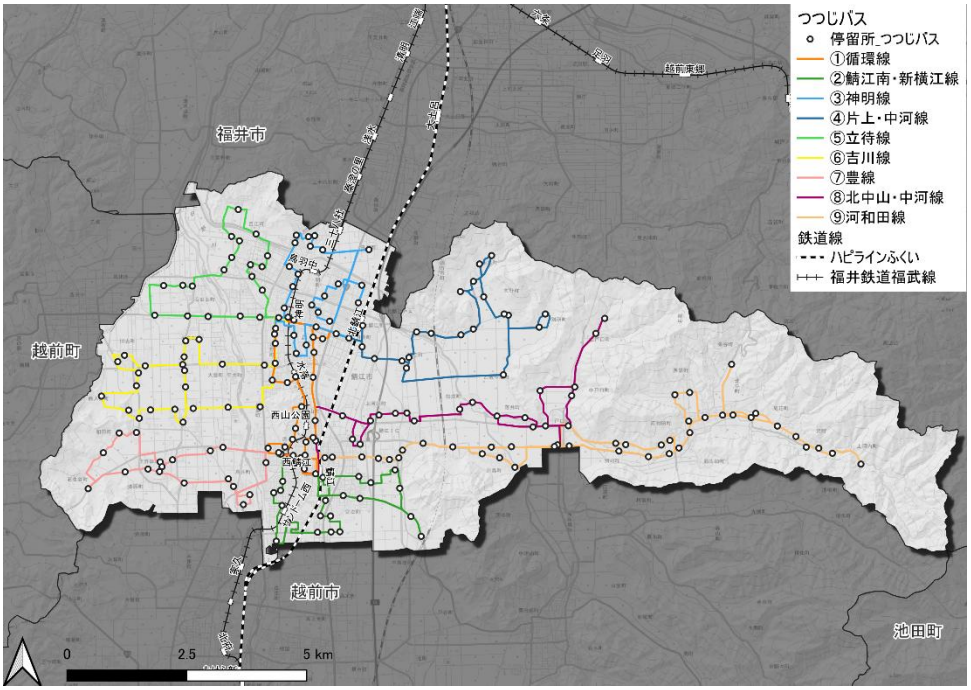
・市東部内のバス停では、「河和田コミュニティセンター」で一日あたりの乗降者数が10人以上となっています。
・市民アンケートでは、いずれの公共交通機関も「利用しない」が半数以上となっています。特に、福井鉄道福武線を利用していない割合が回答者全体と比較して多くなっています。
・利用者アンケートでは、いずれの公共交通機関も「週に5日以上」の高頻度利用者の割合が全回答者と比較して多くなっています。
・河和田線の利用割合が51%と最も多く、次いで循環線が多くなっています。
・「アル・プラザ鯖江」「スーパーマーケットバロー東鯖江店」への買物目的の移動や「きむら内科医院」への通院目的の移動が多くなっています。
・ハピラインふくい線、つづじバスに対しては「市の取組が充分である」と回答した方が約30%であるのに対し、福鉄バス、タクシーは約15%にとどまっています。
・つづじバスは全回答者と比較して利用者満足度が高い一方で、ハピラインふくい線、福井鉄道福武線は全回答者と比較して利用者満足度が低くなっています。
・鉄道の改善点として、市民からは「運行本数の増便」「駅に隣接する駐車場の整備」、利用者からは「朝・夕の混雑緩和」「便数」が求められています。
・鯖江市を通るバスの改善点として、市民からは「運行本数の増便」「キャッシュレス決済への対応」、利用者からは「便数」「バス運行経路」が求められています。

2. 路線カルテ

つつじバスの全9路線を対象に、路線ごとの現状や利用者ニーズを把握･整理するため、路線カルテを作成しました。

各路線カルテは、令和7年度のつつじバス利用実績、利用者アンケート（つつじバス）結果をもとに作成しています。

【つつじバスの運行概要】



	路線名	起点	主な経由地	終点	ページ
①	循環線	鯖江駅	西鯖江駅前、嚮陽会館、西山公園、市役所、公立丹南病院、神明公民館、神明駅、神明苑、アル･プラザ鯖江、アイアイ鯖江	鯖江駅	P126
②	鯖江南･新横江線	嚮陽会館	ふれあいみんなの館･さばえ、鯖江駅東口、めがね会館、新横江公民館前	鯖江駅	P127
③	神明線	公立丹南病院	神明駅、北鯖江駅西口、神明苑、神明公民館	神明駅	P128
④	片上･中河線	神明駅	神明苑、北鯖江駅西口、片上公民館、神明公民館	公立丹南病院	P129
⑤	立待線	神明苑	神明駅、神明公民館、公立丹南病院、立待公民館	神明苑	P130
⑥	吉川線	神明苑	神明駅、神明公民館、公立丹南病院、吉川公民館	神明苑	P131
⑦	豊線	鯖江駅	西鯖江駅前、嚮陽会館、福井高専、豊公民館	鯖江駅	P132
⑧	北中山･中河線	嚮陽会館内	嚮陽会館、西鯖江駅前、鯖江駅、中河小学校、北中山公民館	ハニー東陽店	P133
⑨	河和田線	嚮陽会館内	嚮陽会館、西鯖江駅前、鯖江駅、河和田コミュニティセンター、うるしの里会館、ラポーゼかわだ	鉱泉前	P134

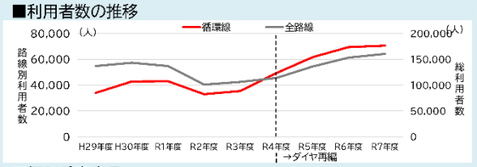
路線	現状と課題
循環線	･つつじバスの中核として市中心部を結んでおり、利用者数は増加傾向が続いています。 ･鯖江駅を拠点とした他路線やハピラインふくい線との乗継が見られ、買物や通勤等の様々な目的に利用されています。 **→引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**
鯖江南･新横江線	･ダイヤ再編後の利用者数は、非常に少ない水準で横ばい傾向となっています。 ･多くの便で、便別乗車人員が1人以下となっています。 **→路線の抜本的な見直しが必要であると考えられます。**
神明線	･ダイヤ再編後の利用者数は、増加傾向となっています。 ･神明駅を拠点とした福井鉄道福武線との乗継や買物目的の利用が多くなっています。 **→地域に必要な移動を確保しつつ、引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**
片上･中河線	･利用者数は、ダイヤ再編直後に減少したものの、直近では増加傾向となっています。 ･朝夕の一部便を除き、乗車人員が1人以下である停留所が多くなっています。 **→地域に必要な移動を確保しつつ、引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**
立待線	･ダイヤ再編後の利用者数は、微増傾向となっています。 ･神明駅を拠点とした他路線や福井鉄道福武線との乗継、公立丹南病院への通院利用が多くなっています。 **→地域に必要な移動を確保しつつ、引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**
吉川線	･ダイヤ再編後の利用者数は、概ね横ばいで推移していましたが、直近では増加傾向となっています。 ･神明駅を拠点とした福井鉄道福武線との乗継やアル･プラザ鯖江への買物利用、公立丹南病院への通院利用が多くなっています。 **→地域に必要な移動を確保しつつ、引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**
豊線	･ダイヤ再編後の利用者数は、増加傾向となっています。 ･鯖江駅を拠点としたハピラインふくい線との乗継や福井高専への通学利用が多くなっています。 **→地域に必要な移動を確保しつつ、引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**
北中山･中河線	･ダイヤ再編後の利用者数は、増加傾向となっています。 ･鯖江駅を拠点としたハピラインふくい線との乗継や河和田線との接続便の利用が多くなっています。 **→地域に必要な移動を確保しつつ、引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**
河和田線	･ダイヤ再編後の利用者数は、増加傾向となっています。 ･朝夕の通勤･通学需要が多く、鯖江駅を拠点としたハピラインふくい線との乗継が多くなっています。 **→地域に必要な移動を確保しつつ、引き続きサービス水準の維持･向上を図る必要があります。**

鯖江駅･神明駅を拠点とした広域交流幹線軸との乗継利便性を高めつつ、地域に必要な移動を支えるネットワークを維持します。
利用水準が低い路線については、住民の移動ニーズが高い施設を経由するルート等への変更を検討し、利用促進を図ります。

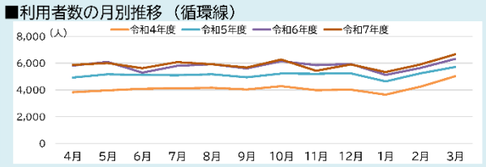
①循環線

○利用者数の実績（令和7年度実績）

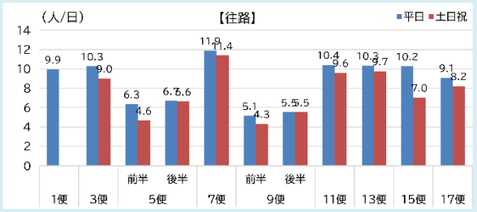
■利用者数の推移

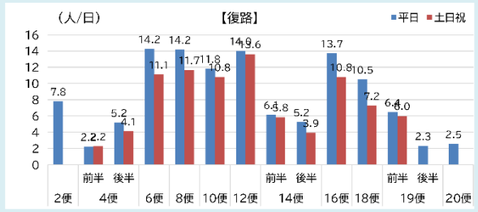


■利用者数の月別推移（循環線）

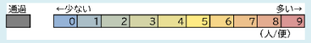


■便別乗車人員



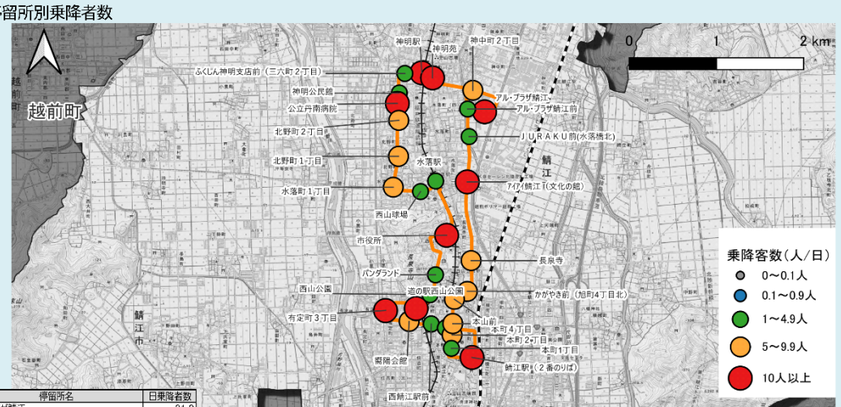


■便別・停留所間別通過人員（車内乗車人員）



停留所	平日 往路↓ 1	3	5前	5後	7	9前	9後	11	13	15	17	平日 復路↑ 2	4前	4後	6	8	10	12	14前	14後	16	18	19前	19後	20	小計	休日 往路↓ 3	5前	5後	7	9前	9後	11	13	15	17	休日 復路↑ 4前	4後	6	8	10	12	14前	14後	16	18	19	小計
鯖江駅	3	1	2		2	2		2	1	2	1	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	17	1	2		3	2		2	1	2	1		0	0	0	0	0		0	0	0	0	14
本町1丁目	3	2	2		2	3		2	1	2	1	1		1	2	3	1	2		2	2	3		1	1	37	1	2		3	2		2	1	2	1		1	1	2	1	2		2	1	2	2	28
本町2丁目	3	2	2		2	2		2	2	2	1	1		2	2	3	1	2		2	2	3		1	1	39	1	2		3	2		2	1	2	1		1	1	2	1	2		2	1	2	2	28
市民ホール（つつじ前（本山前）	4	2	2		2	2		2	2	3	1	1		2	2	3	2	2		2	2	3		2	1	41	1	2		3	2		2	2	2	1		1	1	2	1	2		2	1	2	2	29
西鯖江駅前	5	2	3		2	2		2	2	3	1	1		2	2	4	2	3		2	3	3		2	1	46	1	2		3	2		3	2	2	1		1	1	3	2	3		2	1	2	2	30
鯖鏡公園	5	3	3		2	2		3	2	3	1	1		2	2	4	2	3		3	3	3		2	1	47	2	2		3	2		3	1	2	1		1	1	3	2	3		2	1	2	2	30
有定町3丁目	5	3	4		3	3		3	2	3	1	2		2	3	4	2	2		3	3	3		2	1	52	2	3		3	2		3	2	2	1		2	1	3	2	3		2	2	2	2	33
道の駅西山公園	5	3	4		3	3		3	2	3	2	3		3	4	4	2	3		3	3	3		2	1	59	1	3		3	2		3	2	2	2		2	2	2	2	3		2	2	2	2	36
西山公園	5	3	4		3	3		3	2	3	2	3		3	4	4	2	3		3	3	3		2	1	59	1	3		3	2		3	2	2	2		2	2	3	2	3		2	2	2	2	36
バンダランド	5	3	3		3	3		3	2	3	2															27	1	2		3	2		2	1	2	1												17
市役所	3	3	3		3	3		3	2	3	2	3		3	4	4	2	3		3	3	3		2	1	55	2	2		3	2		3	1	2	2		2	2	3	2	4		2	2	2	2	35
水落駅	3	3	3		3	3		3	2	3	2	3		3	4	4	2	3		3	3	3		1	1	55	2	1		3	2		3	1	2	2		3	3	3	2	4		2	2	2	2	36
西山球場	3	3	3		3	3		3	2	4	2	3		3	4	4	2	3		3	2	3		1	1	54	2	1		3	2		3	1	2	2		3	3	3	2	4		2	2	2	2	35
水落町1丁目	6	4	3		3	3		3	2	3	2	3		3	4	4	2	3		3	2	3		1	1	57	2	1		3	2		3	1	2	2		3	3	3	2	4		2	2	2	2	35
北野町1丁目	6	4	3		3	3		3	2	3	2	3		3	4	4	2	3		3	2	3		1	1	57	2	1		3	2		3	1	2	2		3	3	3	2	4		2	2	2	2	35
北野町1丁目	6	4	3		2	3		3	2	3	2	3		3	4	4	2	3		3	3	3		1	1	59	2	2		2	2		3	2	2	2		3	3	3	2	4		2	2	2	2	36
北野町2丁目	4	4	3		2	2		3	2	2	2	3		3	4	4	2	3		3	3	3		1	1	57	2	2		2	2		3	2	2	2		3	3	3	2	4		2	2	2	2	36
公立丹南病院	3	3	2		3	2		3	2	3	2	3		3	5	4	2	3		3	3	3		1	1	56	2	1		2	2		3	2	2	2		3	3	3	2	4		2	2	2	2	36
神明公民館	3	3	2		3	2		3	2	3	2	4		3	4	4	2	3		3	2	3		1	1	55	2	2		2	2		3	2	2	2		3	3	3	2	4		2	2	2	2	36
ふくしん神明支店前（三六町2丁目）	2	2	2		2	2		3	2	3	2	4		3	4	2	2	3		2	3	3		1	1	46	2	1		2	2		2	2	2	2		2	2	2	1	3		2	2	2	2	32
神明駅	1	5	0	3	4	0	3	2	3	3	2	4	0	2	3	2	2	3	0	2	3	2	0	1	1	53	5	0	3	4	0	3	3	3	1	2	0	2	2	2	1	3	0	2	2	2	0	41
神明苑	1	5		4	4		3	3	4	4	2	3	1		2	4	3	6	3		6	3	5		1	1	66	6		4	4		3	3	3	1	2	1		1	3	2	6	2		5	3	5	56
アル・プラザ鯖江	2	2		3	3		2	3	4	4	5															29	2		2	3	4																		26
神中町2丁目	2	2		3	3		2	3	4	4	5	3	1		3	4	4	6	3		7	3	5		1	1	68	2		3	3		3	3	4	2	4	1		2	4	3	6	3		7	3	5	59
アル・プラザ鯖江												3	1		3	4	4	6	3		7	3	5		1	1	40										1		2	4	3	6	3		7	3	5	33
アル・プラザ鯖江前	2	2		3	3		2	3	4	4	5	3	1		6	5	4	3	3		3	3	3		1	1	64	2		3	4		3	3	4	2	4	1		5	4	4	3	3		3	2	2	54
JURAKU前（水落橋北）	2	2		3	3		2	3	4	4	5	3	1		6	5	5	3	3		3	3	2		1	1	64	2		3	3		3	3	4	2	4	1		5	4	5	3	3		3	2	2	54
ｱﾙﾌﾟﾗ鯖江（文化の館）	2	1		3	3		2	3	4	4	5	3	2		6	5	5	3	3		3	3	2		1	1	63	1		3	3		2	3	4	3	5	1		5	5	5	3	3		3	2	2	54
長泉寺	2	1		2	3		2	3	4	4	4	3	2		7	5	5	3	3		2	2	2		1	1	61	1		3	3		2	3	4	4	3	2		6	5	4	4	3		2	1	2	51
かがやき前（旭町4丁目北）	1	1		2	3		2	3	3	3	4	3	2		7	4	5	3	3		2	2	2		1	1	57	1		2	3		2	3	4	2	4	2		6	5	4	3	3		2	1	2	48
本町4丁目	1	1		2	3		1	3	3	3	4	3	1		5	4	5	3	3		2	2	2		1	1	52	1		2	3		2	3	4	2	4	1		5	4	4	3	3		2	1	2	45
本山前	1	1		2	2		1	2	2	3	4	2	1		5	4	5	3	3		2	2	2		1	1	47	1		2	2		1	2	3	2	3	1		5	4	4	3	2		2	1	2	41
鯖江駅	0	0		0	0		0	0	0	0	0	2	1		4	3	4	3	2		2	2	2		1	1	27	0		0	0		0	0	0	0	0	1		4	4	4	3	2		2	1	2	23

■停留所別乗降者数



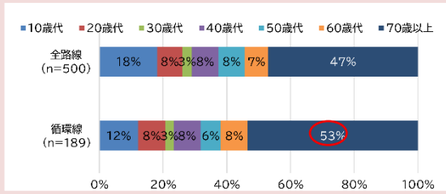
	停留所名	日乗降者数
1位	アル・プラザ鯖江	81.8
2位	鯖江駅	76.1
3位	神明駅	69.8
4位	有定町3丁目	18.6
5位	公立丹南病院	16.6

○利用者の意向（利用者アンケート）

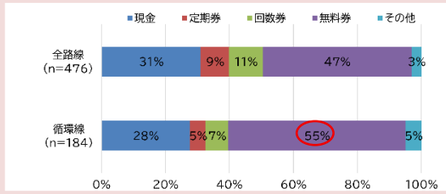
回答率	回答数	乗車人数
42%	192	455

調査日：
令和8年4月19日(日)、22日(水)

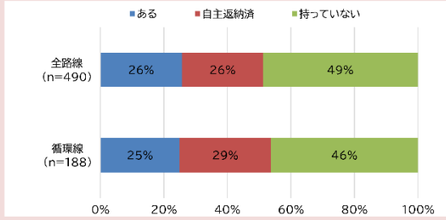
■年齢



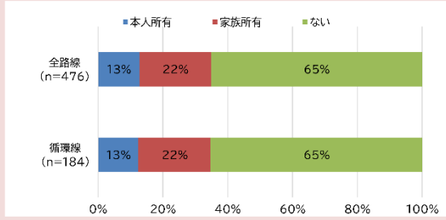
■支払方法



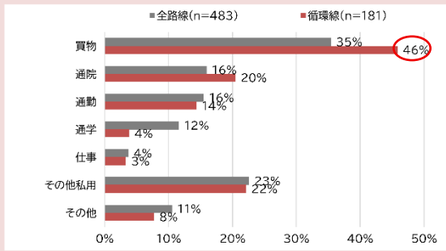
■運転免許の保有状況



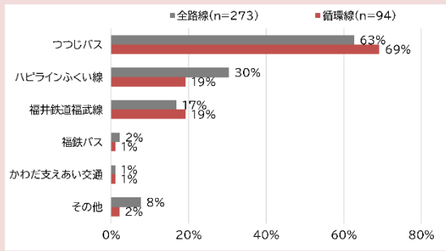
■マイカーの保有状況



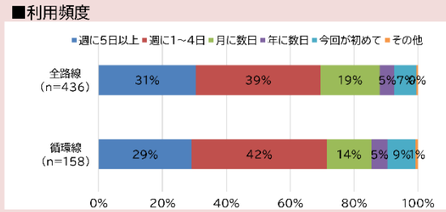
■移動目的



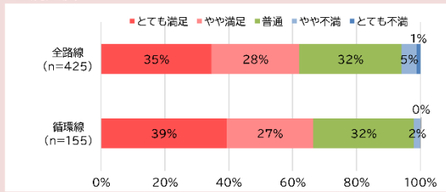
■乗り換えた移動手段



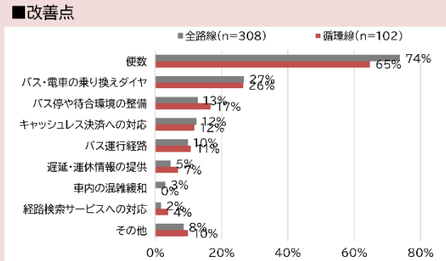
■利用頻度



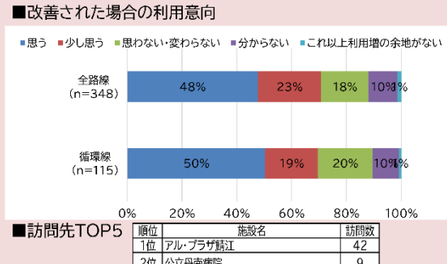
■満足度



■改善点



■改善された場合の利用意向



■訪問先TOP5

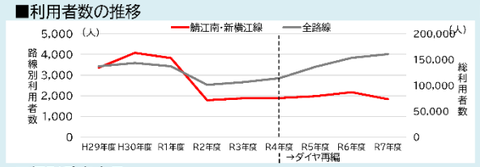
順位	施設名	訪問数
1位	アル・プラザ鯖江	42
2位	公立丹南病院	9
3位	西山公園	4
4位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 鯖江店	4
5位	鯖江市役所	4

・利用者数は増加傾向にあり、年70,000人程度の利用となっています。
・アル・プラザ鯖江を経由する神明駅―鯖江駅間の利用が特に多くなっています。
・70歳以上の利用や無料券を活用した利用が半数以上となっています。
・運転免許を持っていない方が75%、マイカーを持っていない方が65%と、自家用車による移動手段を持たない方に利用されています。
・鯖江駅を拠点とした他路線やハピラインふくい線との乗継が見られ、買物や通院等の様々な目的で利用されています。
・週に1回以上利用が71%となっており、定期的な利用が多くなっています。
・満足（「とても満足」「やや満足」）が66%と、不満（「やや不満」「とても不満」）が2%と満足度が高くなっています。
・便数に関する改善要望が最も多くなっています。

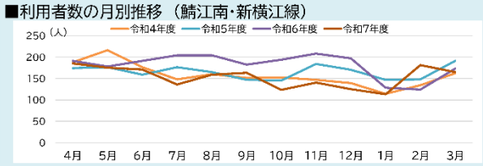
②鯖江南･新横江線

○利用者数の実績（令和7年度実績）

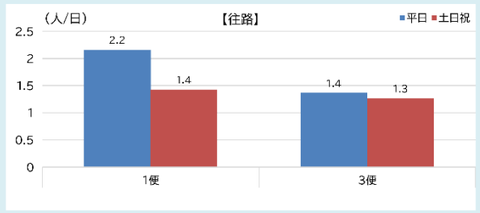
■利用者数の推移

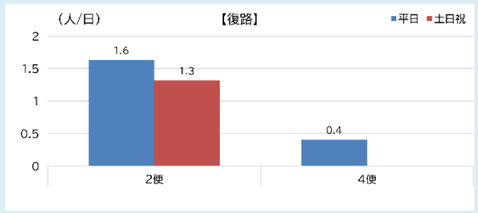


■利用者数の月別推移（鯖江南･新横江線）

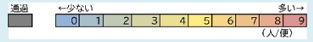


■便別乗車人員



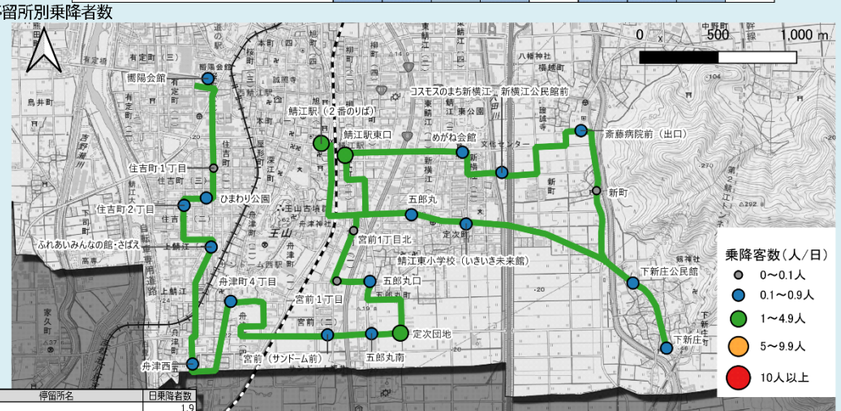


■便別･停留所間別通過人員（車内乗車人員）



停留所	平日 往路↓ 1	平日 往路↓ 3	平日 復路↑ 2	平日 復路↑ 4	平日 小計	休日 往路↓ 1	休日 往路↓ 3	休日 復路↑ 2	休日 小計
鰭陽会館	0	1	0	0	1	0	0	0	0
住吉町1丁目	0	1	0	0	1	0	0	0	1
ひまわり公園	0	1	0	0	1	0	0	0	1
住吉町2丁目	0	1	0	0	1	0	0	0	1
ふれあいみんなの館･さばえ	0	1	0	0	1	0	1	0	1
舟津西	0	1	0	0	1	0	0	0	1
舟津町4丁目	0	1	0	0	1	0	0	0	1
宮前（サンドーム前）	0	0	0	0	1	0	0	0	1
五郎丸南	0	0	0	0	1	0	0	0	1
定次団地	1	0	0	0	2	1	0	0	1
五郎丸口	1	0	1	0	2	1	0	1	1
宮前1丁目	1	0	1	0	2	1	0	1	1
宮前1丁目北	1	0	1	0	2	1	0	1	1
鯖江駅東口	1	1	1	0	2	1	1	1	2
めがね会館	1	0	1	0	2	0	1	0	2
コスモスのまち新横江新横江公民館前	1	0	1	0	2	1	1	0	2
斎藤病院前（出口）	1	0	1	0	2	1	1	0	2
新町	1	0	1	0	2	1	1	0	2
下新庄公民館	1	0	1	0	2	1	1	0	2
下新庄	1	0	1	0	2	1	1	0	2
下新庄公民館	1	0	1	0	2	1	1	1	2
鯖江東小学校（いきいき未来館）	1	0	1	0	3	1	0	1	1
五郎丸	1	0	1	0	3	1	0	1	1
鯖江駅	0	0	1	0	1	0	0	0	0

■停留所別乗降者数



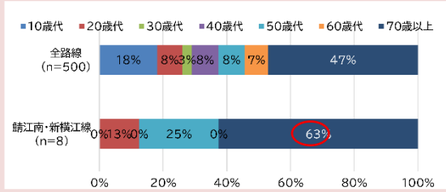
	停留所名	日乗降者数
1位	鯖江駅	1.9
2位	鯖江駅東口	1.2
3位	定次団地	1.1
4位	鰭陽会館	0.9
5位	鯖江東小学校（いきいき未来館）	0.8

○利用者の意向（利用者アンケート）

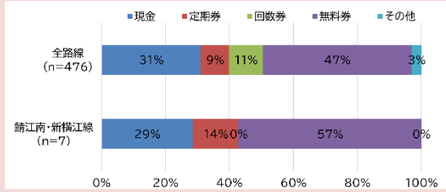
回答率	回答数	乗車人数
73%	8	11

調査日：
令和8年4月19日(日)、22日(水)

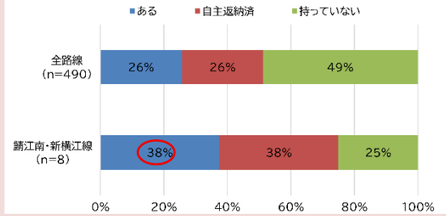
■年齢



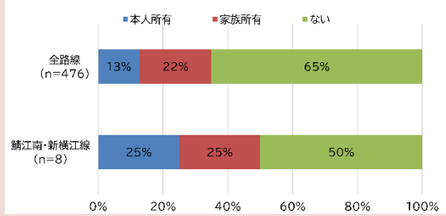
■支払方法



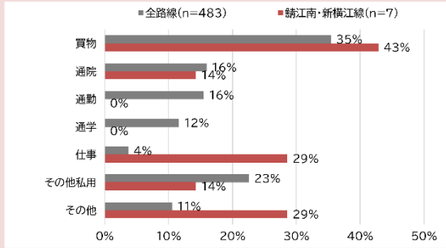
■運転免許の保有状況



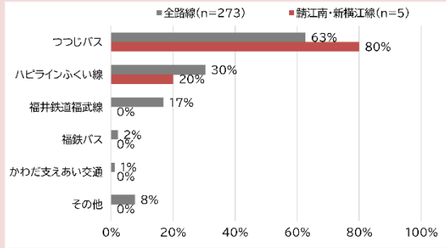
■マイカーの保有状況



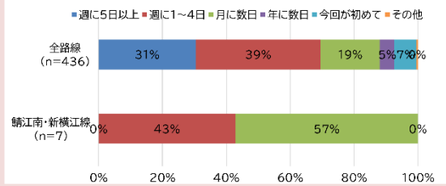
■移動目的



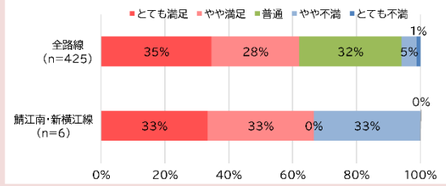
■乗り換えた移動手段



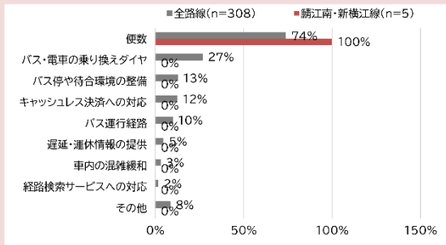
■利用頻度



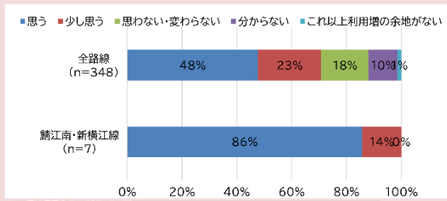
■満足度



■改善点



■改善された場合の利用意向



■訪問先TOP5

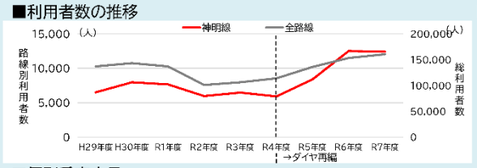
順位	施設名	訪問数
1位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 鯖江店	1
2位		
3位		
4位		
5位		

・利用者数は横ばい傾向にあり、年2,000人程度の利用となっています。
・平日の9時台の利用が比較的多くなっています。
・通過人員は、往復とも全ての停留所で1人以下となっています。
・利用者アンケートは回答数が少ないため、参考値とする。

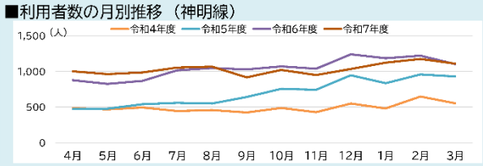
③神明線

○利用者数の実績（令和7年度実績）

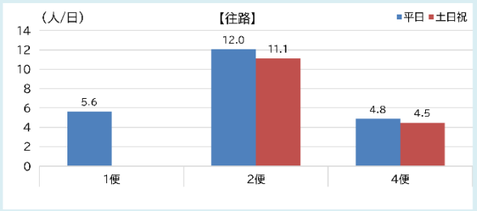
■利用者数の推移

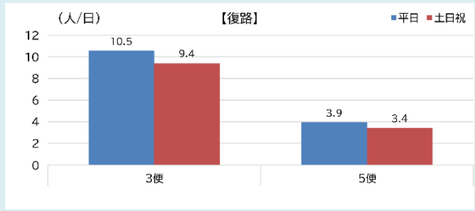


■利用者数の月別推移（神明線）

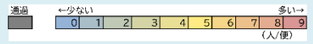


■便別乗車人員



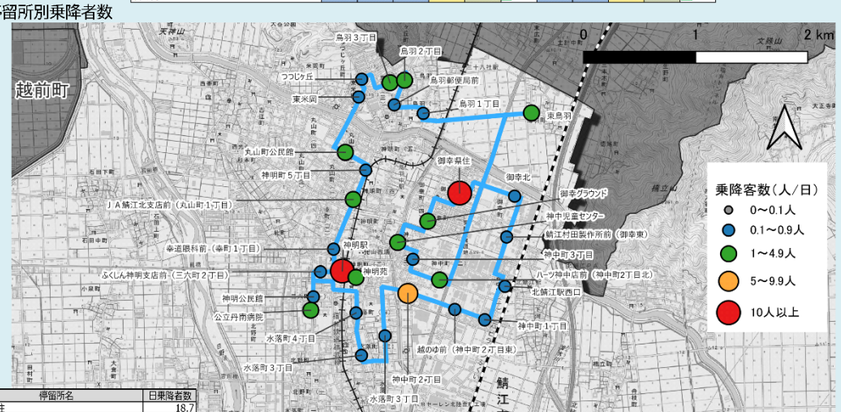


■便別・停留所間別通過人員（車内乗車人員）



停留所	平日 往路↓ 1	2	4	平日 復路↑ 3	5	平日 小計	休日 往路↓ 2	4	休日 復路↑ 3	5	休日 小計
公立丹南病院		0		0	0	0	0		0	0	0
神明公民館		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ふくしん神明支店前（三六町2丁目）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
神明駅	0	1	3	0	0	4	1	3	0	0	3
幸道眼科前（幸町1丁目）	0	1	3	3	0	8	1	3	2	0	5
JA鯖江北支店前（丸山町1丁目）	0	1	3	3	0	7	1	2	2	0	5
神明町5丁目	0	1	3	3	1	8	1	2	2	0	5
丸山町公民館	0	1	3	3	1	8	1	2	2	0	6
東米岡	0	1	3	3	1	8	1	2	2	1	5
つつじヶ丘	0	1	3	3	1	9	1	2	2	1	5
鳥羽3丁目	0	2	3	3	1	9	1	2	2	1	6
鳥羽2丁目	0	3	3	3	1	10	2	2	2	1	6
鳥羽郵便局前	1	3	3	4	1	12	2	2	3	1	8
鳥羽1丁目	1	4	2	4	1	12	3	2	3	1	8
東鳥羽	3	3	2	4	1	14	2	2	3	1	8
ハーツ神中店前（神中町2丁目北）	3	3	3	4	1	13	2	2	3	1	7
神中町3丁目	3	3	3	4	1	14	2	2	3	1	8
神中児童センター	3	4	3	4	1	15	3	2	3	1	9
御幸グラウンド	1	5	2	4	1	13	3	2	3	1	9
御幸県住	3	10	0	5	1	18	9	1	3	1	15
御幸北	3	10	0	7	3	23	10	1	6	3	20
鯖江村田製作所前（御幸東）	3	10	0	7	3	23	10	1	6	3	20
北鯖江駅西口	3	10	0	7	3	22	9	1	6	3	20
神中町1丁目	3	10	0	7	3	22	9	1	7	3	20
越のゆ前（神中町2丁目東）	3	9	0	7	3	22	9	1	7	3	19
神中町2丁目	3	6	0	7	3	18	5	0	6	3	14
水落町3丁目東	3	6	0	5	3	16	5	0	5	3	12
水落町3丁目	3	6	0	5	3	16	5	0	5	3	12
水落町4丁目	3	6	0	5	3	16	5	0	5	3	12
神明苑	2	5	0	5	3	16	4	0	5	3	11
神明公民館	2	5	0	5	3	15	4	0	5	2	11
公立丹南病院	2	4	0	5	3	13	4	0	5	2	11
ふくしん神明支店前（三六町2丁目）	1	3	0	4	3	12	3	0	4	2	10
神明駅	0	0	0	4	3	7	0	0	4	2	7

■停留所別乗降者数



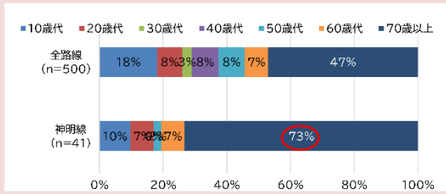
	停留所名	日乗降者数
1位	御幸県住	18.7
2位	神明駅	18.5
3位	神中町2丁目	6.0
4位	御幸グラウンド	3.0
5位	公立丹南病院	2.8

○利用者の意向（利用者アンケート）

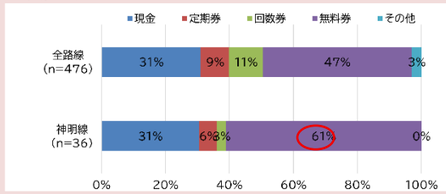
回答率	回答数	乗車人数
69%	42	61

調査日：
令和8年4月19日(日)、22日(水)

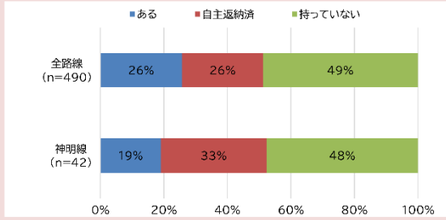
■年齢



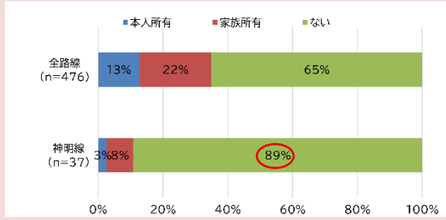
■支払方法



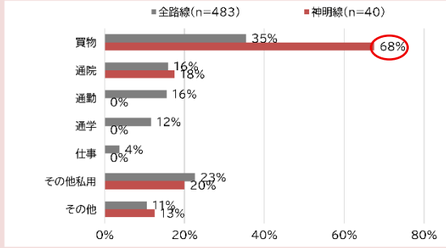
■運転免許の保有状況



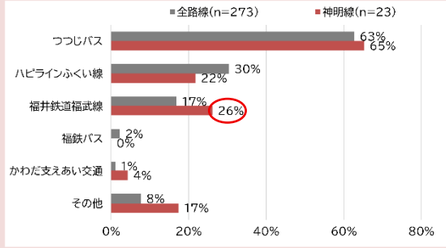
■マイカーの保有状況



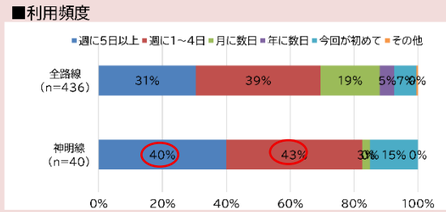
■移動目的



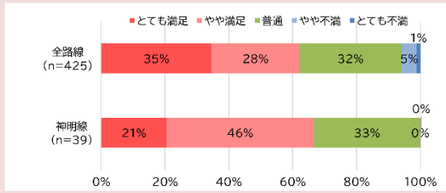
■乗り換えた移動手段



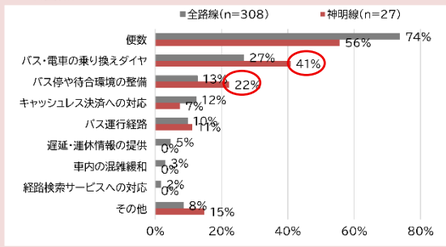
■利用頻度



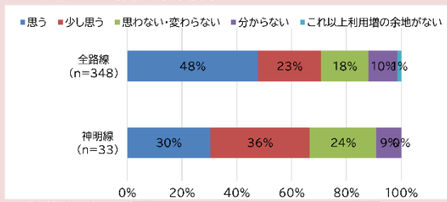
■満足度



■改善点



■改善された場合の利用意向



■訪問先TOP5

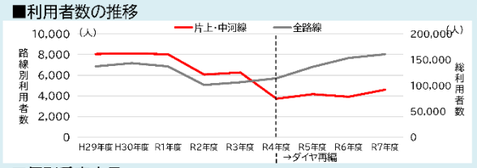
順位	施設名	訪問数
1位	アル・プラザ鯖江	9
2位	鯖江市図書館 文化の館	2
3位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 鯖江店	1
4位		
5位		

・利用者数は横ばい傾向となっており、年約12,000人程度の利用となっています。
・9時台、平日13時台で10人/日以上の利用と多くなっています。
・御幸県住周辺の住宅地から神明駅への移動が多くなっています。
・70歳以上の利用が約7割、無料券を活用した利用が約6割となっています。
・運転免許を持っていない方が約8割、マイカーを持っていない方が約9割と、自家用車による移動手段を持たない方に利用されています。
・神明駅を拠点とした福井鉄道福武線との乗継やアル・プラザ鯖江を目的地とした買物目的の利用が多くなっています。
・週に1回以上利用が83%となっており、定期的な利用が多くなっています。
・満足（「とても満足」「やや満足」）が67%と、不満（「やや不満」「とても不満」）が0%と満足度が高くなっています。
・便数に関する改善要望が最も多く、全路線と比較し「乗り換えダイヤ」に対する意見が多くなっています。

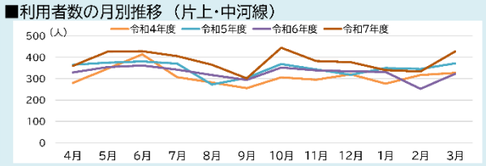
④片上･中河線

○利用者数の実績（令和7年度実績）

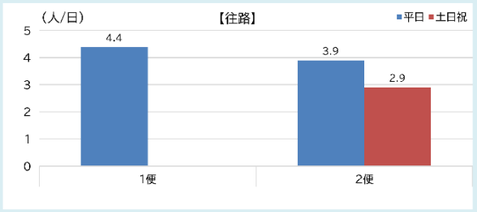
■利用者数の推移

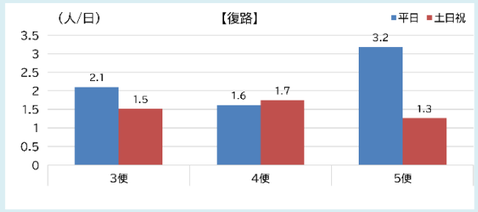


■利用者数の月別推移（片上･中河線）



■便別乗車人員



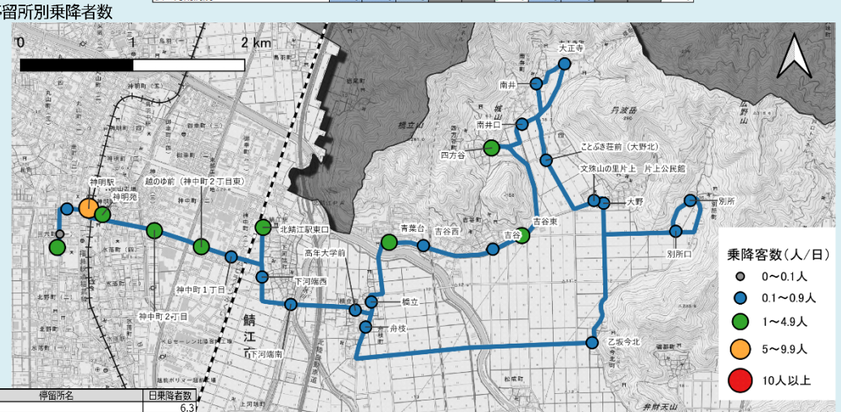


■便別･停留所間別通過人員（車内乗車人員）

通過　←少ない　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9　多い→　（人/便）

停留所	往路↓ 1	2	復路↑ 3	4	5	小計	往路↓ 2	復路↑ 3	4	5	小計
神明駅	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0
神明苑	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1
神中町2丁目	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1
越の中前（神中町2丁目東）	1	1	1	0	0	3	0	1	0	0	1
神中町1丁目	1	1	1	0	0	3	0	1	0	0	2
北鯖江駅東口	1	1	1	0	0	2	0	1	0	0	2
下河端西	1	1	1	0	0	2	0	1	0	0	2
下河端南	1	1	1	0	0	2	0	1	0	0	1
高年大学前	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1
舟枝	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1
乙坂今北	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1
別所	1	1				1	1				1
別所口	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	1
別所			0	0	0	1		1	0	0	1
大野	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	1
文殊山の里片上片上公民館	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1
ことぶき荘前（大野北）	1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	1
大正寺	1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	2
南井	1	1	0	0	1	3	1	0	0	0	2
南井口	1	1	0	0	1	3	1	0	0	0	2
四方谷	2	1	0	0	1	4	2	0	0	0	2
吉谷東	2	1	1	0	1	5	1	0	1	1	3
吉谷	2	1	1	0	1	5	2	0	1	1	3
吉谷西	2	1	1	0	1	5	2	0	1	1	3
青葉台	3	1	1	0	1	7	2	0	1	1	3
橋立	3	1	1	1	3	8	2	0	1	1	3
高年大学前	3	1	1	1	3	9	2	0	1	1	3
下河端南	3	1	1	1	3	9	2	0	1	1	3
下河端西	4	1	1	1	3	9	2	0	1	1	4
北鯖江駅東口	3	1	1	1	3	9	2	0	1	1	4
神中町1丁目	3	1	1	1	2	9	2	0	1	1	4
越の中前（神中町2丁目東）	3	1	1	1	2	9	1	0	1	1	3
神中町2丁目	3	1	1	1	2	8	1	0	1	1	3
神明苑	3	1	1	1	2	8	1	0	1	1	2
神明駅	2	0	1	0	2	6	0	0	0	0	1
ふくしん神明支店前（三六町2丁目）	2	0	1			3	0	0			0
神明公民館	2	0	0			3	0	0			0
公立丹南病院	0	0	0			0	0	0			0

■停留所別乗降者数



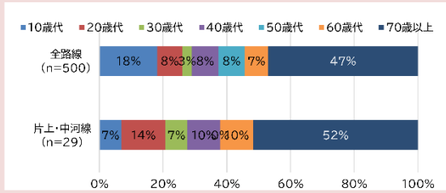
	停留所名	日乗降者数
1位	神明駅	6.3
2位	神中町2丁目	2.5
3位	青葉台	2.1
4位	公立丹南病院	1.8
5位	四方谷	1.6

○利用者の意向（利用者アンケート）

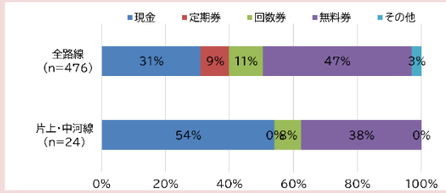
回答率	回答数	乗車人数
83%	29	35

調査日：
令和8年4月19日(日)、22日(水)

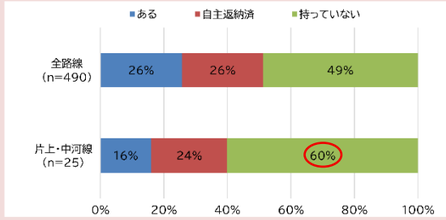
■年齢



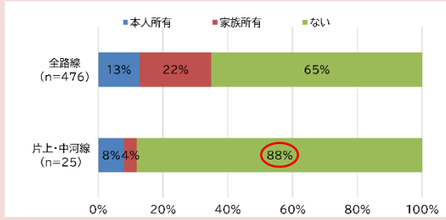
■支払方法



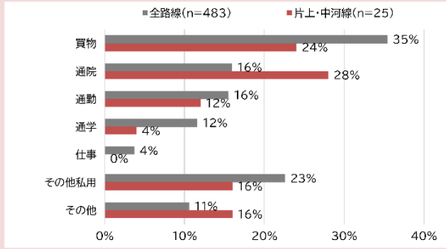
■運転免許の保有状況



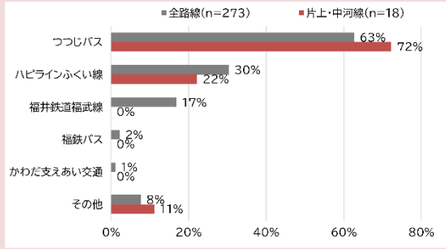
■マイカーの保有状況



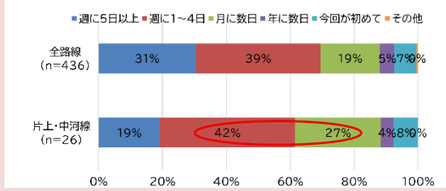
■移動目的



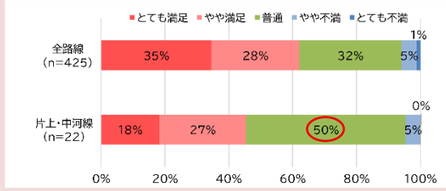
■乗り換えた移動手段



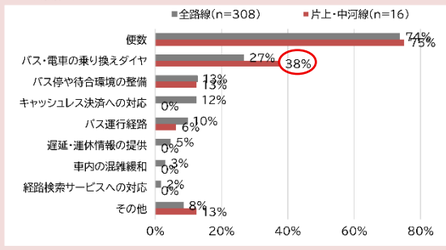
■利用頻度



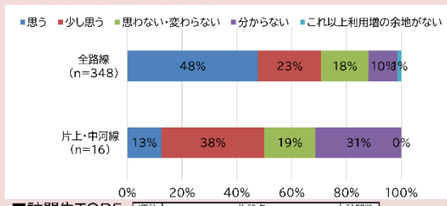
■満足度



■改善点



■改善された場合の利用意向



■訪問先TOP5

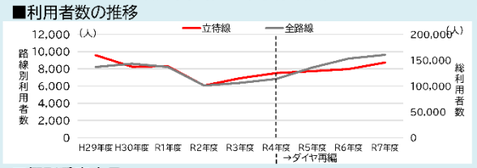
順位	施設名	訪問数
1位	アル･プラザ鯖江	4
2位	福井南高等学校	1
3位		
4位		
5位		

・利用者数は横ばい傾向となっており、年4,500人程度の利用となっています。
・多くの便で平日と比較して、休日利用が少なくなっています。
・四方谷－神明駅、公立丹南病院間の移動が見られる一方で、多くの便で通過人員が1人以下となっています。
・70歳以上の利用が約5割となっており、現金による支払いが約5割となっています。
・運転免許を持っていない方が約8割、マイカーを持っていない方が約9割と、自家用車による移動手段を持たない方に利用されています。
・アル･プラザ鯖江や公立丹南病院を目的とした買物目的や通院目的の利用が多くなっています。
・週に1回以上利用が61%となっており、定期的な利用が多くなっています。
・普通が50%と満足とも不満とも感じていない割合が多くなっています。
・便数に関する改善要望が最も多く、全路線と比較し「乗り換えダイヤ」に対する意見が多くなっています。

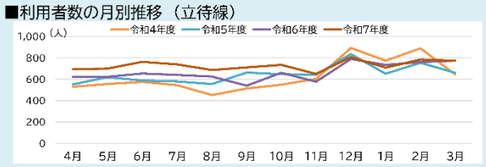
⑤立待線

○利用者数の実績（令和7年度実績）

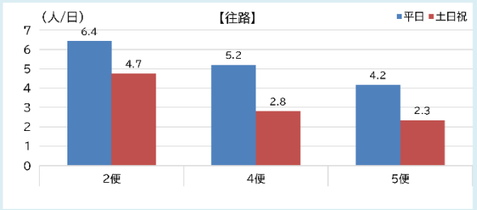
■利用者数の推移

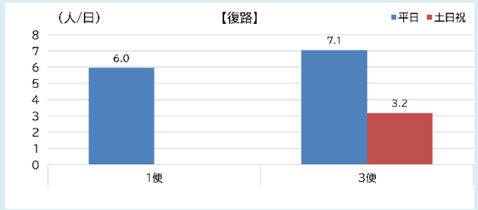


■利用者数の月別推移（立待線）

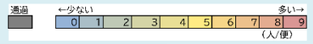


■便別乗車人員



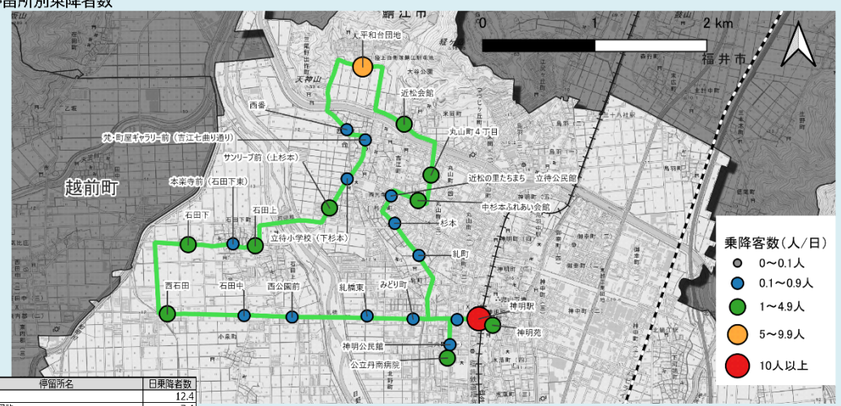


■便別・停留所間別通過人員（車内乗車人員）



停留所	平日 往路↓ 2	4	5	平日 復路↑ 1	3	平日 小計	休日 往路↓ 2	4	5	休日 復路↑ 3	休日 小計
神明苑	0	1	1	0	1	3	0	0	1	0	1
神明駅	1	3	3	1	3	11	0	2	2	1	5
ふくしん神明支店前（三六町2丁目）	1	3	3	2	3	11	0	2	2	1	5
神明公民館	1	3	3	2	3	11	0	2	2	1	5
公立丹南病院	1	4	3	3	3	15	0	2	2	2	6
神明公民館	1	4	3	3	3	15	0	2	2	2	6
糺町	1	4	3	3	3	15	0	2	2	2	6
杉本	1	4	3	3	3	14	0	2	2	2	6
近松の里たちまち 立待公民館	1	4	3	3	2	13	0	2	2	1	5
中杉本ふれあい会館	1	4	2			7	0	2	1		4
丸山町4丁目	1	4	2	3	2	12	0	2	1	1	5
近松会館	2	3	2	5	2	14	1	2	1	1	5
平和台団地	3	2	1	4	2	14	2	1	1	1	6
西番	3	2	1	1	3	11	2	1	1	2	6
梵･町屋ギャラリー前（吉江七曲り通り）	4	2	1	1	3	11	2	1	1	2	6
立待小学校（下杉本）	4	2	1	1	3	11	2	1	1	2	6
サンリーブ前（上杉本）	4	2	2	2	3	12	2	1	1	2	6
石田上	3	2	2	2	4	13	2	1	1	2	6
本楽寺前（石田下東）	4	2	2	2	4	13	2	1	1	2	6
石田下	4	1	2	2	4	12	3	1	1	2	6
西石田	5	1	1	1	4	11	4	1	1	1	6
石田中	5	1	1	0	3	10	4	1	1	1	6
西公園前	5	1	1	0	4	10	4	1	1	1	6
糺橋東	5	1	1	0	4	10	4	0	0	1	6
みどり町	5	1	1	0	4	10	4	0	0	1	6
神明公民館	5	1	1		3	9	4	0	0	1	5
公立丹南病院	4	1	1		3	8	4	0	0	1	5
神明公民館	4	0	1		3	8	4	0	0	1	5
ふくしん神明支店前（三六町2丁目）	4	0	1		3	7	3	0	0	1	5
神明駅	1	0	0		3	3	0	0	0	1	1
神明苑	0	0				0	0	0			0

■停留所別乗降者数



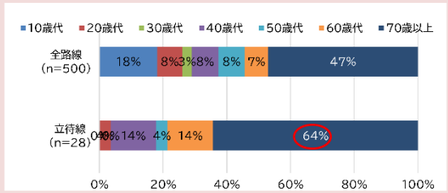
	停留所名	日乗降者数
1位	神明駅	12.4
2位	平和台団地	7.4
3位	公立丹南病院	4.3
4位	西石田	4.1
5位	神明苑	3.2

○利用者の意向（利用者アンケート）

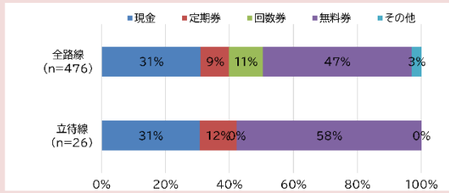
回答率	回答数	乗車人数
73%	29	40

調査日：
令和8年4月19日(日)、22日(水)

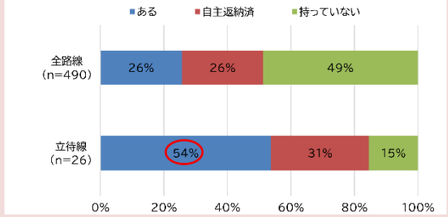
■年齢



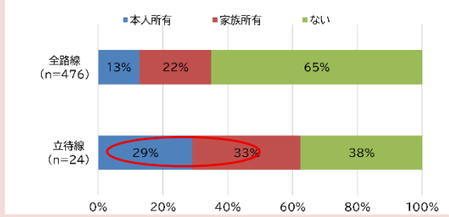
■支払方法



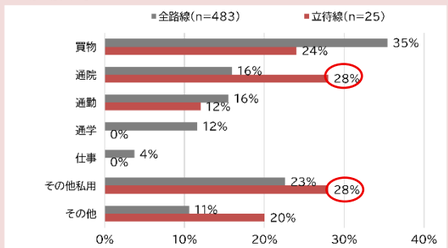
■運転免許の保有状況



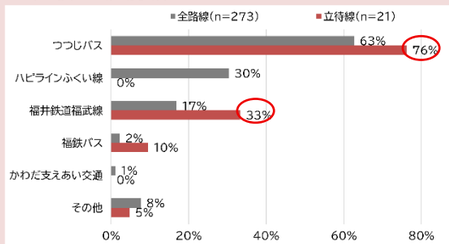
■マイカーの保有状況



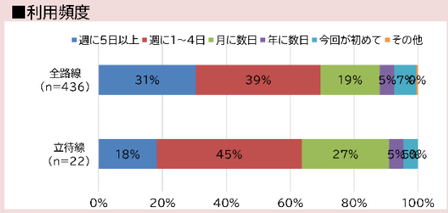
■移動目的



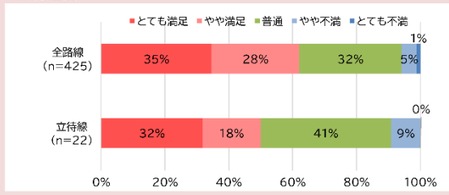
■乗り換えた移動手段



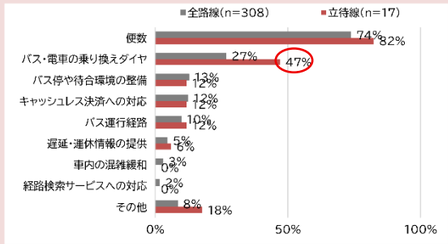
■利用頻度



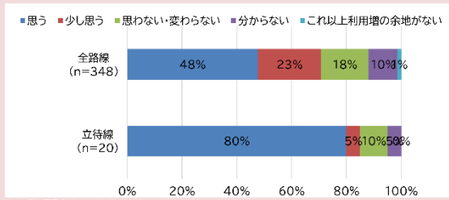
■満足度



■改善点



■改善された場合の利用意向



■訪問先TOP5

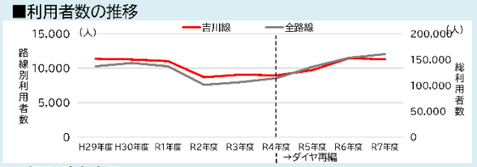
順位	施設名	訪問数
1位	アル・プラザ鯖江	6
2位	アル・プラザベル	5
3位	みどりヶ丘病院	1
4位		
5位		

・利用者数は横ばい傾向となっており、年9,000人程度の利用となっています。
・平日と比較して、休日利用が少なくなっています。
・平和台団地－神明駅間の利用が多くなっています。
・70歳以上の利用が約65%、無料券を活用した利用が約6割となっています。
・神明駅を拠点とした福井鉄道福武線との乗継や公立丹南病院への通院利用が多くなっています。
・週に1回以上利用が63%となっており、定期的な利用が多くなっています。
・満足（「とても満足」「やや満足」）が50%と、不満（「やや不満」「とても不満」）が9%と満足度が高くなっています。
・便数に関する改善要望が最も多く、全路線と比較し「乗り換えダイヤ」に対する意見が多くなっています。

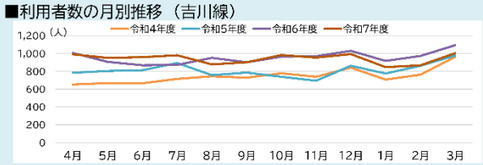
⑥吉川線

○利用者数の実績（令和7年度実績）

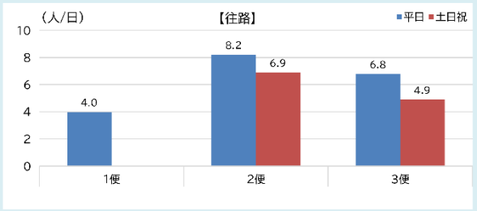
■利用者数の推移

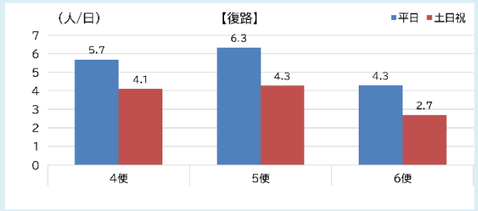


■利用者数の月別推移（吉川線）



■便別乗車人員



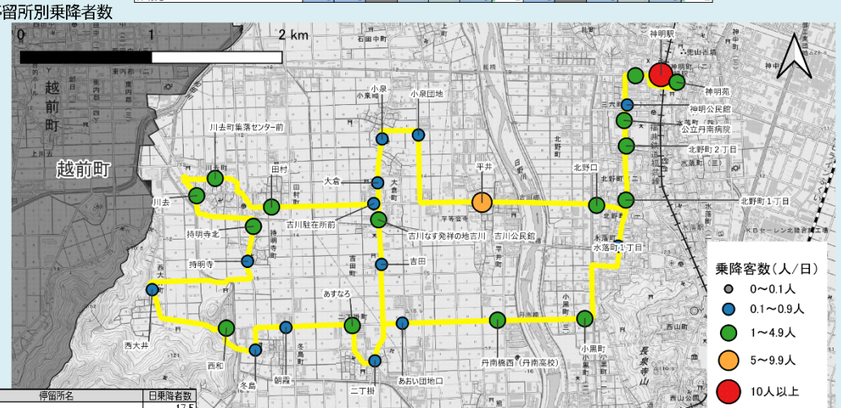


■便別･停留所間別通過人員（車内乗車人員）

通過　←少ない　多い→　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9　（人/便）

停留所	平日 往路↓ 1	2	3	復路↑ 4	5	6	小計	休日 往路↓ 2	3	復路↑ 4	5	6	小計
神明苑		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神明駅		1	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1
ふくしん神明支店前（三六町2丁目）		1	1	1	1	2	7	1	0	1	1	0	3
神明公民館		2	1	1	1	2	7	1	0	1	1	0	3
公立丹南病院		2	2	1	1	2	8	1	0	1	1	0	3
北野町2丁目		2	2	1	2	2	9	1	0	2	1	0	3
北野町1丁目		1	2	1	1	2	8	0	0	2	1	0	3
水落町1丁目		1	2	2	1	2	8	0	1	2	1	0	3
小黒町		1	3	1	1	2	8	0	1	2	1	0	3
丹南橋西（丹南高校）	0	1	3	1	2	1	8	1	1	2	1	0	4
あおい団地口	0	1	3	1	2	1	9	1	1	2	1	0	5
吉田	0	1	3	1	3	1	9	1	1	2	1	0	4
吉川なす発祥の地吉川吉川公民館	0	1	3	1	2	1	9	0	1	2	1	0	4
吉川駐在所前	0	1	3	1	2	1	9	1	1	1	1	0	4
田村	1	1	3	1	2	2	10	1	1	1	1	0	4
川去町集落センター前	1	2	3	1	2	2	11	1	1	1	1	0	5
川去	2	2	2	1	3	2	11	1	2	1	2	1	6
持明寺北	3	2	2	1	3	1	11	2	2	1	2	1	7
持明寺	3	2	2	1	3	1	12	2	2	1	2	1	7
西大井	3	2	2	1	3	1	12	2	2	1	2	1	7
西和	3	3	2	1	3	1	14	4	2	1	2	1	9
冬島	3	4	2	2	4	1	17	4	2	2	2	1	11
朝霞	3	4	3	3	4	1	17	4	2	2	2	1	11
あすなろ	3	4	3	3	4	1	18	4	2	2	2	1	12
二丁掛	3	5	3	3	4	1	19	4	2	1	3	1	12
吉田	3	5	3	3	4	1	19	4	2	1	3	1	12
吉川なす発祥の地吉川吉川公民館	3	5	3	3	4	1	20	4	2	1	3	1	12
大倉	3	5	3	3	4	1	21	4	3	2	3	1	13
小泉	4	5	3	3	4	1	21	4	3	2	3	2	13
小泉団地	4	6	3	3	4	1	21	5	3	2	3	2	14
平井	4	6	4	3	5	2	23	6	4	2	3	2	17
北野口	4	6	3	4	4	2	23	6	4	2	3	2	17
北野町1丁目	4	5	3	3	4	2	22	6	4	2	3	2	16
北野町2丁目	3	5	3	3	4	2	21	6	4	2	3	2	16
公立丹南病院	2	4	3	3	4	2	19	5	3	2	3	2	16
神明公民館	2	4	3	3	4	2	17	5	3	2	3	2	15
ふくしん神明支店前（三六町2丁目）	1	3	3	3	4	2	16	5	3	2	3	2	15
神明駅	0	1	0	3	4	2	9	1	0	2	3	2	8
神明苑	0	0		1	1	0	2	0		0	1	0	2

■停留所別乗降者数



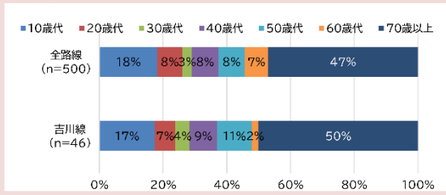
	停留所名	日乗降者数
1位	神明駅	17.5
2位	平井	5.7
3位	西和	4.8
4位	公立丹南病院	3.7
5位	神明苑	3.6

○利用者の意向（利用者アンケート）

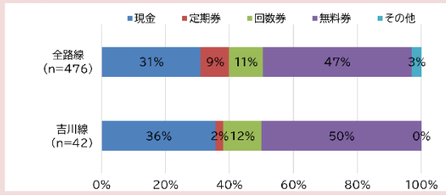
回答率	回答数	乗車人数
76%	48	63

調査日：
令和8年4月19日(日)、22日(水)

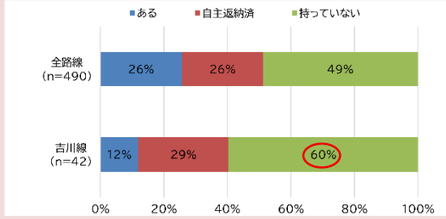
■年齢



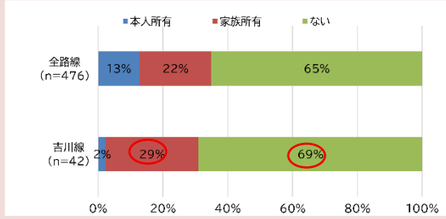
■支払方法



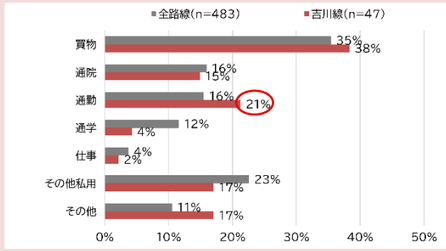
■運転免許の保有状況



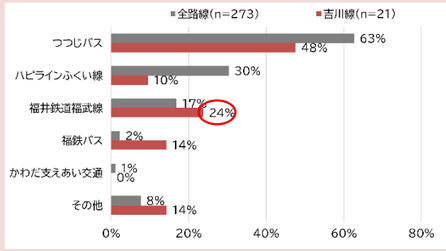
■マイカーの保有状況



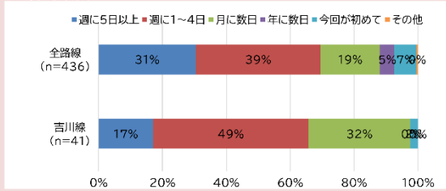
■移動目的



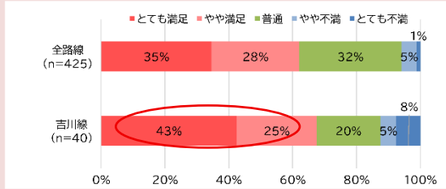
■乗り換えた移動手段



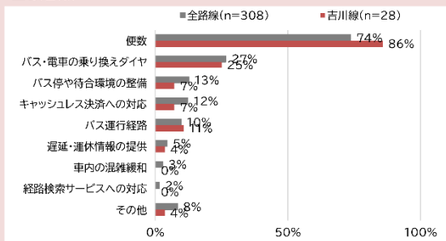
■利用頻度



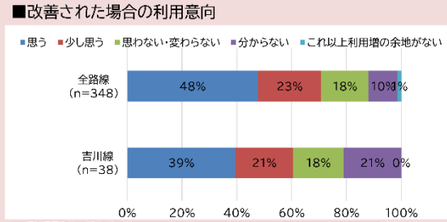
■満足度



■改善点



■改善された場合の利用意向



■訪問先TOP5

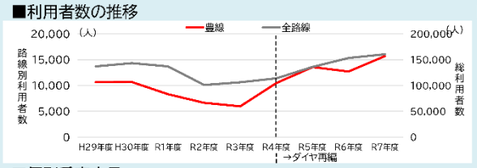
順位	施設名	訪問数
1位	アル・プラザ鯖江	11
2位	公立丹南病院	4
3位	鯖江駅	1
4位	アル・プラザベル	1
5位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 鯖江店	1

・利用者数は横ばい傾向となっており、年11,000人程度の利用となっています。
・平日と比較して、休日利用が少なくなっています。
・冬島周辺の住宅地から神明駅への移動が多くなっています。
・70歳以上の利用が約5割、無料券を活用した利用が約5割となっています。
・運転免許を持っていない方が9割、マイカーを持っていない方が約7割と、自家用車による移動手段を持たない方に利用されています。
・神明駅を拠点とした福井鉄道福武線との乗継やアル・プラザ鯖江を目的とした買物目的の利用、公立丹南病院への通院利用が多くなっています。
・週に1回以上利用が66%となっており、定期的な利用が多くなっています。
・満足（「とても満足」「やや満足」）が68%、不満（「やや不満」「とても不満」）が13%と満足度が高い一方で、全路線と比較して不満の割合も高くなっています。
・便数に関する改善要望が最も多くなっています。

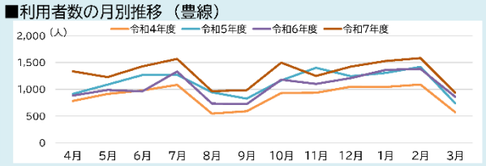
⑦豊線

○利用者数の実績（令和7年度実績）

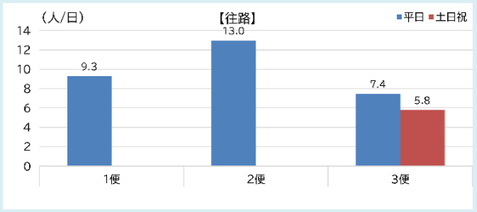
■利用者数の推移

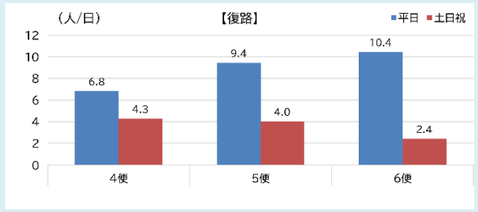


■利用者数の月別推移（豊線）



■便別乗車人員



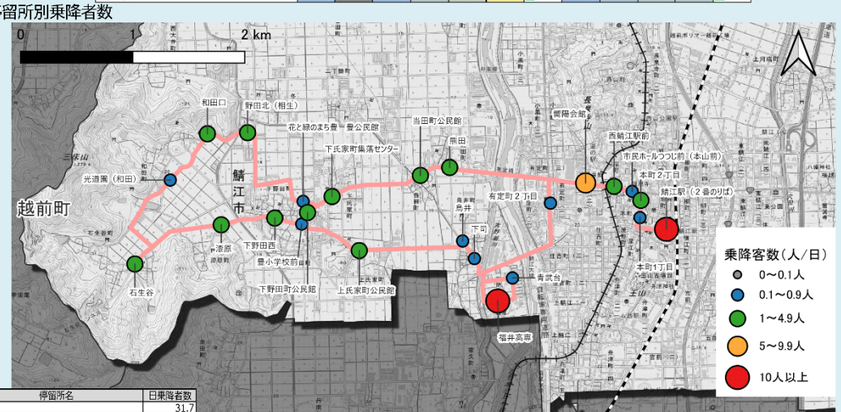


■便別・停留所間別通過人員（車内乗車人員）

通過
←少ない　多い→
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
（人/便）

停留所	平日 往路↓ 1	2	3	復路↑ 4	5	6	小計	休日 往路↓ 3	4	5	6	小計
鯖江駅	0	13	2	0	0	0	15	1	0	0	0	1
本町1丁目	0	13	2	2	5	4	26	1	1	1	0	3
本町2丁目	0	13	2	2	5	4	27	1	1	1	0	3
市民ホールつつじ前(本山前)	0	13	2	2	5	4	27	1	1	1	0	3
西鯖江駅前	0	13	2	2	5	4	27	1	1	1	0	3
鯖陽会館	0	13	3	2	5	4	28	1	1	1	0	4
有定町2丁目	0	13	3	3	5	5	28	1	2	1	0	4
青武台	0	13	3				16	1				1
福井高専	0	0	1	3	5	5	14	1	2	1	0	4
青武台				1	1	1	3		1	1	0	2
下司	0		1	1	1	1	4	1	1	1	0	3
鳥井	0		1	1	1	1	4	1	1	1	0	3
上氏家町公民館	1		2	1	1	1	5	1	1	1	0	3
豊小学校前	1		2	2	1	1	6	1	1	1	0	4
下野田町公民館	1		2	1	1	1	5	1	1	1	0	3
花と緑のまち豊豊公民館	1		2	1	1	1	5	1	1	1	0	3
野田北(相生)	1		3	1	1	1	7	2	1	1	0	4
和田口	2		3	2	2	1	9	3	1	1	1	6
光道園(和田)	2		3	2	2	1	9	3	1	1	1	6
石生谷	3		3	2	2	1	11	2	1	1	1	6
漆原	4		3	2	2	2	12	3	1	1	1	7
下野田西	5		4	3	2	2	16	5	2	2	1	9
下野田町公民館	7		4	3	3	3	20	5	2	2	1	11
下氏家町集落センター	7		4	4	3	4	22	5	2	3	2	11
当田町公民館	8		4	4	4	5	24	5	2	3	2	12
熊田	8		4	4	4	5	25	5	2	3	2	12
鯖陽会館	8		3	4	4	6	24	4	2	3	2	11
西鯖江駅前	8		2	2	2	5	20	3	2	2	2	8
市民ホールつつじ前(本山前)	8		2	2	2	4	18	2	2	1	1	7
本町2丁目	7		2	2	2	4	18	2	2	1	1	6
本町1丁目	7		2	1	2	4	16	2	1	1	1	6
鯖江駅	0		0	1	2	4	7	0	1	1	1	3

■停留所別乗降者数



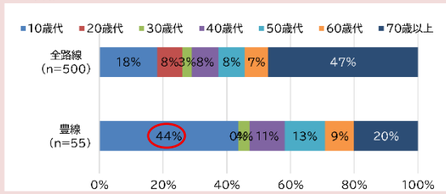
	停留所名	日乗降者数
1位	鯖江駅	31.7
2位	福井高専	17.0
3位	鯖陽会館	7.2
4位	野田北（相生）	3.9
5位	下野田西	3.5

○利用者の意向（利用者アンケート）

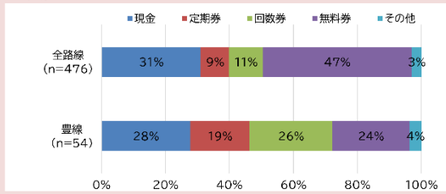
回答率	回答数	乗車人数
71%	55	78

調査日：
令和8年4月19日(日)、22日(水)

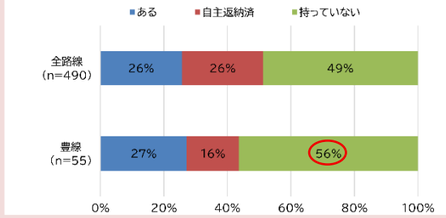
■年齢



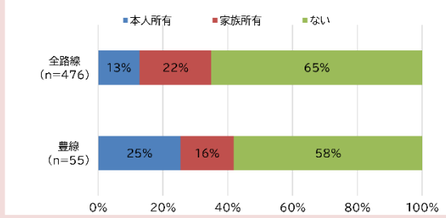
■支払方法



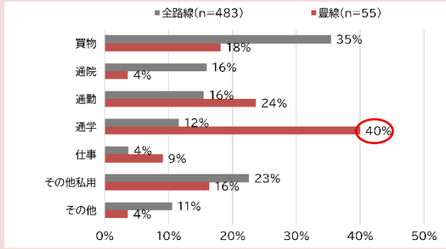
■運転免許の保有状況



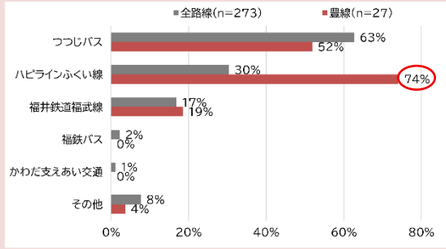
■マイカーの保有状況



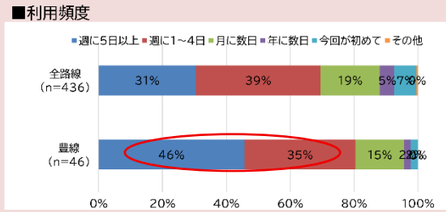
■移動目的



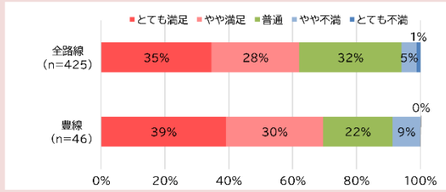
■乗り換えた移動手段



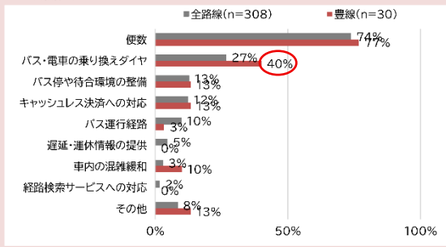
■利用頻度



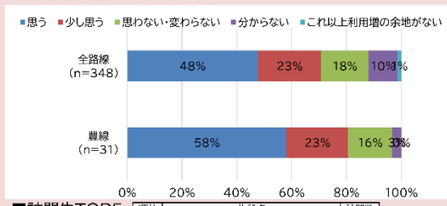
■満足度



■改善点



■改善された場合の利用意向



■訪問先TOP5

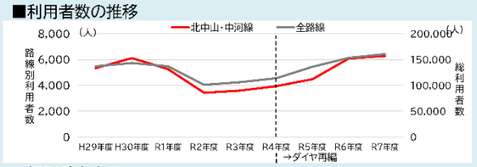
順位	施設名	訪問数
1位	福井工業高等専門学校	6
2位	福井県立鯖江高等学校	5
3位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 鯖江店	2
4位	アル・プラザ武生	1
5位	福井仁愛学園 仁愛大学	1

・利用者数は増加傾向となっており、年16,000人程度の利用となっています。
・平日と比較して、休日利用が少なくなっています。
・鯖江駅を拠点としたハピラインふくい線との乗継や福井高専の通学利用が多くなっています。
・特に、朝の下野田周辺から鯖江駅、鯖江駅から福井高専への利用が多くなっています。
・10歳代が44%と、全路線と比較して若年層の通学目的の利用が多くなっています。
・運転免許を持っていない方が約7割、マイカーを持っていない方が約6割と、自家用車による移動手段を持たない方に利用されています。
・週に1回以上利用が81%となっており、定期的な利用が多くなっています。
・満足（「とても満足」「やや満足」）が69%と、不満（「やや不満」「とても不満」）が9%と満足度が高くなっています。
・便数に関する改善要望が最も多く、全路線と比較し「乗り換えダイヤ」に対する意見が多くなっています。

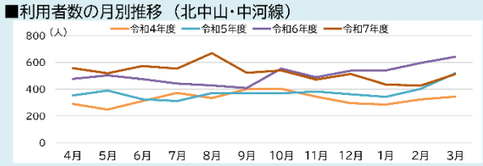
⑧北中山・中河線

○利用者数の実績（令和7年度実績）

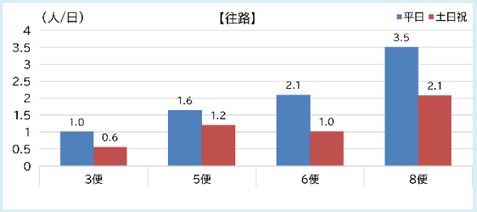
■利用者数の推移

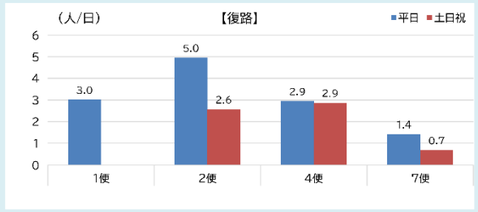


■利用者数の月別推移（北中山・中河線）

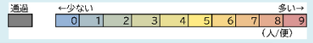


■便別乗車人員





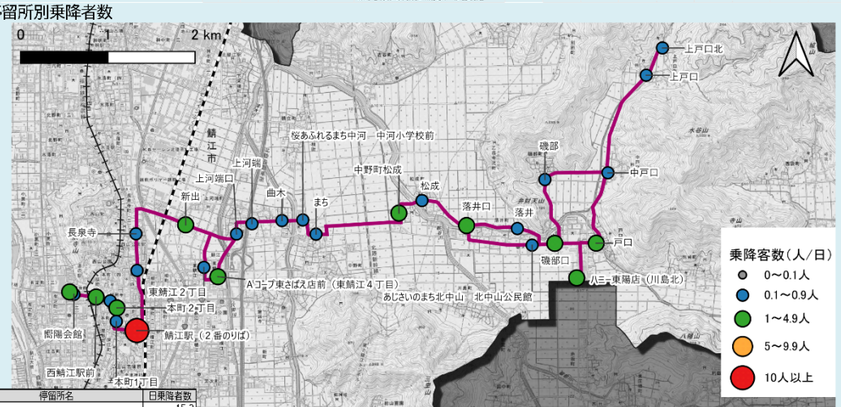
■便別・停留所間別通過人員（車内乗車人員）



停留所	平日 往路↓ 3	5	6	8	復路↑ 1※	2	4	7	小計	休日 往路↓ 3	5	6	8	復路↑ 2	4	7	小計
鯖陽会館内		0		0	0	0	0	0	0		0		0	0	0	0	1
鯖陽会館		0		0	0	0	0	0	2		0		0	0	0	0	1
西鯖江駅前		1		1	0	0	0	0	3		0		0	0	0	0	2
市民ホールつつじ前（本山前）		1		1	1	1	0	0	4		0		0	0	1	0	2
本町2丁目		1		1	1	1	1	0	5		1		1	0	1	0	2
本町1丁目		1		1	1	1	1	0	5		1		1	1	1	0	3
鯖江駅	1	1	2	3	2	2	1	0	11	0	1	1	2	1	1	0	6
かがやき前（旭町4丁目北）	1	1	2	3	12	3	2	1	25	0	1	1	2	2	2	0	9
長泉寺	1	1	2	3	12	3	2	1	25	0	1	1	2	2	2	0	9
新出	1	1	2	3	12	3	2	1	25	0	1	1	2	2	2	0	9
東鯖江2丁目	1	1	2	3		4	2	1	13	0	1	1	2	2	2	0	8
Aコープ東さばえ店前（東鯖江4丁目）	1	1	2	3		4	2	1	14	0	1	1	2	2	2	0	9
上河端口	1	1	1	3	11	4	2	1	25	0	1	1	2	2	2	0	9
上河端	1	1	1	3	11	3	2	1	24	0	1	1	2	2	2	0	8
曲木	1	1	1	3	11	3	2	1	23	0	1	1	2	2	2	0	8
桜あふれるまち中河中河小学校前	0	1	1	3	11	3	2	1	23	0	1	1	2	2	2	0	8
まち	0	1	1	3	11	3	2	1	22	0	1	1	2	1	2	0	8
中野町松成	0	1	1	1	11	3	2	1	20	0	1	1	0	1	2	0	6
松成	0	1	1	1	10	3	1	1	18	0	1	1	0	1	1	0	5
落井口	0	0	1	1	10	2	1	1	17	0	1	1	0	1	1	0	4
あじさいのまち北中山北中山公民館	0	0	1	1					2	0	0	1	0				2
落井					10	2	1	1	14					1	1	0	2
磯部口	0	0	1	0	10	2	1	1	15	0	0	1	0	1	1	0	3
磯部	0	0	1	0		2	1	0	5	0	0	1	0	1	1	0	3
上戸口	0	0	0	0		2	1	0	4	0	0	0	0	1	1	0	3
上戸口北	0	0	0	0		2	1	0	4	0	0	0	0	1	0	0	2
上戸口	0	0	0	0		2	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	2
中戸口	0	0	0	0		2	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	2
中戸口南	0	0	0	0		1	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	2
戸口	0	0	0	0	9	1	0	0	12	0	0	0	0	1	0	0	2
八二一東陽店（川島北）	0	0	0	0		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

※河和田線第2便から接続

■停留所別乗降者数



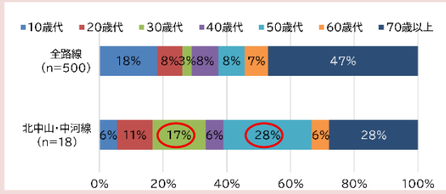
	停留所名	日乗降者数
1位	鯖江駅	15.2
2位	中野町松成	3.5
3位	Aコープ東さばえ店前（東鯖江4丁目）	1.7
4位	八二一東陽店（川島北）	1.5
5位	西鯖江駅前	1.4

○利用者の意向（利用者アンケート）

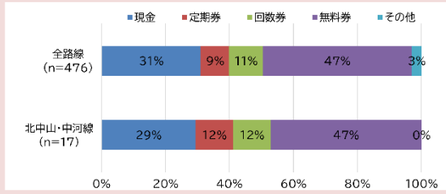
回答率	回答数	乗車人数
56%	18	32

調査日：
令和8年4月19日(日)、22日(水)

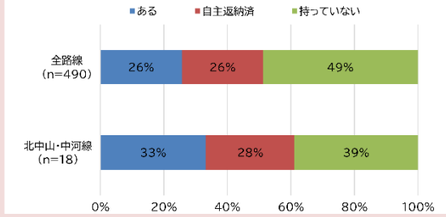
■年齢



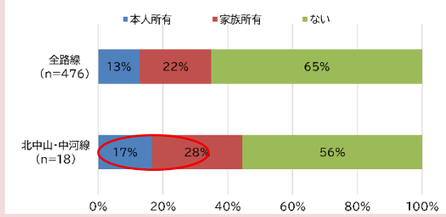
■支払方法



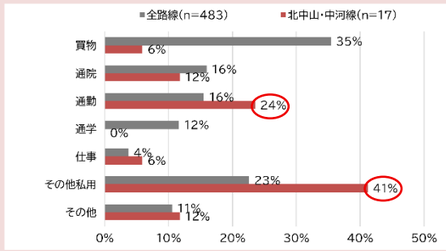
■運転免許の保有状況



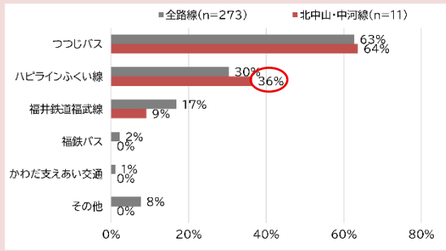
■マイカーの保有状況



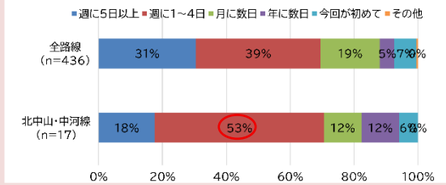
■移動目的



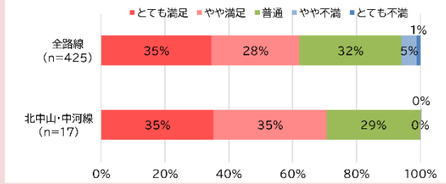
■乗り換えた移動手段



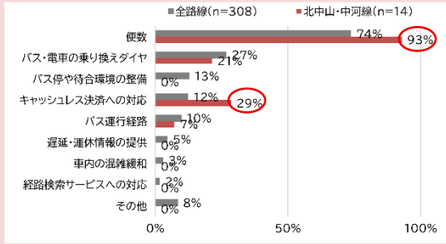
■利用頻度



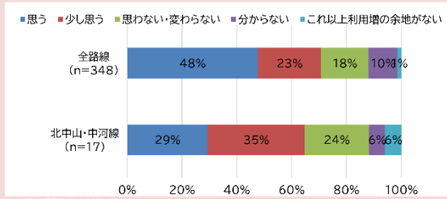
■満足度



■改善点



■改善された場合の利用意向



■訪問先TOP5

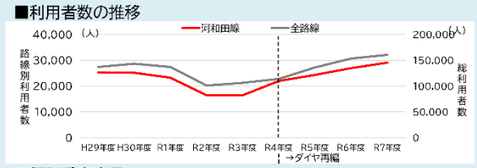
順位	施設名	訪問数
1位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 鯖江店	1
2位	西山公園	1
3位	鯖江市図書館 文化の館	1
4位		
5位		

・利用者数は増加傾向となっており、年6,000人程度の利用となっています。
・平日と比較して、休日利用が少なくなっています。
・鯖江駅を拠点としたハピラインふくい線との乗継や河和田線との接続便の利用が多くなっています。
・特に、鯖江駅での乗降が多くなっています。
・50歳代と70歳代以上がともに28%と最も多くなっています。
・運転免許を持っていない方が約7割、マイカーを持っていない方が約6割と、自家用車による移動手段を持たない方に利用されています。
・週に1回以上利用が71%となっており、定期的な利用が多くなっています。
・満足（「とても満足」「やや満足」）が70%と、不満（「やや不満」「とても不満」）が0%と満足度が高くなっています。
・便数に関する改善要望が最も多く、全路線と比較し「キャッシュレス決済への対応」に対する意見が多くなっています。

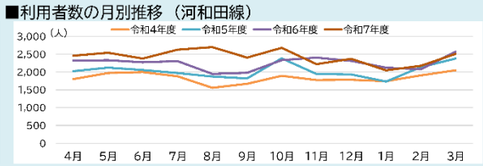
⑨河和田線

○利用者数の実績（令和7年度実績）

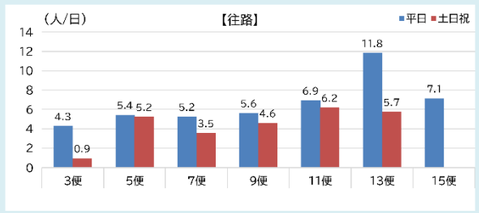
■利用者数の推移

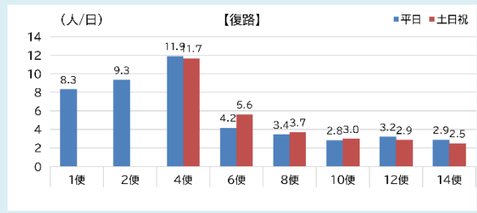


■利用者数の月別推移（河和田線）

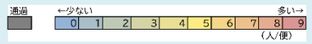


■便別乗車人員





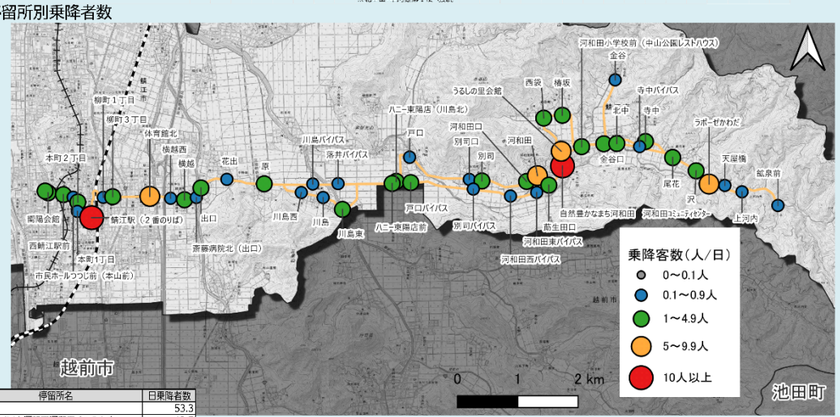
■便別・停留所間別通過人員（車内乗車人員）



停留所	平日 往路↓ 3	5	7	9	11	13	15	1	2※	4	6	8	10	12	14	小計	平日 復路↑ 1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	小計	休日 往路↓ 3	5	7	9	11	13	4	6	8	10	12	14	小計	休日 復路↑ 1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	小計
鯖江駅	4	4	4	5	6	11	6	1		4	0	0	0	0	0	43	1	4	3	3	5	5	4	0	0	0	0	0	24	1	4	3	4	5	5	4	0	0	0	0	0	24	1	4	3	3	5	5	4	0	0	0	0	0	24
福町1丁目	4	4	4	5	6	11	6	8		10	3	2	2	2	2	69	1	4	3	3	5	5	10	4	3	2	2	2	43	1	4	3	4	5	5	10	4	3	2	2	2	44	1	4	3	4	5	5	10	4	3	2	2	2	44
福町3丁目	4	4	4	5	6	11	6	8		10	3	2	2	2	2	69	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	44	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	45
体育館北	4	4	4	5	6	12	7	8		10	3	3	2	2	2	73	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	46	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	46
横越西	4	4	4	5	6	11	7	8		11	4	3	2	2	2	74	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	46	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	46	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	46
横越	4	4	4	5	6	11	7	8		10	4	3	2	2	2	73	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	46	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	46	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	46
斎藤病院北（出口）	4	4	4	5	6	11	7	8		10	4	3	2	2	2	72	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	45
出口	4	4	3	5	6	11	7	8		10	4	3	2	2	2	71	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	45
花出	4	4	3	5	6	11	7	8		10	4	3	2	2	2	70	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	11	5	3	2	2	2	45
原	1	4	3	5	6	11	6	8		10	4	3	2	2	2	67	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	45	1	4	3	4	5	5	10	5	3	2	2	2	45
川島西			3		6	11	6	7		10		3				47			2		5	5	10		2				25			3		6	11	6	7		10		3				47			2		5	5	10		2				25
川島			3		6	11	6	7		10		3				47			2		5	5	10		2				25			3		6	11	6	7		10		3				47			2		5	5	10		2				25
川島東			3		6	11	6	7		10		3				45			2		5	5	10		2				24			3		6	11	6	7		10		3				45			2		5	5	10		2				24
ハニー乗降店前（川島北）			3		6	10				10		2				32			3		5	4	9		2				24			3		6	10				10		2				32			3		5	4	9		2				24
戸口			3		6	10	6	7		10		3				45			3		5	5	10		3				24			3		6	10	6	7		10		3				45			3		5	5	10		3				24
別司口			3		6	10	6	7	9	10		3				53			2		5	5	10		3				24			3		6	10	6	7	9	10		3				53			2		5	4	10		3				24
別司			3		6	10	4	7	9	10		2				51			2		5	4	9		3				23			3		6	10	4	7	9	10		2				51			2		5	4	9		3				23
河和田口			3		6	10	4	5	9	9		2				48			2		5	4	9		3				23			3		6	10	4	5	9	9		2				48			2		5	4	9		3				23
河和田			3		5	8	3	5	9	9		2				44			2		4	3	9		2				21			3		5	8	3	5	9	9		2				44			2		4	3	9		2				21
川島バイパス	1	4		4							3		1	1	2	17	1	4		4			5		2	2	2	19	1	4		4				3		1	1	2	17	1	4		4			5		2	2	2	19
落井バイパス	1	4		4							3		1	1	2	17	1	4		4			5		2	2	2	19	1	4		4				3		1	1	2	17	1	4		4			5		2	2	2	19
ハニー乗降店前	1	4		4							3		1	1	2	17	1	4		4			5		2	2	2	19	1	4		4				3		1	1	2	17	1	4		4			5		2	2	2	19
戸口バイパス	1	4		4							3		1	1	1	16	1	4		3			5		2	2	1	18	1	4		4				3		1	1	1	16	1	4		3			5		2	2	1	18
別司バイパス	1	4		4							3		1	1	1	16	1	4		3			5		2	2	1	19	1	4		4				3		1	1	1	16	1	4		3			5		2	2	1	19
河和田西バイパス	1	4		4							3		1	1	1	16	1	4		3			4		2	2	1	18	1	4		4				3		1	1	1	16	1	4		3			4		2	2	1	18
河和田東バイパス	1	4		3							3		1	1	1	15	1	4		3			4		2	2	1	17	1	4		3				3		1	1	1	15	1	4		3			4		2	2	1	17
島生田口	1	3	2	3	5	8	2	4	8	8	3	2	1	1	1	54	1	3	2	3	4	3	8	4	2	2	2	1	35	1	3	2	3	4	3	8	4	2	2	2	1	35
自然豊かなまち河和田　河和田ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	1	3	2	2	4	6	2	4	8	8	3	2	1	1	1	46	1	3	1	2	3	3	7	4	2	2	2	1	31	1	3	2	2	4	6	2	4	8	8	3	2	2	1	31
うるしの里会館	1	2	1	2	4	5		4	5	7	2	1	1	1	1	28	0	2	1	2	3	2	6	3	1	2	2	1	25	1	2	1	2	4	5		4	5	7	2	1	1	1	1	25
四季			1		3	5		4	6			1				19			1		3	2	5		1				12			1		3	5		4	6			1				19			1		3	2	5		1				12
椿坂			1		3	4			3	5		1				17			1		2	2	5		1				10			1		3	4			3	5		1				17			1		2	2	5		1				10
河和田小学校前（中山公園レストハウス）	0	2	1	2	3	4	1	3	2	4	1	1	1	0	1	26	0	2	1	2	2	2	4	2	1	1	1	1	19	0	2	1	2	3	4	1	3	2	4	1	1	1	0	1	26	0	2	1	2	2	2	4	2	1	1	1	1	19
金谷口	0	2	1	1	2	3		3	2	4		1	1	0	0	23	0	2	1	2	2	1	4	2	1	1	1	1	19	0	2	1	1	2	3		3	2	4		1	1	0	0	23	0	2	1	2	2	1	4	2	1	1	1	1	19
金谷			1		2	3			0	4		1				11			1		2	1	4						11			1		2	3			0	4		1				11			1		2	1	4						11
北中	0	2	1	1	2	3	0	3	0	4	1	1	1	0	0	20	0	2	1	1	1	1	4	2	1	1	1	1	16	0	2	1	1	2	3	0	3	0	4	1	1	1	0	0	20	0	2	1	1	1	1	4	2	1	1	1	1	16
寺中バイパス	0	2	1	1	2	3	0	3	0	3	1	1	1	0	0	19	0	2	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	13	0	2	1	1	2	3	0	3	0	3	1	1	1	0	0	19	0	2	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	13
寺中			1		2	1	0	3	0	3		1				11			1		1	1	3						6			1		2	1	0	3	0	3		1				11			1		1	1	3						6
尾花	0	2	1	1	2	1	0	1	0	3	0	1	1	0	0	13	0	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	12	0	2	1	1	2	1	0	1	0	3	0	1	1	0	0	13	0	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	12
沢	0	2	1	1	1	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	11	0	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	11	0	2	1	1	1	1	0	0	0	3	0	1	1	0	0	11	0	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	11
ラポーゼかわだ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	6
天屋橋	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
上河内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
鯖泉前	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4

※北中山・中光寺第1号 迂回

■停留所別乗降者数



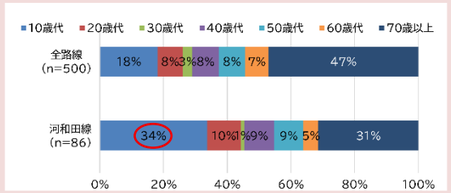
	停留所名	日乗降者数
1位	鯖江駅	53.3
2位	自然豊かなまち河和田河和田ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	12.5
3位	ラポーゼかわだ	8.8
4位	うるしの里会館	8.2
5位	河和田	5.6

○利用者の意向（利用者アンケート）

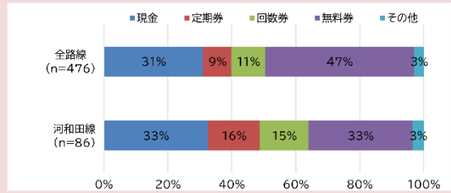
回答率	回答数	乗車人数
51%	87	169

調査日：
令和8年4月19日（日）、22日（水）

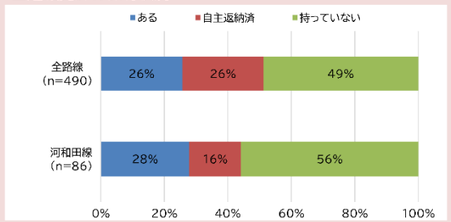
■年齢



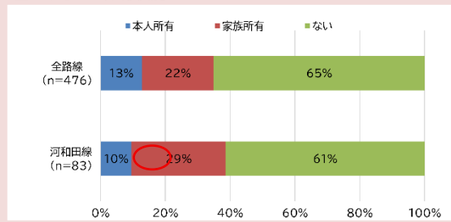
■支払方法



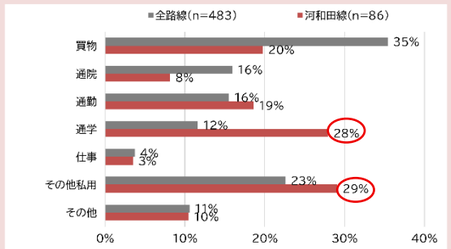
■運転免許の保有状況



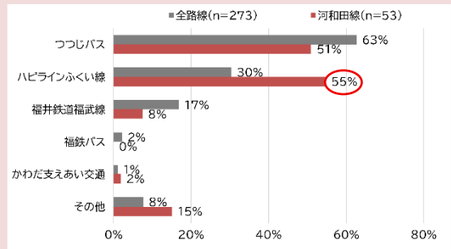
■マイカーの保有状況



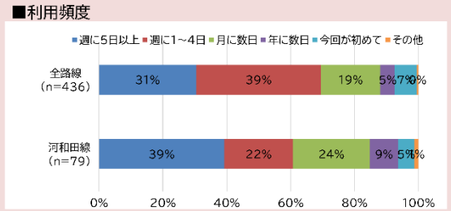
■移動目的



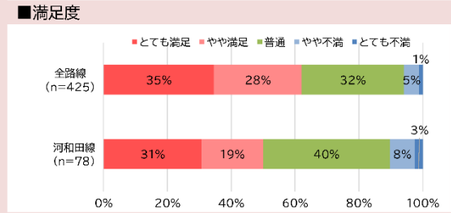
■乗り換えた移動手段



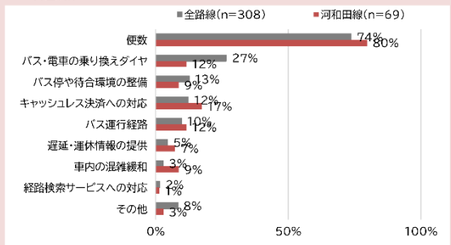
■利用頻度



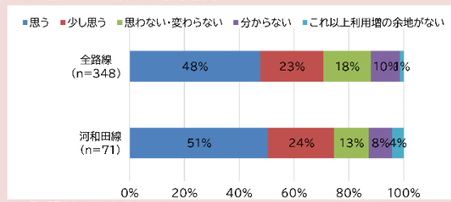
■満足度



■改善点



■改善された場合の利用意向



■訪問先TOP5

順位	施設名	訪問数
1位	鯖江駅	7
2位	福井県立鯖江高等学校	5
3位	アル・プラザ鯖江	5
4位	ヤスサキワイプラザ グルメ館 鯖江店	1
5位	公立丹南病院	1

・利用者数は増加傾向となっており、年29,000人程度の利用となっています。
・朝夕の通勤・通学需要が多く、鯖江駅を拠点としたハピラインふくい線との乗継が多くなっています。
・特に、鯖江駅、河和田コミュニティーセンター周辺、ラポーゼかわだでの乗降が多くなっています。
・往路は平日と比較して、休日利用が少なくなっている一方で、復路は同程度の利用が見られます。
・10歳代が34%と、全路線と比較して若年層の通学目的の利用が多くなっています。
・運転免許を持っていない方が約7割、マイカーを持っていない方が約6割と、自家用車による移動手段を持たない方に利用されています。
・週に1回以上利用が61%となっており、定期的な利用が多くなっています。
・満足（「とても満足」「やや満足」）が50%と、全路線と比較して、満足度が低くなっています。

第5章 計画の策定体制

1. さばえモビリティプラン（第３次鯖江市地域公共交通計画）策定の経過

実　施　日	内　　容
令和７年　12月25日	**令和７年度　第４回　鯖江市地域公共交通活性化協議会** ・　計画の概要について ・　スケジュールについて ・　アンケート（案）について
令和８年　２月13日 ～３月４日	**市民アンケート調査の実施**
３月13日	**令和７年度　第５回　鯖江市地域公共交通活性化協議会** ・　鯖江市をとりまく現況について ・　市民アンケート調査の報告について
４月16日 ～５月11日	**高校生・高専生アンケート調査の実施（市内学生への郵送）**
４月19日 ４月22日	**利用者アンケート調査の実施**
６月18日	**令和８年度　第１回　鯖江市地域公共交通活性化協議会** ・　各公共交通の概要について ・　アンケート結果について ・　前回計画のフォローアップについて ・　鯖江市の課題について ・　将来像（案）について ・　基本目標（案）について
６月23日 ～７月３日	**高校生・高専生アンケート調査の実施（市内学校での配布）**
９月25日	**令和８年度　第４回　鯖江市地域公共交通活性化協議会** ・　モビリティプラン（骨子案）について
11月13日	**令和８年度　第５回　鯖江市地域公共交通活性化協議会** ・　モビリティプラン（素案）について ・　利便増進実施計画（素案）について
11月25日～ 12月８日	**パブリックコメントの実施**
12月23日	**令和８年度　第６回　鯖江市地域公共交通活性化協議会** ・　モビリティプラン、利便増進計画最終案について

2. 鯖江市地域公共交通会議委員名簿

（令和9年1月末現在）

種別	団体組織名	役職	氏名
学識経験者（会長）	福井工業大学	教授	三寺　潤
事業者	鯖江高速観光株式会社	代表取締役	田中　昌和
	鯖江交通株式会社	代表取締役	上田　正樹
	越前観光株式会社鯖江本部	所長	仲保　政代
	つつじ株式会社	代表取締役	清水　康弘
	鯖江地区ハイヤータクシー業会（相互タクシー）	専務取締役	小寺　隼樹
	福井鉄道株式会社	取締役乗合事業部長	田畑　雅人
	公益社団法人福井県バス協会	専務理事	小林　博之
	株式会社ハピラインふくい	総務企画部長	坂上　寿浩
	福井県交通運輸産業労働組合協議会	幹事	三上　智之
住民または利用者代表	鯖江市区長会連合会	副会長	近藤　定市
	鯖江市老人クラブ連合会	会長	三上　利明
	鯖江市連合女性会	理事	小部　峰子
	福井工業高等専門学校	学生主事	田安　正茂
	福井県立鯖江高等学校	教諭	栗田　健一
	一般社団法人鯖江観光協会	専務	関本　光浩
	鯖江商工会議所	専務理事	山本　雅之
関係機関	鯖江市交通対策協議会	鯖江市交通指導員会長	永田　紀代志
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局	首席運輸企画専門官	平井　早苗
	鯖江警察署	交通課長	清水　崇夫
	福井県未来創造部新幹線・交通まちづくり局交通まちづくり課	課長	中村　智哉
	鯖江丹生土木部管理用地課	課長	善里　峰司
鯖江市	鯖江市	市長	佐々木　勝久
	鯖江市	都市整備部次長	岩本　喜洋
	鯖江市	都市計画・住宅課長	木野　勝彦

事務局	鯖江市産業交流部	部長	渡辺　賢
	鯖江市産業交流部交通・にぎわい創出課	課長	今川　泰夫
		参事	内田　久仁
		主査	山本　直希
		主事	岡田　未希
		主事	若杉　侑美
		主事	河野　玲奈

さばえモビリティプラン
（第３次鯖江市地域公共交通計画）
令和８年12月発行
発行/福井県　鯖江市
編集/産業交流部交通・にぎわい創出課
住　所　：〒916-8666　福井県鯖江市西山町13番1号
電話番号　：0778-53-2243
FAX番号：0778-51-8155
メールアドレス：KoNigi@city.sabae.lg.jp